

# 姫路市地域福祉計画

私たち一人ひとりが互いに支え合い、  
住み慣れた地域で健やかな暮らしができる  
福祉のまちづくりを目指して

## — 資料編 —

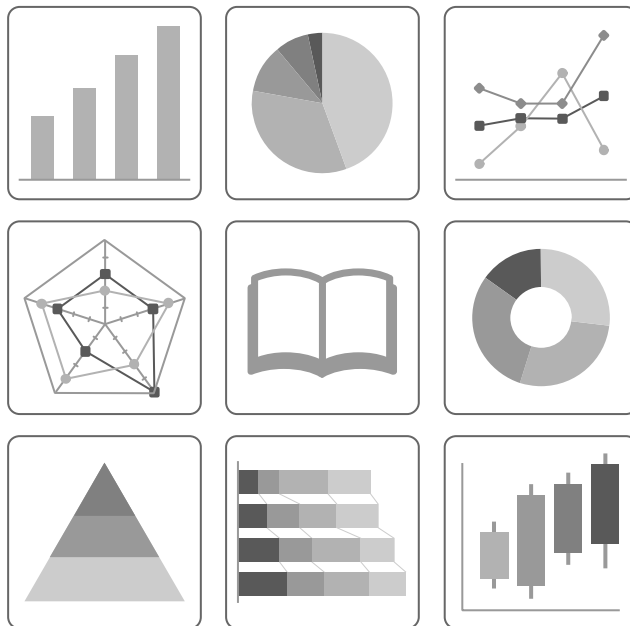
令和3年（2021年）3月

姫路市

## 【目次】

令和元年度 姫路市地域福祉実態意向調査結果報告書	1
Ⅰ. 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査対象	2
3. 調査期間	2
4. 調査方法	2
5. 回収状況	2
6. 調査結果の表示方法	2
Ⅱ. 調査結果	3
(1) あなたご自身のことについて	3
(2) ご家族と住まいのことについて	8
(3) 地域での生活について	20
(4) 地域活動について	45
(5) 日常生活の心配ごと、相談、支援について	106
(6) 介護や医療について	129
(7) 災害時要援護者の支援について	139
(8) 福祉サービスの利用、これからの福祉のあり方について	147
Ⅲ 調査票	207

# 姫路市 地域福祉実態意向調査 調査結果報告書



令和 2 年 3 月

姫 路 市

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「姫路市地域福祉計画」見直しのための基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

姫路市在住の18歳以上の方の中から3,000人を無作為抽出

## 3 調査期間

令和2年1月31日から令和2年2月21日


## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,276通	42.5%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

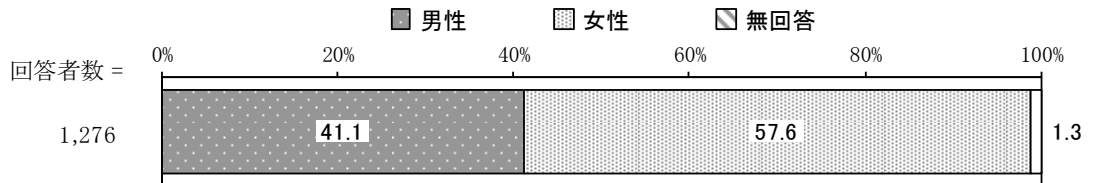
## II 調査結果

### (1) あなたご自身のことについて

#### 問1 【全員にお尋ねします。】

あなたの性別について、当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

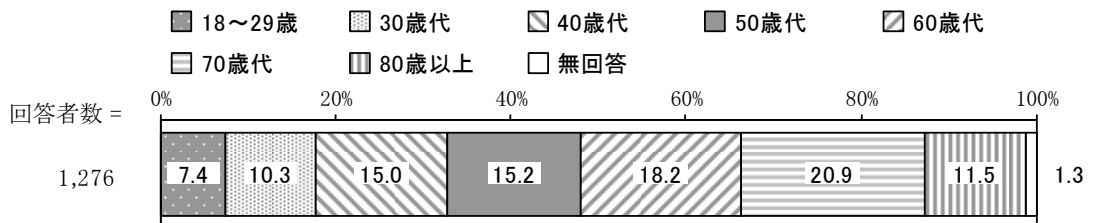
「男性」の割合が41.1%、「女性」の割合が57.6%となっています。



#### 問2 【全員にお尋ねします。】

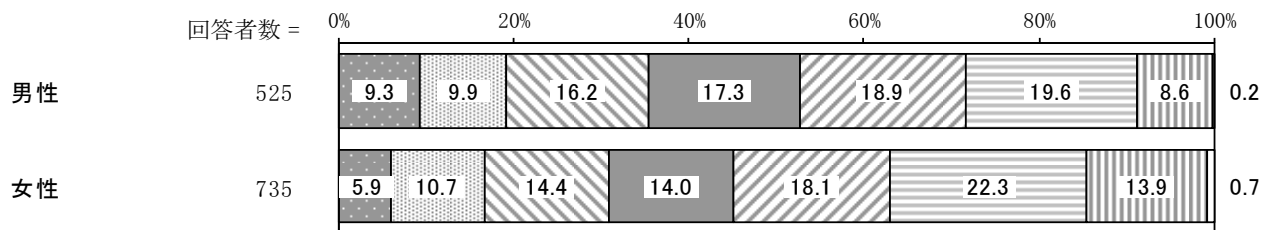
あなたの年齢（令和2年1月15日現在の満年齢）を記入してください。

「70歳代」の割合が20.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.2%、「50歳代」の割合が15.2%となっています。



#### 【性別】

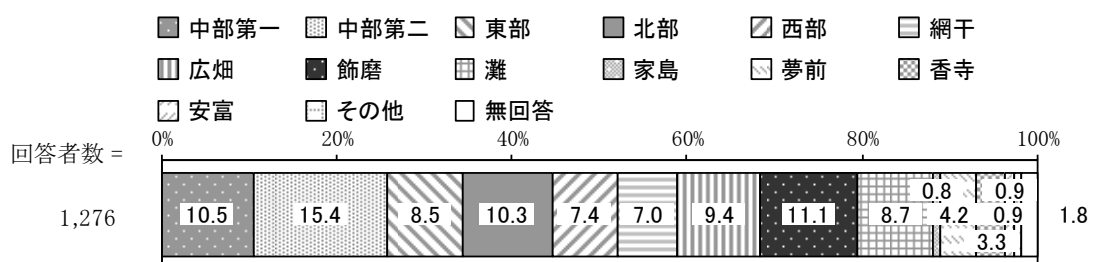
性別でみると、男性に比べ、女性で「80歳以上」の割合が高くなっています。



#### 問3 【全員にお尋ねします。】

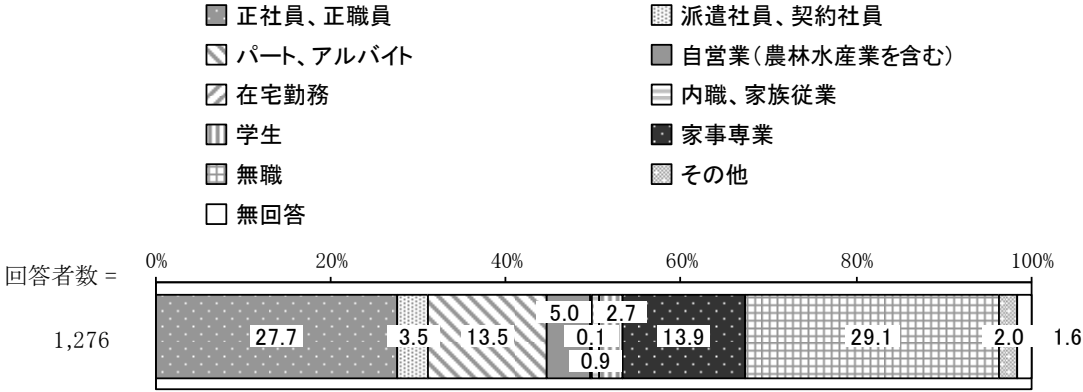
現在お住まいの小学校区を選び、番号に○を付けてください。

「中部第二」の割合が15.4%と最も高く、次いで「飾磨」の割合が11.1%、「中部第一」の割合が10.5%となっています。



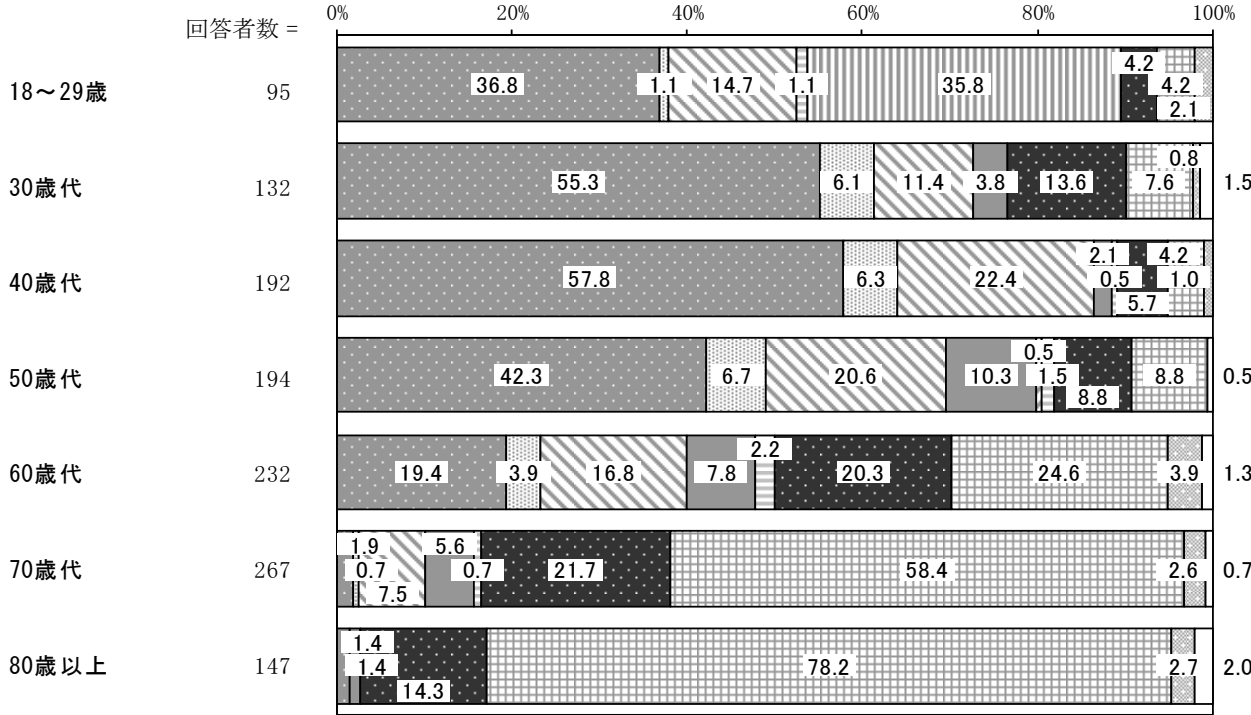
**問4 【全員にお尋ねします。】**  
**あなたの職業について、当てはまるものを1 選び、番号に○を付けてください。**

「無職」の割合が29.1%と最も高く、次いで「正社員、正職員」の割合が27.7%、「家事専業」の割合が13.9%となっています。



**【年代別】**

年代別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「正社員、正職員」の割合が高くなっています。また、40歳代、50歳代で「パート、アルバイト」の割合が高くなっています。

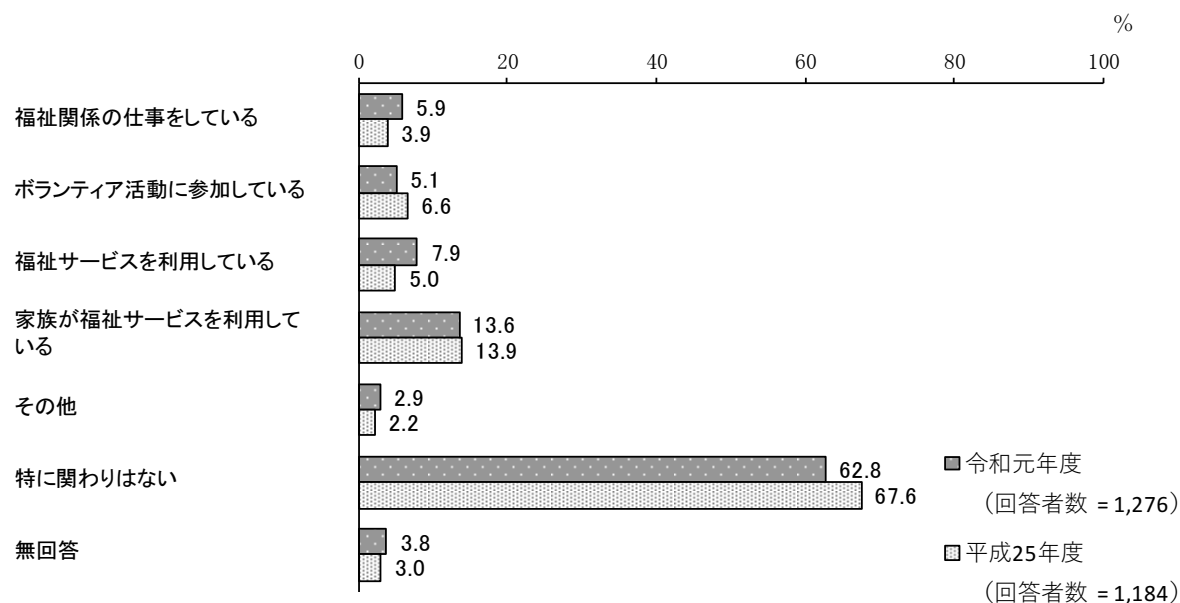


**問5 【全員にお尋ねします。】**

あなたは、福祉とどのような関わりがありますか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「特に関わりはない」の割合が62.8%と最も高く、次いで「家族が福祉サービスを利用している」の割合が13.6%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



**【年代別】**

年代別でみると、すべての年代で「特に関わりはない」の割合が高くなっています。ただし、80歳以上ではその割合が低く、80歳以上では福祉サービスを利用している割合が高くなっていることが伺えます。また、「家族が福祉サービスを利用している」のは、子育て世代である30歳代から50歳代で多くなっています。

単位：%

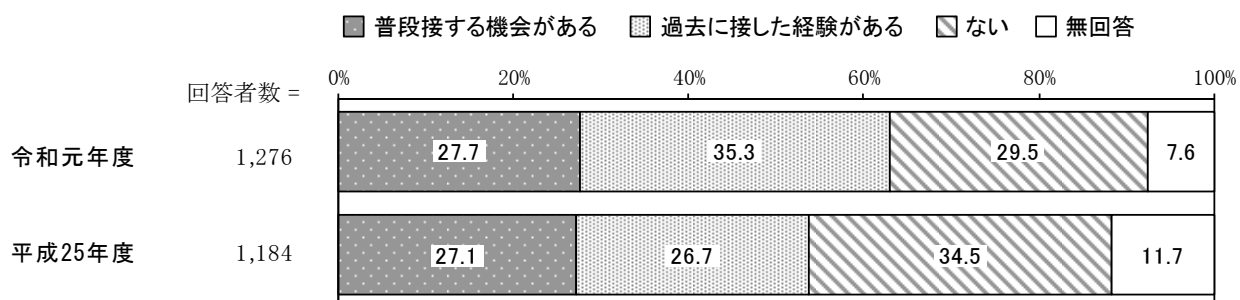
区分	有効回答数(件)	福祉関係の仕事をしている	ボランティア活動に参加している	福祉サービスを利用している	家族が福祉サービスを利用している	その他	特に関わりはない	無回答
18～29歳	95	10.5	6.3	5.3	7.4	5.3	68.4	—
30歳代	132	10.6	3.8	4.5	18.2	2.3	63.6	0.8
40歳代	192	8.9	2.1	3.1	18.8	1.6	66.1	1.0
50歳代	194	7.7	4.1	1.5	21.6	3.1	62.9	1.0
60歳代	232	6.0	5.2	5.2	12.5	3.4	66.4	2.6
70歳代	267	1.9	9.0	8.2	8.6	1.9	65.9	6.4
80歳以上	147	—	4.1	31.3	8.2	4.1	46.9	6.8

問6 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、これまでに介護・介助を必要とする高齢者や障害のある人と接したことはありますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

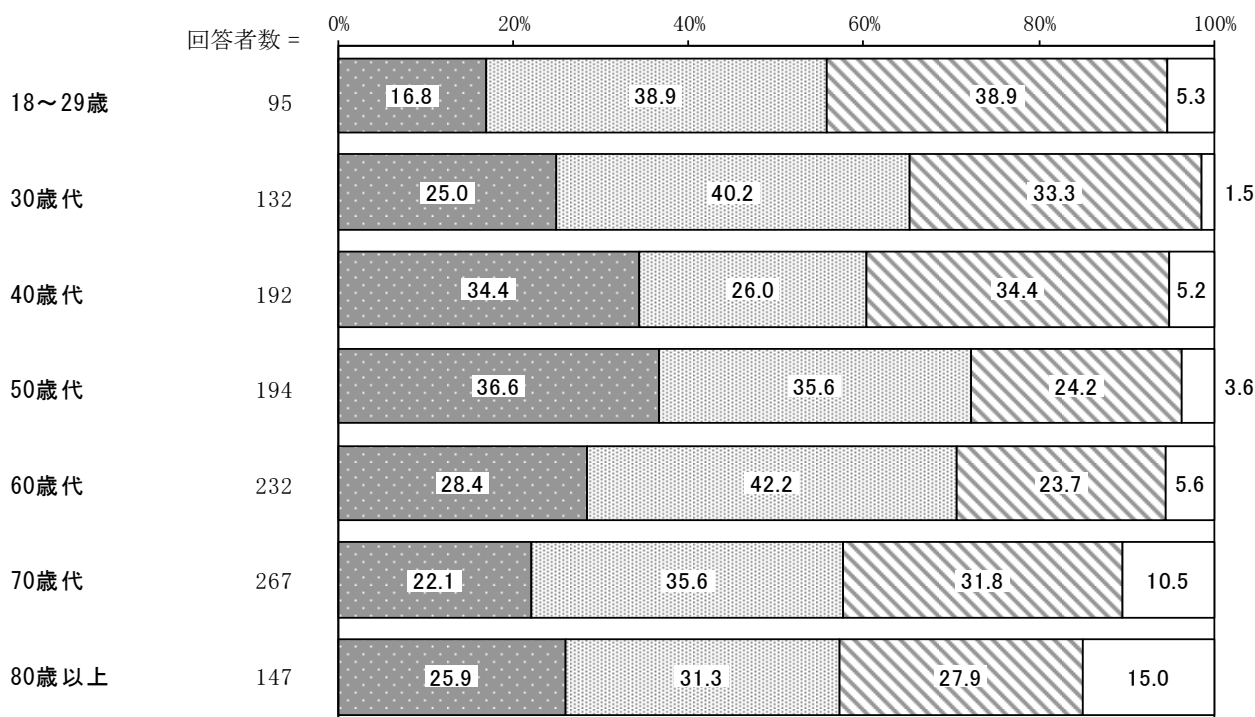
「過去に接した経験がある」の割合が35.3%と最も高く、次いで「ない」の割合が29.5%、「普段接する機会がある」の割合が27.7%となっています。

平成25年度と比較すると、「過去に接した経験がある」の割合が増加しています。一方、「ない」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、18～29歳で「ない」の割合が高くなっています。また、「普段接する機会がある」と「過去に接した経験がある」をあわせた“接したことがある”人の割合は、介護が始まる世代である50歳代、60歳代で高くなっています。



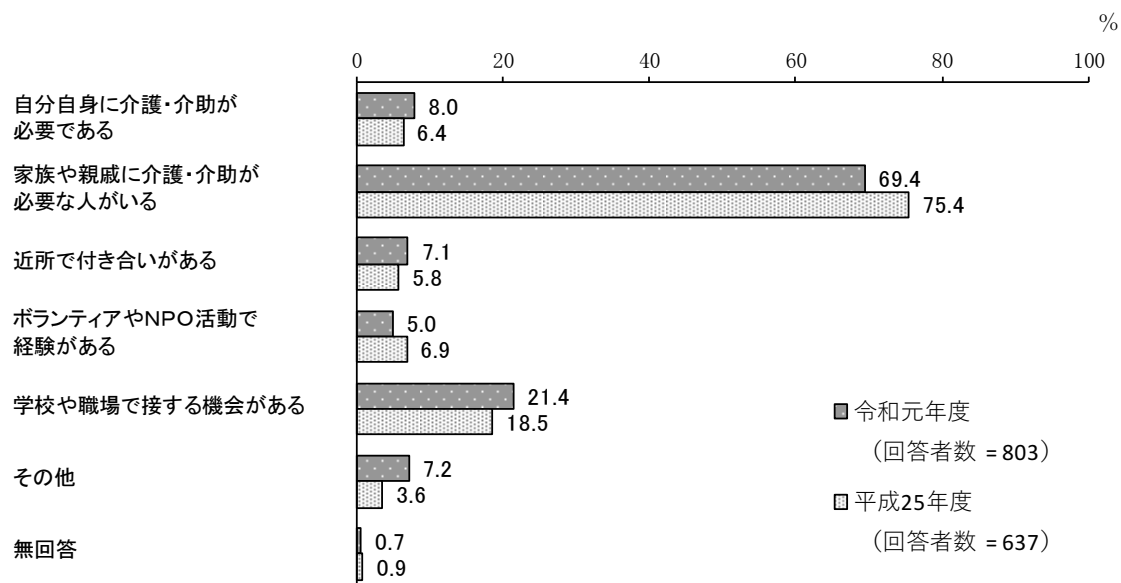


問6 (2) 【(1)で「普段接する機会がある」か「過去に接した経験がある」を選ばれた方にお尋ねします。】

あなたがこれまで介護・介助を必要とする高齢者や障害のある人と接したのは、どのような場面でしたか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「家族や親戚に介護・介助が必要な人がいる」の割合が69.4%と最も高く、次いで「学校や職場で接する機会がある」の割合が21.4%となっています。

平成25年度と比較すると、「家族や親戚に介護・介助が必要な人がいる」の割合が減少しています。



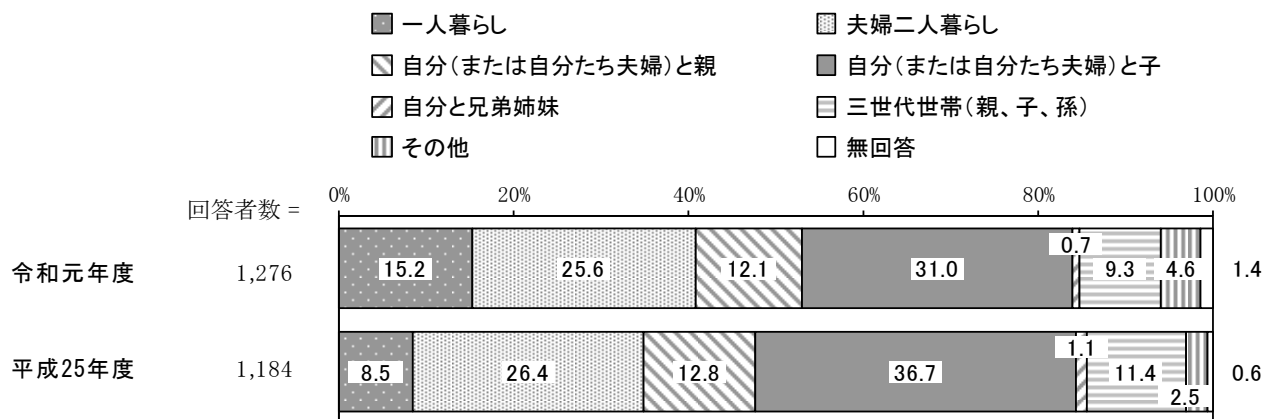
## (2) ご家族と住まいのことについて

### 問7 【全員にお尋ねします。】

あなたの世帯の構成について、当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

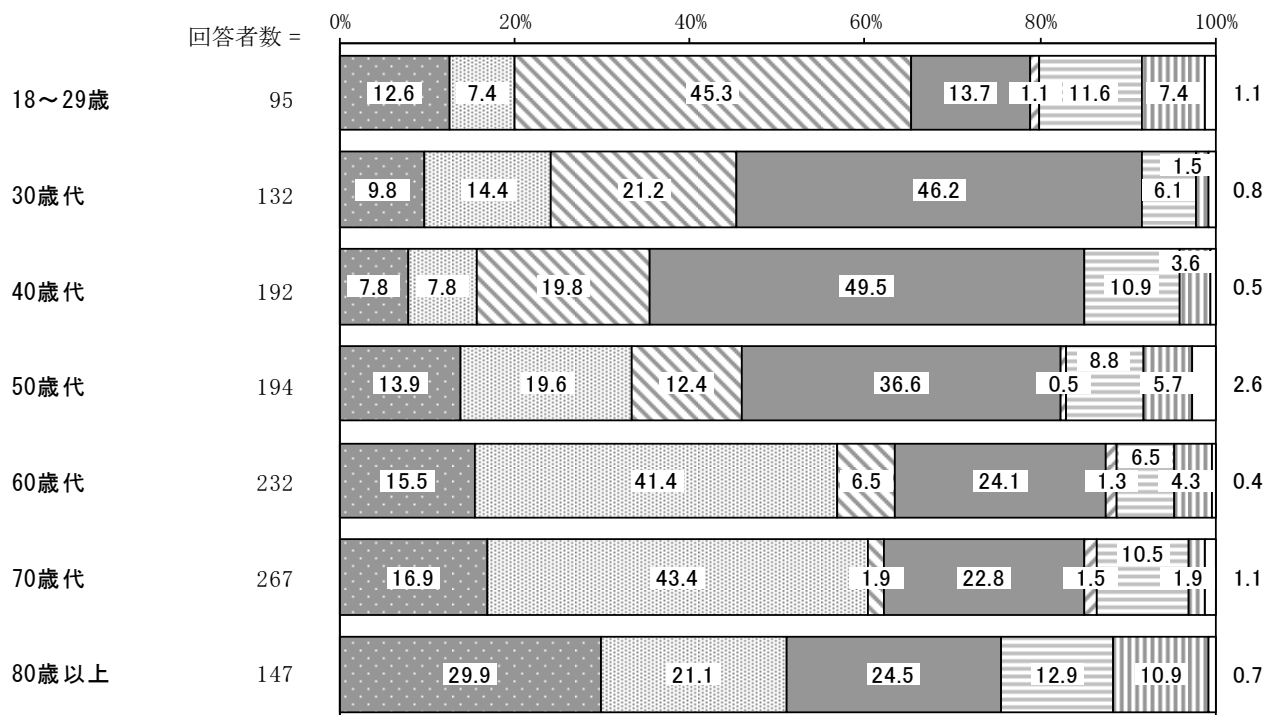
「自分（または自分たち夫婦）と子」の割合が31.0%と最も高く、次いで「夫婦二人暮らし」の割合が25.6%、「一人暮らし」の割合が15.2%となっています。

平成25年度と比較すると、「一人暮らし」の割合が増加しています。一方、「自分（または自分たち夫婦）と子」の割合が減少しています。



### 【年代別】

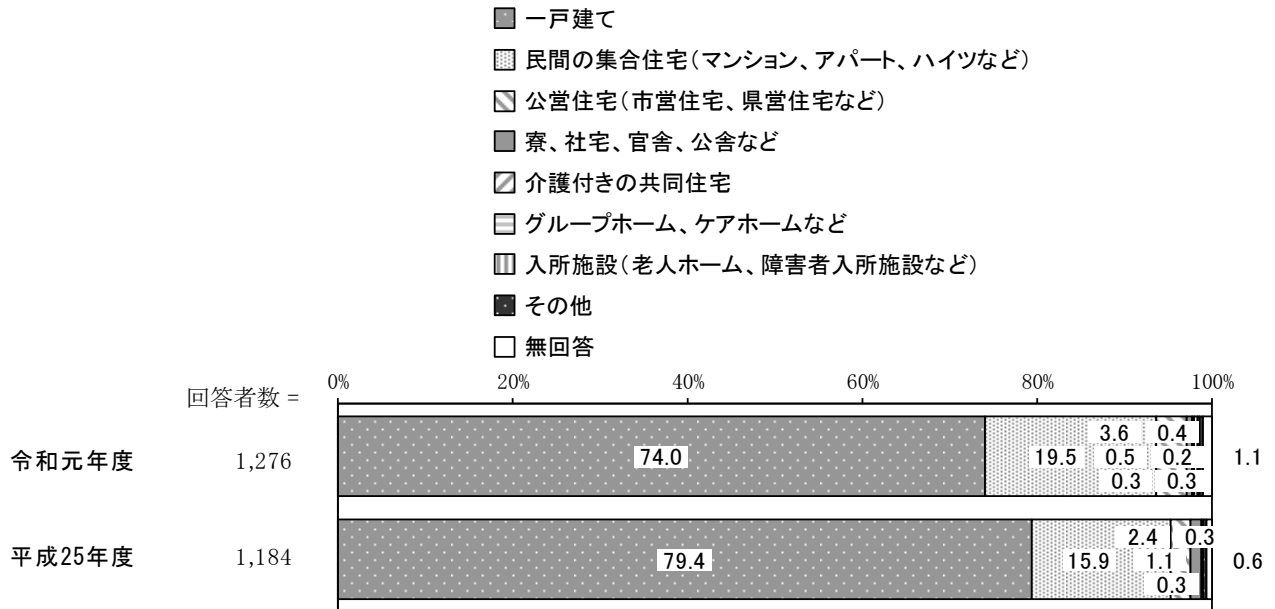
年代別でみると、他に比べ、80歳以上で「一人暮らし」の割合が高くなっています。70歳代から80歳代で急激に「一人暮らし」の割合が高くなっていることから、配偶者に先立たれて一人暮らしになった高齢者が多くなることが伺えます。



**問8 (1) 【全員にお尋ねします。】**  
 現在のお住まいについて、当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。(賃貸か持ち家かは問いません。)

「一戸建て」の割合が74.0%と最も高く、次いで「民間の集合住宅(マンション、アパート、ハイツなど)」の割合が19.5%となっています。

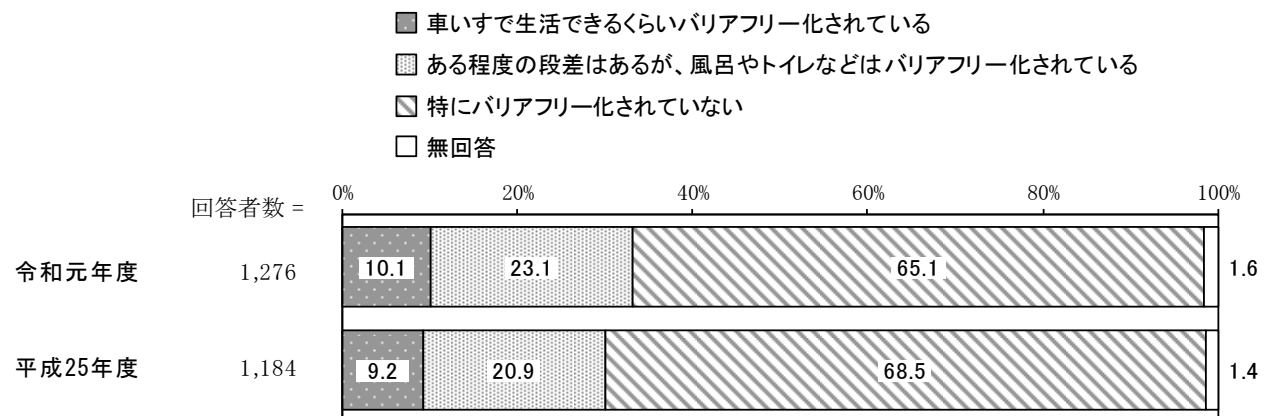
平成25年度と比較すると、「一戸建て」の割合が減少しています。



**問8 (2) 【全員にお尋ねします。】**  
 現在のお住まいは、どの程度バリアフリー化されていますか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「特にバリアフリー化されていない」の割合が65.1%と最も高く、次いで「ある程度の段差はあるが、風呂やトイレなどはバリアフリー化されている」の割合が23.1%、「車いすで生活できるくらいバリアフリー化されている」の割合が10.1%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。

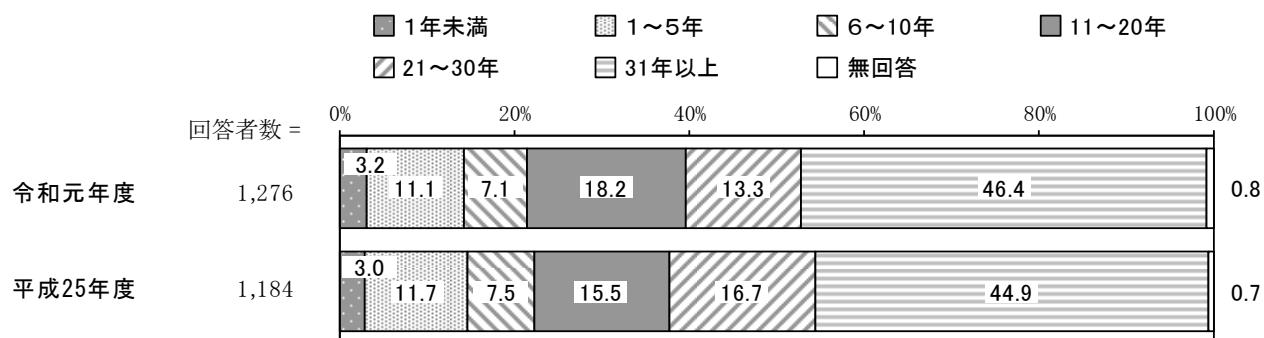


問9 【全員にお尋ねします。】

あなたは、現在の町内にお住まいになって何年になりますか。（一旦転出してから戻ってきた場合は延べ年数）当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「31年以上」の割合が46.4%と最も高く、次いで「11～20年」の割合が18.2%、「21～30年」の割合が13.3%となっています。

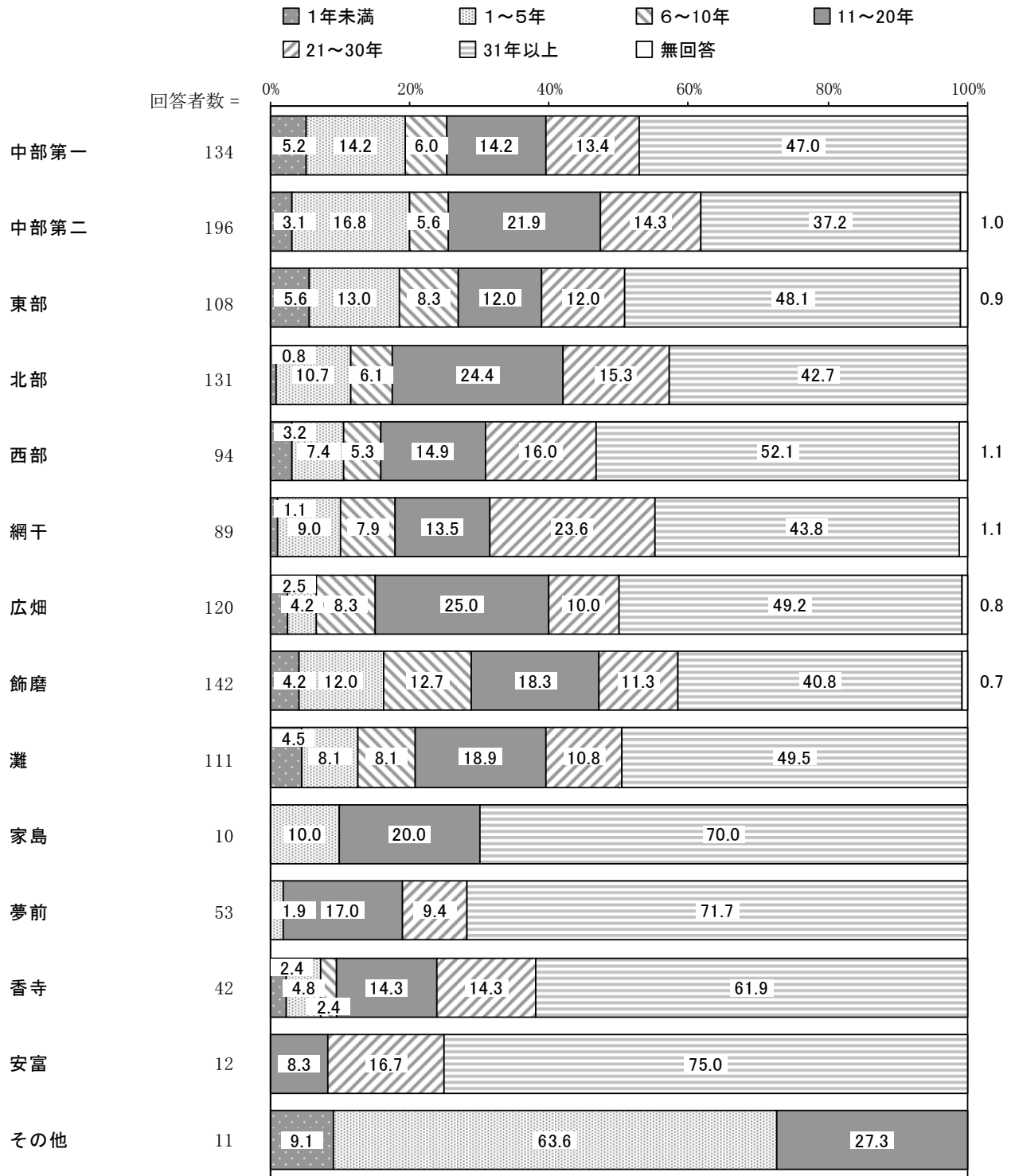
平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



**【地区別】**

地区別でみると、他に比べ、安富で「31年以上」の割合が高くなっています。

中部第一、中部第二、東部、飾磨では「1年未満」「1～5年」「6～10年」をあわせた“10年以下”の割合が高くなっています。

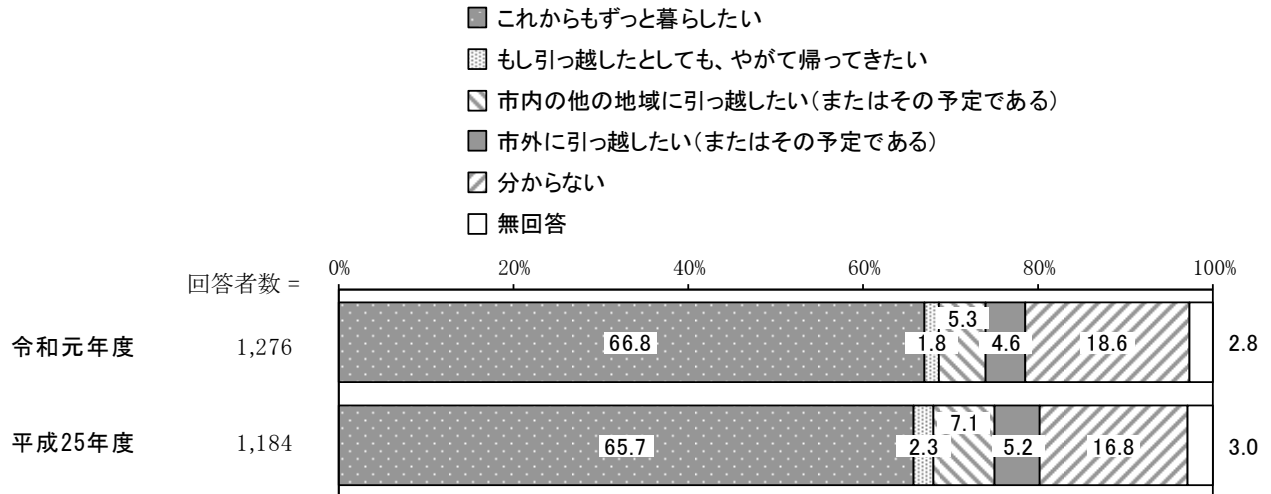


問 10 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、10年後も現在お住まいの地域で暮らしたいと思いますか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

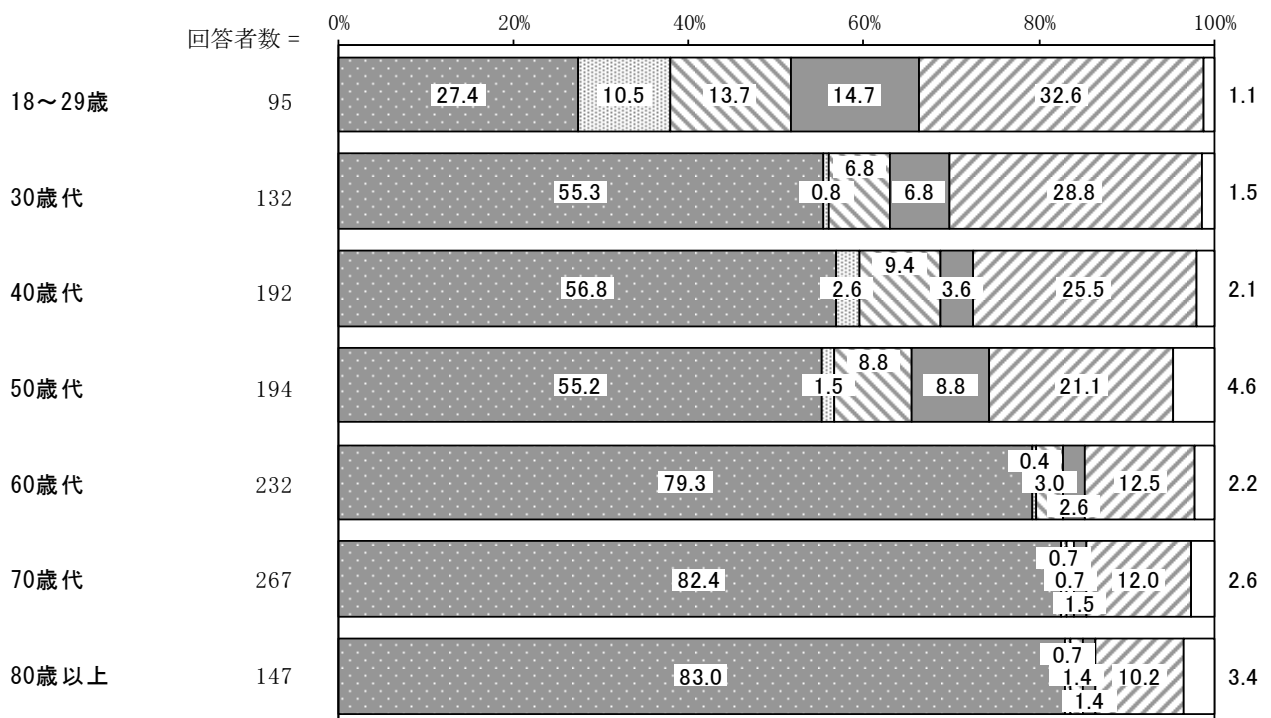
「これからもずっと暮らしたい」の割合が66.8%と最も高く、次いで「分からない」の割合が18.6%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



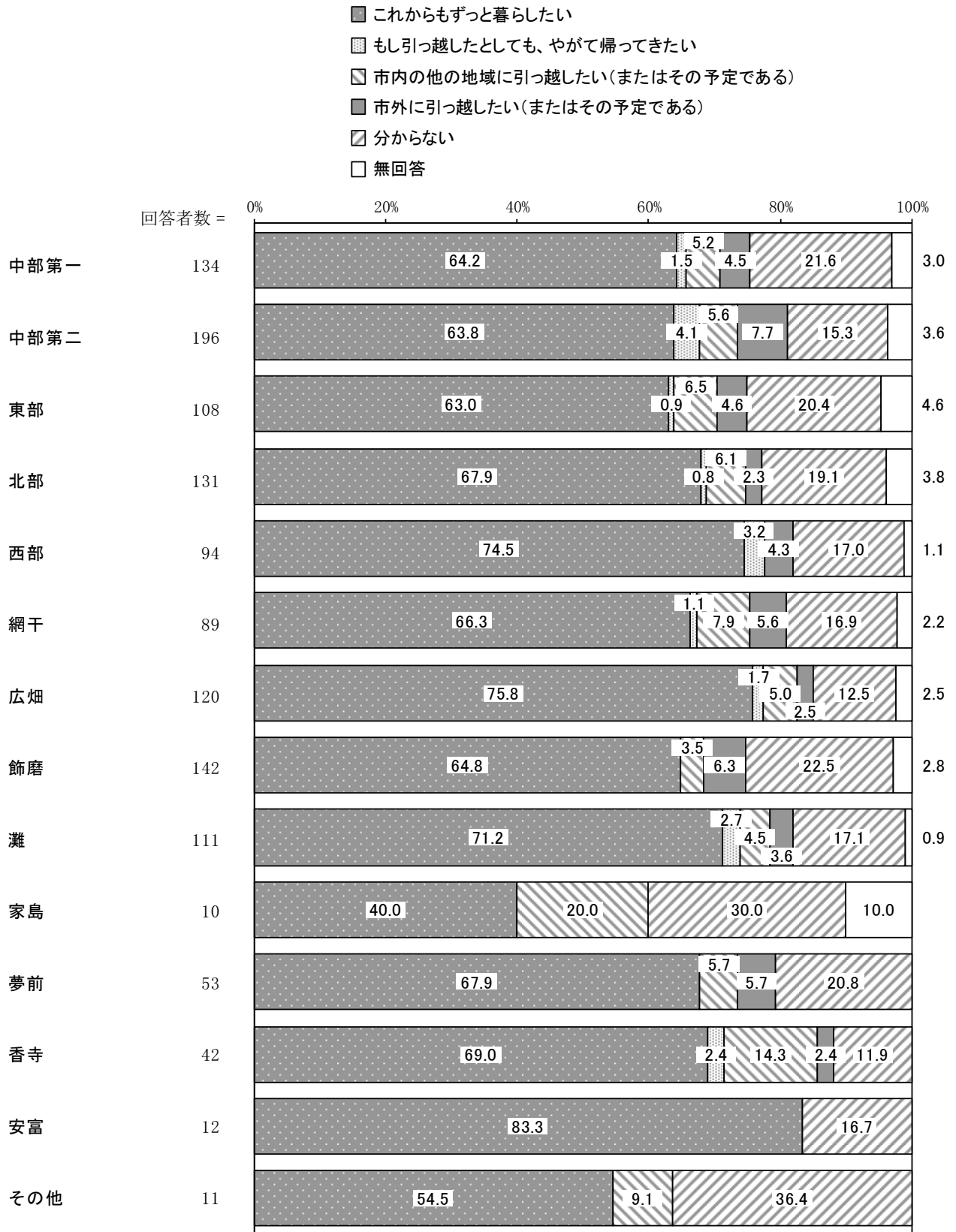
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳以上で「これからもずっと暮らしたい」の割合が高くなっており、年代が高くなるにつれ定住意向が高まっていることが伺えます。また、18～29歳で「市外に引っ越したい(またはその予定である)」の割合が高く、若い世代で移住意向が高くなっています。



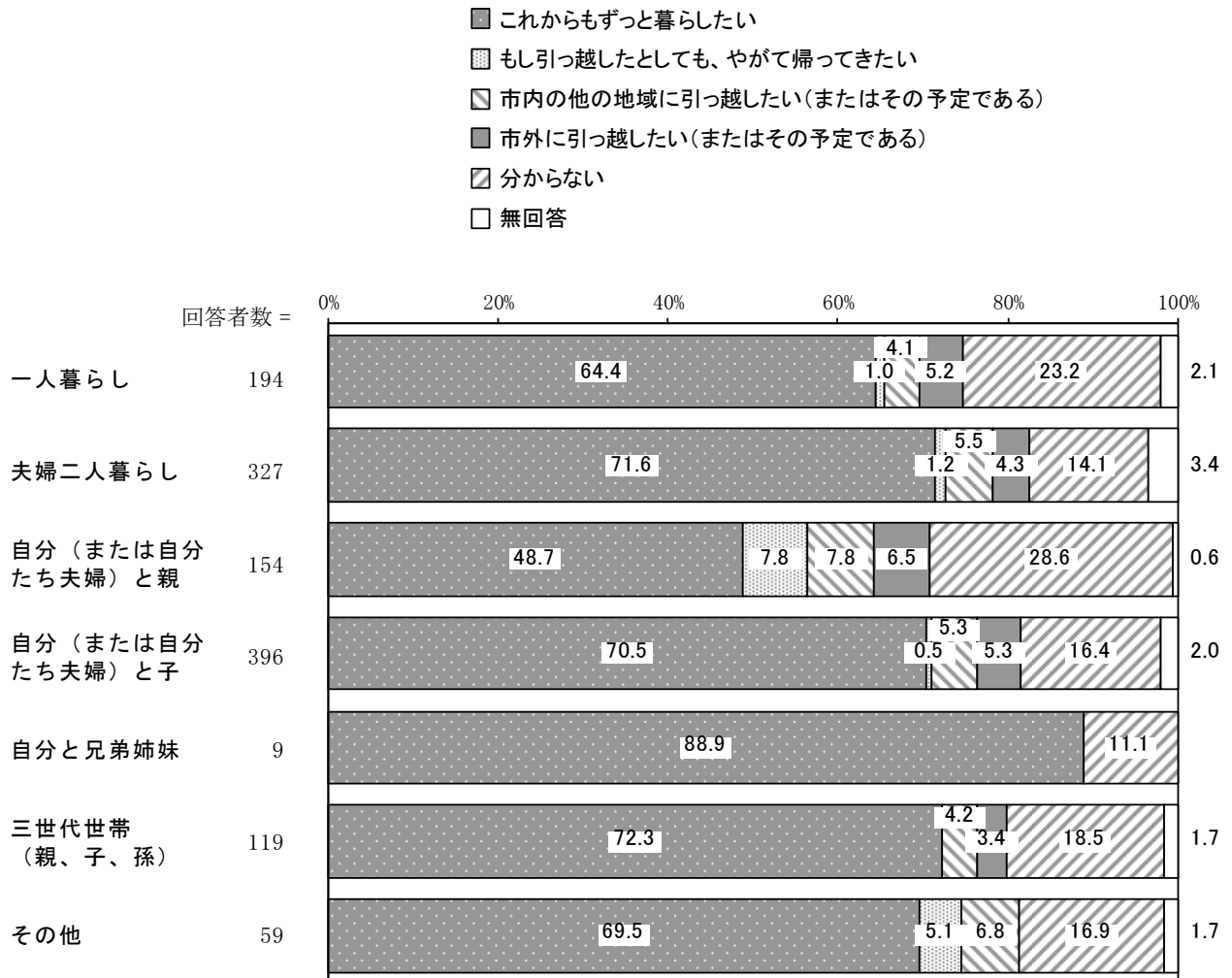
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、安富で「これからもずっと暮らしたい」の割合が高く、居住年数が高い地区で、定住意向が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「これからもずっと暮らしたい」の割合が低くなっています。また、60歳代、70歳代に多い夫婦二人暮らしでは定住意向が高くなっています。

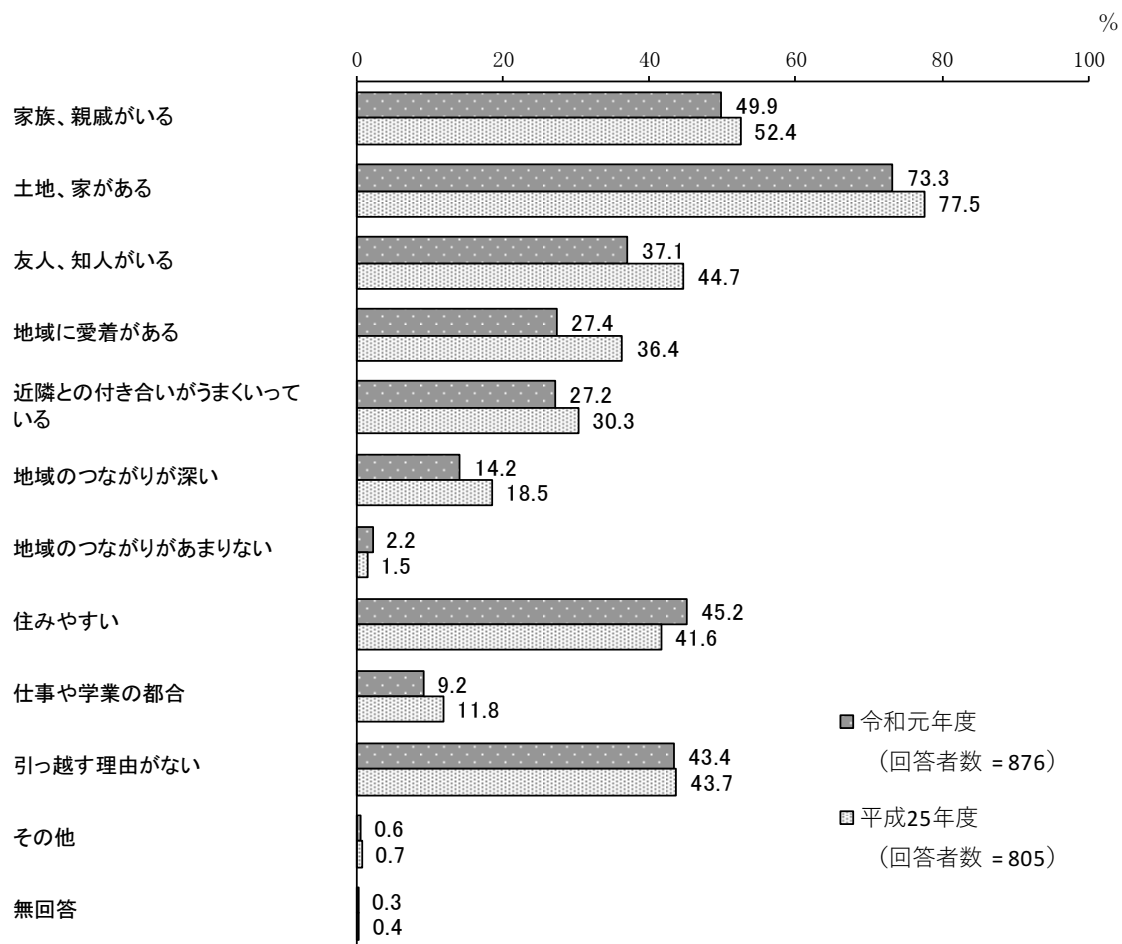




問 10 (2) 【(1)で「これからもずっと暮らしたい」か「もし引っ越したとしても、やがて帰ってきたい」を選ばれた方にお尋ねします。  
お住まいの地域で暮らしたい理由は何ですか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「土地、家がある」の割合が73.3%と最も高く、次いで「家族、親戚がいる」の割合が49.9%、「住みやすい」の割合が45.2%となっています。

平成25年度と比較すると、「友人、知人がいる」「地域に愛着がある」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、18～29歳で「家族、親戚がいる」の割合が、70歳代で「土地、家がある」の割合が高くなっています。また、一人暮らしの割合が高い80歳以上では「近隣との付き合いがうまくいっている」「地域のつながりが深い」といった地域とのつながりが理由となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族、 親戚が いる	土地、 家がある	友人、 知人が いる	地域に 愛着が ある	近隣と の付き 合いが うまく いって いる	地域 のつな がり が深い	地域 のつな がり が あまり ない	住み やす い	仕事 や学 業の 都合	引越 す理 由が ない	その他	無回 答
18～29歳	36	69.4	52.8	44.4	30.6	16.7	8.3	2.8	58.3	25.0	30.6	—	—
30歳代	74	56.8	62.2	27.0	18.9	13.5	10.8	4.1	48.6	24.3	40.5	—	—
40歳代	114	50.0	72.8	25.4	23.7	16.7	7.0	—	43.9	15.8	44.7	—	—
50歳代	110	38.2	75.5	22.7	20.9	15.5	10.9	1.8	50.0	10.9	46.4	—	—
60歳代	185	44.3	74.1	29.7	28.1	24.9	9.7	2.7	50.8	9.2	45.4	—	0.5
70歳代	222	53.2	81.1	52.7	28.8	37.8	19.4	1.8	39.6	3.2	44.1	0.5	0.9
80歳以上	123	52.8	69.9	47.2	38.2	42.3	24.4	3.3	38.2	—	41.5	3.3	—

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、香寺で「土地、家がある」の割合が高くなっています。

また、居住年数が短い人の多い中部第一、中部第二では「住みやすい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族、親戚がいる	土地、家がある	友人、知人がいる	地域に愛着がある	近隣との付き合いがうまくいっている	地域のつながりが深い	地域のつながりがあまりない	住みやすい	仕事や学業の都合	引っ越し理由がない	その他	無回答
中部第一	88	35.2	69.3	33.0	28.4	21.6	12.5	3.4	53.4	9.1	39.8	—	1.1
中部第二	133	43.6	65.4	31.6	27.1	18.0	9.8	3.0	57.1	10.5	44.4	—	—
東部	69	52.2	73.9	33.3	26.1	26.1	14.5	—	46.4	10.1	53.6	—	—
北部	90	53.3	75.6	33.3	18.9	21.1	13.3	2.2	47.8	10.0	50.0	2.2	—
西部	73	49.3	78.1	42.5	27.4	34.2	11.0	—	49.3	12.3	37.0	—	—
網干	60	60.0	86.7	38.3	35.0	31.7	16.7	1.7	46.7	13.3	45.0	—	—
広畑	93	45.2	68.8	38.7	24.7	30.1	11.8	2.2	40.9	6.5	43.0	—	—
飾磨	92	54.3	70.7	39.1	28.3	31.5	15.2	4.3	40.2	8.7	42.4	1.1	1.1
灘	82	63.4	74.4	40.2	34.1	32.9	18.3	2.4	32.9	8.5	36.6	1.2	—
家島	4	100.0	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	—	50.0	25.0	25.0	—	—
夢前	36	55.6	80.6	50.0	30.6	38.9	25.0	—	30.6	5.6	44.4	2.8	—
香寺	30	60.0	90.0	40.0	23.3	30.0	20.0	—	40.0	3.3	46.7	—	—
安富	10	30.0	100.0	40.0	30.0	30.0	20.0	—	10.0	—	30.0	—	—
その他	6	—	66.7	—	—	16.7	—	—	50.0	16.7	50.0	—	—

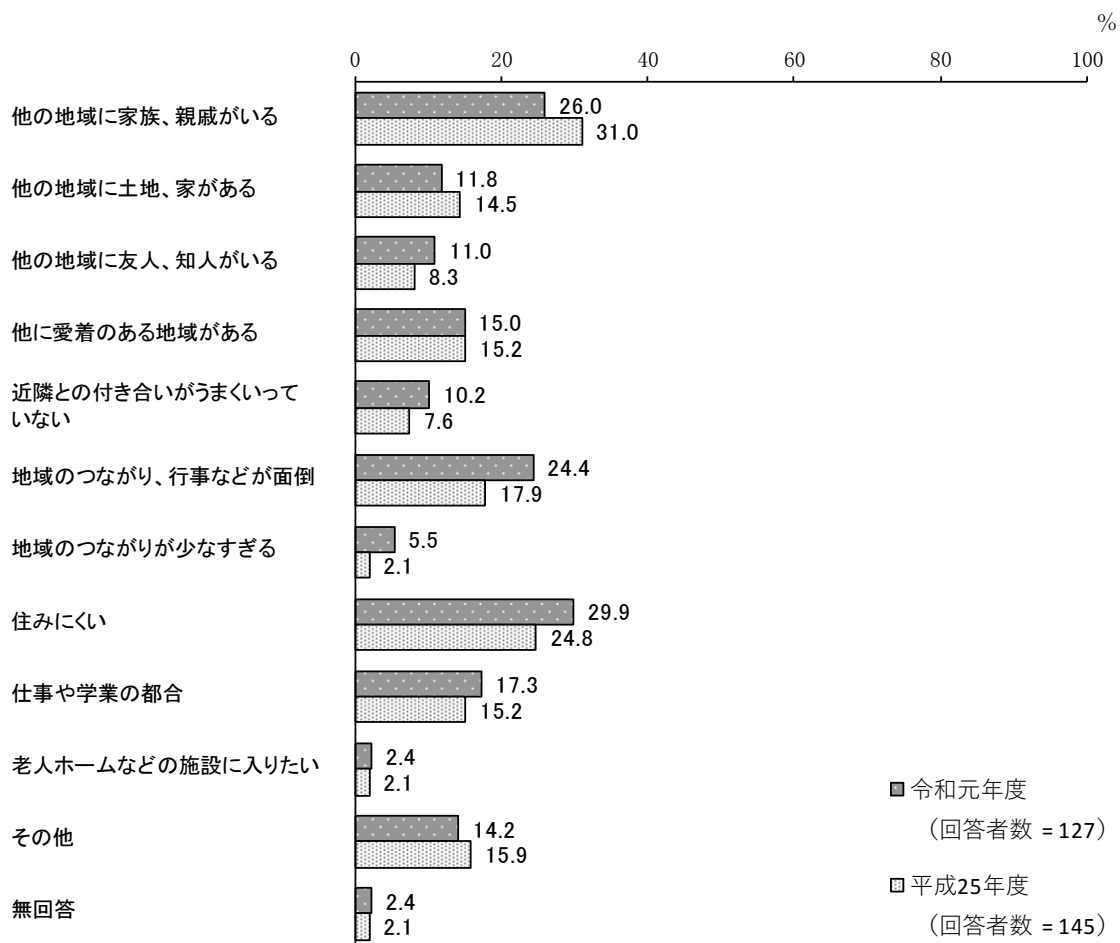
問 10 (3) 【(1)で「市内の他の地域に引っ越したい（またはその予定である）」か「市外に引っ越したい（またはその予定である）」を選ばれた方にお尋ねします。】

引っ越したい（またはその予定である）理由は何ですか。

当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「住みにくい」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「他の地域に家族、親戚がいる」の割合が 26.0%、「地域のつながり、行事などが面倒」の割合が 24.4%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「地域のつながり、行事などが面倒」「住みにくい」の割合が増加しています。一方、「他の地域に家族、親戚がいる」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「他の地域に家族、親戚がいる」の割合が、50歳代で「地域のつながり、行事などが面倒」の割合が高くなっています。また、50歳代で「地域のつながり、行事などが面倒」と地域とのかかわりが移住意向に関わっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	親戚がいる 他の地域に家族、 家がある	他の地域に土地、 知人がいる	他の地域に友人、 知人がいる	他に愛着のある地域 がある	近隣との付き合いが うまくいっていない	地域のつながり、 行事などが面倒	地域のつながりが 少なすぎる	住みにくい	仕事や学業の都合	老人ホームなどの 施設に入りたい	その他	無回答
18～29歳	27	14.8	3.7	14.8	11.1	3.7	11.1	3.7	25.9	29.6	—	14.8	7.4
30歳代	18	44.4	22.2	22.2	27.8	5.6	33.3	11.1	33.3	22.2	—	11.1	—
40歳代	25	20.0	16.0	8.0	—	16.0	20.0	4.0	28.0	20.0	—	16.0	—
50歳代	34	26.5	8.8	8.8	20.6	8.8	41.2	5.9	29.4	11.8	—	14.7	2.9
60歳代	13	38.5	23.1	7.7	23.1	7.7	—	—	30.8	—	—	15.4	—
70歳代	6	16.7	—	—	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	—	—
80歳以上	4	25.0	—	—	—	50.0	25.0	—	50.0	—	50.0	25.0	—

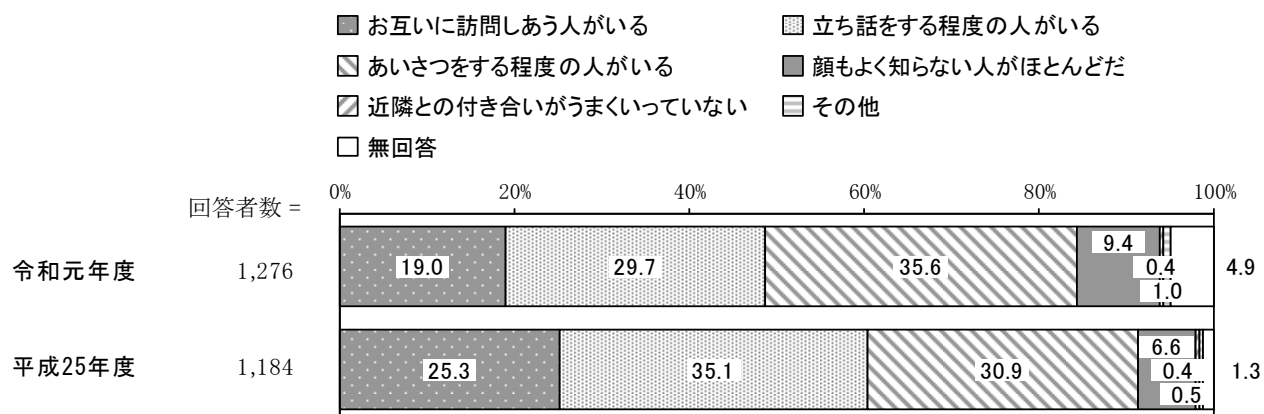
### (3) 地域での生活について

#### 問11 【全員にお尋ねします。】

あなたは、ご近所の方との程度お付き合いしていますか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

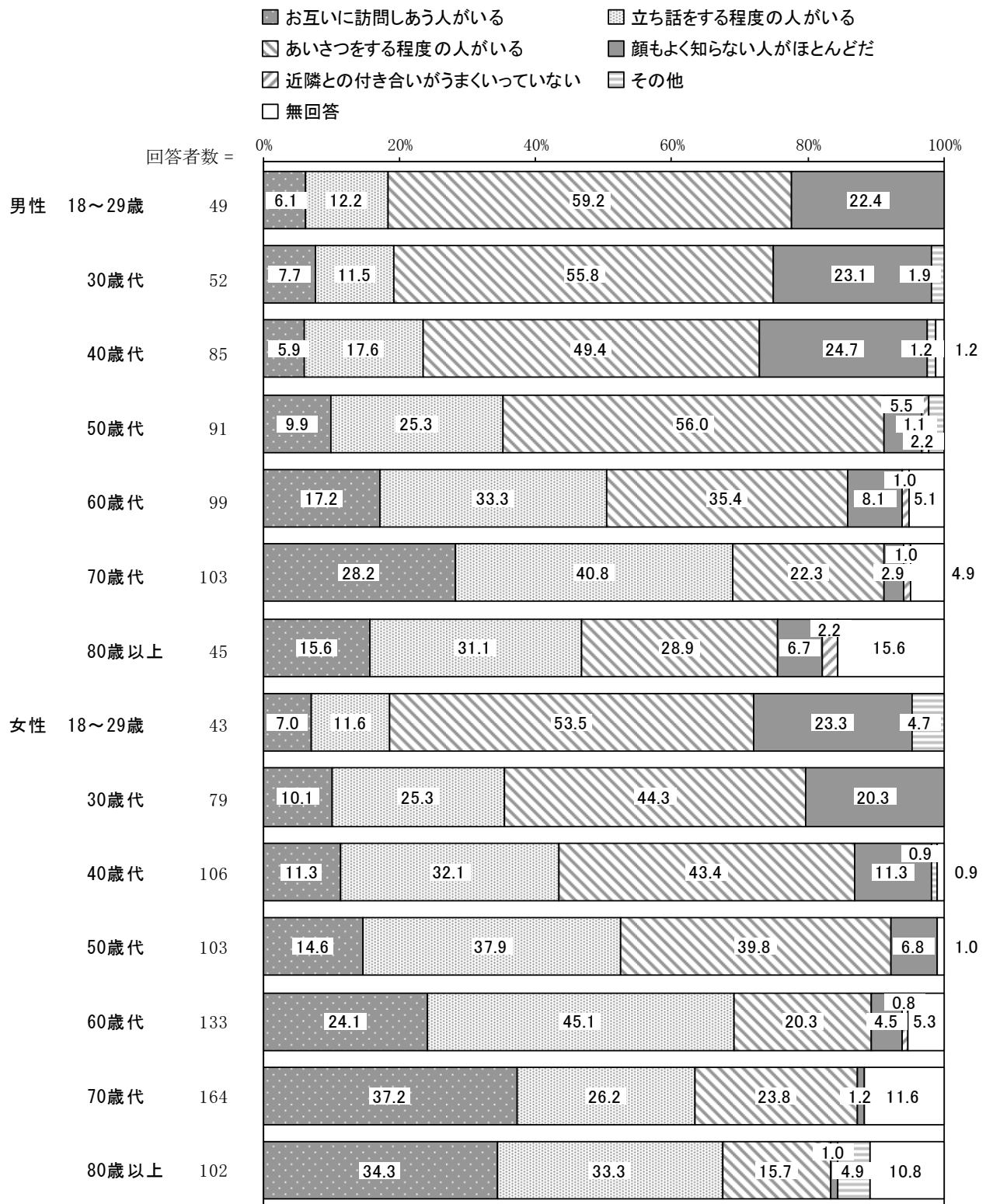
「あいさつをする程度の人がある」の割合が35.6%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がある」の割合が29.7%、「お互いに訪問しあう人がある」の割合が19.0%となっています。

平成25年度と比較すると、「お互いに訪問しあう人がある」「立ち話をする程度の人がある」の割合が減少しています。



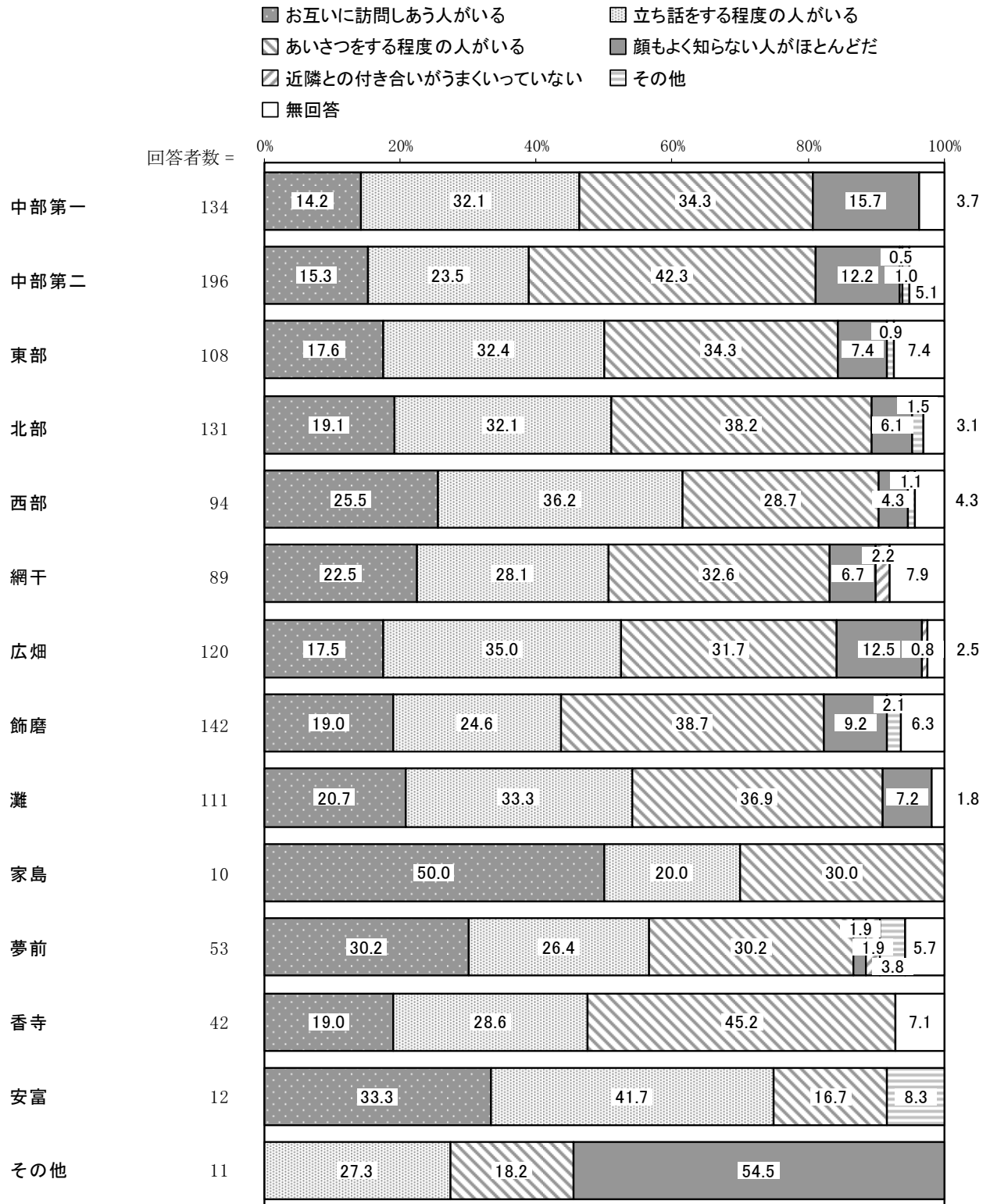
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の70歳以上で「お互いに訪問しあう人がいる」の割合が高くなっています。また、「お互いに訪問しあう人がいる」の割合は、男女とも年代が高くなるにつれ高くなっています。



【地区別】

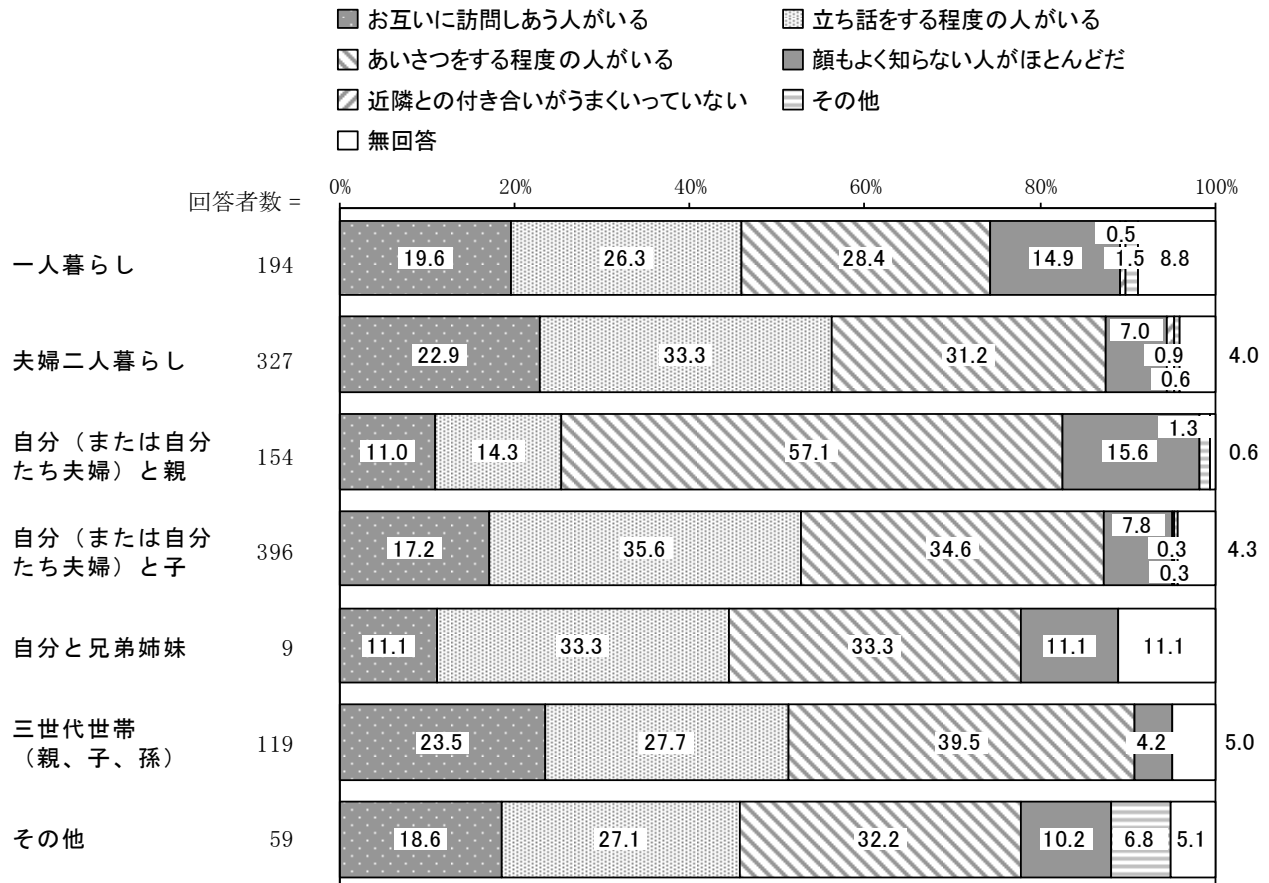
地区別でみると、他に比べ、家島で「お互いに訪問しあう人がいる」の割合が高くなっています。また、居住年数が短い人が多い中部第一で「顔もよく知らない人がほとんどだ」の割合が高く、近所付き合いが希薄になっていることが伺えます。





## 【家族構成別】

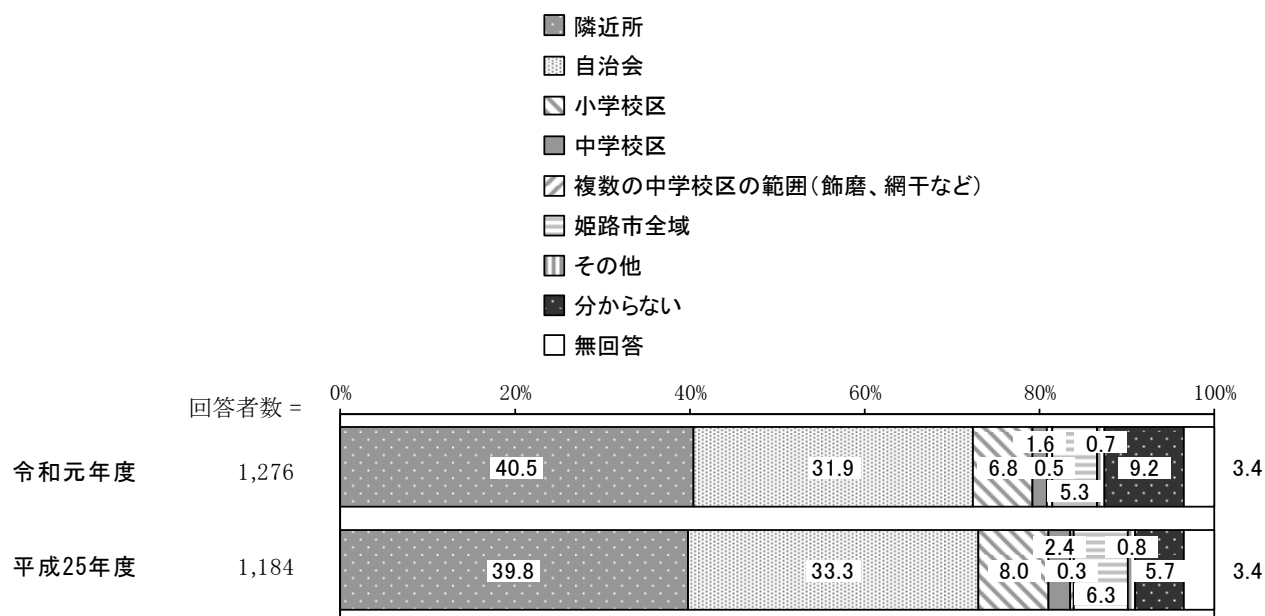
家族構成別で見ると、他に比べ、夫婦二人暮らし、三世代世帯（親、子、孫）で「お互いに訪問しあう人がいる」の割合が高くなっています。また、自分（または自分たち夫婦）と親で「顔もよく知らない人がほとんどだ」の割合が高く、若い世代が多い世帯で近所付き合いが希薄となっていることが伺えます。



**問 12 【全員にお尋ねします。】**

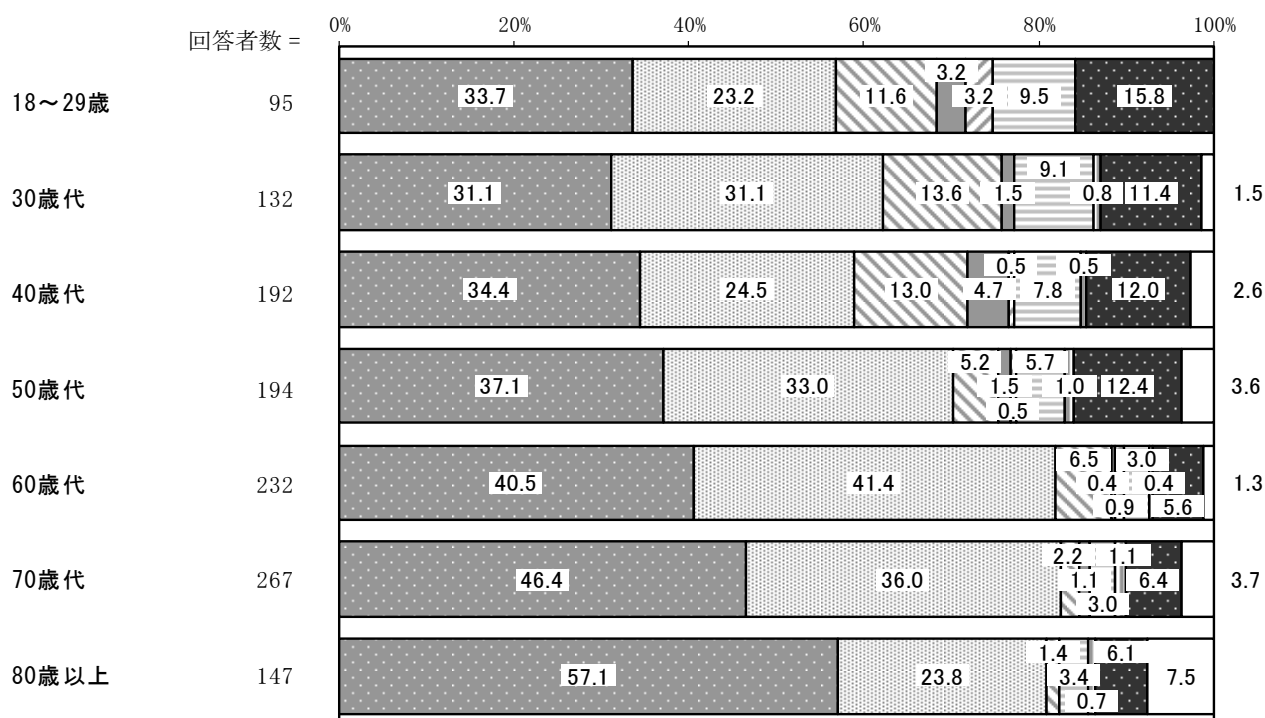
あなたにとって、住民が助け合うべき「地域」とはどの範囲だと思いますか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「隣近所」の割合が40.5%と最も高く、次いで「自治会」の割合が31.9%となっています。  
平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



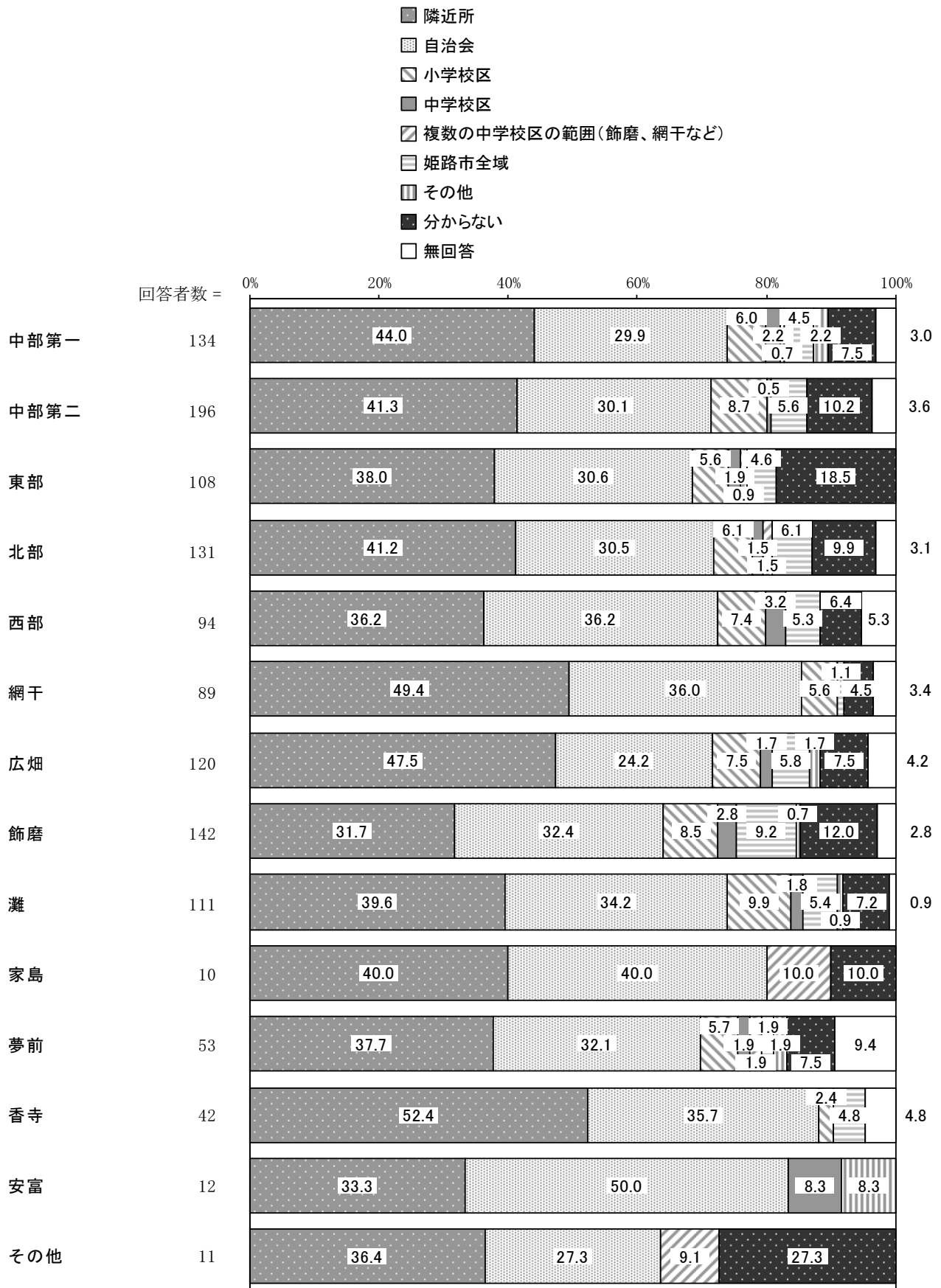
**【年代別】**

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「隣近所」の割合が高くなる傾向がみられます。また、子育て世代である30歳代、40歳代では「小学校区」の割合が高くなっています。



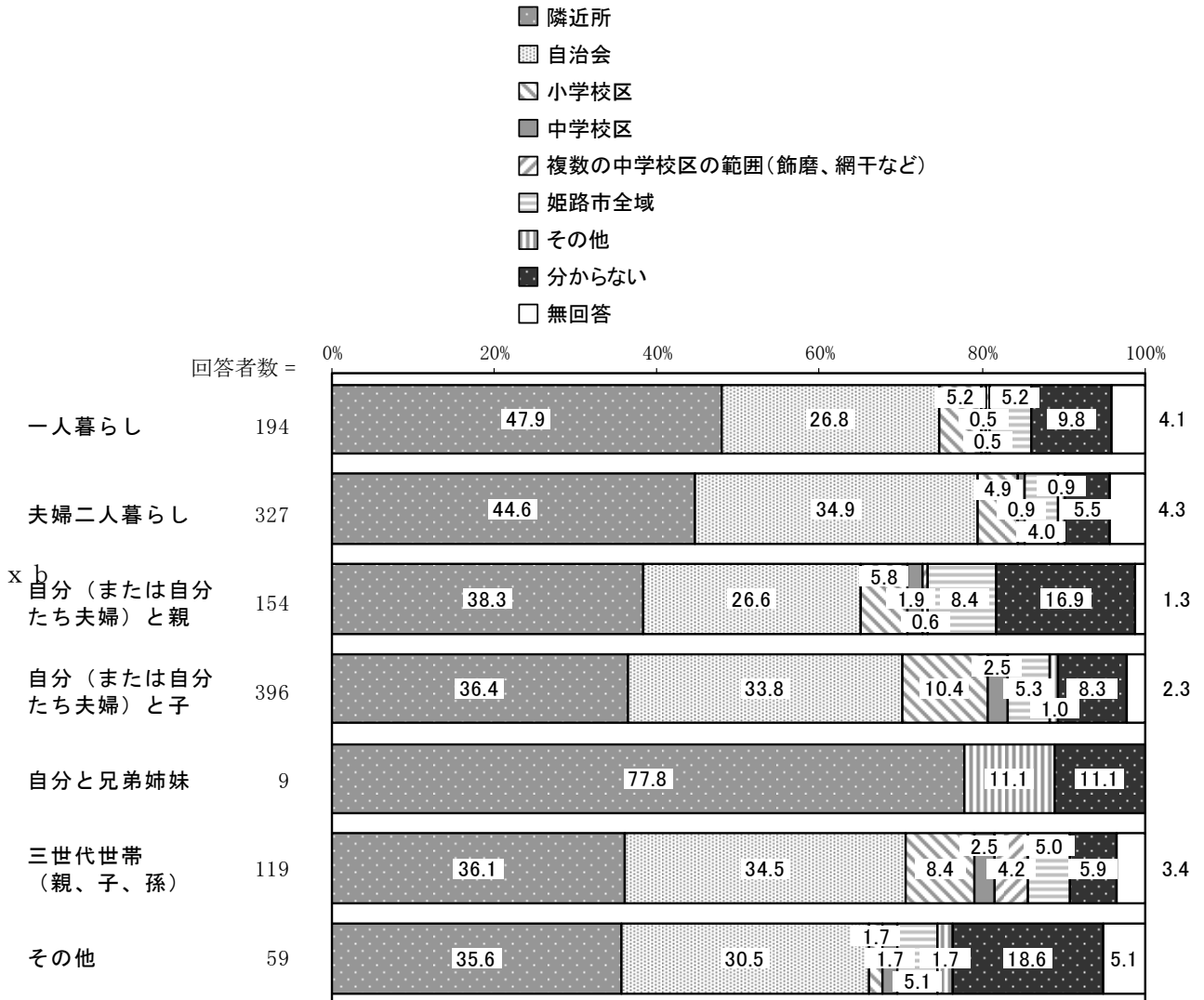
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、香寺で「隣近所」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、一人暮らし、夫婦二人暮らしで「隣近所」の割合が高くなっています。



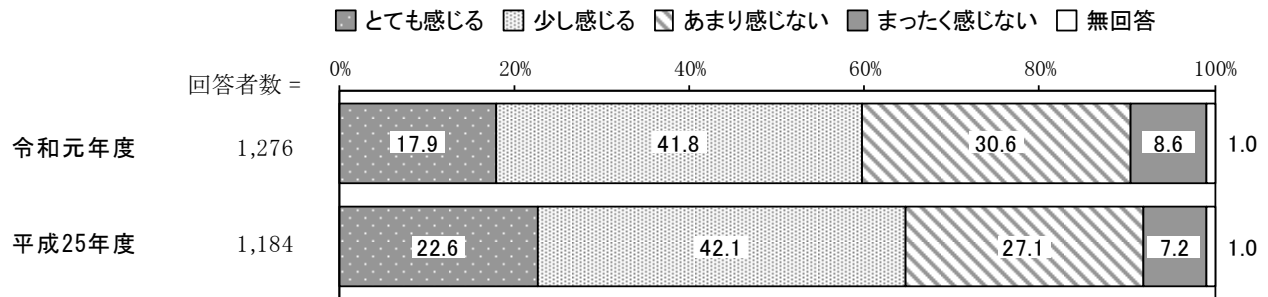
問 13 (1) 【全員にお尋ねします。】

現在お住まいの地域で、つながりを感じますか。

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

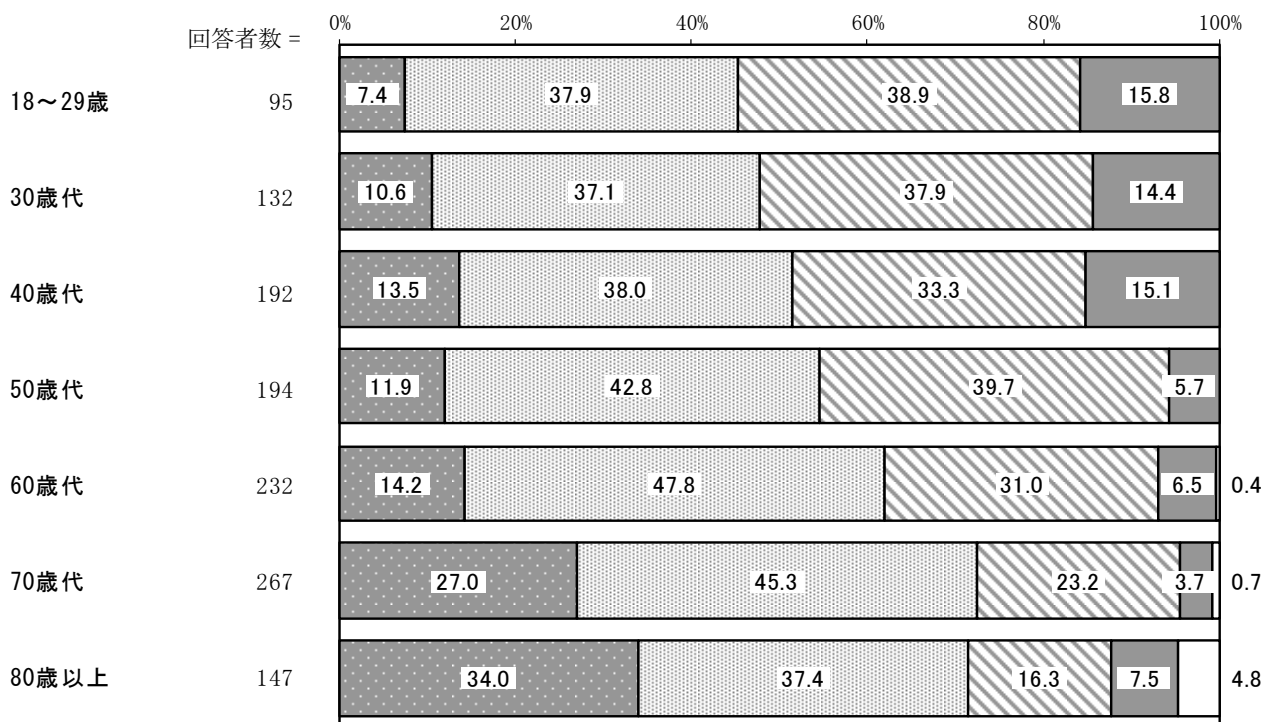
「とても感じる」と「少し感じる」をあわせた“感じる”の割合が59.7%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた”感じない”の割合が39.2%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



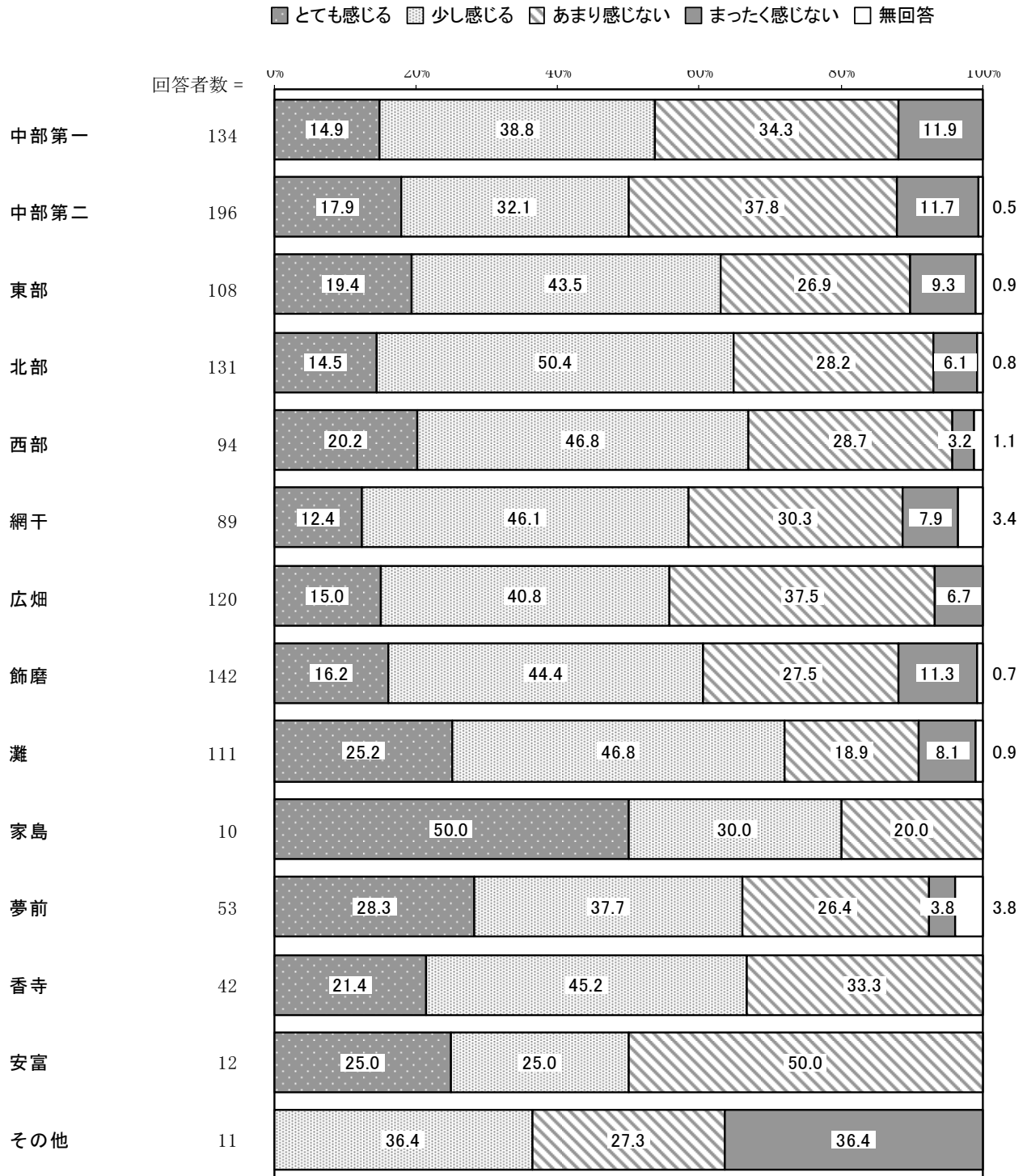
【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ “感じる” の割合が高くなる傾向がみられます。



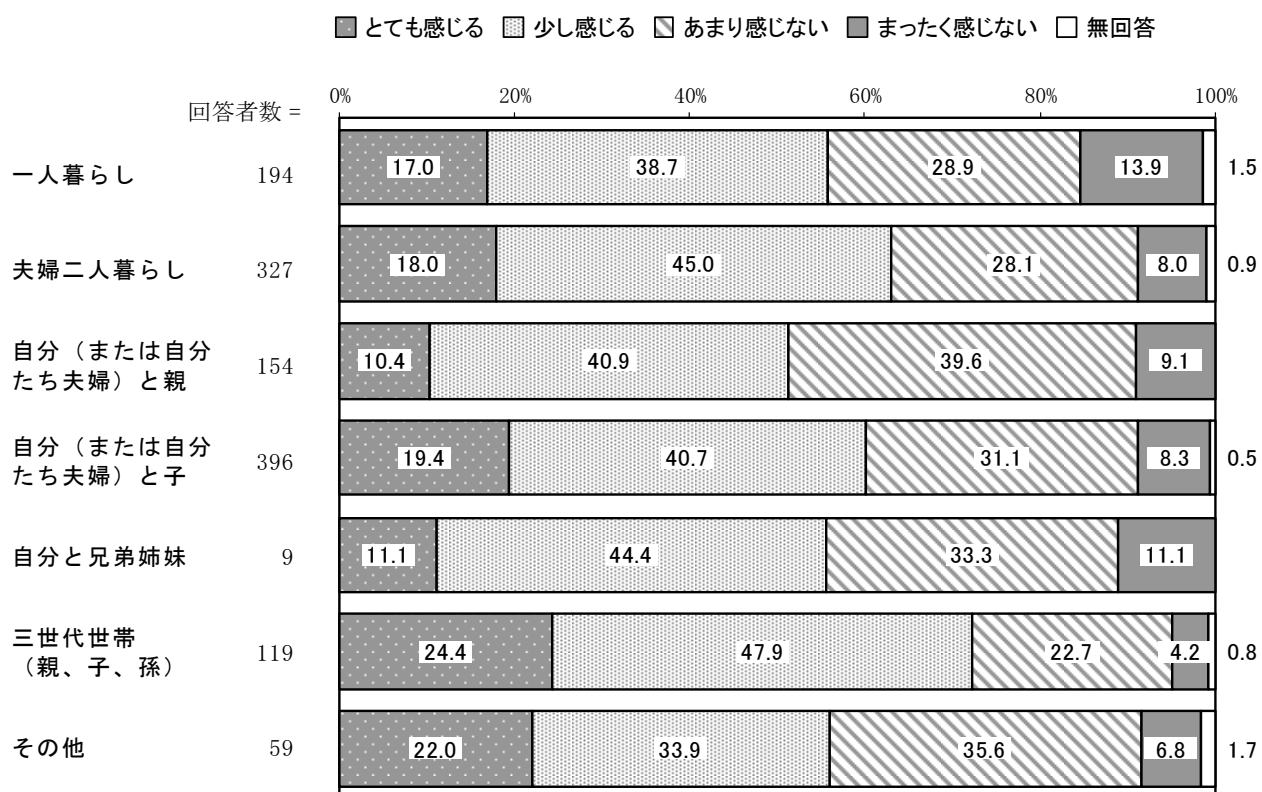
**【地区別】**

地区別でみると、他に比べ、家島で“感じる”の割合が高い一方、中部第一、中部第二で“感じない”の割合が高く、居住年数が長い人が多い地区でつながりを感じる人の割合が高いことが伺えます。



## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「とても感じる」の割合が低くなっています。

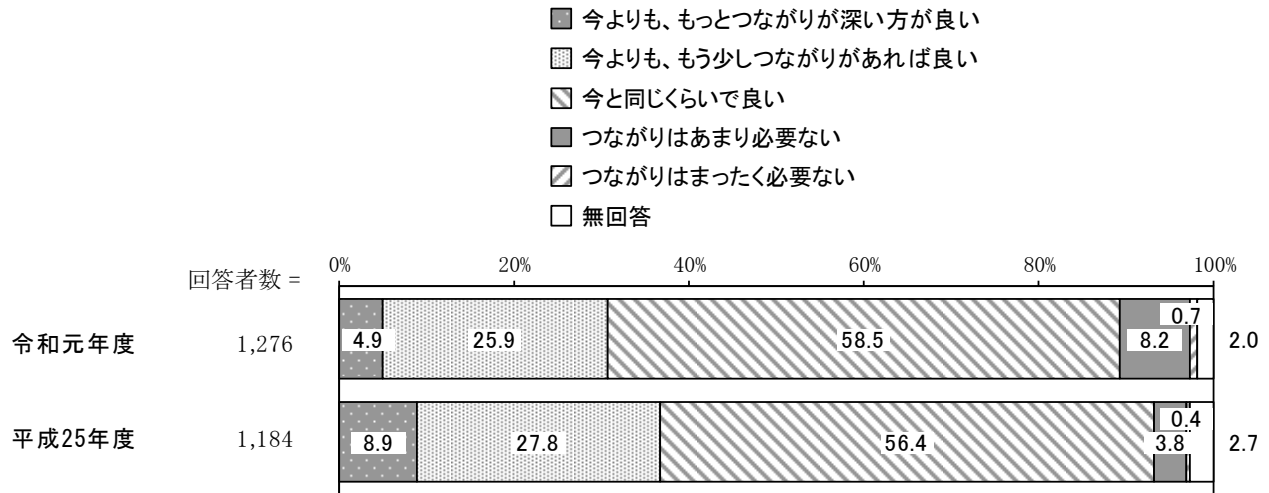


問 13 (2) 【全員にお尋ねします。】

暮らしの中で、地域のつながりは必要だと思いますか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

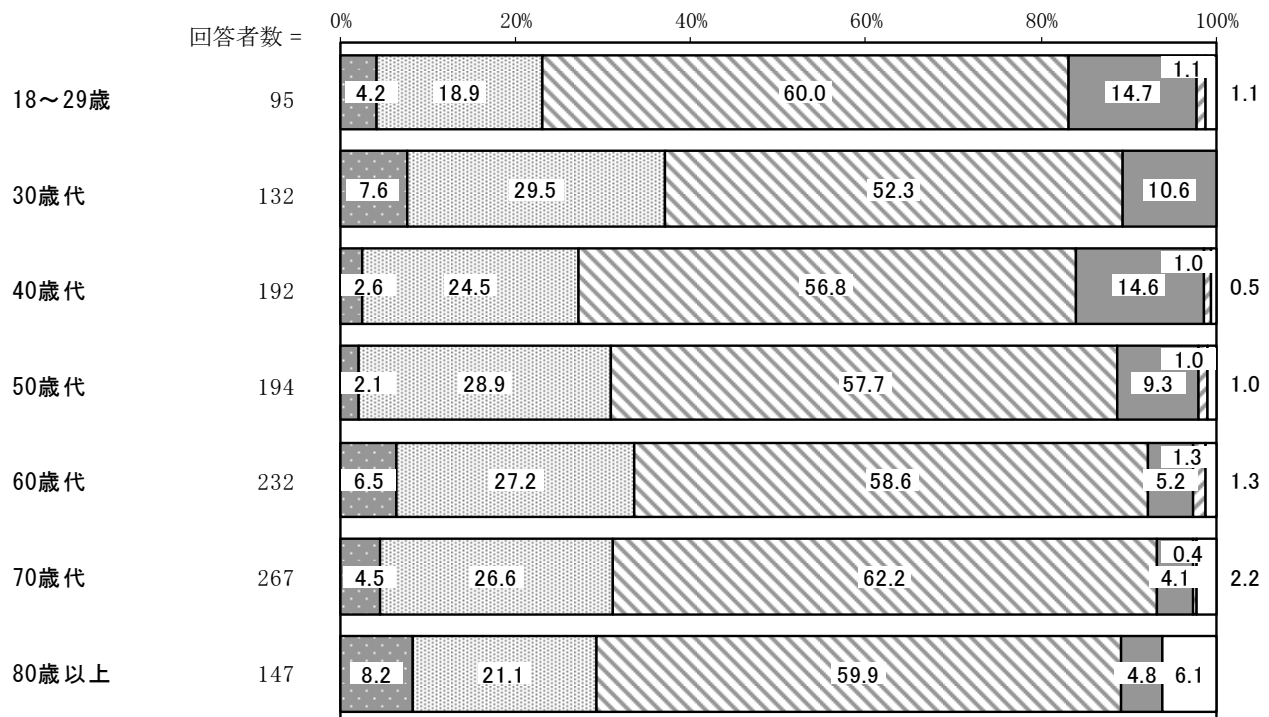
「今と同じくらいで良い」の割合が58.5%と最も高く、次いで「今よりも、もう少しつながりがあれば良い」の割合が25.9%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年代別】

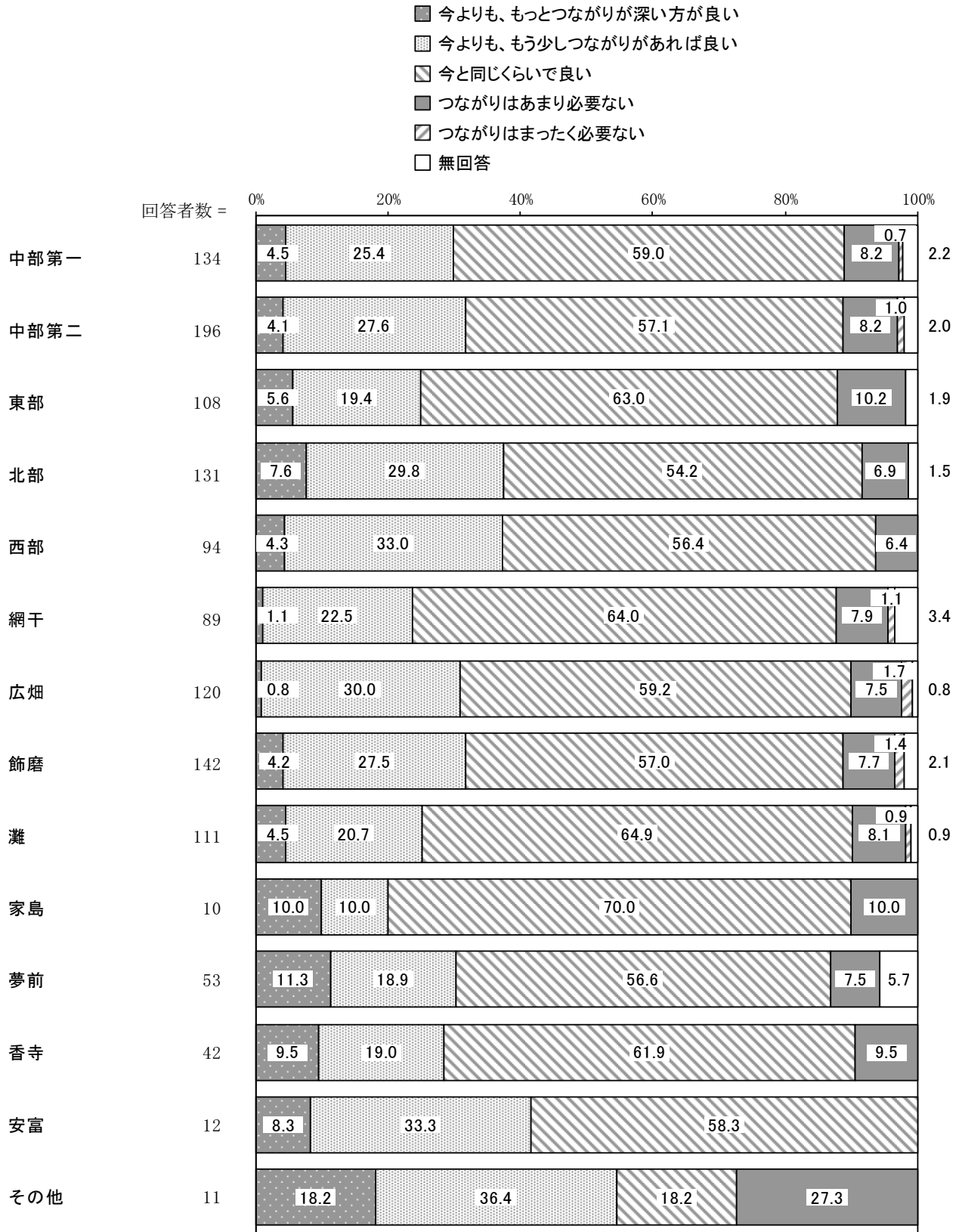
年代別でみると、他に比べ、18～29歳、40歳代で「つながりはあまり必要ない」の割合が高くなっています。





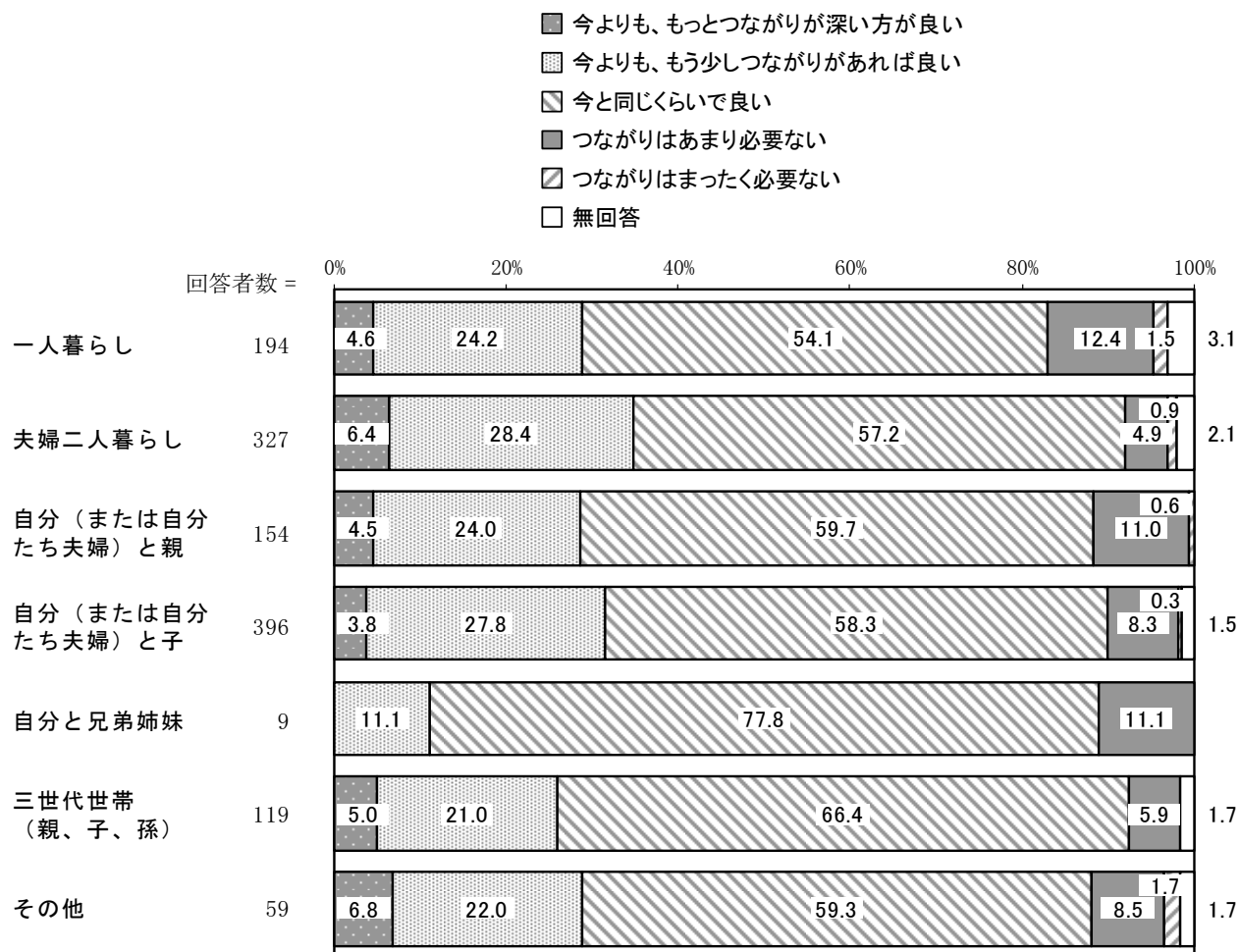
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「今と同じくらいで良い」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

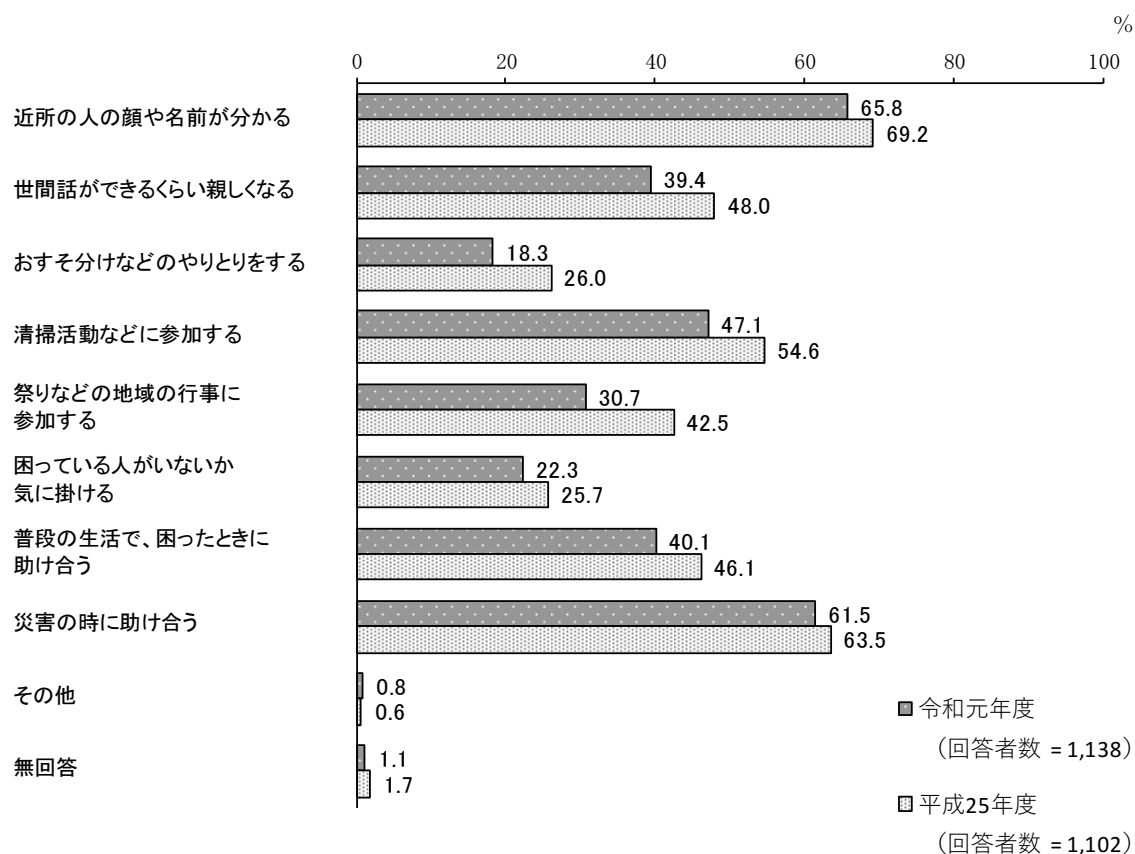
家族構成別で見ると、他に比べ、一人暮らし、自分（または自分たち夫婦）と親で「つながりはあまり必要ない」の割合が高くなっています。



問 13 (3) 【(2)で「今よりも、もっとつながりが深い方が良い」から「今と同じくらいで良い」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 あなたは、地域でどのようなつながりが必要だと思いますか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「近所の人の顔や名前が分かる」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「災害の時に助け合う」の割合が 61.5%、「清掃活動などに参加する」の割合が 47.1%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「世間話ができるくらい親しくなる」「おすそ分けなどのやりとりをする」「清掃活動などに参加する」「祭りなどの地域の行事に参加する」「普段の生活で、困ったときに助け合う」の割合が減少しています。



### 【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代、60歳代で「近所の人の顔や名前が分かる」の割合が、18～29歳、60歳代で「災害の時に助け合う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	近所の人の顔や名前が分かる	世間話ができるくらい親しくなる	おすすめ分けなどのやりとりをする	清掃活動などに参加する	祭りなどの地域の行事に参加する	困っている人がいないか気に掛ける	普段の生活で、困ったときに助け合う	災害の時に助け合う	その他	無回答
18～29歳	79	55.7	20.3	7.6	29.1	31.6	20.3	39.2	70.9	1.3	—
30歳代	118	71.2	32.2	11.0	23.7	22.0	27.1	42.4	68.6	—	—
40歳代	161	63.4	29.8	13.7	41.6	31.1	26.1	44.7	66.5	—	1.2
50歳代	172	54.7	30.8	12.2	41.3	27.3	25.0	39.0	65.7	2.9	—
60歳代	214	72.4	41.1	15.4	59.3	33.6	21.5	36.9	70.1	0.9	1.4
70歳代	249	69.9	51.0	27.7	62.7	37.8	18.9	43.4	51.8	—	1.2
80歳以上	131	64.9	56.5	29.0	43.5	23.7	17.6	32.8	43.5	0.8	3.8

### 【地区別】

地区別でみると、他に比べ、香寺で「近所の人の顔や名前が分かる」の割合が高くなっています。

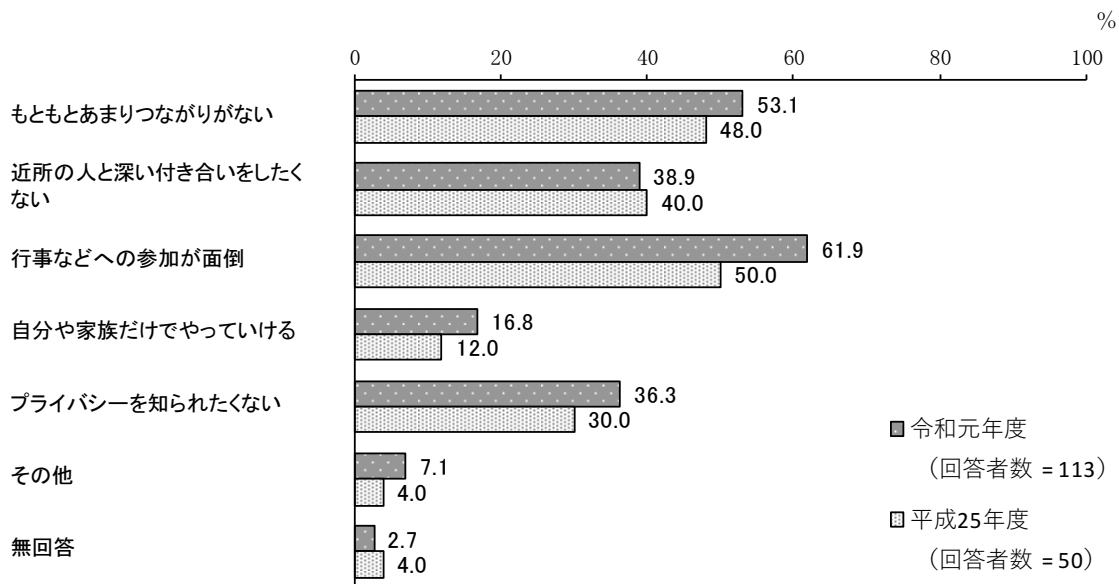
単位：％

区分	有効回答数(件)	近所の人の顔や名前が分かる	世間話ができるくらい親しくなる	おすすめ分けなどのやりとりをする	清掃活動などに参加する	祭りなどの地域の行事に参加する	困っている人がいないか気に掛ける	普段の生活で、困ったときに助け合う	災害の時に助け合う	その他	無回答
中部第一	119	68.9	42.0	16.8	47.1	27.7	26.9	34.5	61.3	1.7	—
中部第二	174	59.2	34.5	15.5	38.5	24.1	19.0	35.6	67.8	0.6	1.1
東部	95	68.4	38.9	22.1	41.1	25.3	21.1	48.4	61.1	1.1	2.1
北部	120	68.3	44.2	15.0	54.2	31.7	20.8	41.7	66.7	—	0.8
西部	88	68.2	40.9	21.6	60.2	40.9	25.0	40.9	52.3	—	1.1
網干	78	69.2	38.5	17.9	55.1	35.9	21.8	35.9	53.8	—	2.6
広畑	108	68.5	34.3	13.9	41.7	23.1	21.3	36.1	54.6	0.9	1.9
飾磨	126	59.5	42.1	18.3	42.9	23.8	23.0	42.1	67.5	—	—
灘	100	64.0	41.0	23.0	41.0	43.0	17.0	37.0	56.0	2.0	2.0
家島	9	88.9	44.4	44.4	55.6	44.4	44.4	77.8	66.7	—	—
夢前	46	69.6	45.7	21.7	58.7	39.1	30.4	50.0	65.2	4.3	2.2
香寺	38	73.7	36.8	18.4	63.2	47.4	26.3	47.4	57.9	—	—
安富	12	58.3	50.0	25.0	50.0	41.7	8.3	41.7	58.3	—	—
その他	8	62.5	12.5	—	37.5	12.5	25.0	37.5	62.5	—	—

問 13 (4) 【(2)で「つながりはあまり必要ない」か「つながりはまったく必要ない」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 地域のつながりが必要ないと思う理由は何ですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「行事などへの参加が面倒」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「もともとあまりつながりがな  
 い」の割合が 53.1%、「近所の人と深い付き合いをしたくない」の割合が 38.9%となっています。

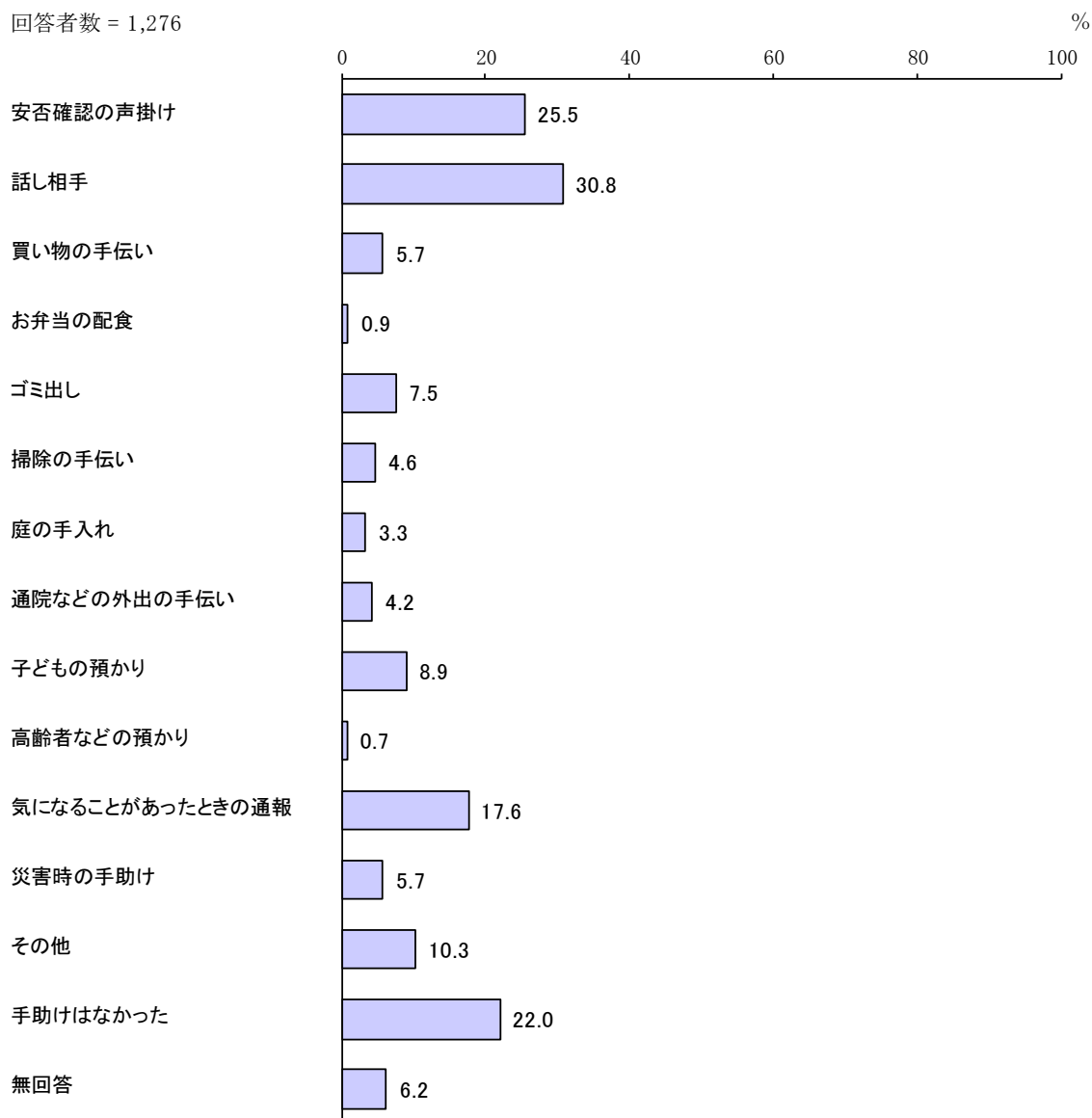
平成 25 年度と比較すると、「もともとあまりつながりがない」「行事などへの参加が面倒」「プ  
 ライバシーを知られたくない」の割合が増加しています。



問 14 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたやあなたの家族が困った時に嬉しかった近所の方の手助けは何でしたか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「話し相手」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「安否確認の声掛け」の割合が 25.5%、「手助けはなかった」の割合が 22.0%となっています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに70歳以上で「安否確認の声掛け」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	通院などの外出の手伝い	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあったときの通報	災害時の手助け	その他	手助けはなかった	無回答
男性 18～29歳	49	10.2	28.6	4.1	—	6.1	4.1	2.0	6.1	6.1	—	14.3	2.0	8.2	36.7	4.1
30歳代	52	9.6	34.6	3.8	1.9	7.7	5.8	1.9	5.8	11.5	1.9	15.4	3.8	11.5	28.8	—
40歳代	85	9.4	28.2	2.4	1.2	3.5	5.9	—	3.5	7.1	—	7.1	5.9	11.8	35.3	3.5
50歳代	91	19.8	29.7	4.4	—	5.5	7.7	3.3	3.3	8.8	1.1	15.4	9.9	8.8	26.4	1.1
60歳代	99	25.3	24.2	4.0	—	6.1	5.1	2.0	2.0	4.0	2.0	21.2	9.1	11.1	24.2	5.1
70歳代	103	35.0	45.6	9.7	1.0	16.5	8.7	6.8	6.8	2.9	—	18.4	6.8	7.8	11.7	6.8
80歳以上	45	35.6	33.3	6.7	4.4	15.6	4.4	—	4.4	—	—	13.3	8.9	2.2	13.3	22.2
女性 18～29歳	43	11.6	18.6	2.3	2.3	4.7	4.7	—	2.3	4.7	—	11.6	2.3	7.0	51.2	—
30歳代	79	17.7	25.3	6.3	—	2.5	3.8	6.3	—	16.5	1.3	8.9	1.3	12.7	30.4	3.8
40歳代	106	17.9	25.5	0.9	—	5.7	2.8	4.7	3.8	25.5	0.9	12.3	3.8	12.3	34.0	—
50歳代	103	21.4	32.0	4.9	—	4.9	—	1.9	4.9	19.4	1.9	16.5	4.9	13.6	23.3	2.9
60歳代	133	24.1	21.1	5.3	1.5	6.0	4.5	4.5	3.8	7.5	0.8	27.8	3.0	9.8	16.5	9.0
70歳代	164	39.6	35.4	11.6	—	10.4	3.7	2.4	4.9	4.9	—	21.3	6.7	14.6	7.3	12.8
80歳以上	102	50.0	42.2	7.8	2.9	9.8	4.9	5.9	5.9	2.9	—	25.5	7.8	3.9	7.8	8.8

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「安否確認の声掛け」「気になることがあったときの通報」の割合が高くなっています。また、家島、安富で「話し相手」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	通院などの外出の手伝い	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあったときの通報	災害時の手助け	その他	手助けはなかった	無回答
中部第一	134	25.4	29.9	3.0	1.5	9.0	3.0	2.2	3.0	10.4	1.5	19.4	6.7	9.7	20.1	6.0
中部第二	196	24.0	29.1	4.1	2.0	7.7	6.1	3.1	3.1	5.6	—	15.8	6.1	9.7	27.0	8.7
東部	108	29.6	34.3	8.3	—	6.5	5.6	3.7	6.5	11.1	0.9	18.5	6.5	8.3	19.4	4.6
北部	131	22.9	32.1	6.9	0.8	3.8	6.9	2.3	3.1	4.6	0.8	13.0	4.6	13.0	24.4	3.8
西部	94	29.8	31.9	10.6	1.1	5.3	2.1	7.4	5.3	13.8	—	21.3	2.1	11.7	17.0	3.2
網干	89	20.2	33.7	5.6	—	6.7	4.5	5.6	4.5	7.9	1.1	14.6	2.2	7.9	24.7	9.0
広畑	120	22.5	25.8	7.5	—	10.0	3.3	2.5	5.0	6.7	0.8	14.2	3.3	11.7	25.0	6.7
飾磨	142	26.1	31.0	4.9	—	10.6	6.3	2.8	2.1	9.2	—	17.6	7.0	13.4	20.4	4.9
灘	111	24.3	32.4	3.6	—	6.3	3.6	3.6	4.5	11.7	—	18.9	9.9	9.0	18.9	4.5
家島	10	50.0	50.0	20.0	20.0	20.0	10.0	—	20.0	20.0	—	50.0	10.0	10.0	10.0	—
夢前	53	30.2	30.2	5.7	1.9	11.3	5.7	3.8	9.4	11.3	3.8	24.5	7.5	11.3	9.4	11.3
香寺	42	38.1	26.2	2.4	—	7.1	—	2.4	2.4	19.0	2.4	19.0	2.4	9.5	19.0	4.8
安富	12	25.0	50.0	8.3	—	—	—	—	8.3	—	—	41.7	8.3	8.3	16.7	8.3
その他	11	9.1	18.2	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	27.3	—	45.5	9.1



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「手助けはなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

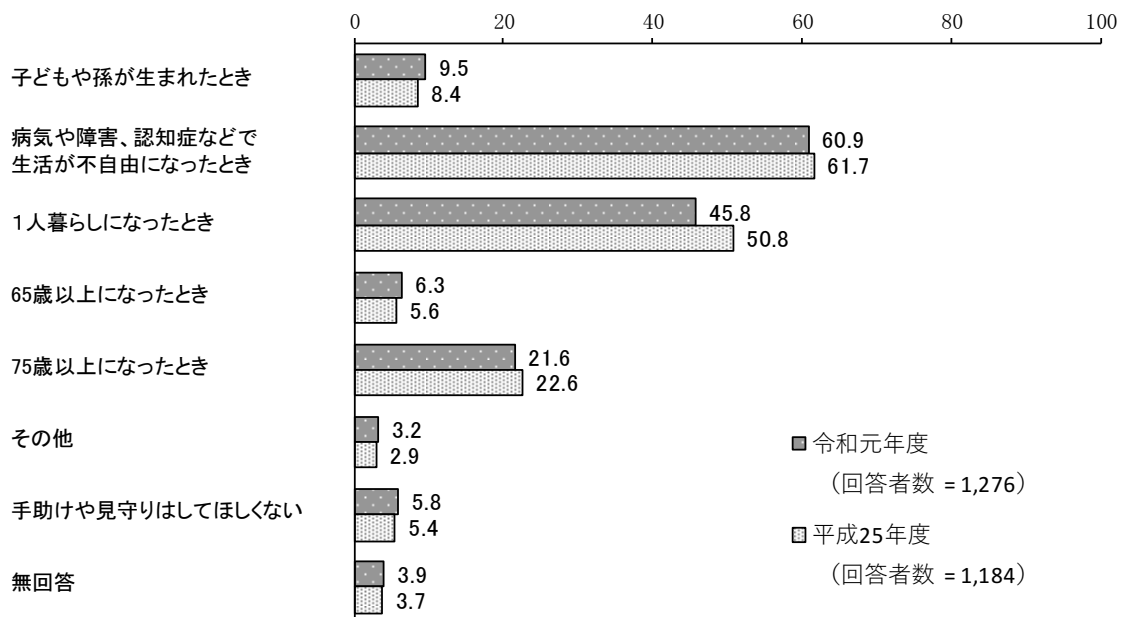
区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	通院などの外出の手伝い	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあったときの通報	災害時の手助け	その他	手助けはなかった	無回答
一人暮らし	194	31.4	28.9	7.2	2.1	10.3	3.1	4.1	4.1	3.6	0.5	19.6	7.2	8.8	22.2	7.2
夫婦二人暮らし	327	32.4	31.8	10.1	1.5	10.1	7.0	1.8	4.3	6.4	1.2	22.0	7.6	8.3	16.8	9.8
自分(または自分たち夫婦)と親	154	14.9	23.4	3.9	0.6	5.2	4.5	4.5	1.9	3.9	—	16.9	6.5	7.1	34.4	1.9
自分(または自分たち夫婦)と子	396	19.7	32.1	2.8	—	5.6	2.8	4.3	4.8	16.2	0.8	14.1	4.0	12.6	24.0	3.5
自分と兄弟姉妹	9	33.3	55.6	—	—	—	11.1	—	—	—	—	11.1	11.1	22.2	—	11.1
三世帯世帯(親、子、孫)	119	30.3	32.8	5.9	0.8	6.7	5.0	1.7	4.2	10.1	0.8	15.1	5.0	13.4	21.8	3.4
その他	59	23.7	33.9	3.4	1.7	6.8	8.5	3.4	3.4	3.4	—	15.3	1.7	13.6	13.6	11.9

問 14 (2) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、ご自身やご家族がどのような状況になったときに、(1)のような手助けをしてほしいと思いますか。

当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき」の割合が60.9%と最も高く、次いで「1人暮らしになったとき」の割合が45.8%、「75歳以上になったとき」の割合が21.6%となっています。平成25年度と比較すると、「1人暮らしになったとき」の割合が減少しています。%



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男女ともに18～29歳、30歳代で「子どもや孫が生まれたとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	子どもや孫が生まれたとき	病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき	1人暮らしになったとき	65歳以上になったとき	75歳以上になったとき	その他	手助けや見守りはしてほしいくない	無回答
男性 18～29歳	49	30.6	46.9	44.9	14.3	28.6	2.0	4.1	—
30歳代	52	25.0	51.9	36.5	17.3	21.2	7.7	5.8	—
40歳代	85	16.5	54.1	32.9	10.6	27.1	3.5	10.6	2.4
50歳代	91	4.4	58.2	37.4	4.4	16.5	4.4	9.9	2.2
60歳代	99	5.1	59.6	51.5	4.0	19.2	2.0	5.1	2.0
70歳代	103	2.9	71.8	57.3	1.0	16.5	3.9	6.8	2.9
80歳以上	45	—	68.9	46.7	2.2	13.3	6.7	4.4	13.3
女性 18～29歳	43	32.6	62.8	39.5	20.9	37.2	4.7	2.3	—
30歳代	79	30.4	63.3	36.7	12.7	35.4	—	7.6	2.5
40歳代	106	12.3	66.0	45.3	11.3	25.5	0.9	9.4	0.9
50歳代	103	4.9	65.0	56.3	3.9	24.3	1.9	3.9	1.9
60歳代	133	1.5	66.2	54.9	6.0	18.0	2.3	3.0	2.3
70歳代	164	2.4	54.9	51.2	1.2	18.9	3.7	2.4	8.5
80歳以上	102	2.0	59.8	32.4	—	11.8	4.9	5.9	8.8

## 【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき」の割合が、安富で「1人暮らしになったとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	子どもや孫が生まれたとき	病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき	1人暮らしになったとき	65歳以上になったとき	75歳以上になったとき	その他	手助けや見守りはしてほしくない	無回答
中部第一	134	9.0	59.7	37.3	8.2	17.2	4.5	6.7	6.7
中部第二	196	7.7	62.2	42.9	5.6	20.9	3.6	9.2	2.0
東部	108	15.7	59.3	46.3	7.4	22.2	3.7	3.7	3.7
北部	131	8.4	64.1	45.8	7.6	26.0	6.1	4.6	0.8
西部	94	10.6	62.8	48.9	1.1	21.3	1.1	5.3	4.3
網干	89	9.0	61.8	53.9	6.7	18.0	—	3.4	5.6
広畑	120	4.2	52.5	49.2	4.2	25.0	4.2	7.5	3.3
飾磨	142	9.9	62.0	43.7	7.0	22.5	2.8	5.6	4.2
灘	111	13.5	57.7	42.3	7.2	22.5	3.6	4.5	4.5
家島	10	10.0	70.0	70.0	20.0	10.0	—	10.0	—
夢前	53	5.7	66.0	56.6	1.9	13.2	—	5.7	5.7
香寺	42	14.3	69.0	47.6	9.5	21.4	—	2.4	4.8
安富	12	8.3	66.7	75.0	—	16.7	8.3	—	—
その他	11	—	54.5	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1

## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、三世帯世帯（親、子、孫）で「病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき」の割合が、夫婦二人暮らしで「1人暮らしになったとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	子どもや孫が生まれたとき	病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき	1人暮らしになったとき	65歳以上になったとき	75歳以上になったとき	その他	手助けや見守りはしてほしくない	無回答
一人暮らし	194	6.7	59.3	17.0	3.1	25.3	4.1	10.3	6.2
夫婦二人暮らし	327	7.6	60.6	64.2	3.4	18.7	2.1	3.7	4.0
自分(または自分たち夫婦)と親	154	12.3	60.4	44.2	12.3	24.0	4.5	6.5	0.6
自分(または自分たち夫婦)と子	396	12.1	61.4	48.7	8.8	21.0	2.3	4.5	3.3
自分と兄弟姉妹	9	—	33.3	33.3	22.2	33.3	—	44.4	—
三世帯世帯(親、子、孫)	119	8.4	67.2	44.5	5.0	21.8	5.0	3.4	3.4
その他	59	8.5	61.0	28.8	3.4	16.9	6.8	10.2	3.4

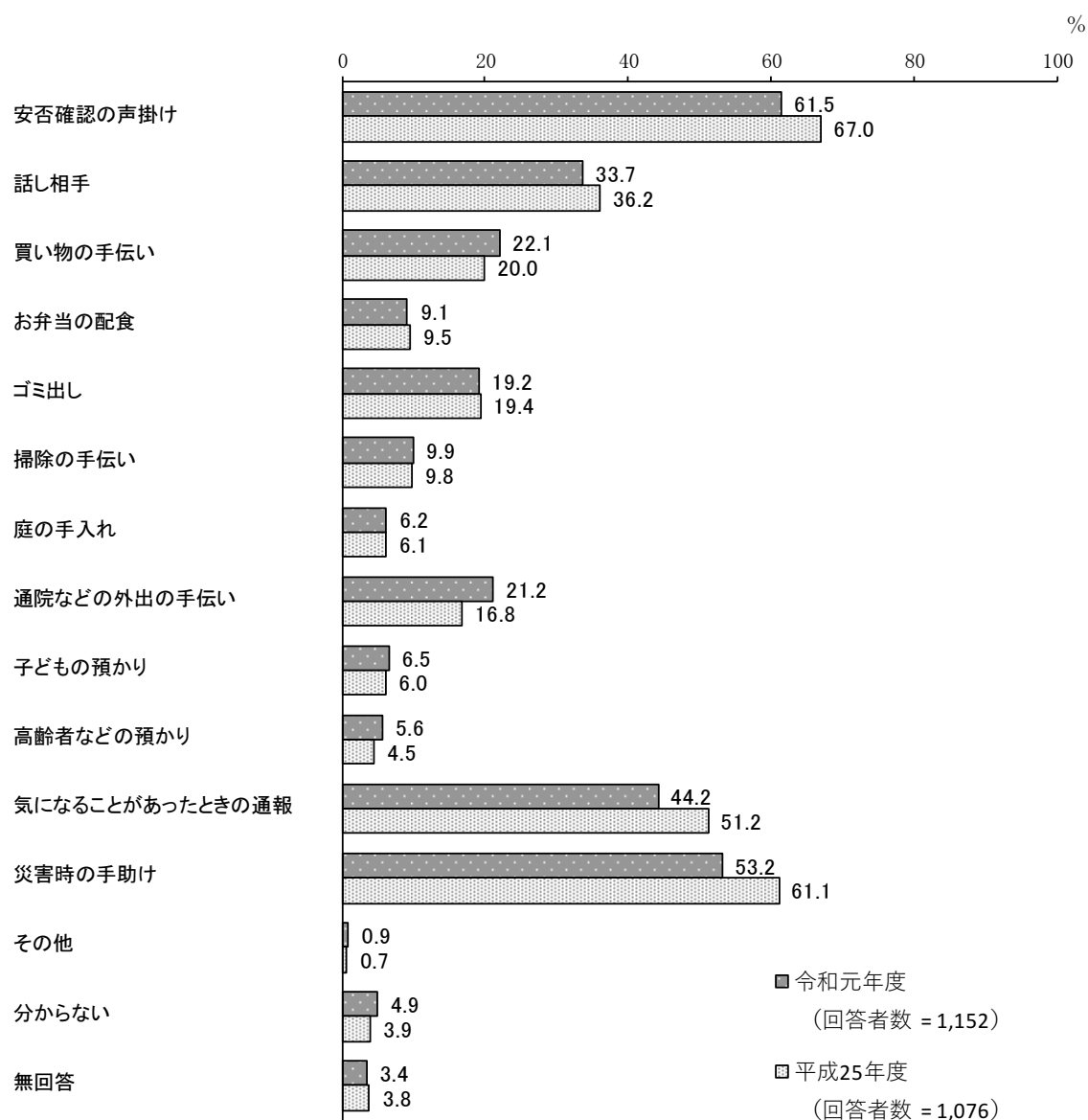
問 14 (3) 【(2)で「子どもや孫が生まれたとき」から「その他」を選ばれた方にお尋ねします。】

あなたご自身やご家族が、高齢や障害、子育てなどで生活が不自由になったとき、地域の方にどのような手助けをしてほしいと思いますか。

当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「安否確認の声掛け」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 53.2%、「気になることがあったときの通報」の割合が 44.2%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「安否確認の声掛け」「気になることがあったときの通報」「災害時の手助け」の割合が減少しています。



### 【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳代、70歳代で「安否確認の声掛け」の割合が、18～29歳、30歳代で「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	伝い 通院などの外出の手	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあつたときの通報	災害時の手助け	その他	分からない	無回答
18～29歳	92	52.2	30.4	15.2	10.9	15.2	9.8	2.2	18.5	17.4	8.7	48.9	62.0	2.2	6.5	—
30歳代	121	53.7	40.5	21.5	5.8	14.0	9.1	3.3	18.2	14.9	9.1	46.3	63.6	0.8	5.0	0.8
40歳代	170	60.0	32.4	20.0	8.2	22.4	11.2	4.7	22.9	11.8	8.8	47.6	53.5	0.6	6.5	0.6
50歳代	177	59.9	31.1	19.8	10.2	16.4	8.5	5.6	22.0	5.6	6.2	39.0	54.8	0.6	5.6	4.5
60歳代	218	65.1	30.3	22.9	6.9	19.3	7.3	7.8	20.2	2.8	3.7	50.0	58.3	1.4	4.1	5.0
70歳代	239	66.5	37.2	29.3	11.7	23.0	12.6	9.2	25.9	1.3	4.6	43.9	44.4	—	3.8	3.3
80歳以上	124	63.7	33.9	17.7	8.1	18.5	10.5	4.8	14.5	1.6	—	32.3	43.5	1.6	4.0	8.1

### 【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部で「安否確認の声掛け」「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	伝い 通院などの外出の手	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあつたときの通報	災害時の手助け	その他	分からない	無回答
中部第一	116	56.0	26.7	12.1	6.0	12.9	8.6	4.3	14.7	3.4	5.2	39.7	52.6	1.7	7.8	0.9
中部第二	174	63.8	32.2	22.4	12.1	23.0	9.2	5.2	18.4	5.2	4.0	50.0	54.0	1.1	3.4	2.9
東部	100	63.0	40.0	18.0	9.0	14.0	8.0	5.0	19.0	6.0	4.0	39.0	44.0	2.0	5.0	2.0
北部	124	68.5	41.1	28.2	8.1	15.3	7.3	4.8	25.8	7.3	6.5	43.5	60.5	0.8	5.6	4.8
西部	85	58.8	37.6	22.4	11.8	22.4	9.4	7.1	17.6	7.1	7.1	47.1	54.1	—	4.7	3.5
網干	81	63.0	32.1	25.9	11.1	17.3	7.4	4.9	23.5	1.2	4.9	45.7	45.7	—	2.5	3.7
広畑	107	61.7	27.1	22.4	6.5	13.1	8.4	3.7	18.7	6.5	3.7	43.9	57.0	0.9	2.8	4.7
飾磨	128	65.6	28.1	24.2	10.2	25.8	18.8	7.8	22.7	9.4	7.8	44.5	55.5	0.8	3.9	4.7
灘	101	51.5	32.7	18.8	3.0	15.8	6.9	4.0	23.8	7.9	3.0	42.6	52.5	—	7.9	3.0
家島	9	55.6	55.6	44.4	22.2	44.4	33.3	11.1	44.4	—	11.1	66.7	55.6	—	11.1	—
夢前	47	63.8	40.4	25.5	12.8	40.4	14.9	12.8	34.0	6.4	4.3	38.3	48.9	—	—	4.3
香寺	39	46.2	35.9	20.5	5.1	15.4	5.1	10.3	20.5	15.4	12.8	46.2	51.3	2.6	10.3	5.1
安富	12	66.7	41.7	33.3	16.7	8.3	—	25.0	25.0	—	—	50.0	50.0	—	—	—
その他	9	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	33.3	—	22.2	—

【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦二人暮らしで「安否確認の声掛け」の割合が、自分（または自分たち夫婦）と親、自分（または自分たち夫婦）と子で「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

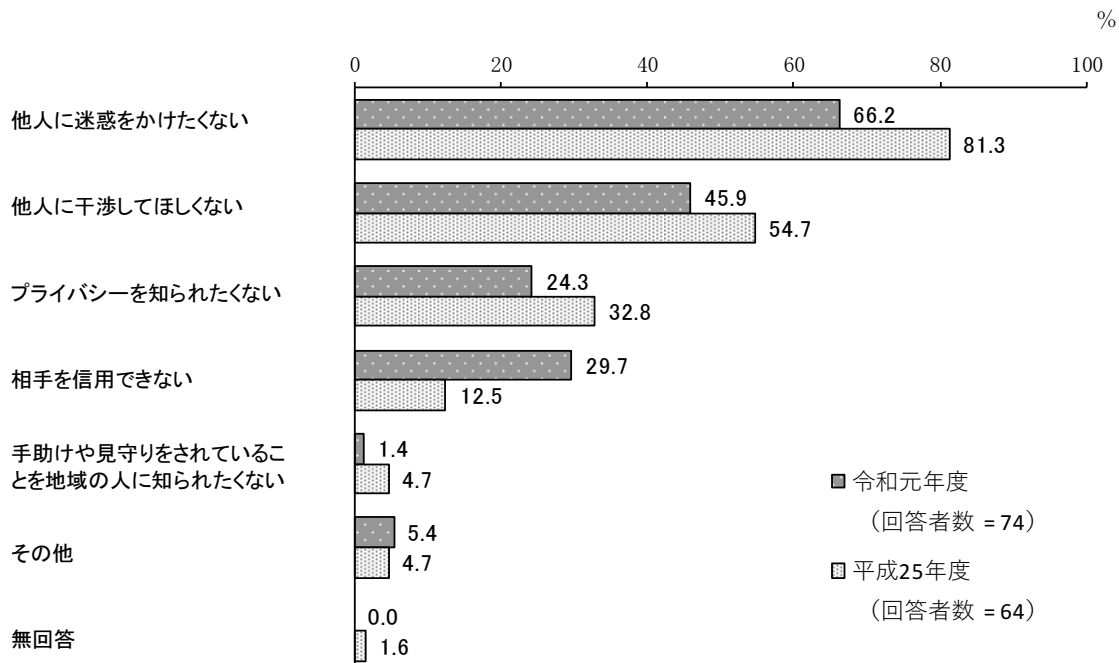
単位：％

区分	有効回答数(件)	安否確認の声掛け	話し相手	買い物の手伝い	お弁当の配食	ゴミ出し	掃除の手伝い	庭の手入れ	伝い	通院などの外出の手伝い	子どもの預かり	高齢者などの預かり	気になることがあったときの通報	災害時の手助け	その他	分からない	無回答
一人暮らし	162	58.6	29.6	24.7	8.6	18.5	10.5	5.6	19.8	3.7	1.9	37.7	48.1	0.6	8.6	4.3	
夫婦二人暮らし	302	69.9	33.1	25.8	10.6	24.8	12.3	7.9	21.2	3.3	5.6	48.3	54.0	—	2.6	3.3	
自分(または自分たち夫婦)と親	143	51.7	28.7	11.2	4.2	14.0	4.9	3.5	14.7	4.9	9.1	49.0	58.0	1.4	6.3	0.7	
自分(または自分たち夫婦)と子	365	59.2	39.7	21.9	10.1	17.5	9.0	7.4	23.8	10.1	6.3	41.4	57.3	1.4	4.1	3.0	
自分と兄弟姉妹	5	80.0	—	20.0	—	20.0	—	—	40.0	—	—	60.0	60.0	—	—	—	
三世帯世帯(親、子、孫)	111	62.2	28.8	23.4	8.1	18.0	9.9	4.5	21.6	9.0	4.5	45.9	48.6	1.8	4.5	4.5	
その他	51	60.8	33.3	17.6	9.8	17.6	11.8	2.0	17.6	9.8	7.8	41.2	33.3	—	9.8	9.8	

問 14 (4) 【(2)で「手助けや見守りはしてほしくない」を選ばれた方にお尋ねします。】  
手助けをしてほしくない理由は何ですか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「他人に迷惑をかけたくない」の割合が66.2%と最も高く、次いで「他人に干渉してほしくない」の割合が45.9%、「相手を信用できない」の割合が29.7%となっています。

平成25年度と比較すると、「相手を信用できない」の割合が増加しています。一方、「他人に迷惑をかけたくない」「他人に干渉してほしくない」「プライバシーを知られたくない」の割合が減少しています。



## (4) 地域活動について

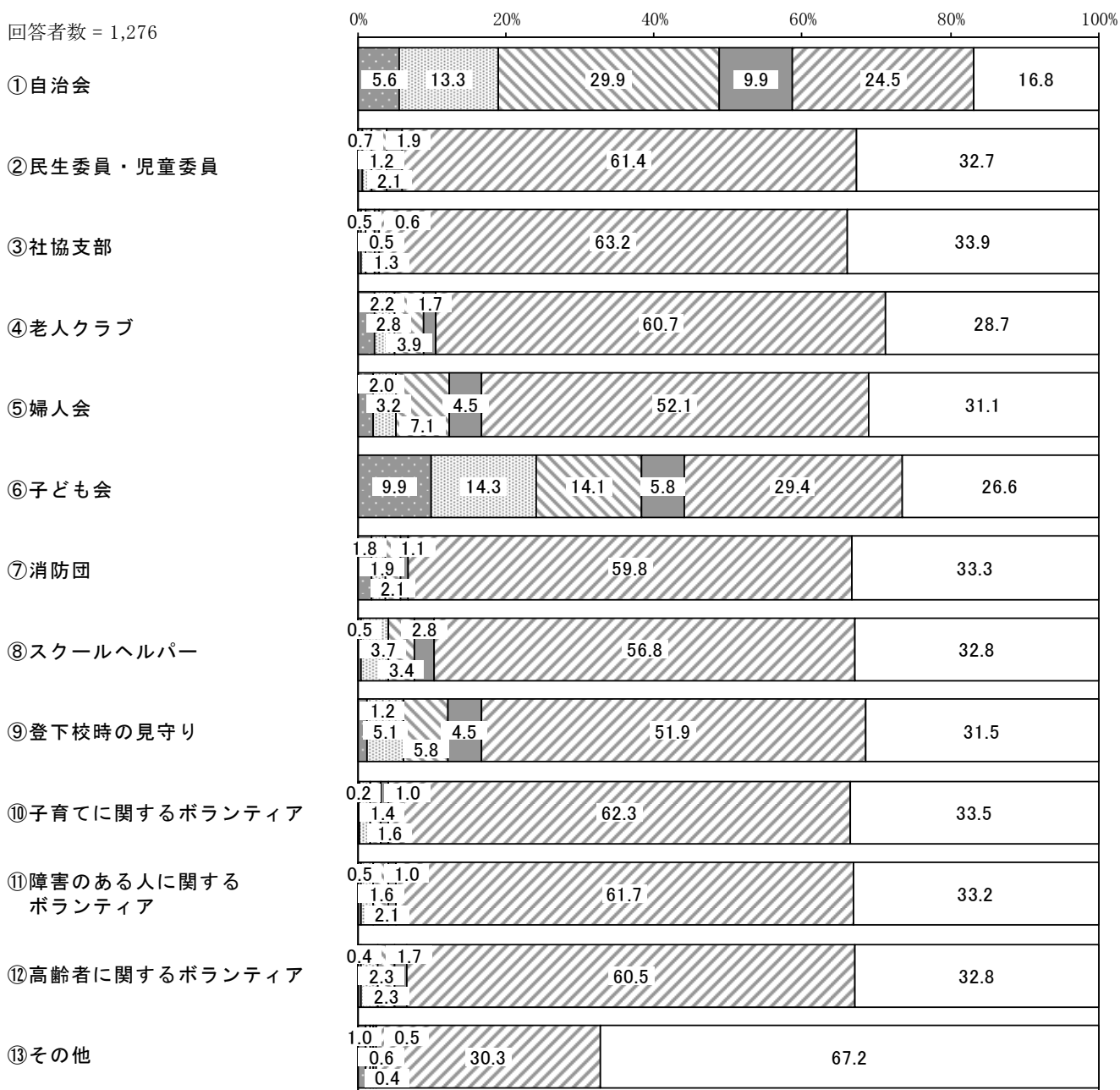
問 15 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、地域活動にどのような関わり方をしていますか（または、していましたか）。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

『①自治会』『⑥子ども会』で「積極的に活動に参加している(いた)」の割合が高くなっています。

- 運営面に中心的に関わっている(いた)
- ▨ 積極的に活動に参加している(いた)
- ▧ なんとなく参加している(いた)
- 人に頼まれ、やむなく参加している(いた)
- ▨ 参加したことがない
- 無回答

回答者数 = 1,276

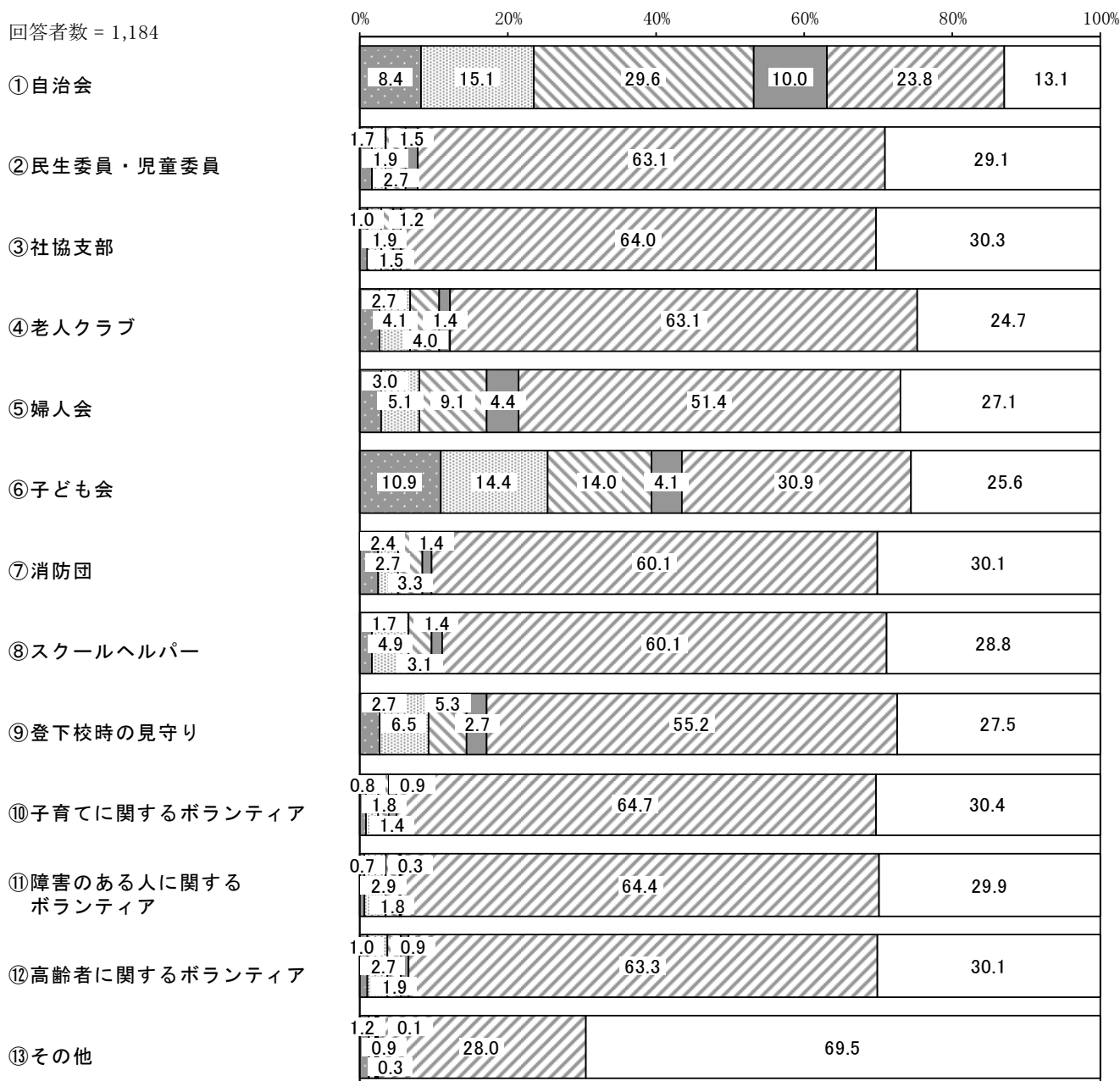


【平成 25 年度】

平成 25 年度と比較すると、大きな変化はみられません。

- 運営面に中心的に関わっている(いた)
- ▨ 積極的に活動に参加している(いた)
- ▩ なんとなく参加している(いた)
- 人に頼まれ、やむなく参加している(いた)
- ▨ 参加したことがない
- 無回答

回答者数 = 1,184

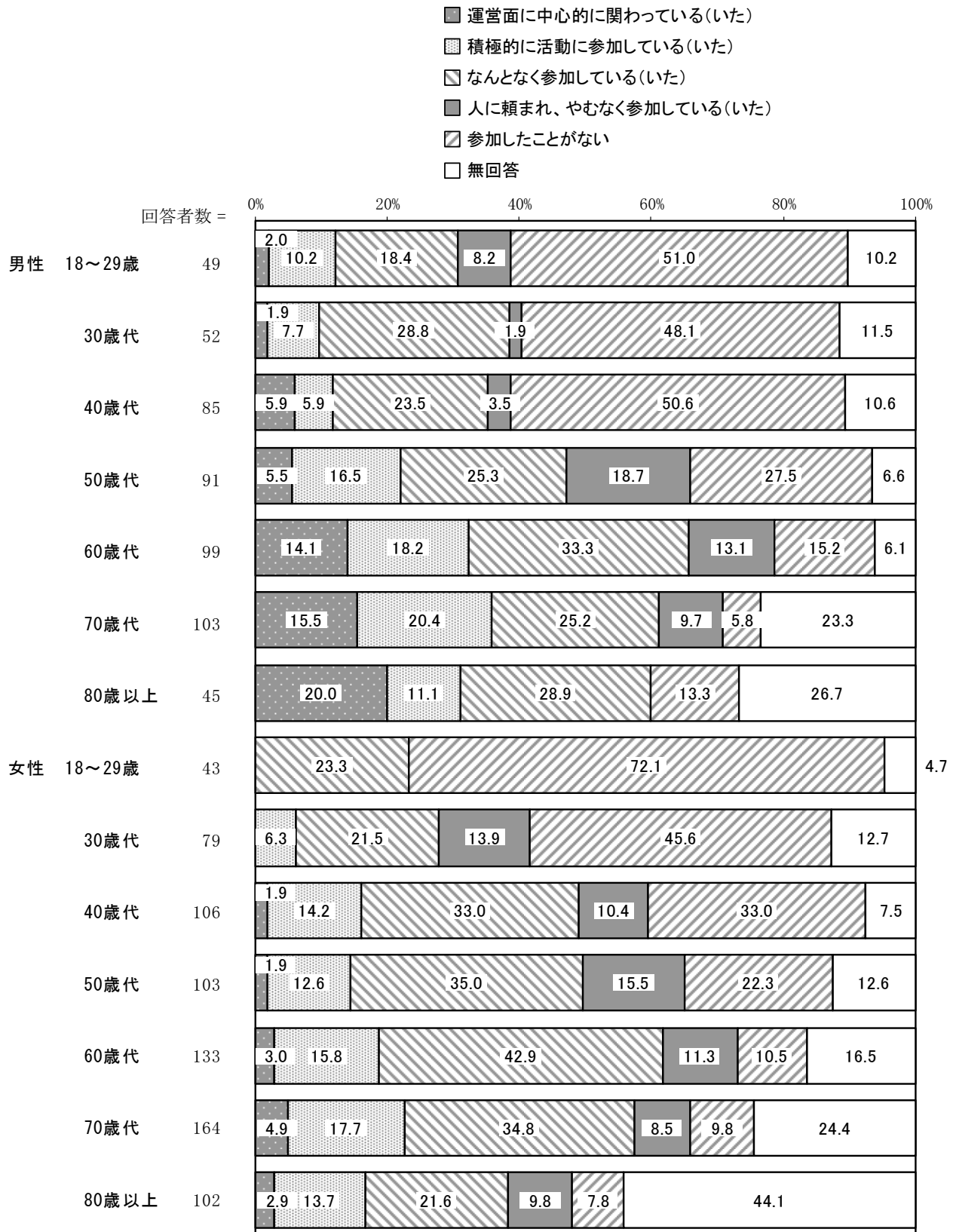




①自治会

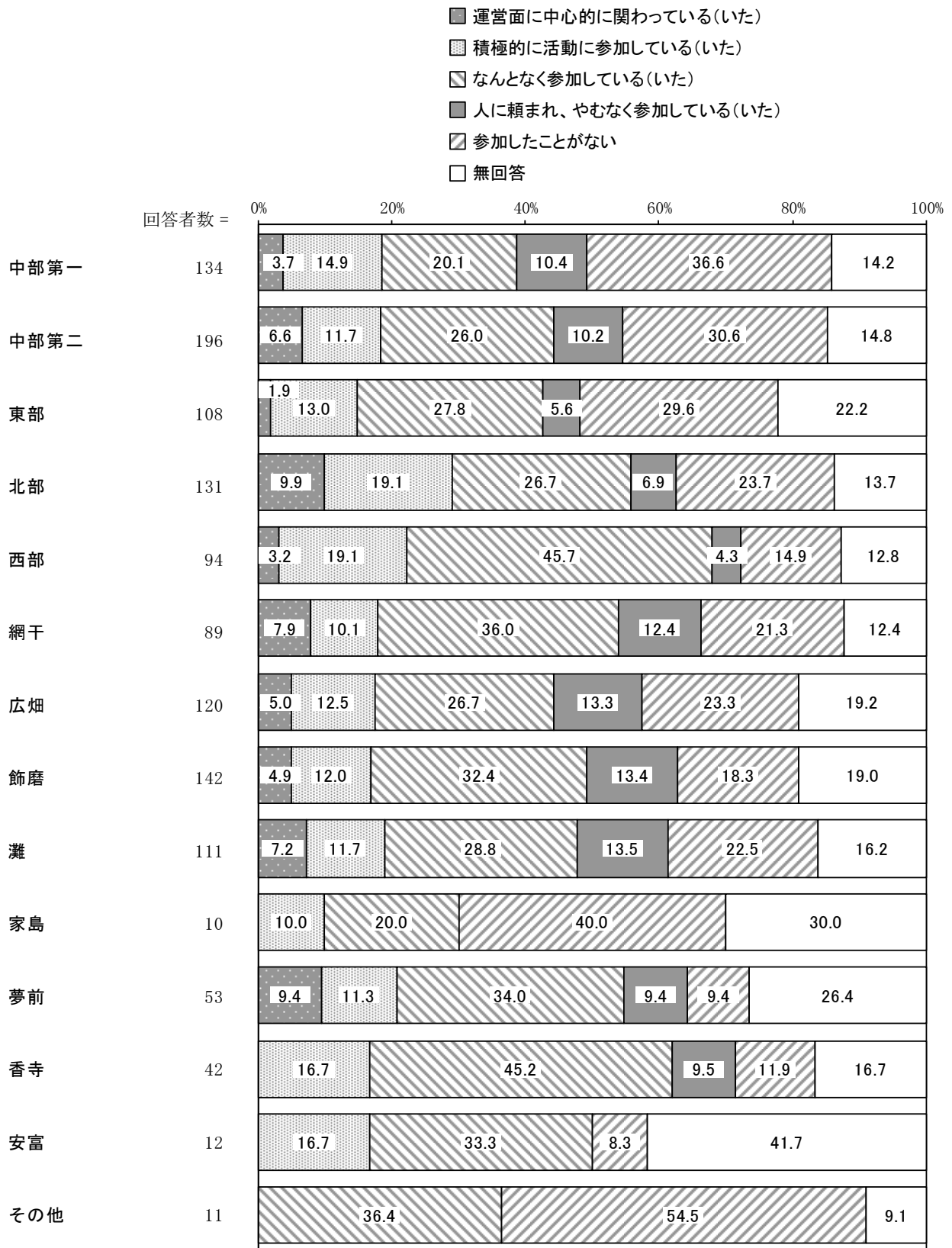
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、40歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高いことから、若い世代では自治会と関りが薄いことが伺えます。



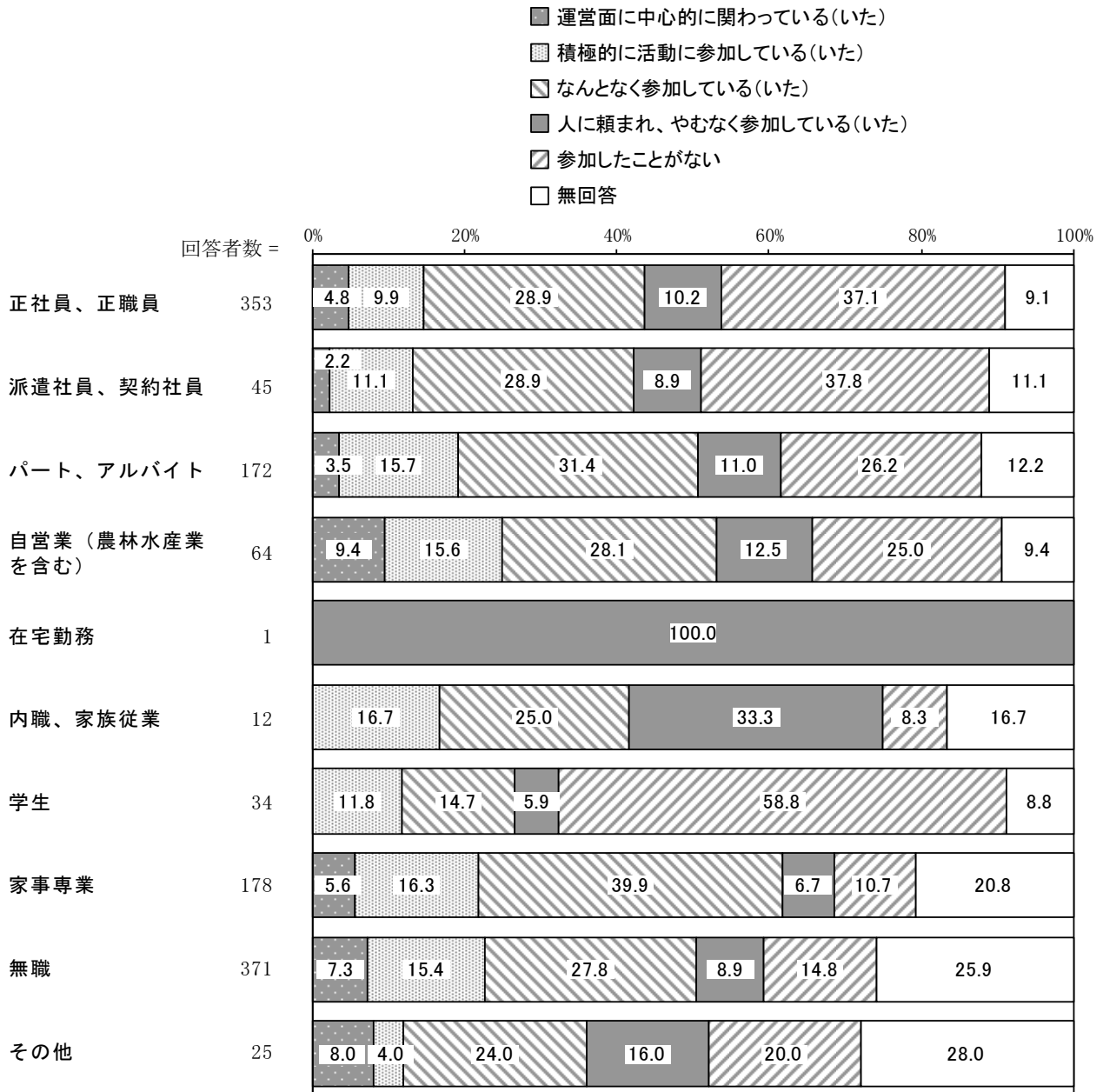
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



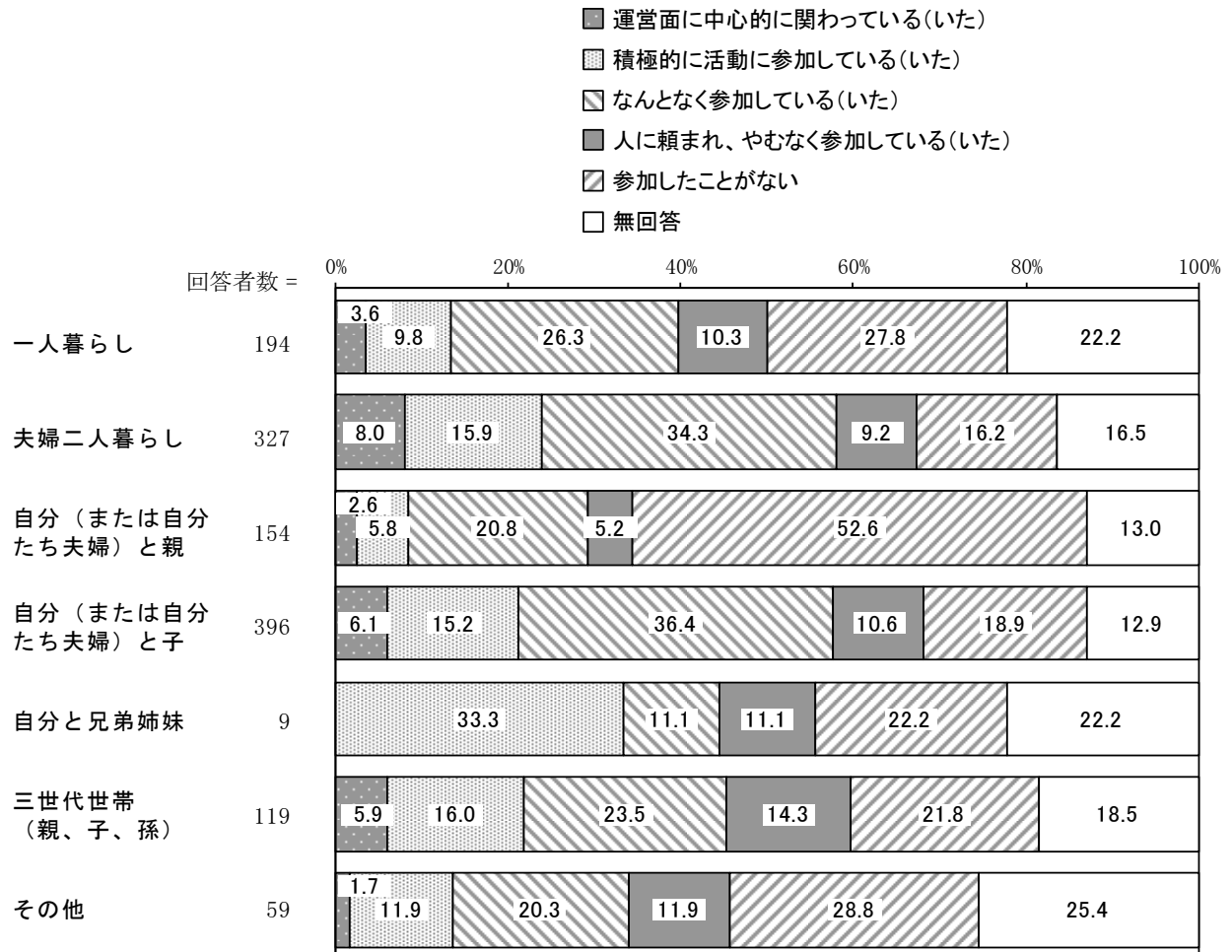
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。また、正社員、正職員、派遣社員、契約社員でも「参加したことがない」の割合が最も高くなっており、仕事を持っている人では自治会との関わりが薄いことが伺えます。



## 【家族構成別】

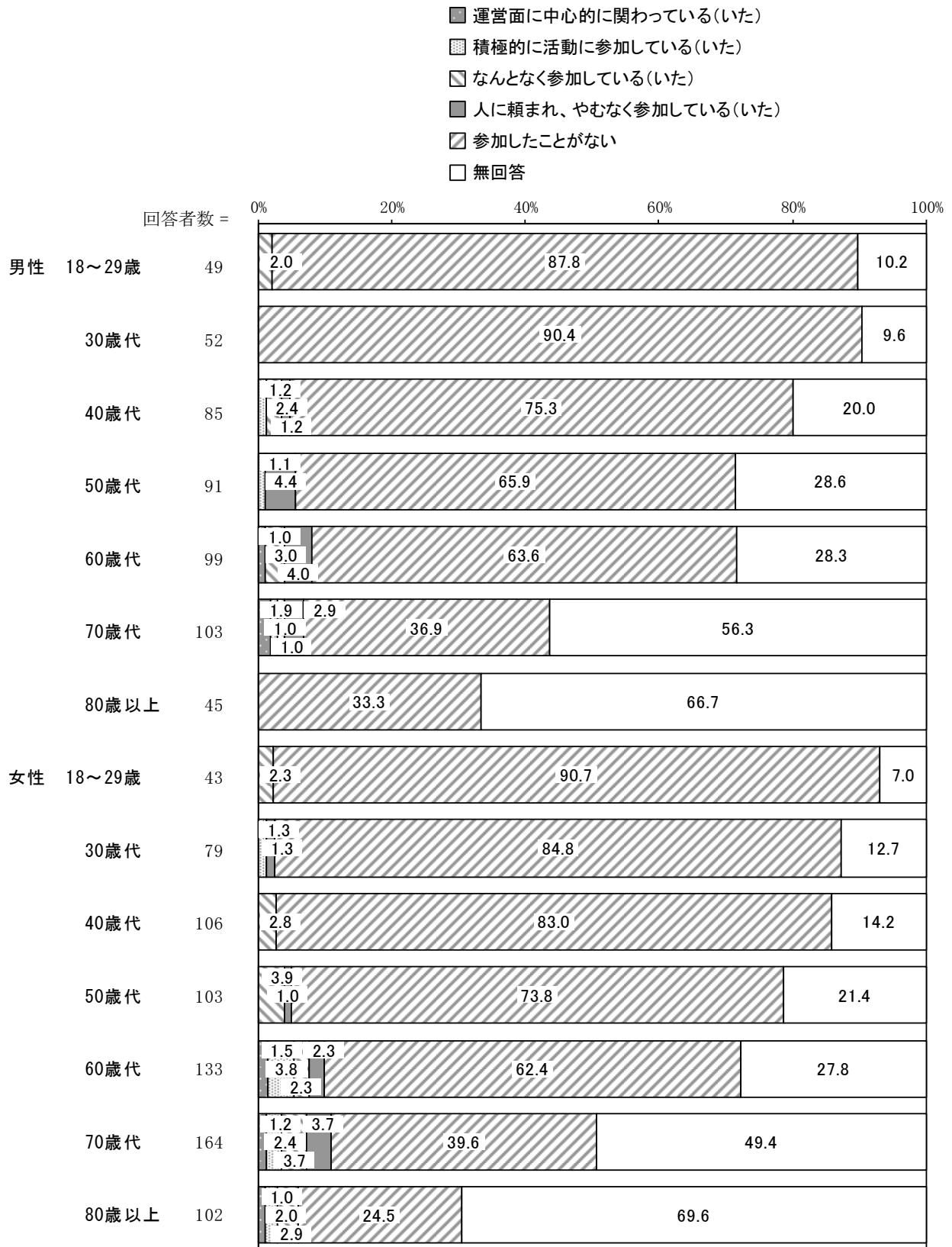
家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



②民生委員・児童委員

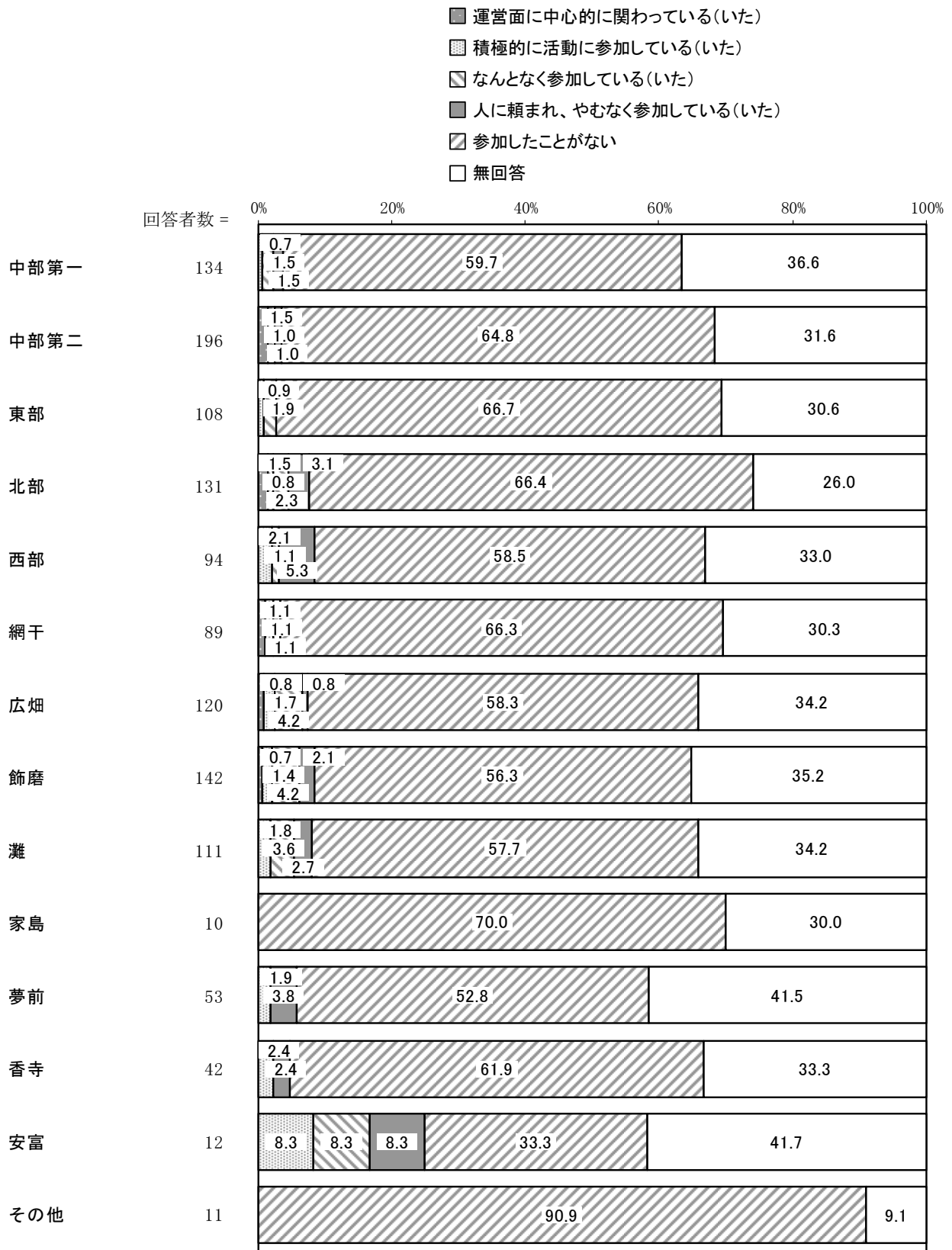
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



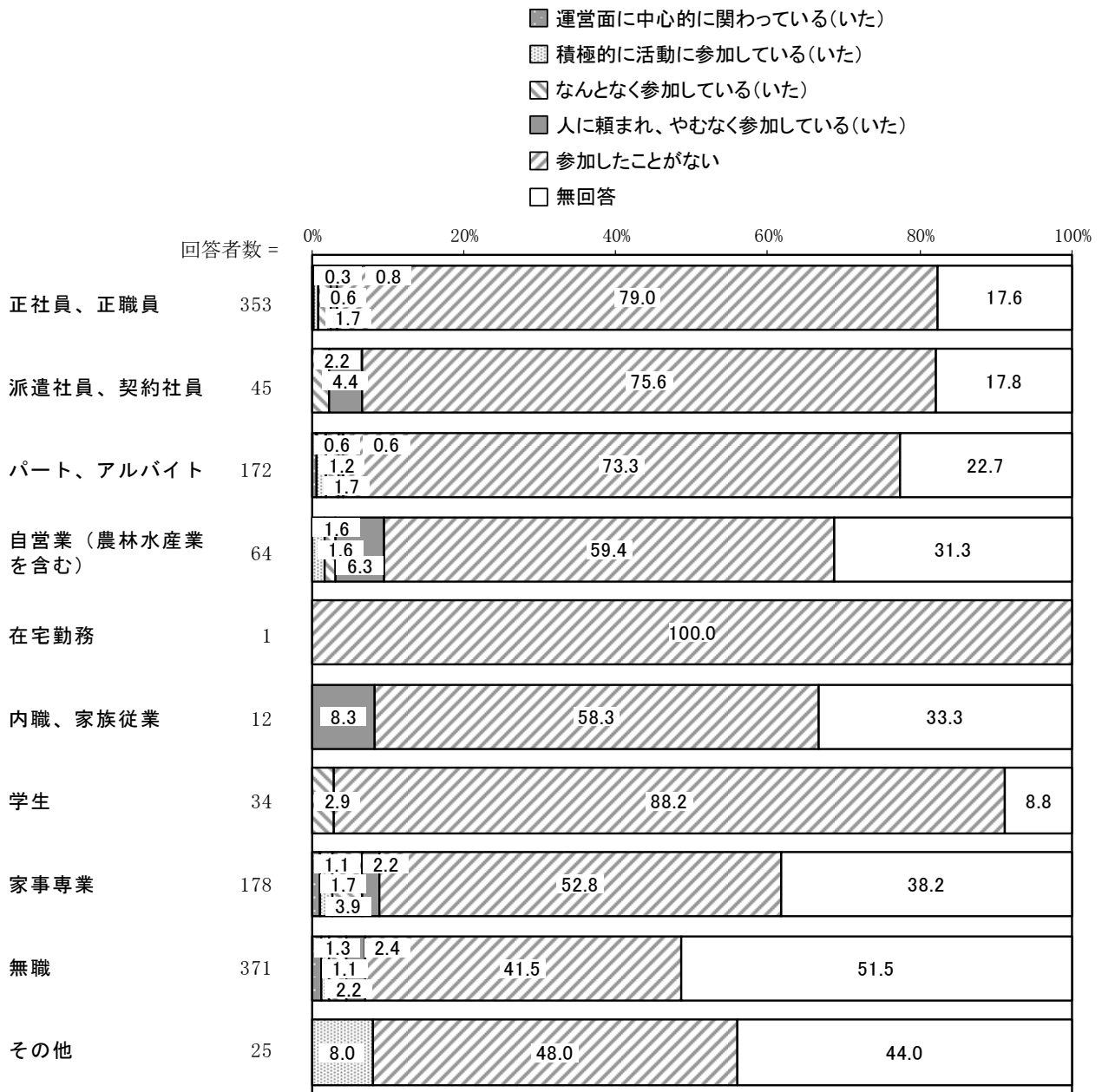
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



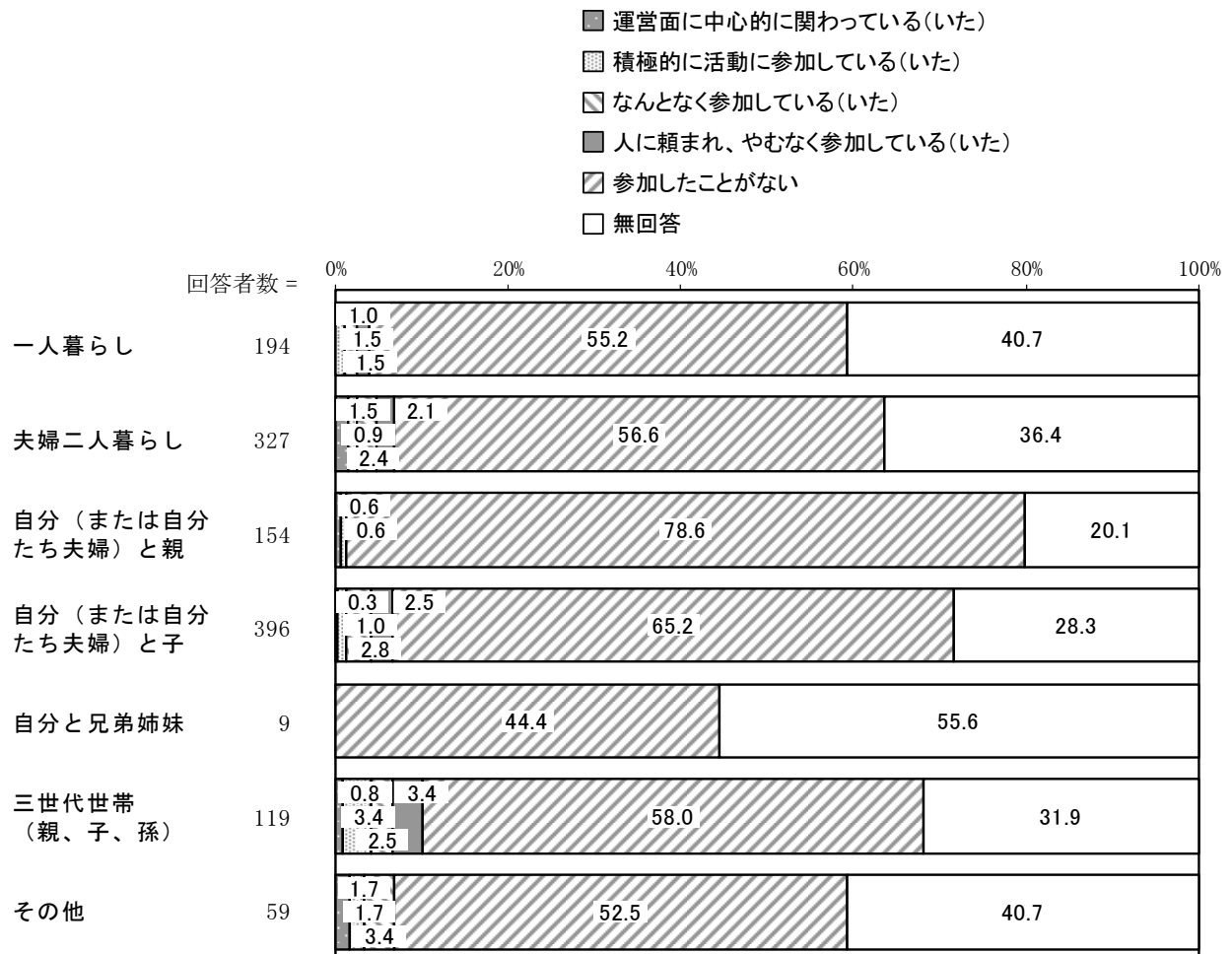
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

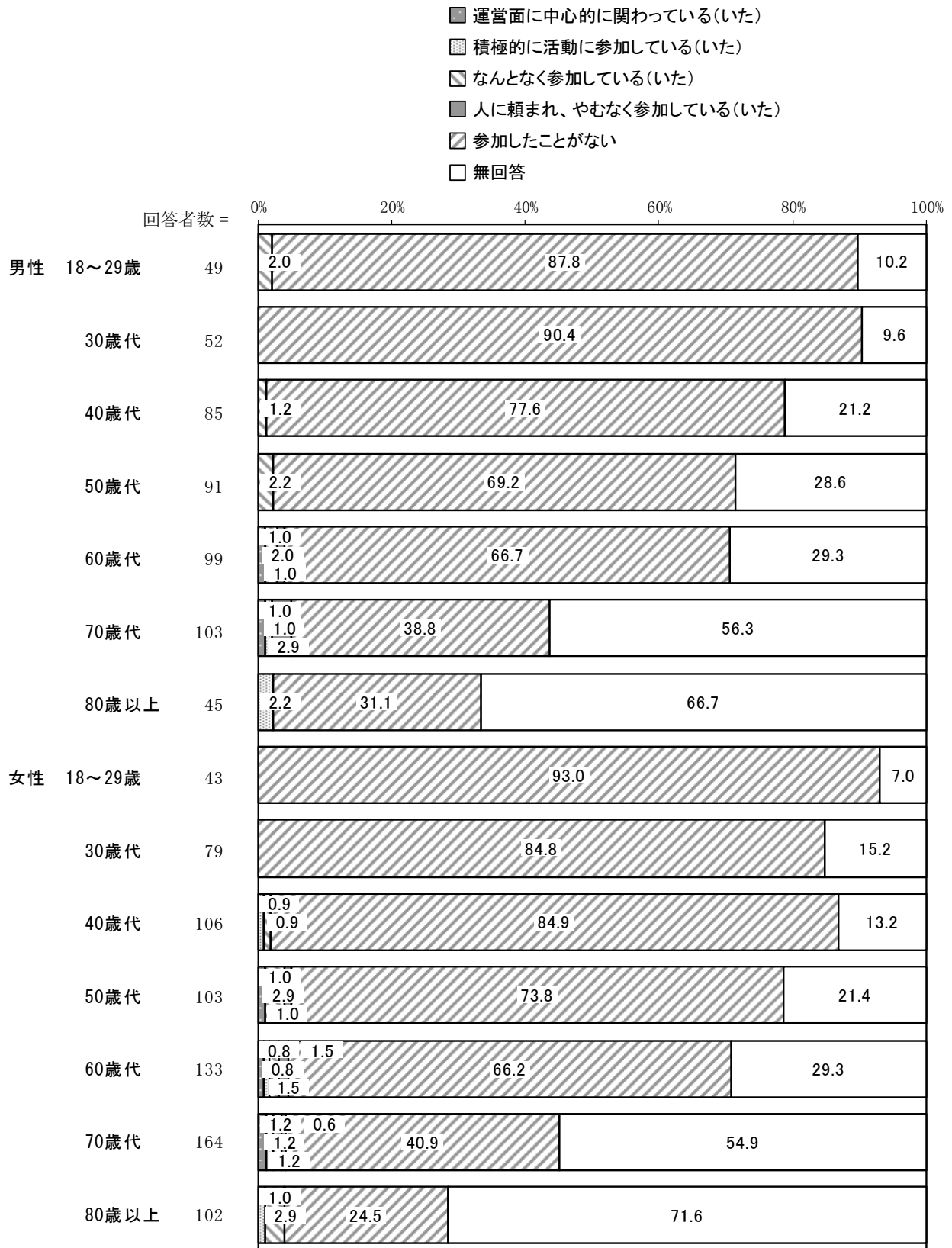




③社協支部

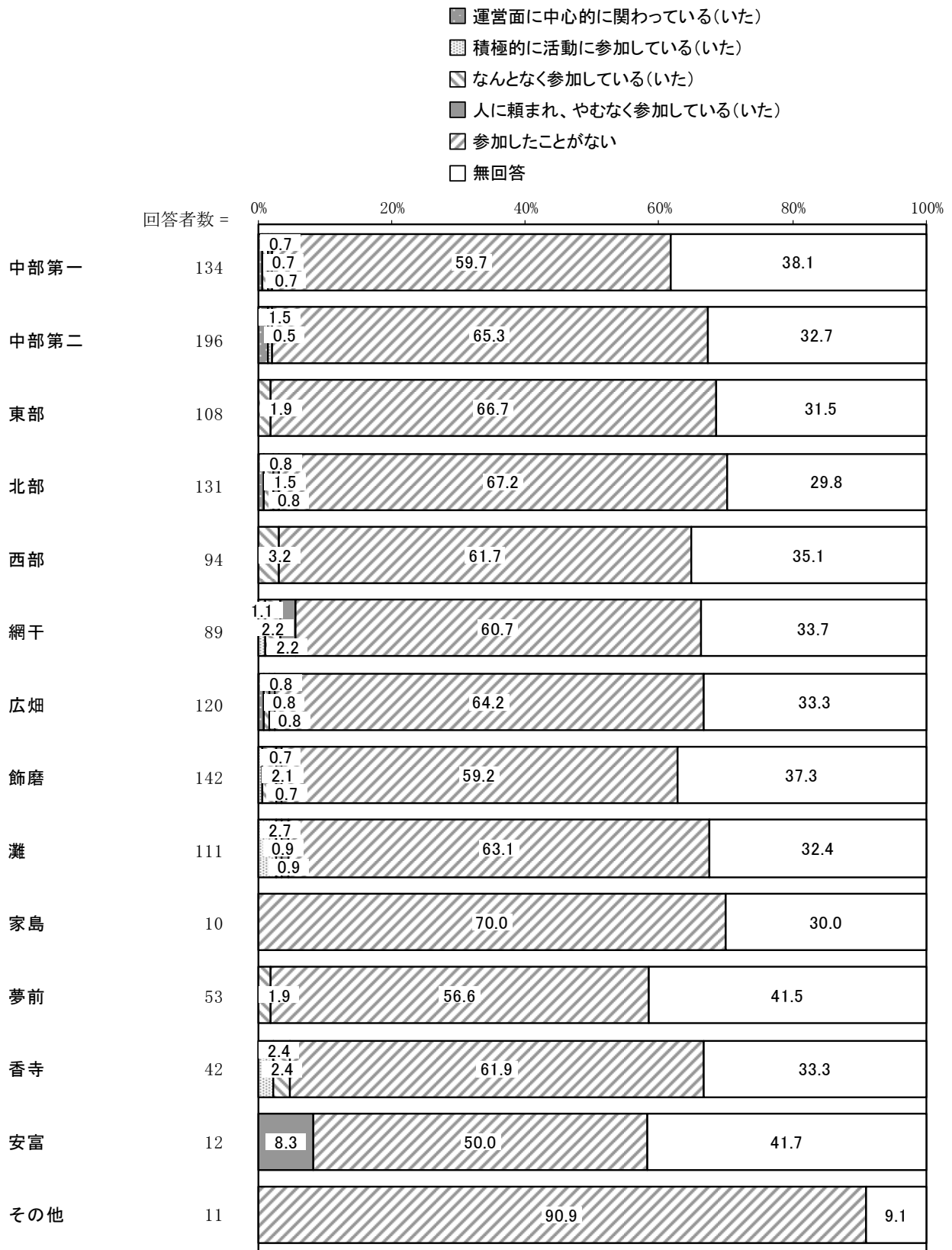
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



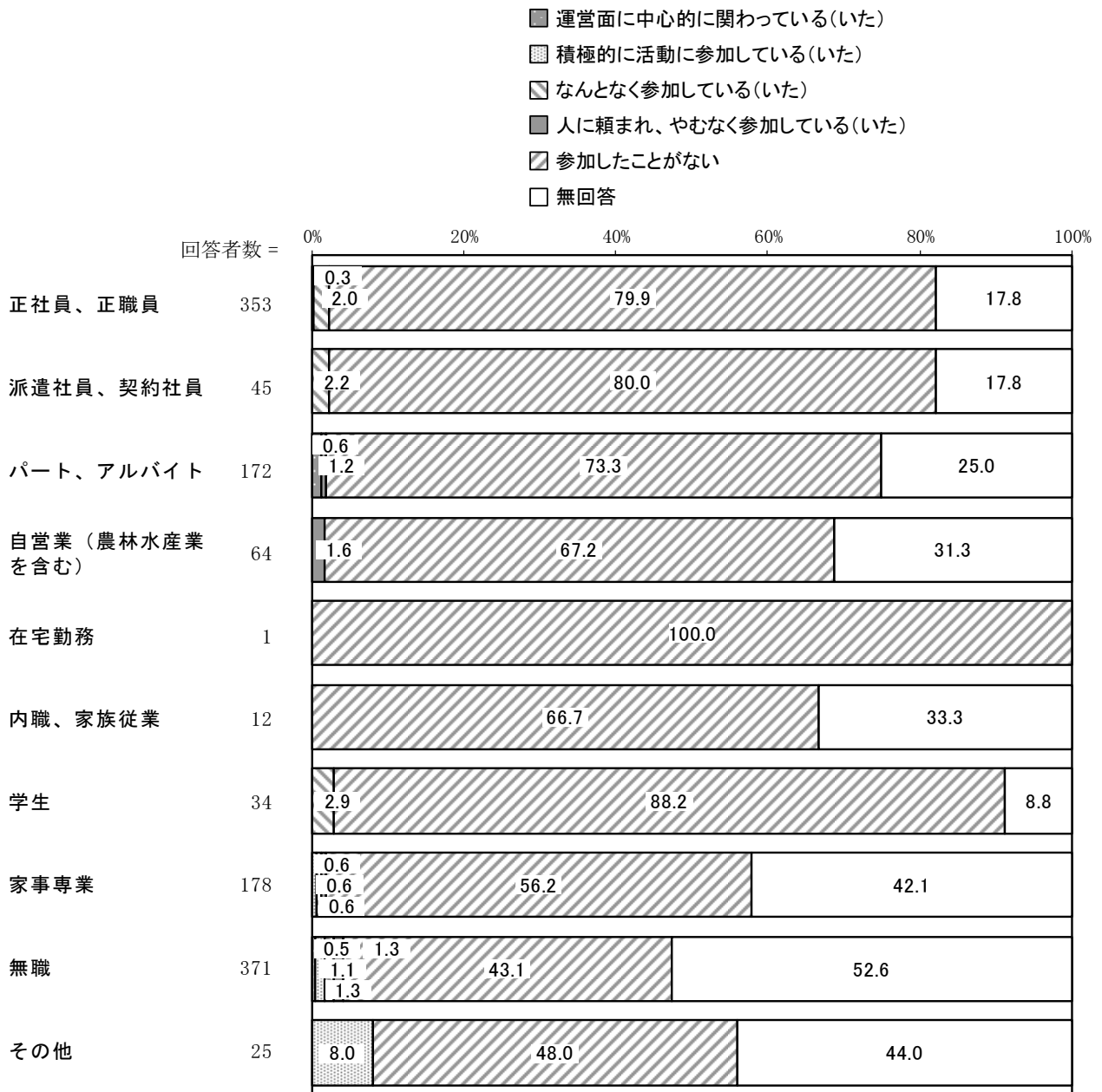
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



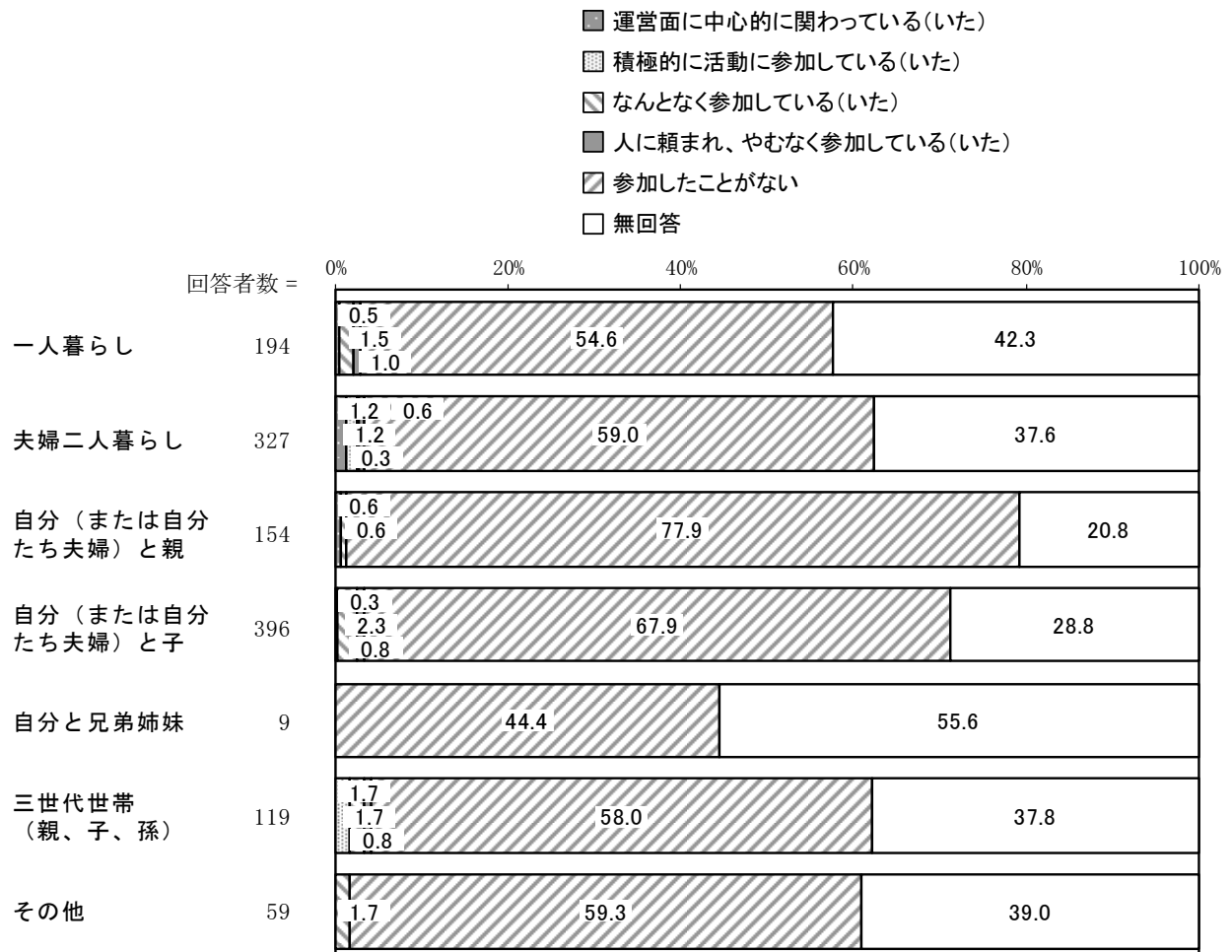
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

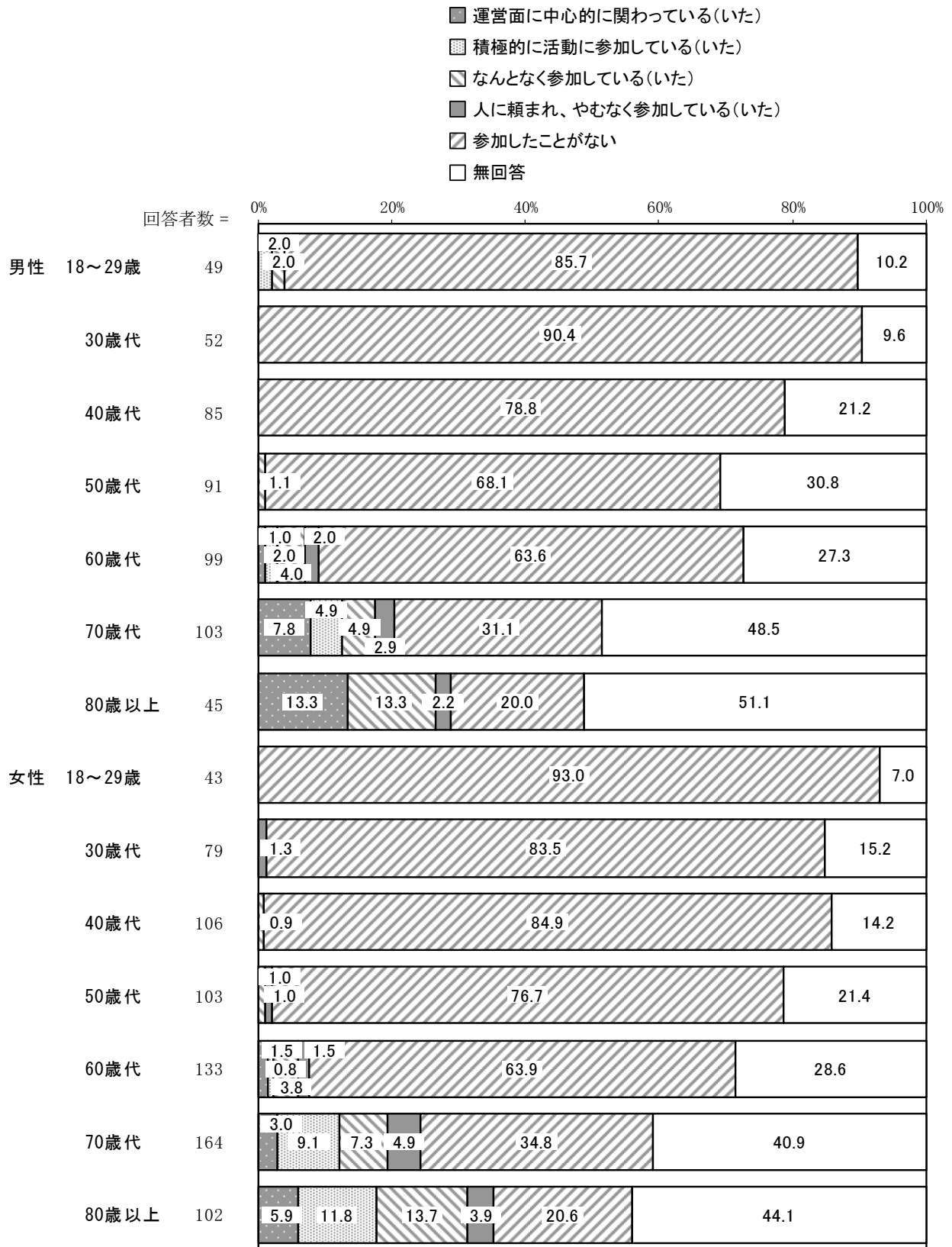
家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



#### ④老人クラブ

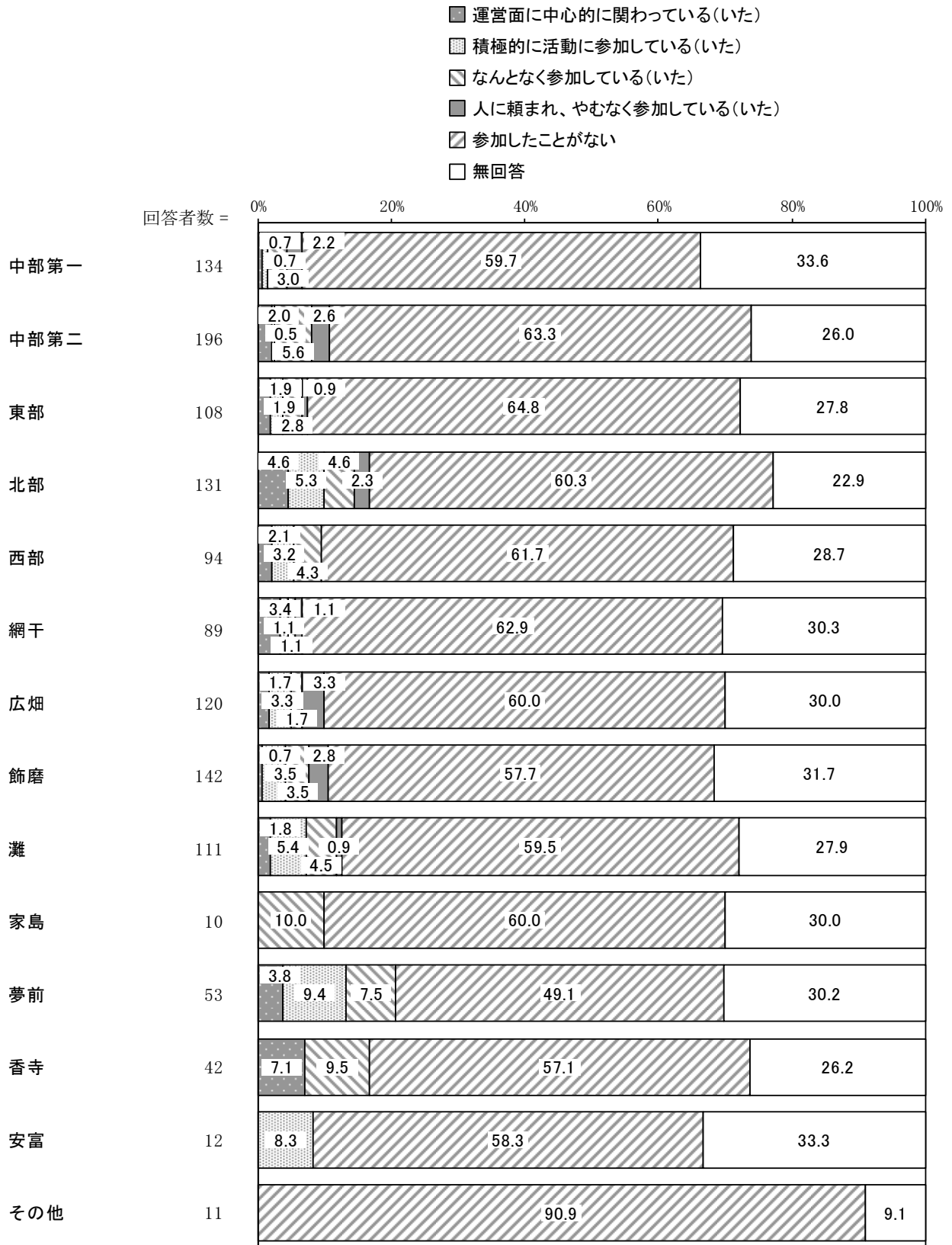
##### 【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



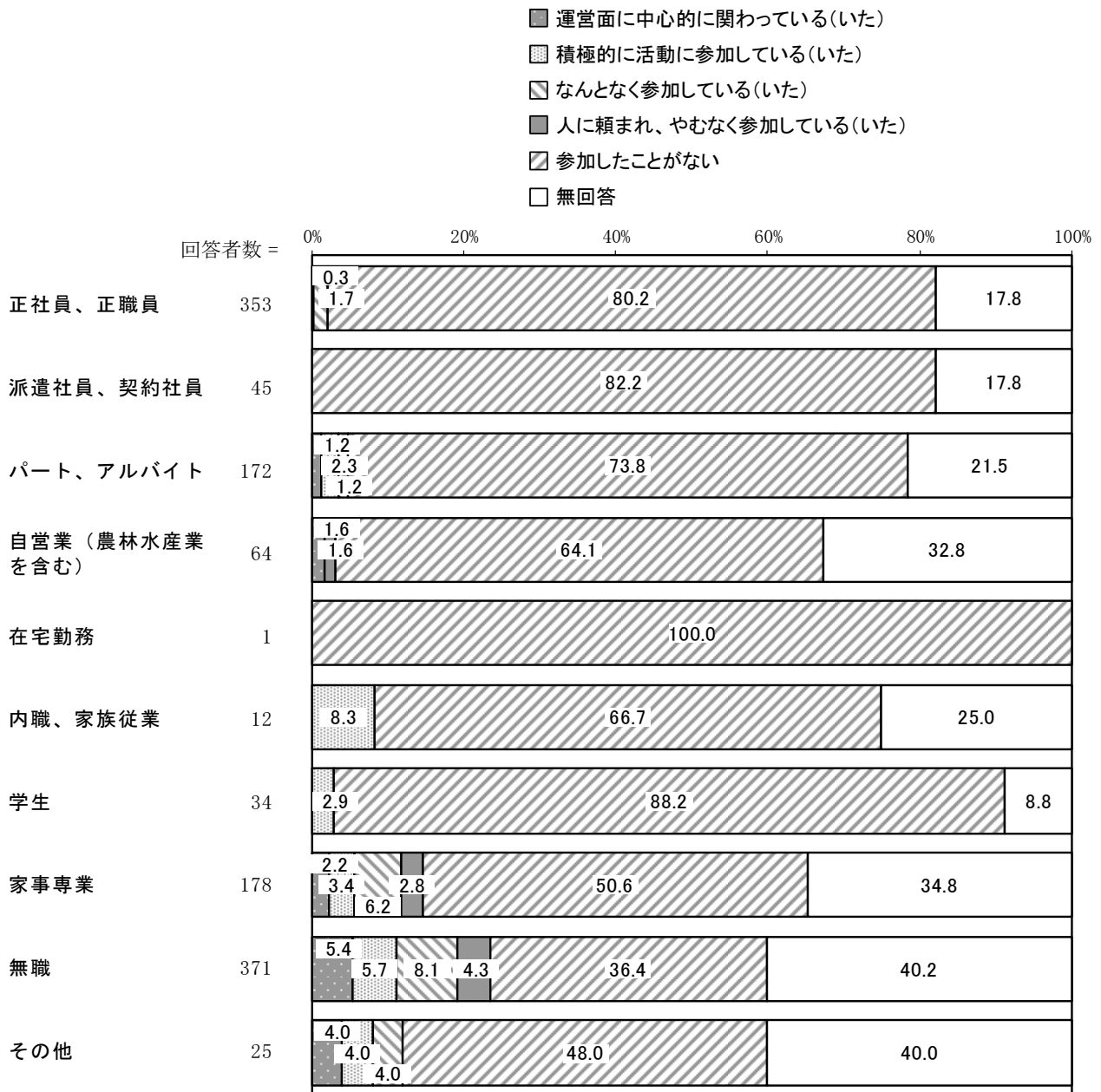
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部第二、東部で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



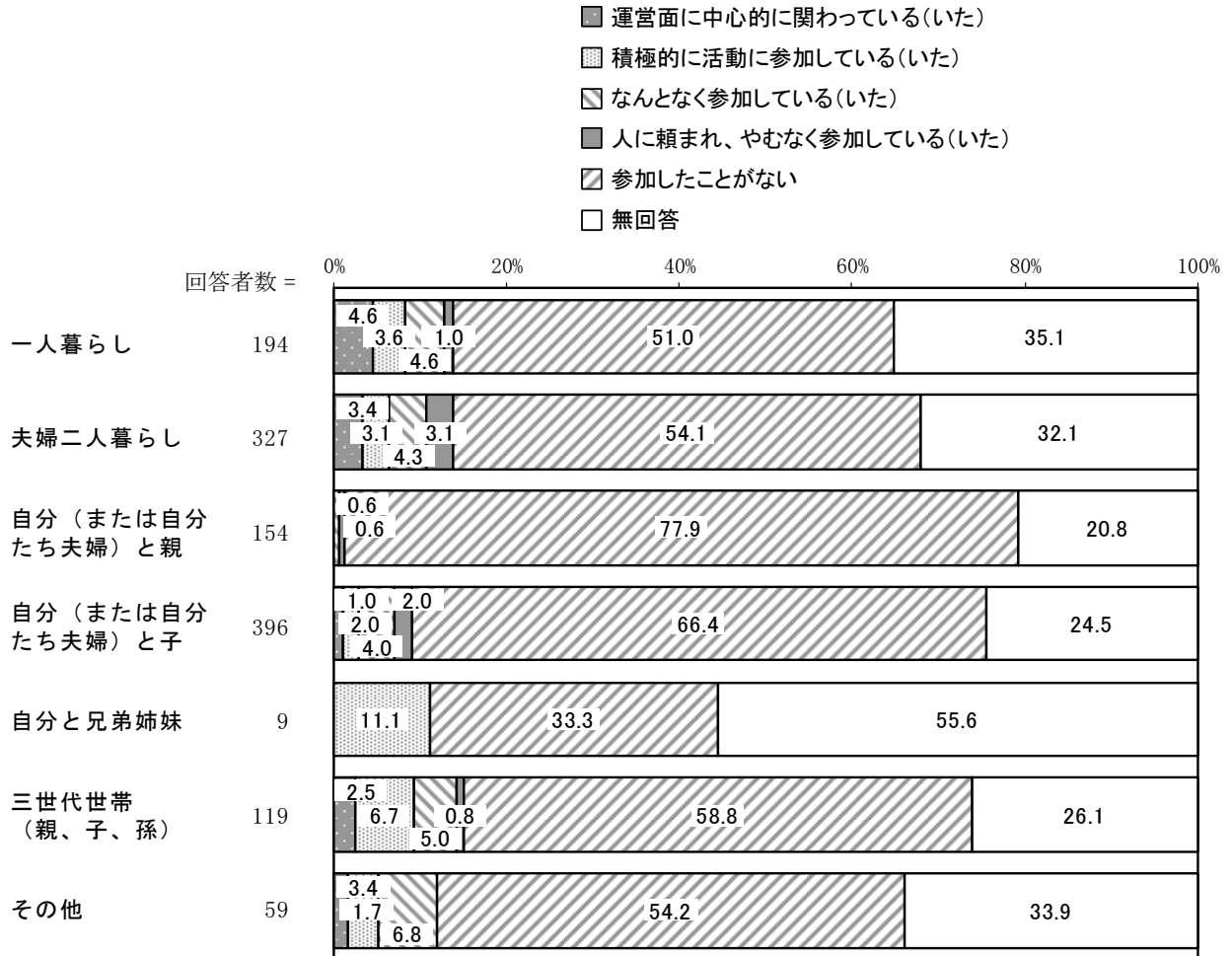
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



**【家族構成別】**

家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

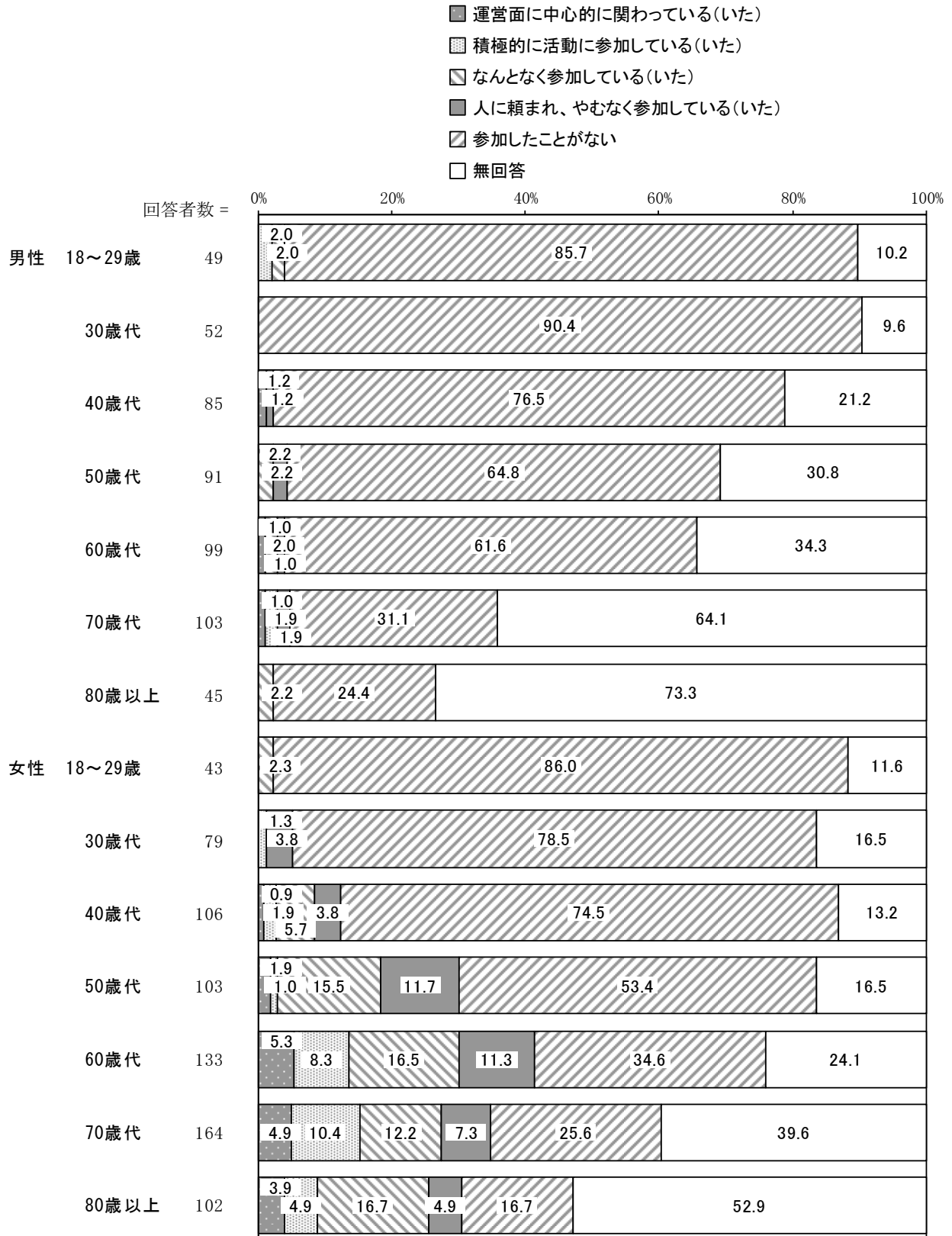




⑤婦人会

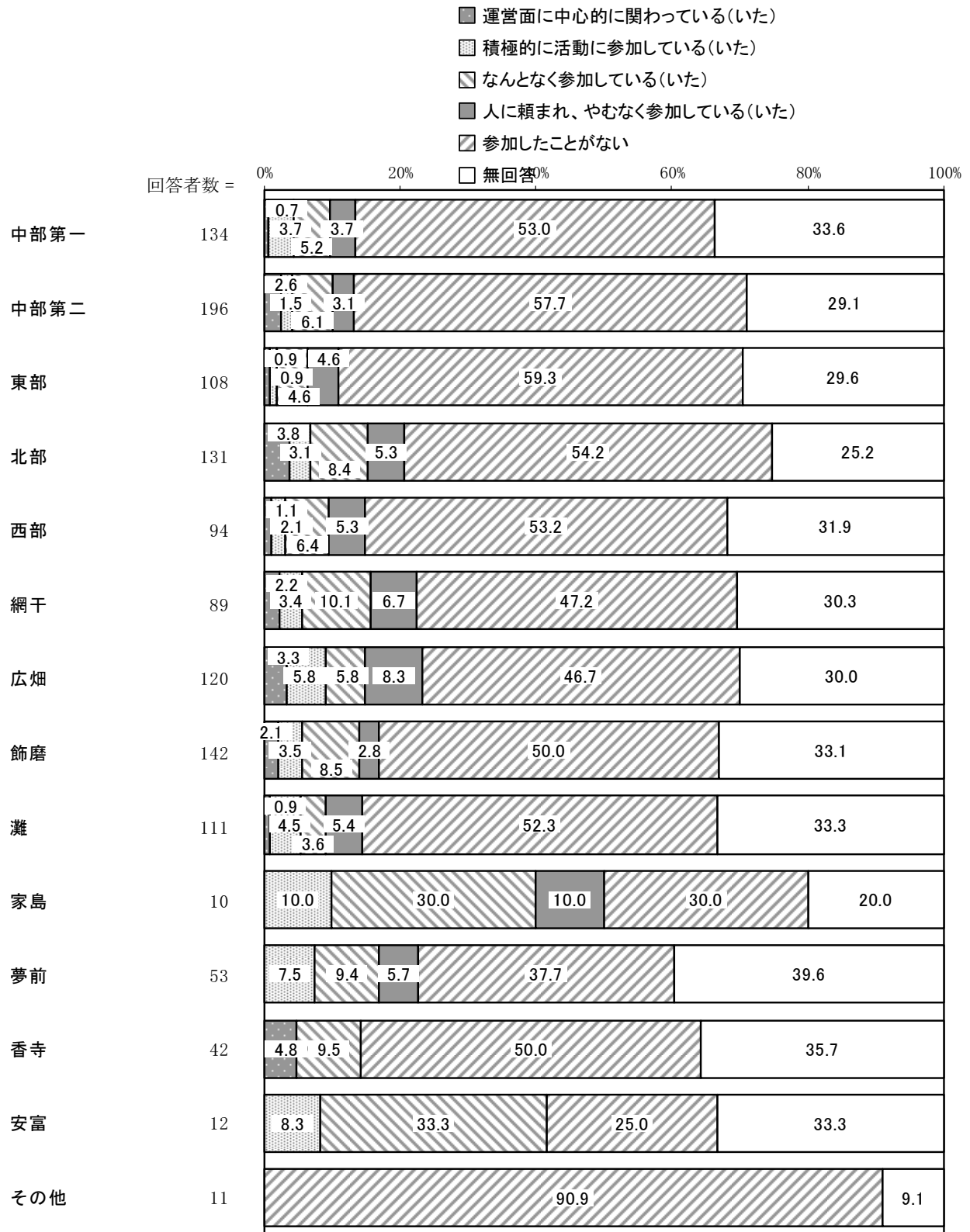
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。また、「運営面に中心的に関わっている(いた)」「積極的に活動に参加している(いた)」は女性の60歳以上で多く、女性の高齢者が活動を支えていることが伺えます。



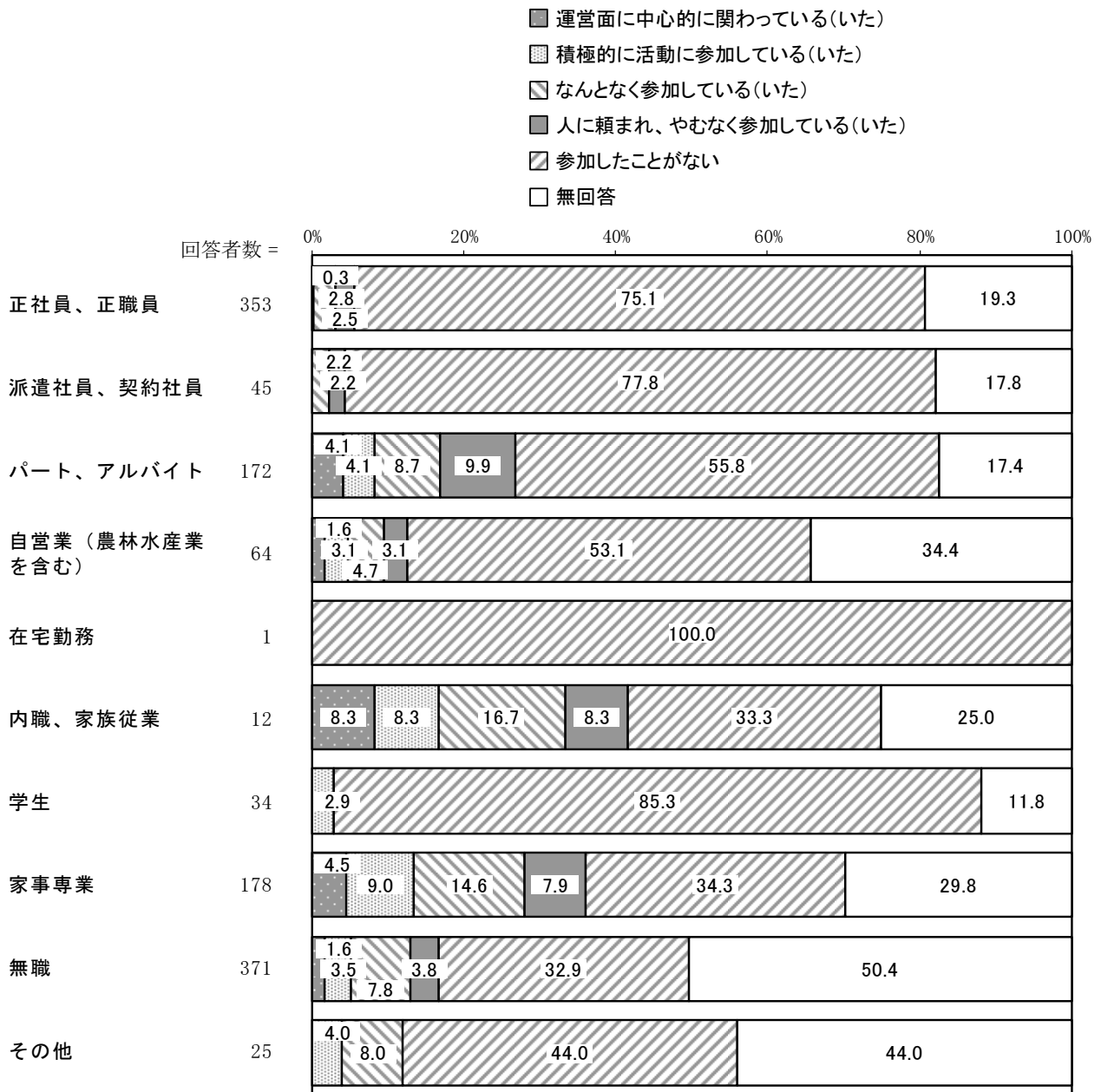
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部第二、東部で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



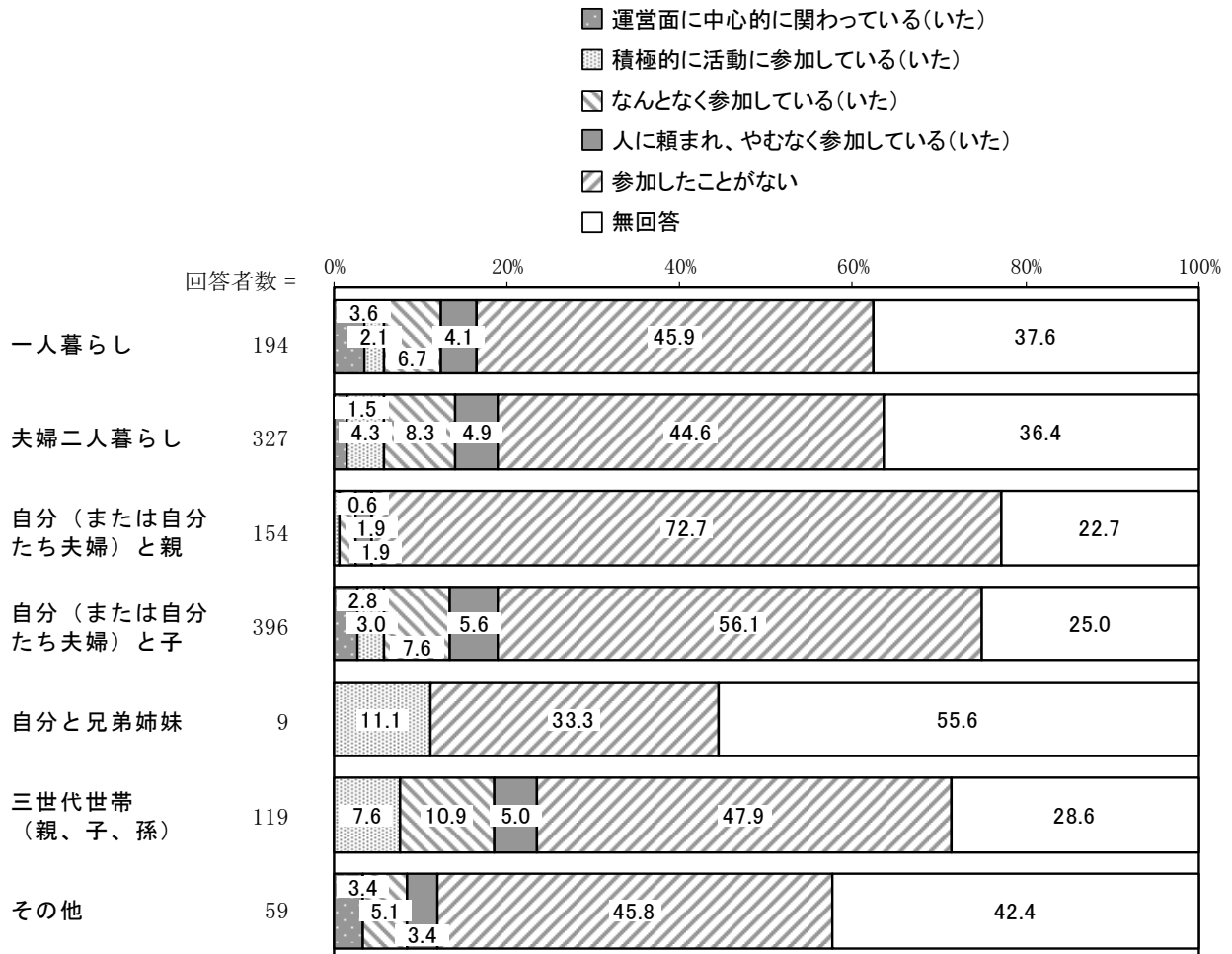
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

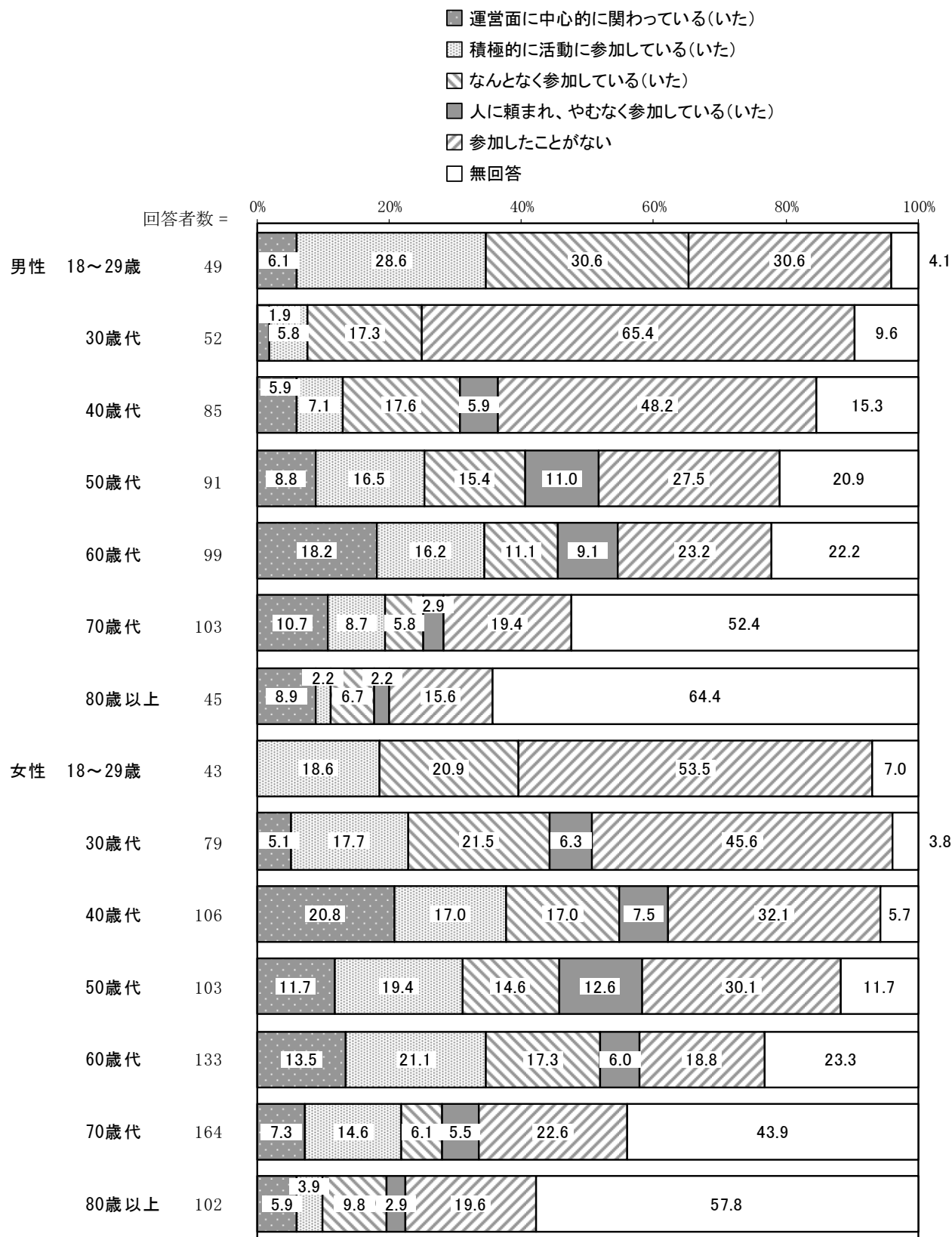
家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## ⑥子ども会

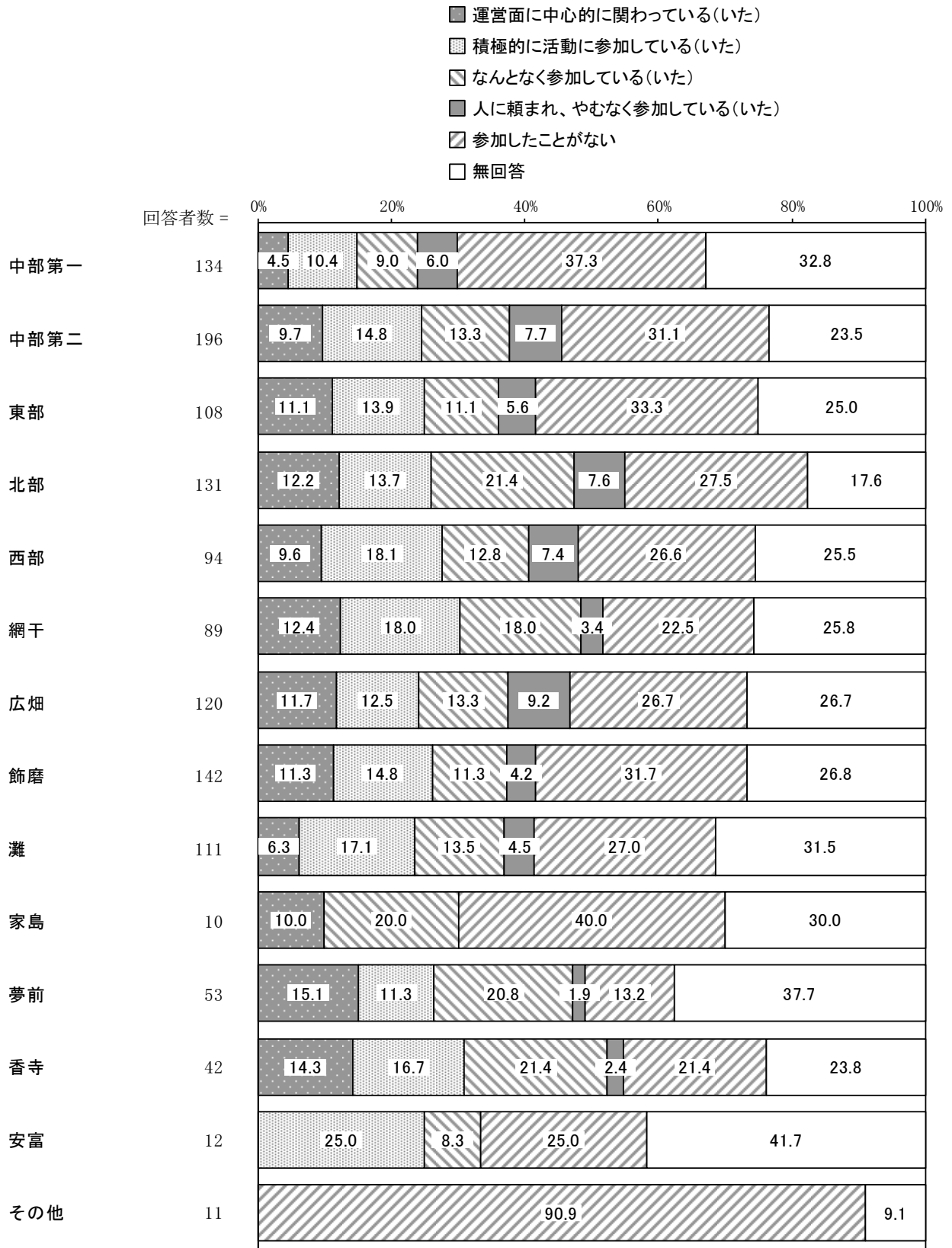
### 【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、30歳代では、男性では「参加したことがない」の割合が高いのに対し、女性では参加している人の割合が高く、女性が活動を支援していることが伺えます。



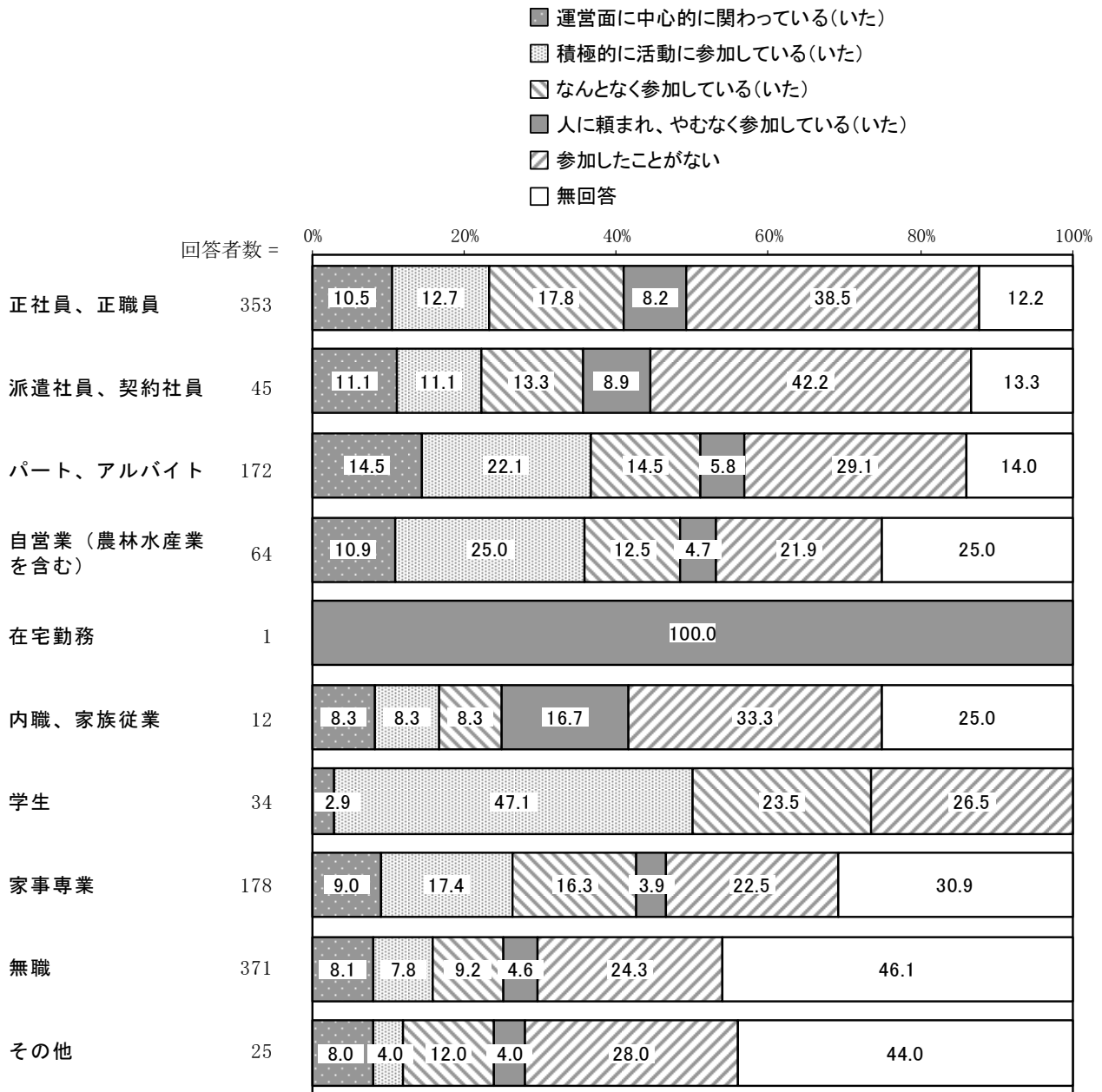
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



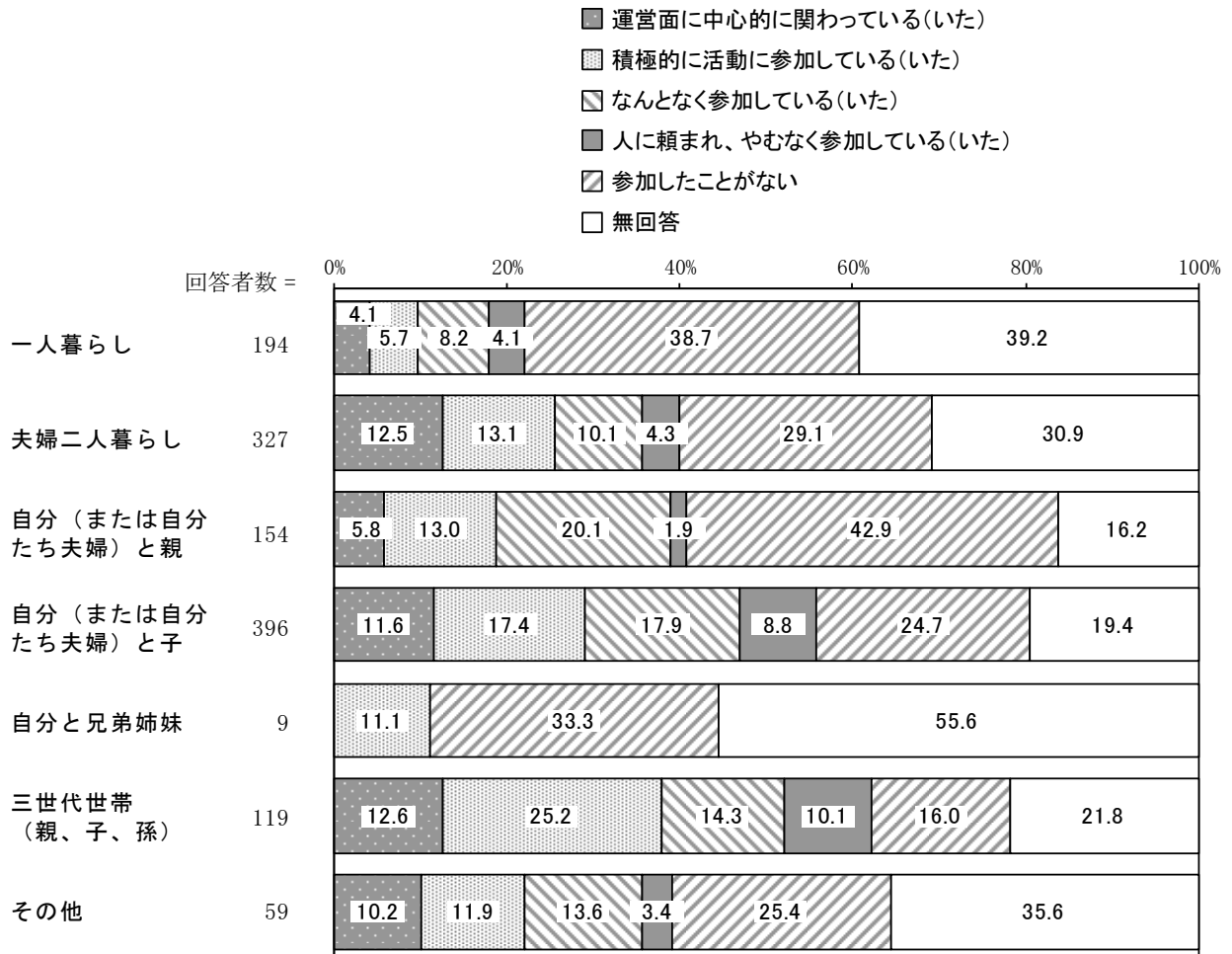
**【職業別】**

職業別でみると、他に比べ、正社員、正職員、派遣社員、契約社員で「参加したことがない」の割合が高くなっています。一方、パート、アルバイト、家事専業で参加している人の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

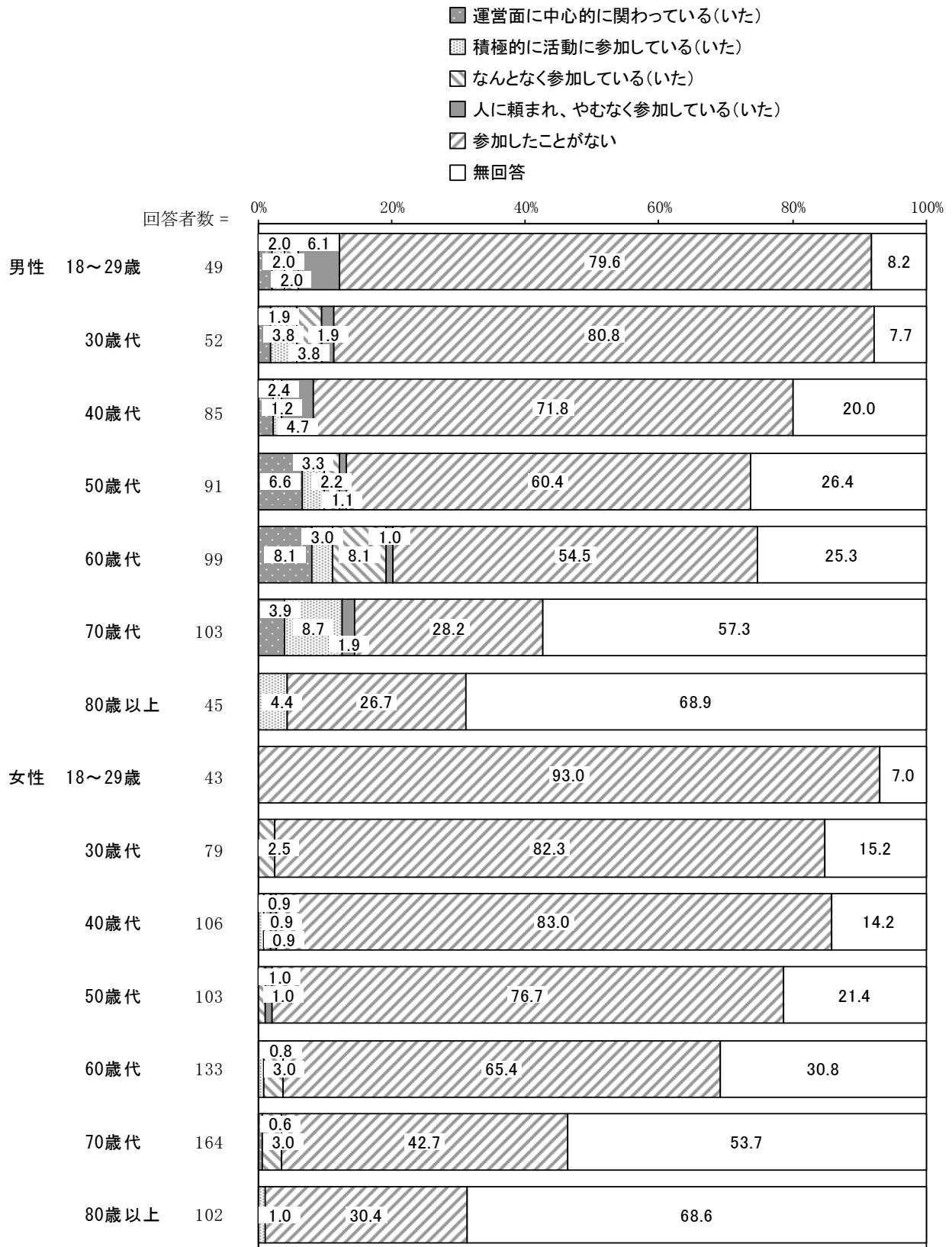




⑦消防団

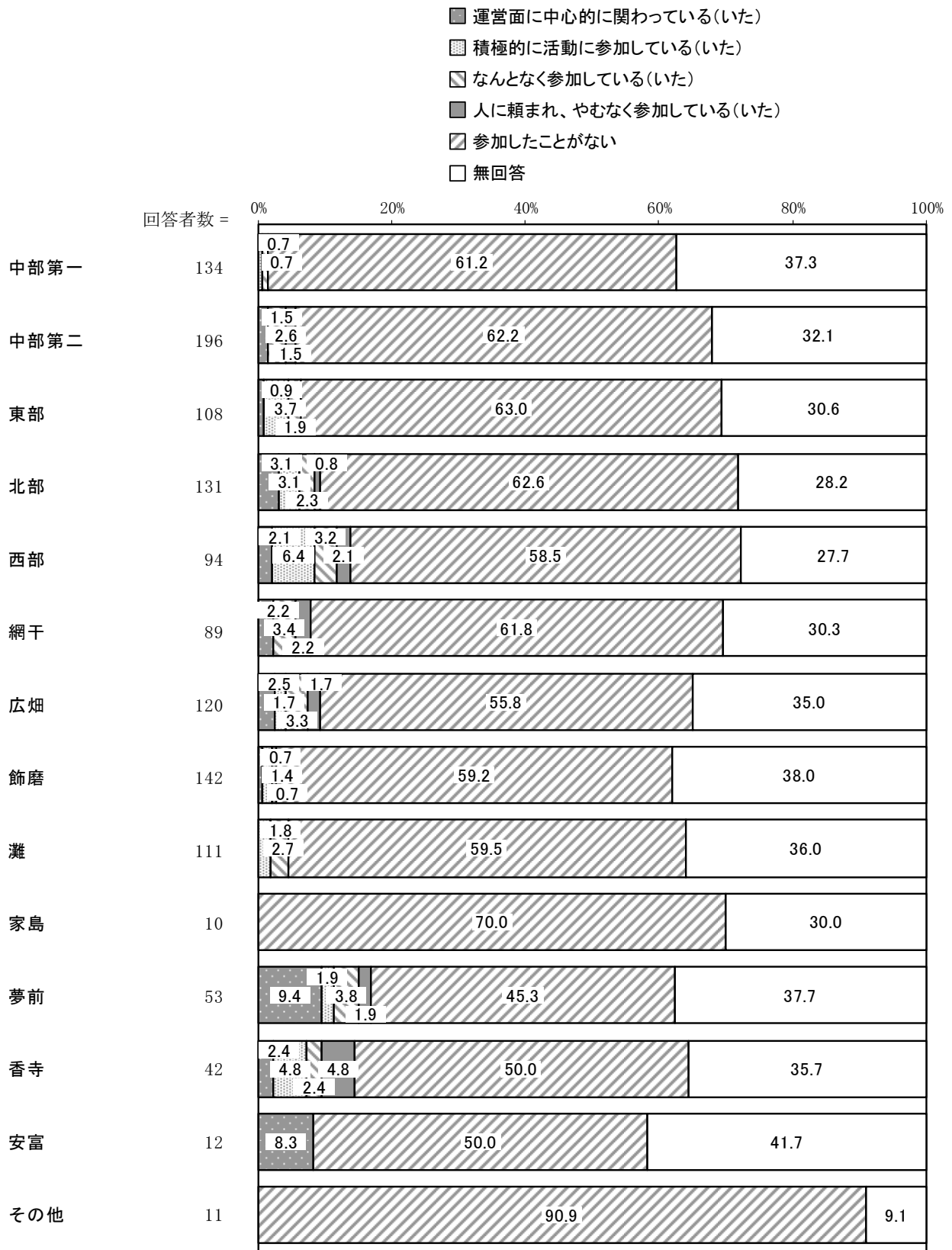
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



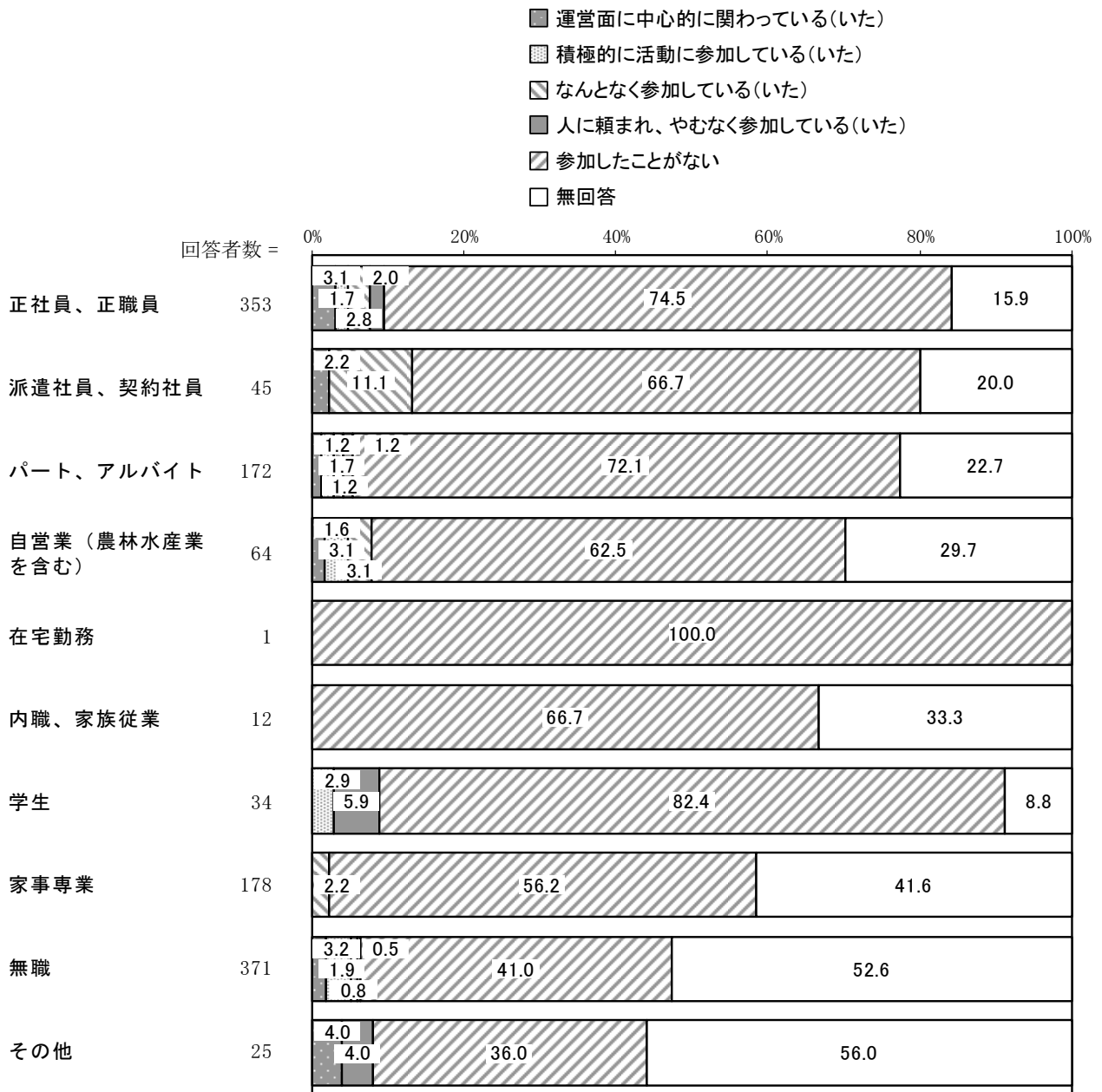
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



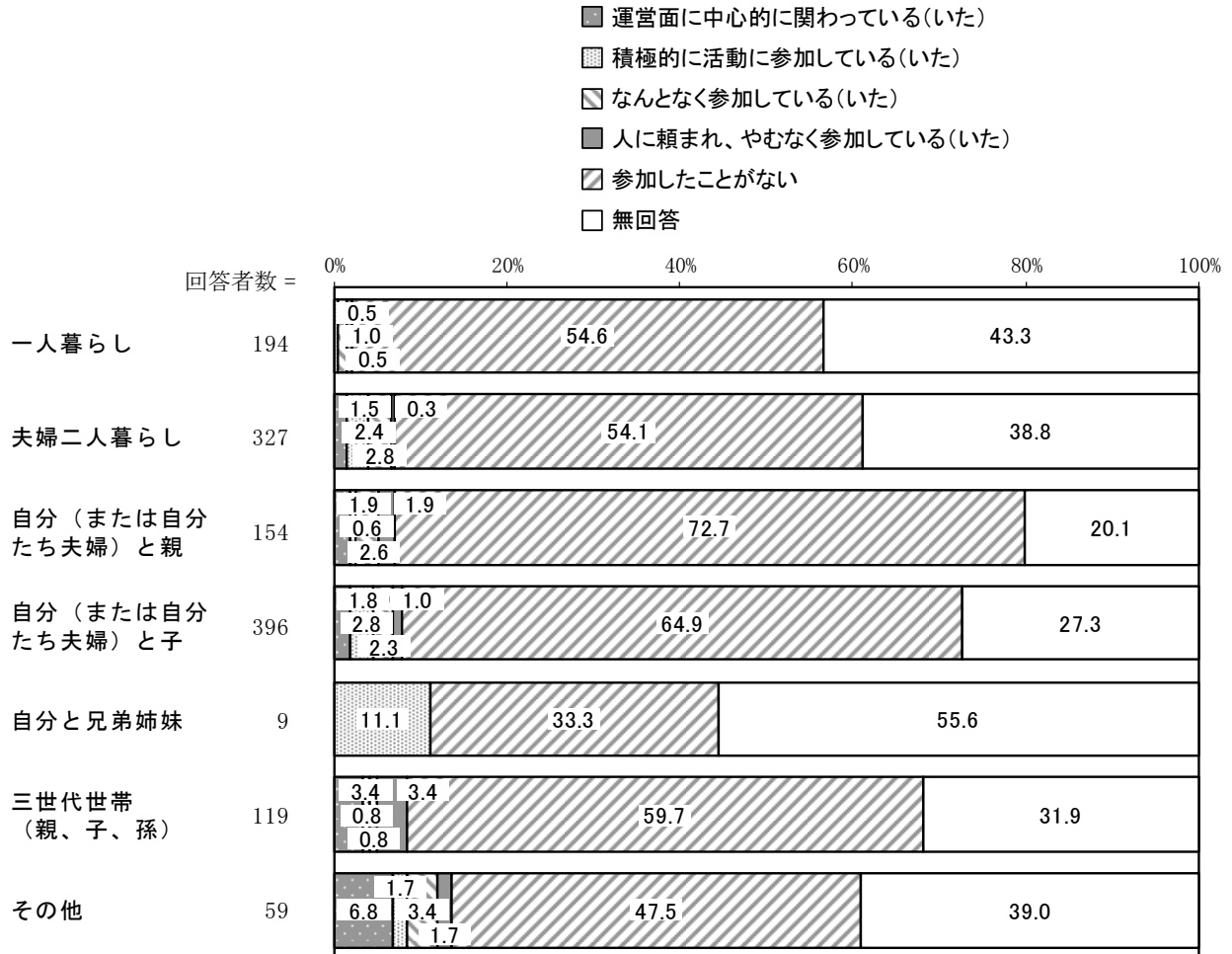
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

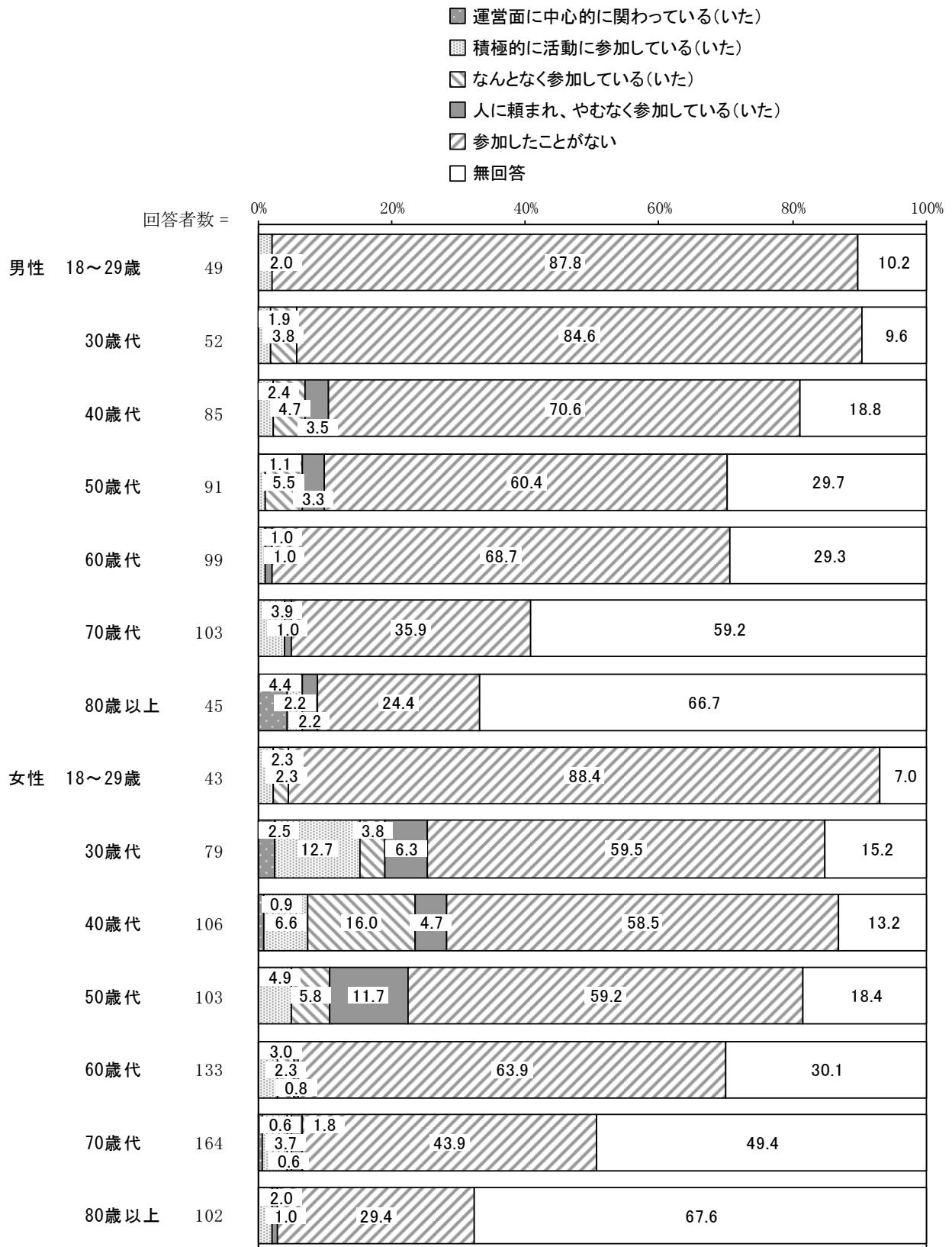
家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



⑧スクールヘルパー

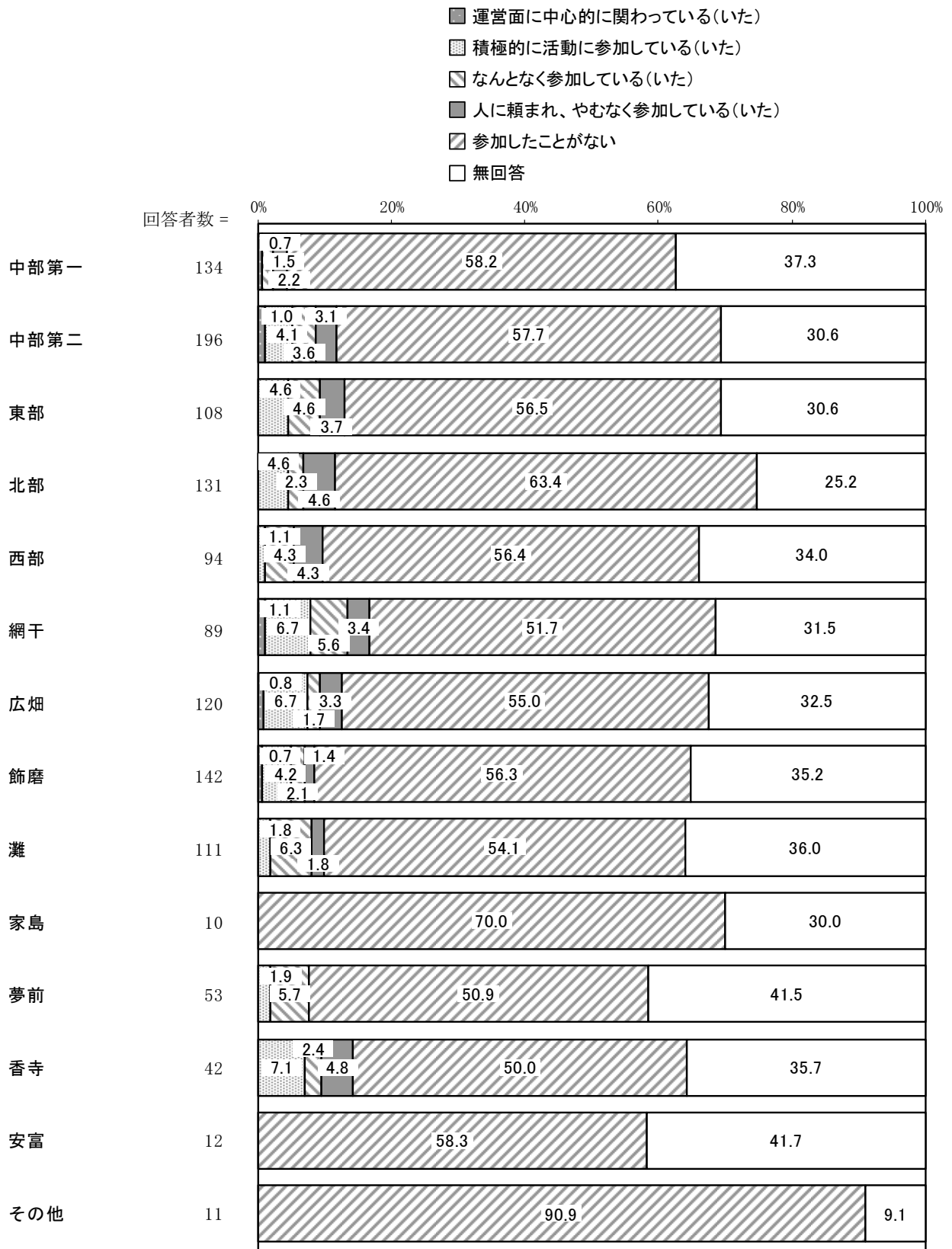
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。また、参加している人の割合は、子育て世代である30歳代から40歳代の女性で高く、子育て中の女性が担っていることが伺えます。



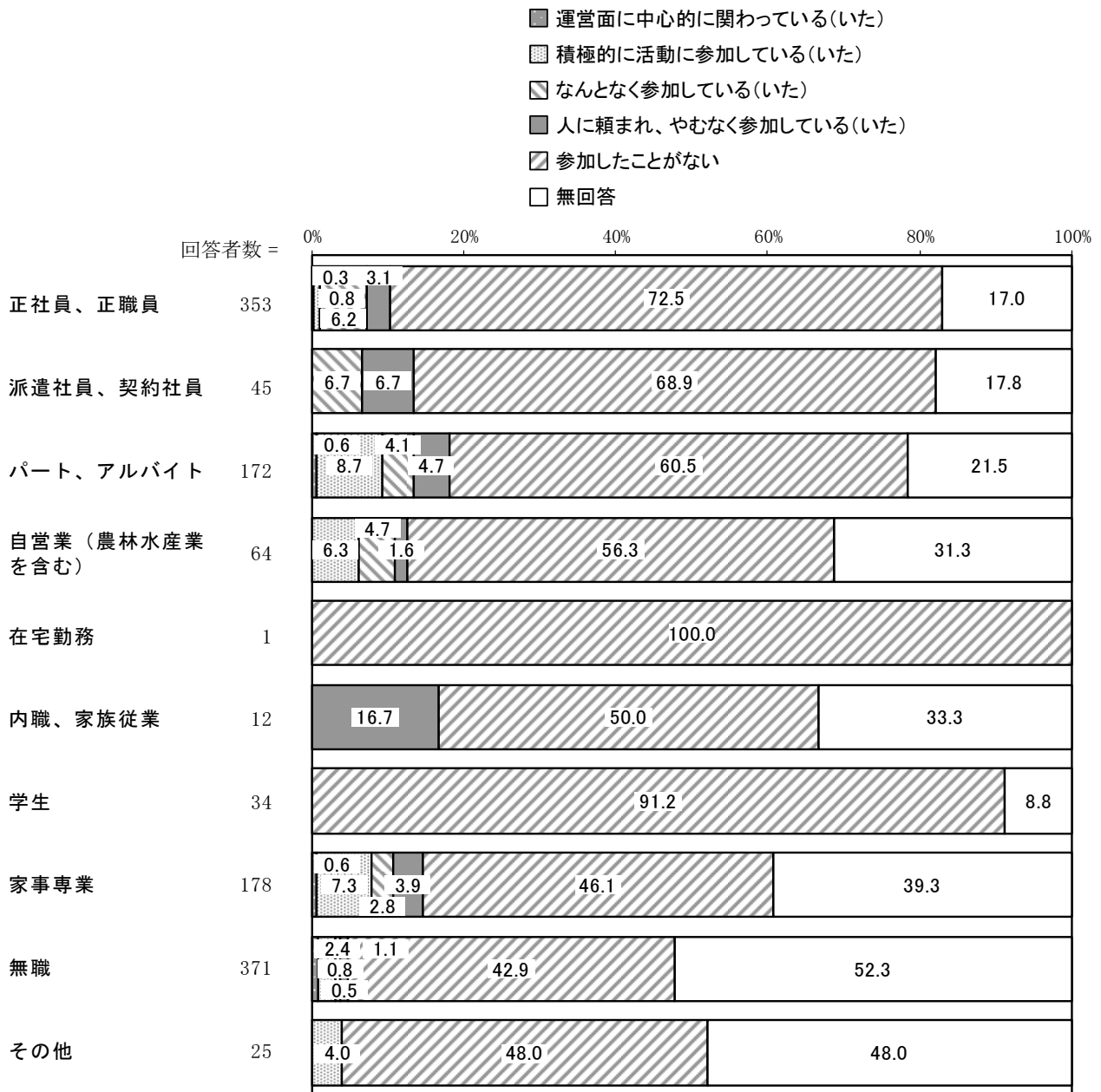
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



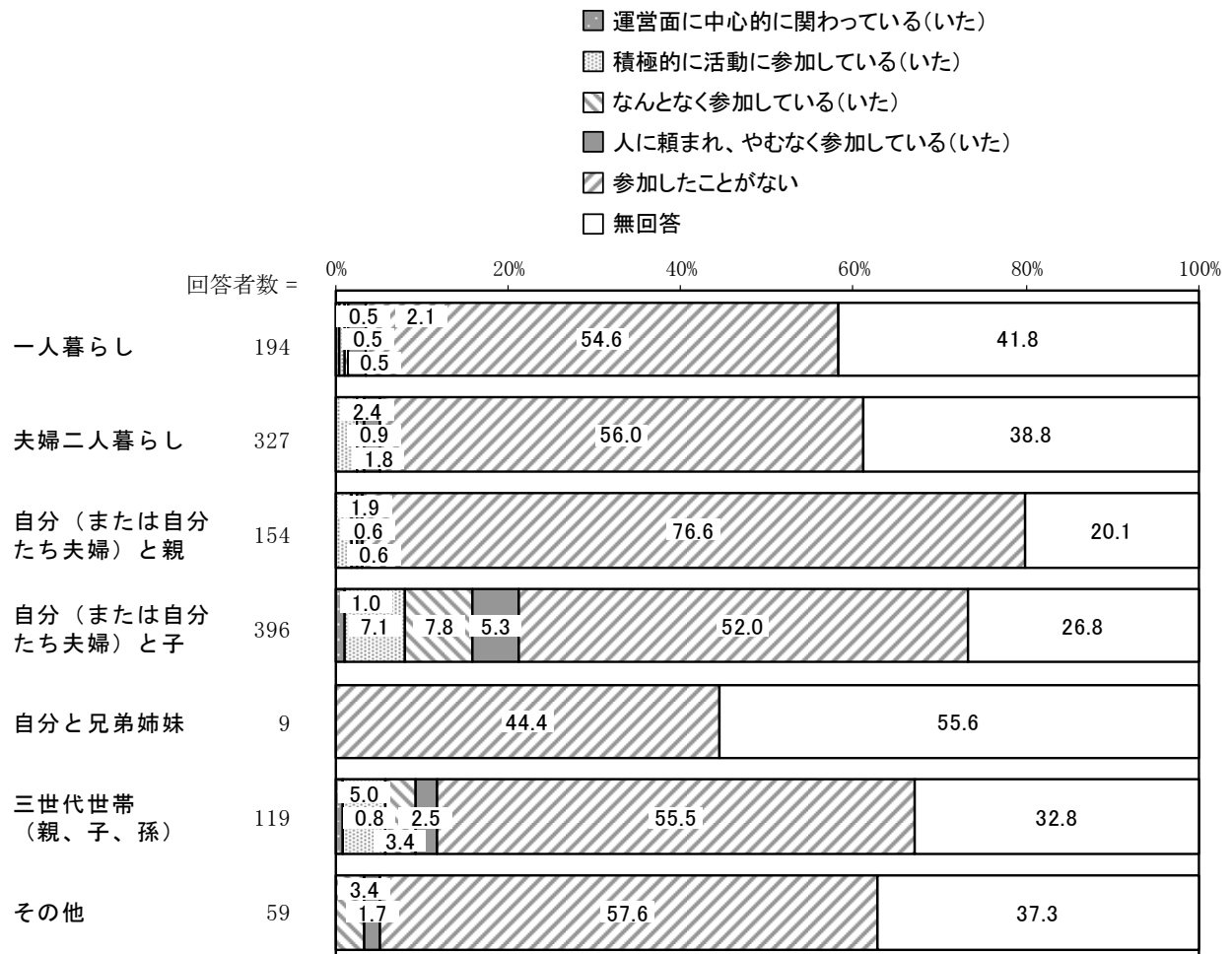
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

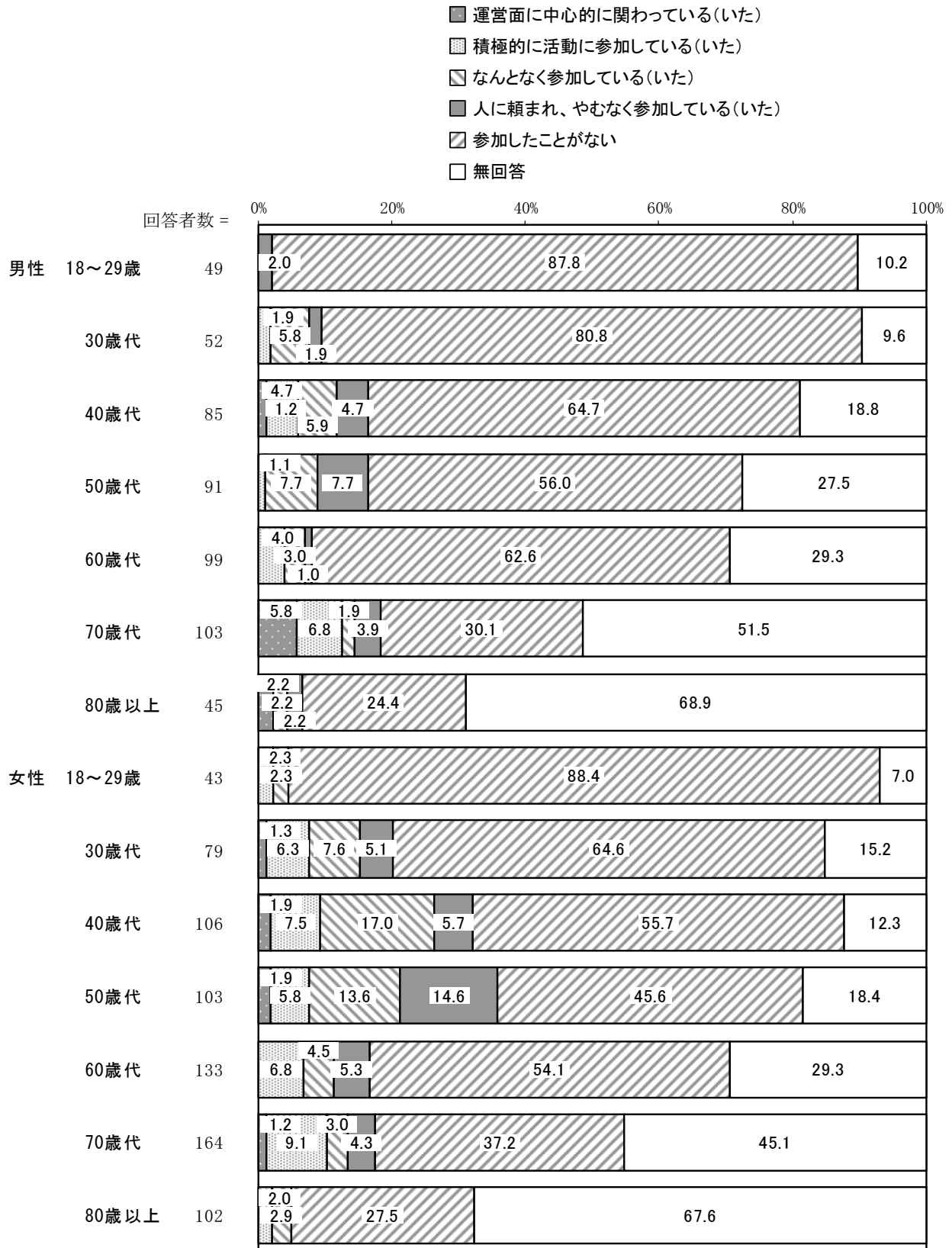




⑨登下校時の見守り

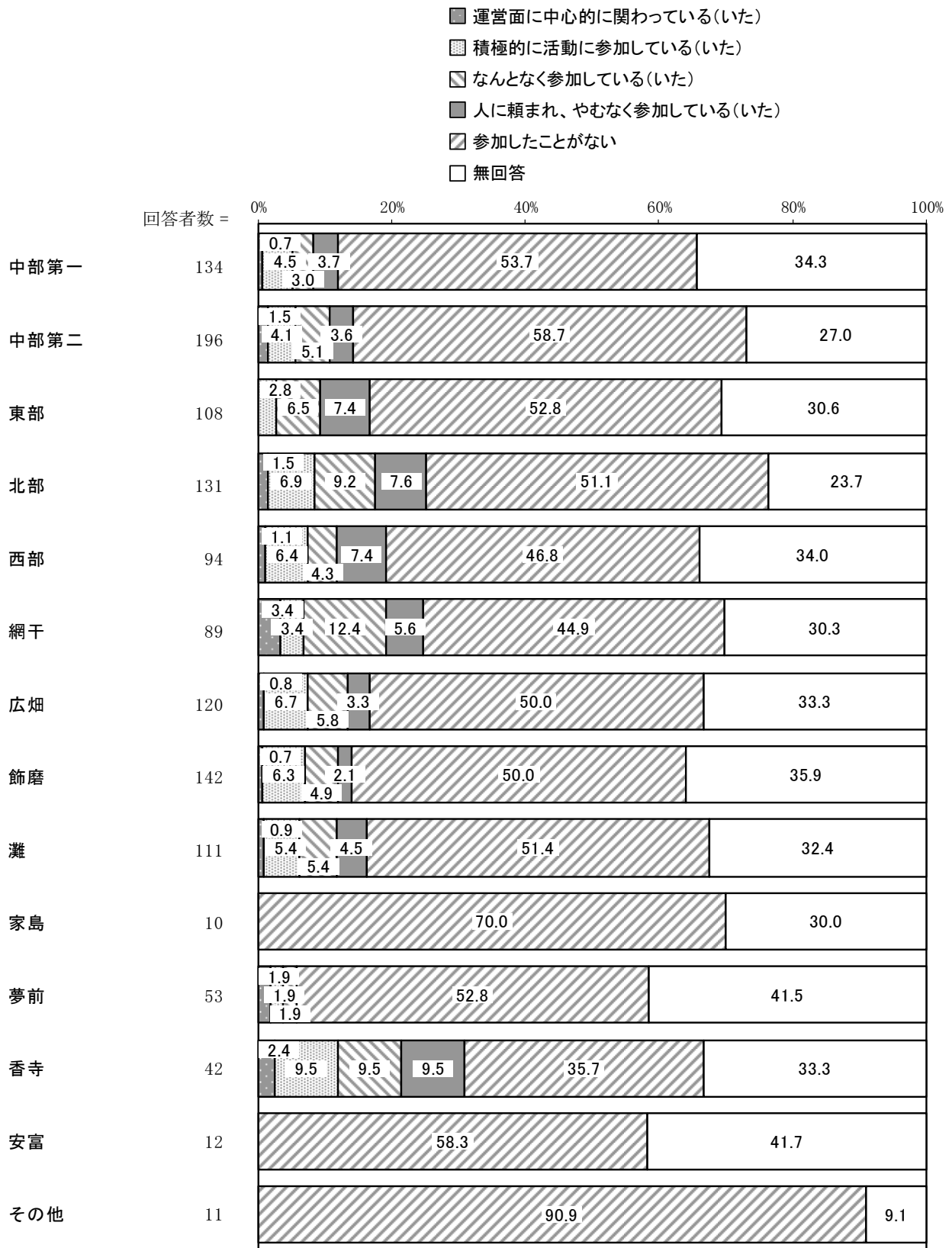
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男女ともに18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。また、参加している人の割合は、女性の40歳代、50歳代で高く、子育て中の女性が担っている（いた）ことが伺えます。



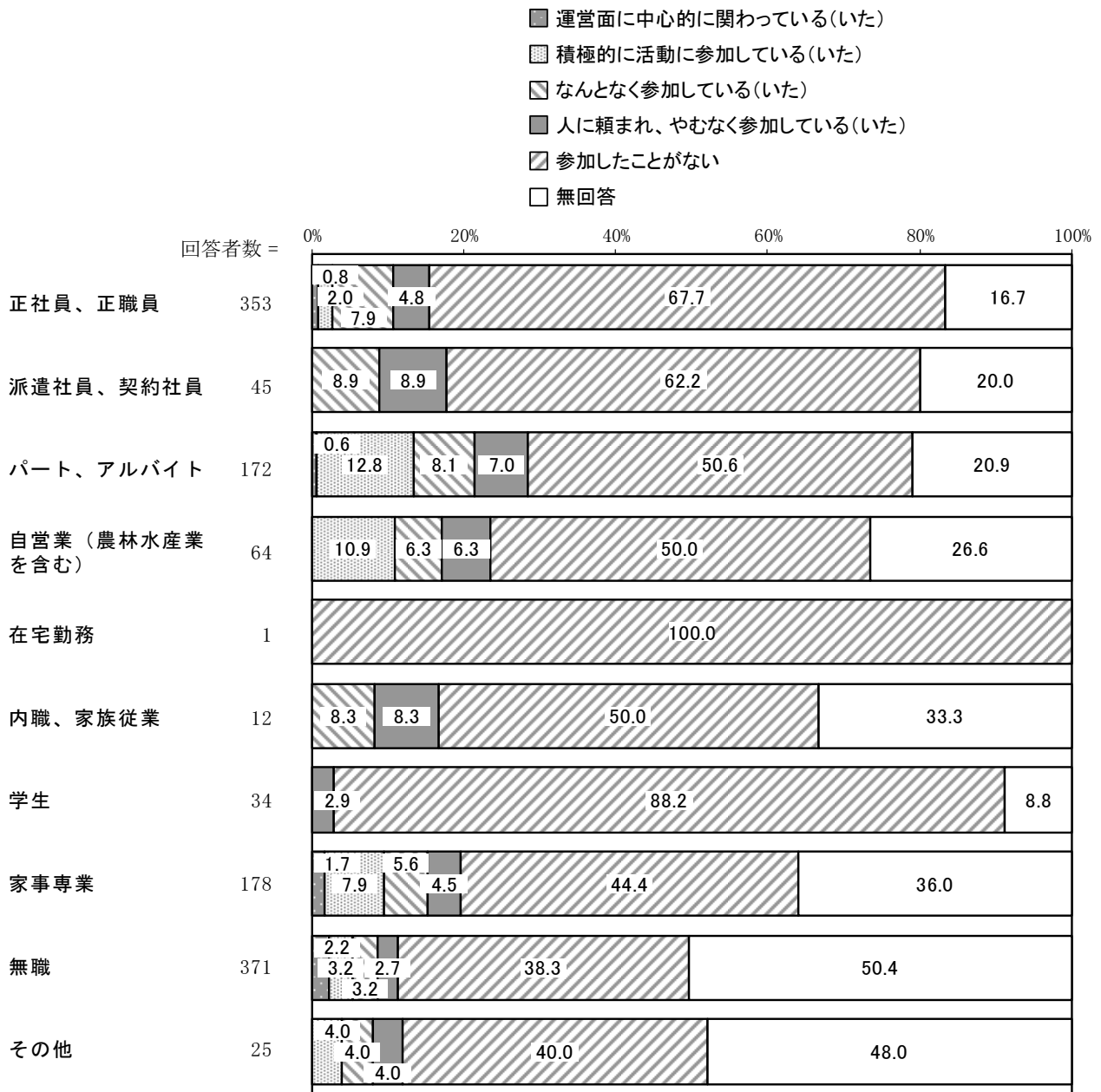
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



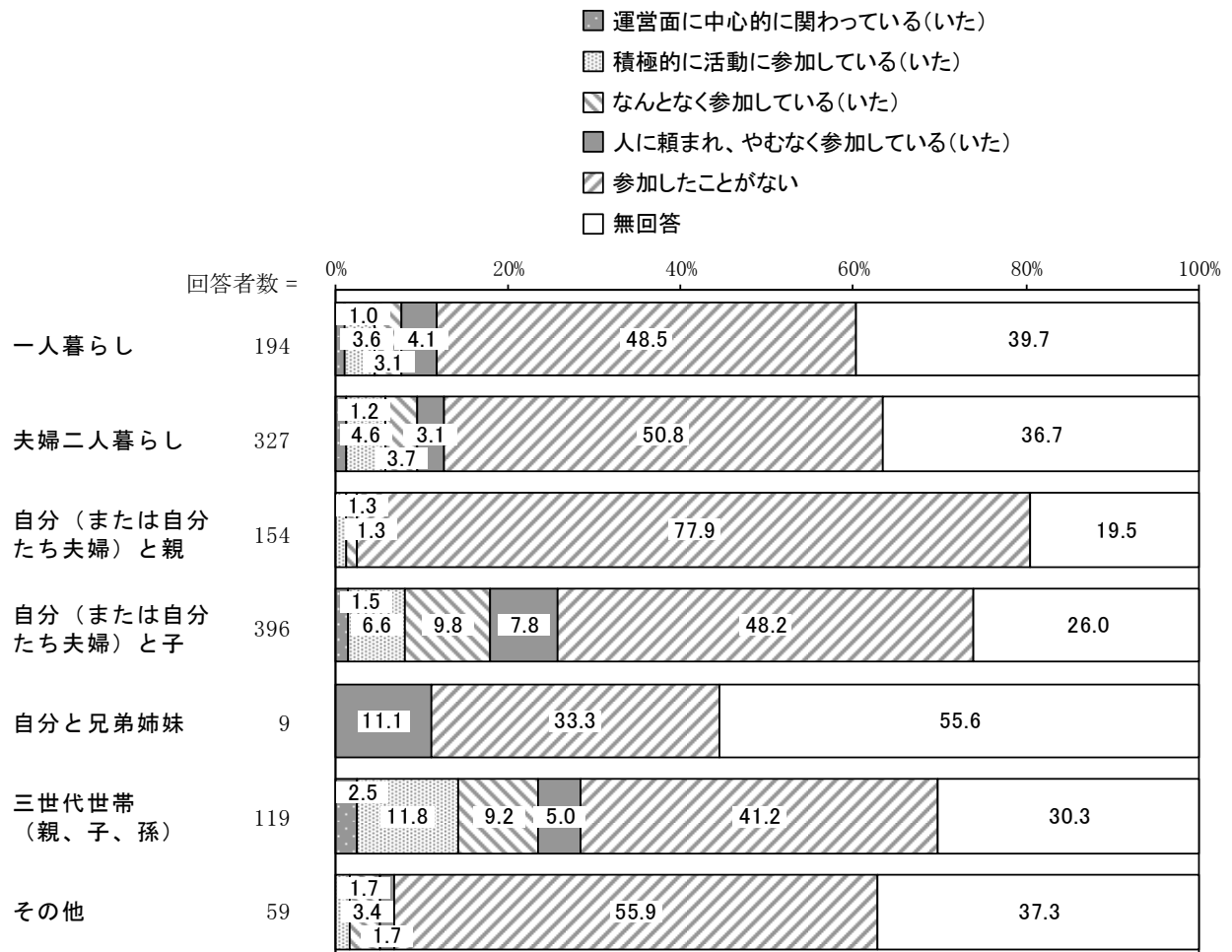
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

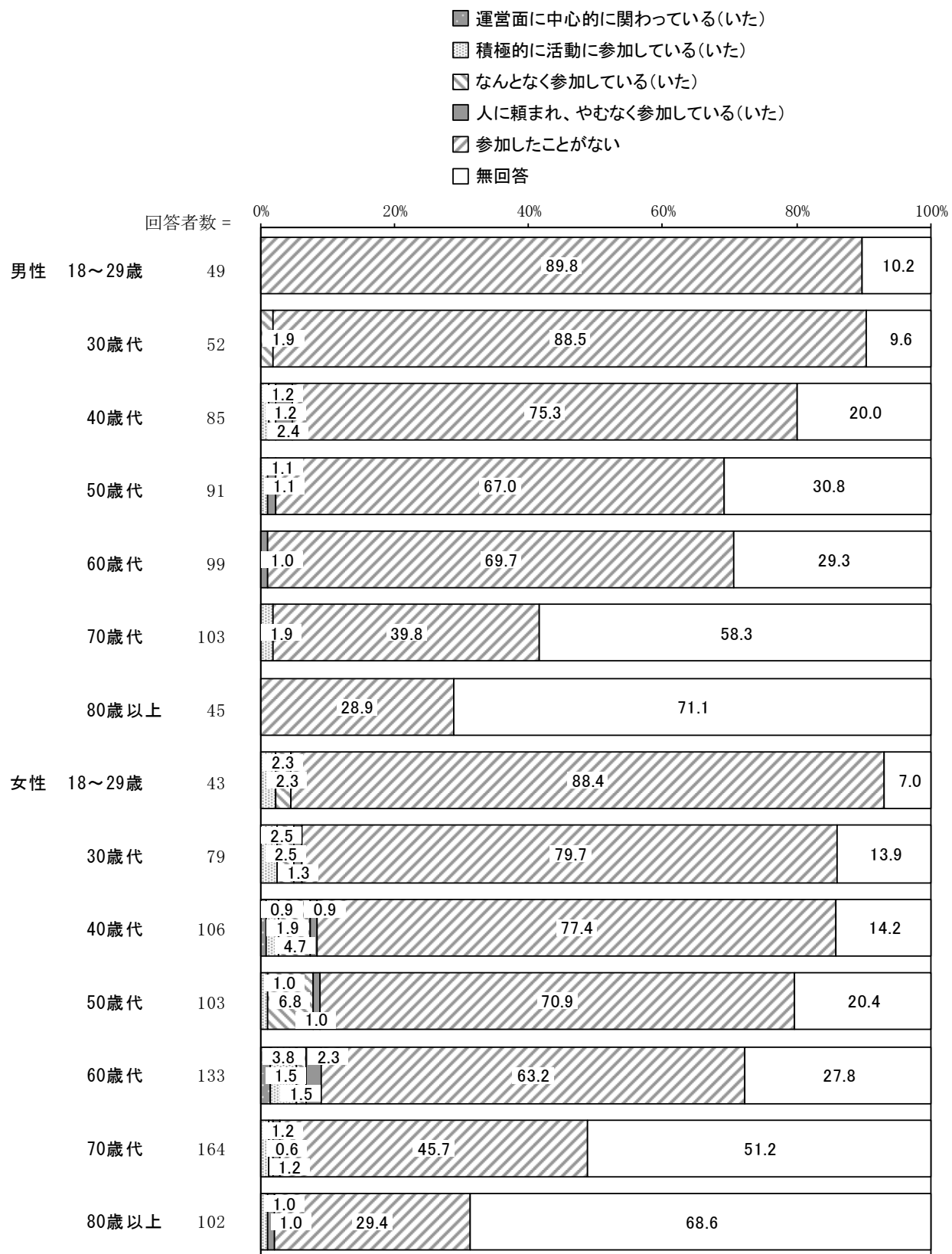
家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



⑩子育てに関するボランティア

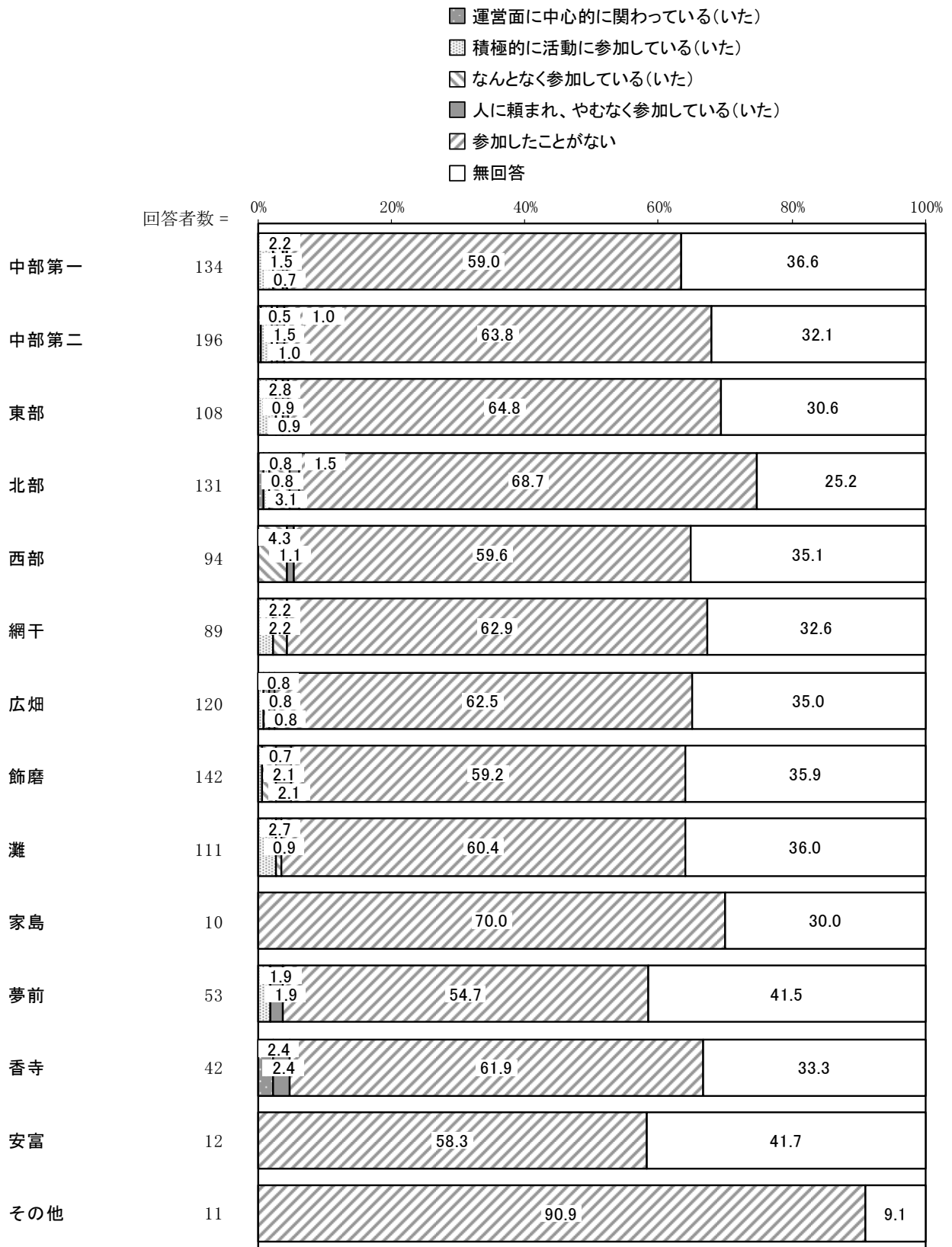
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



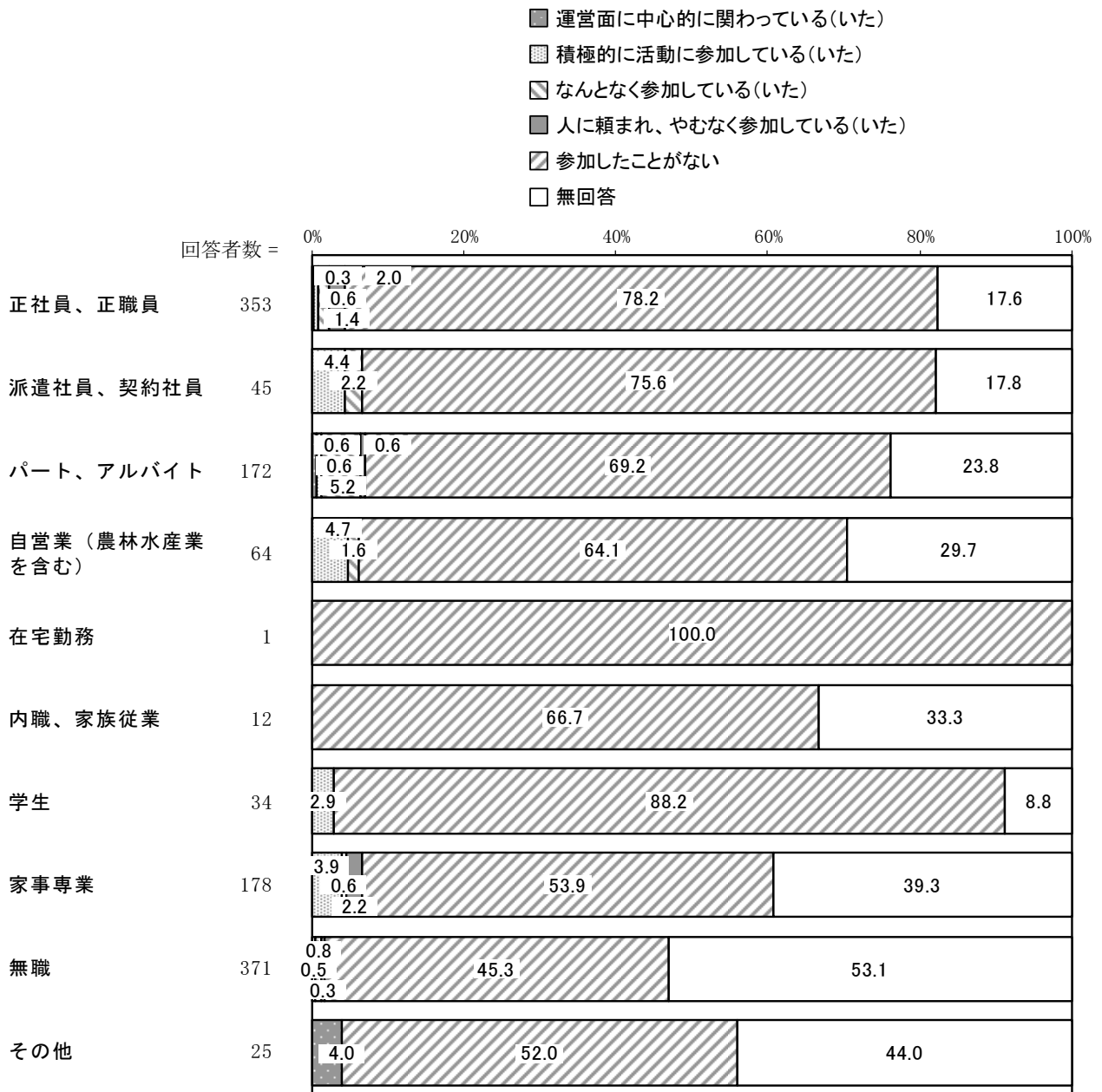
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、北部、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



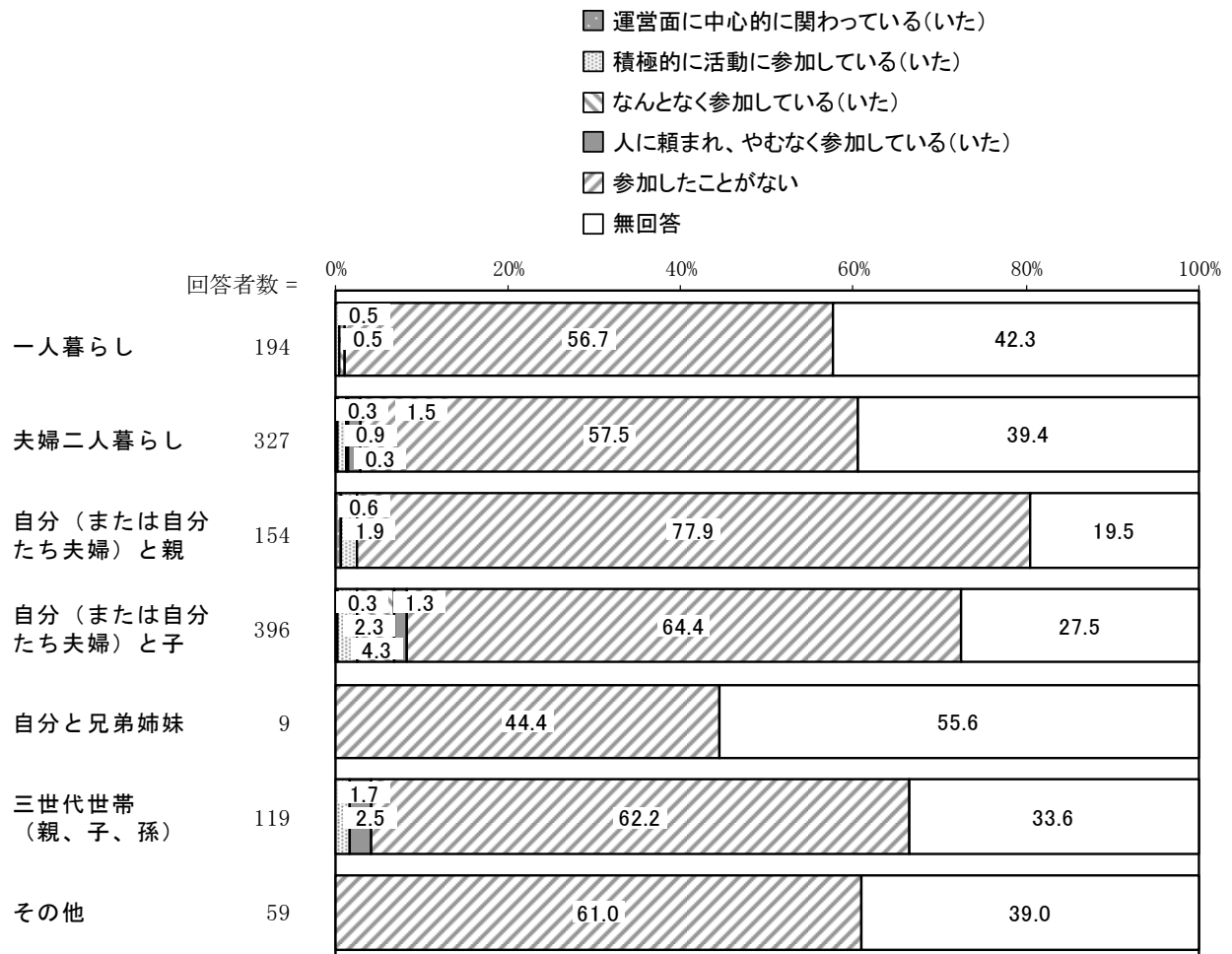
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

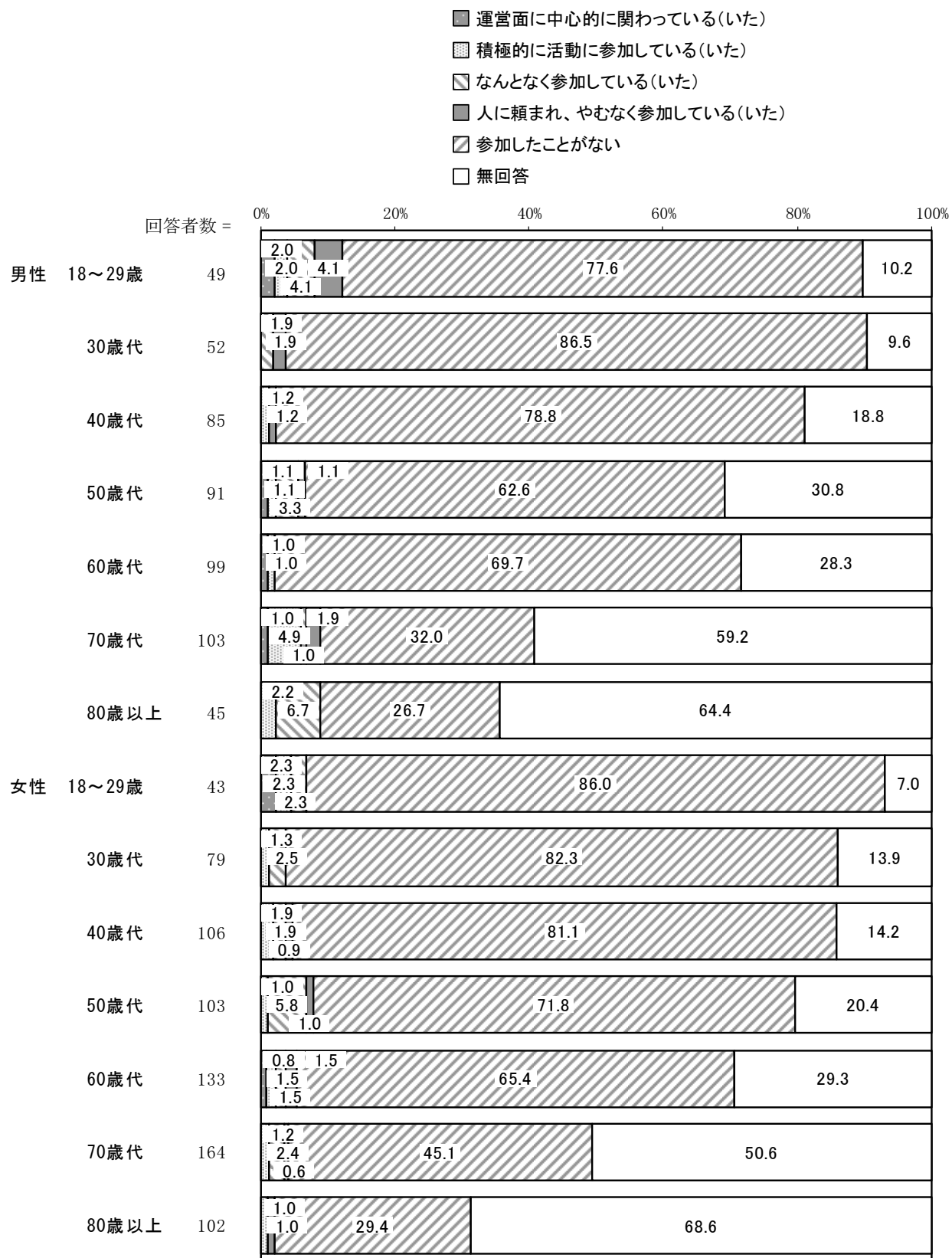




### ⑪障害のある人に関するボランティア

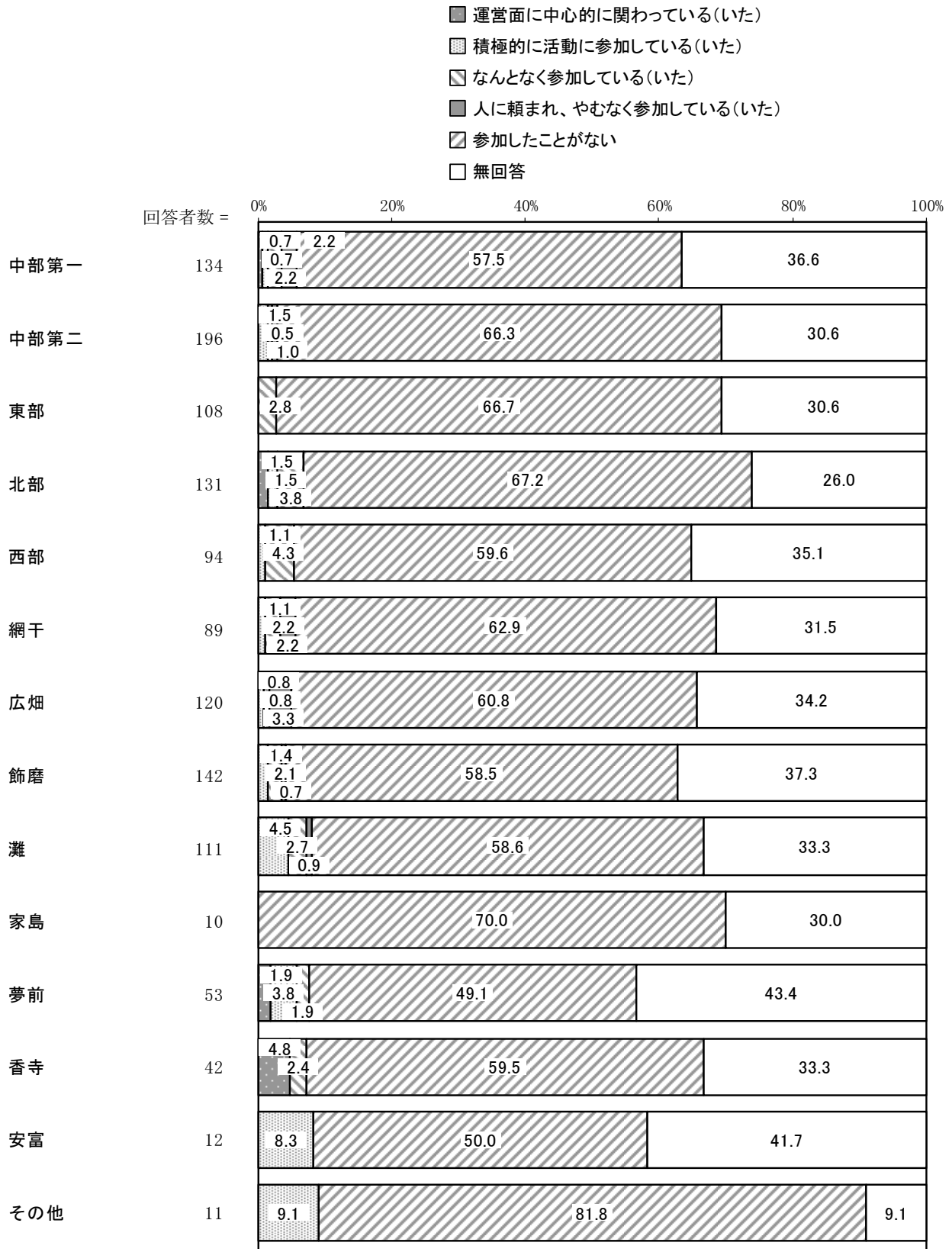
#### 【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



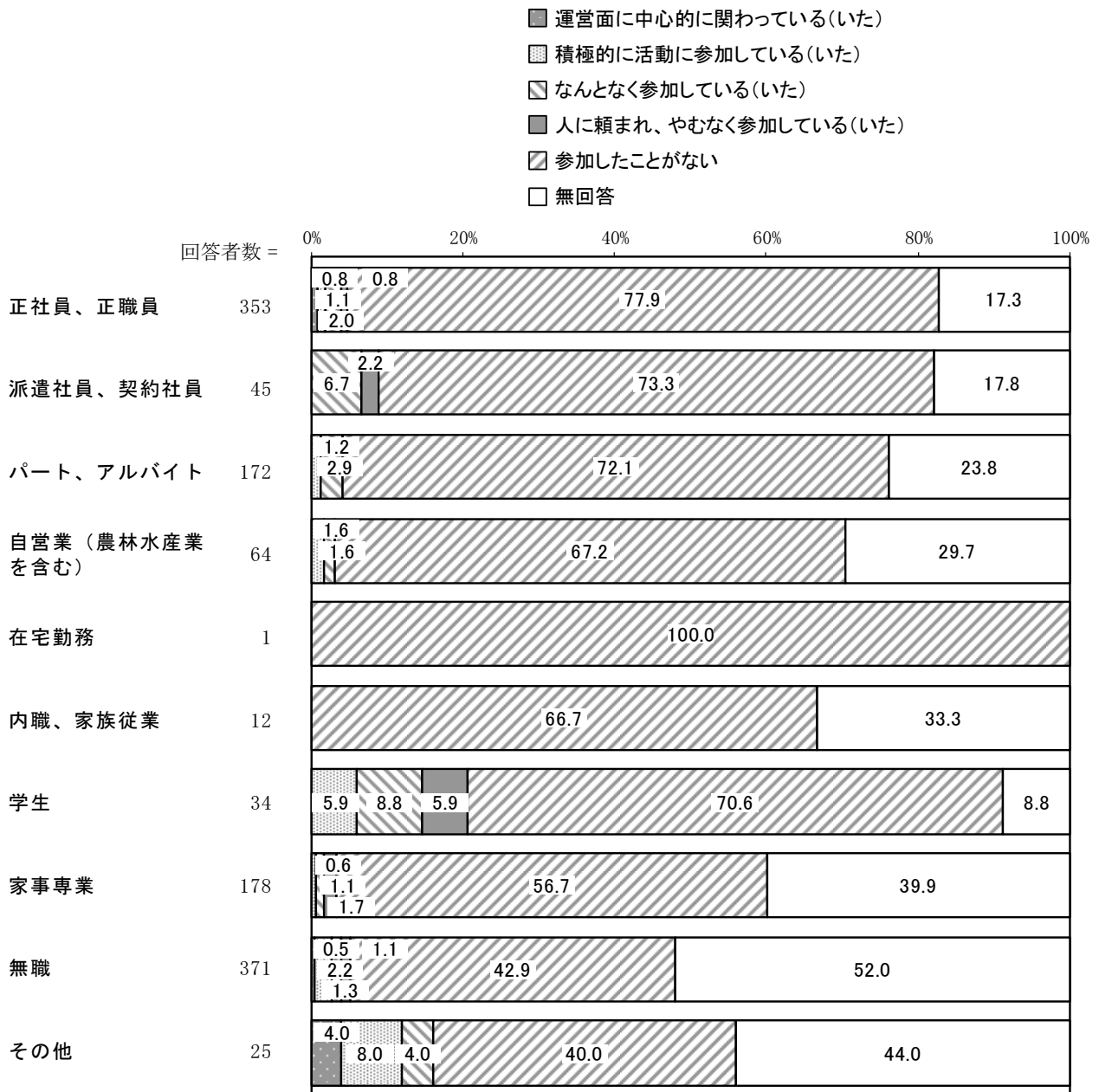
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



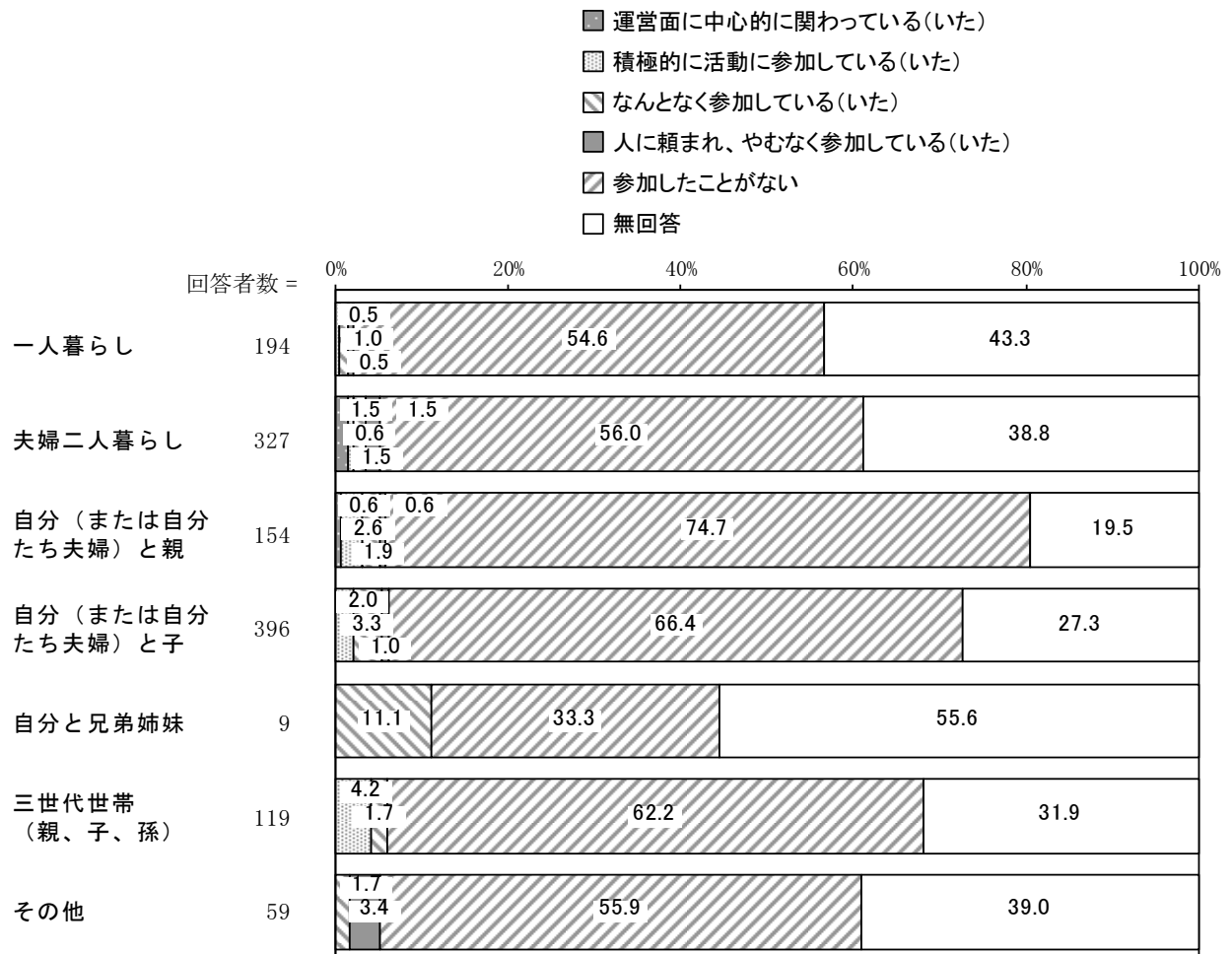
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、正社員、正職員で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

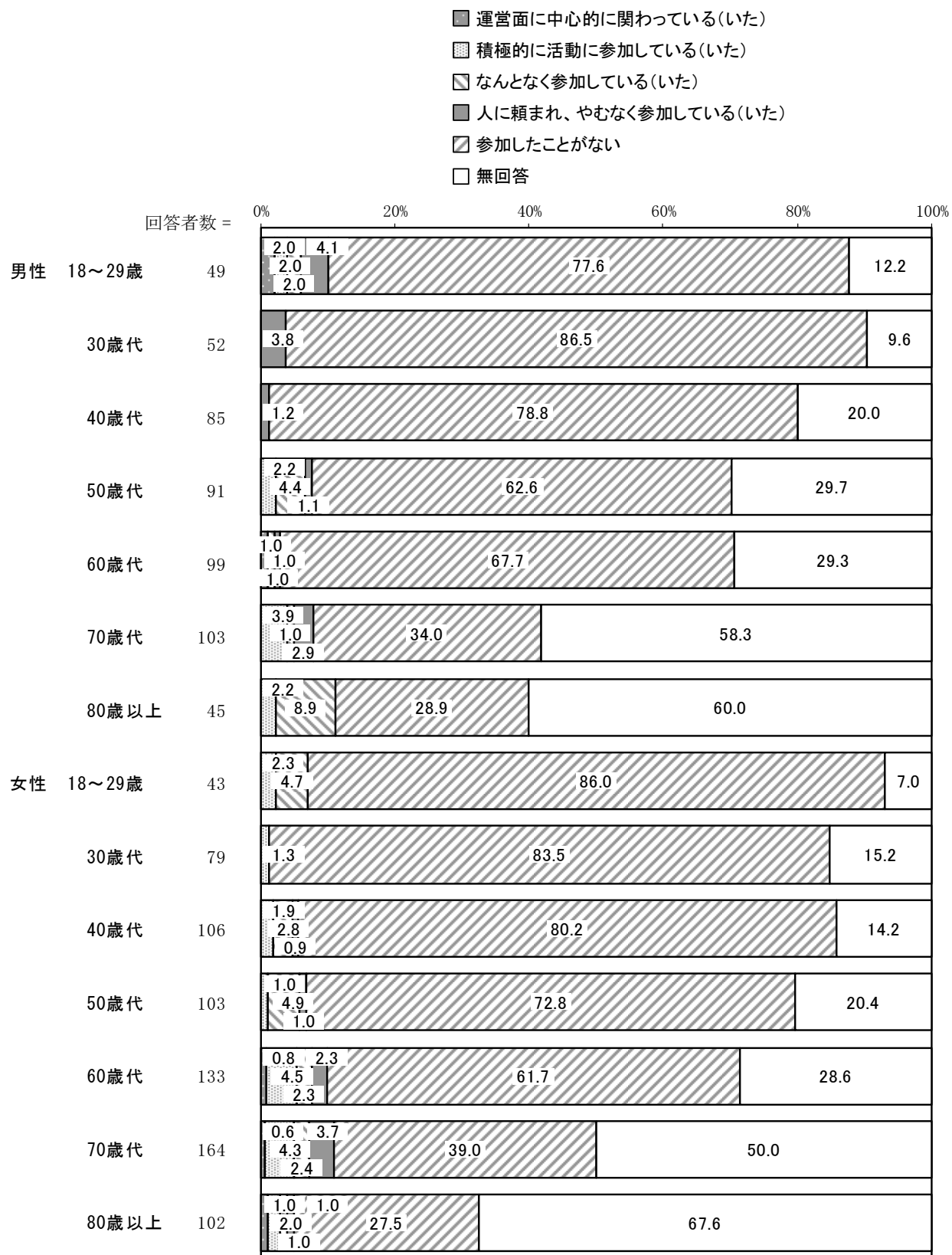
家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



⑫高齢者に関するボランティア

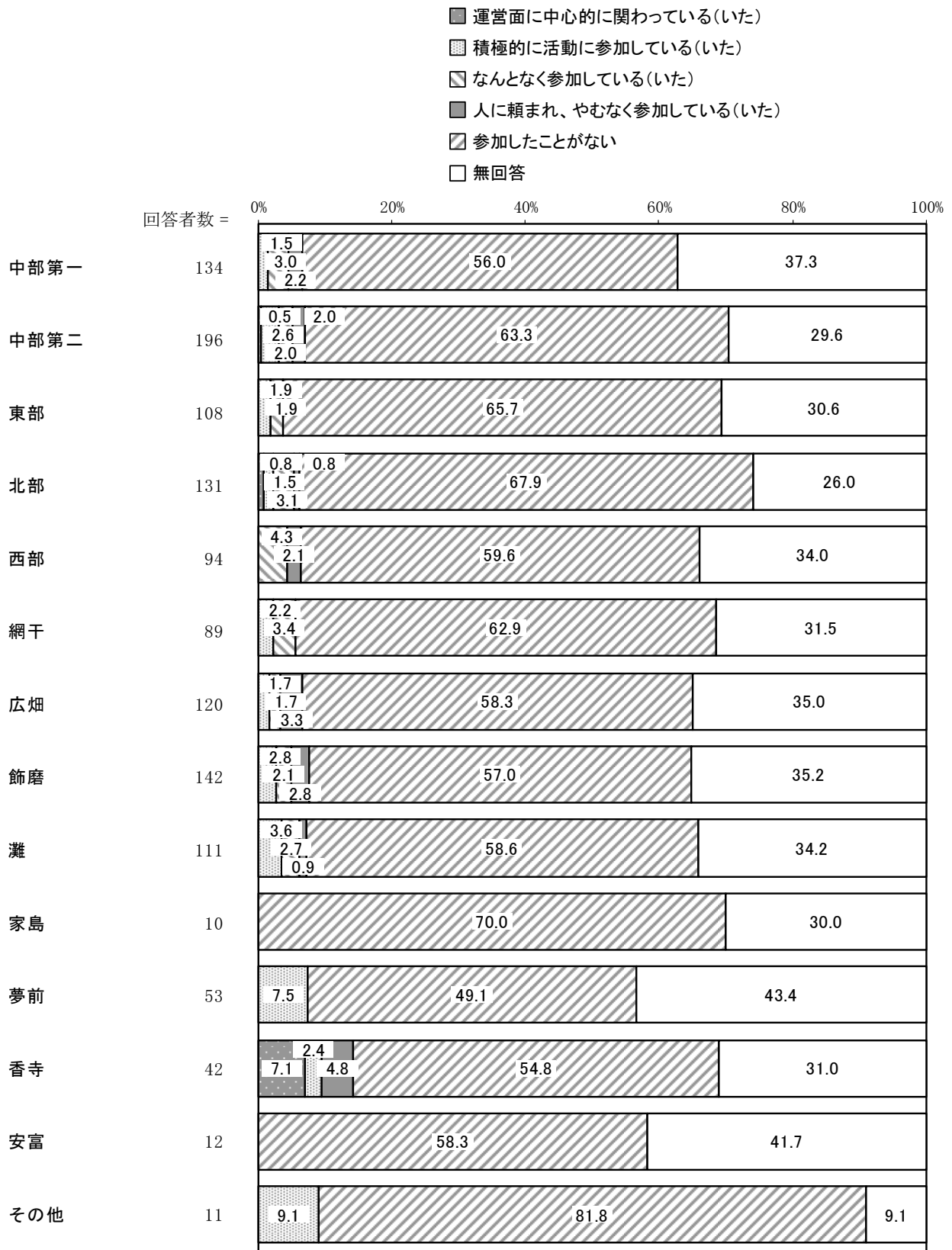
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



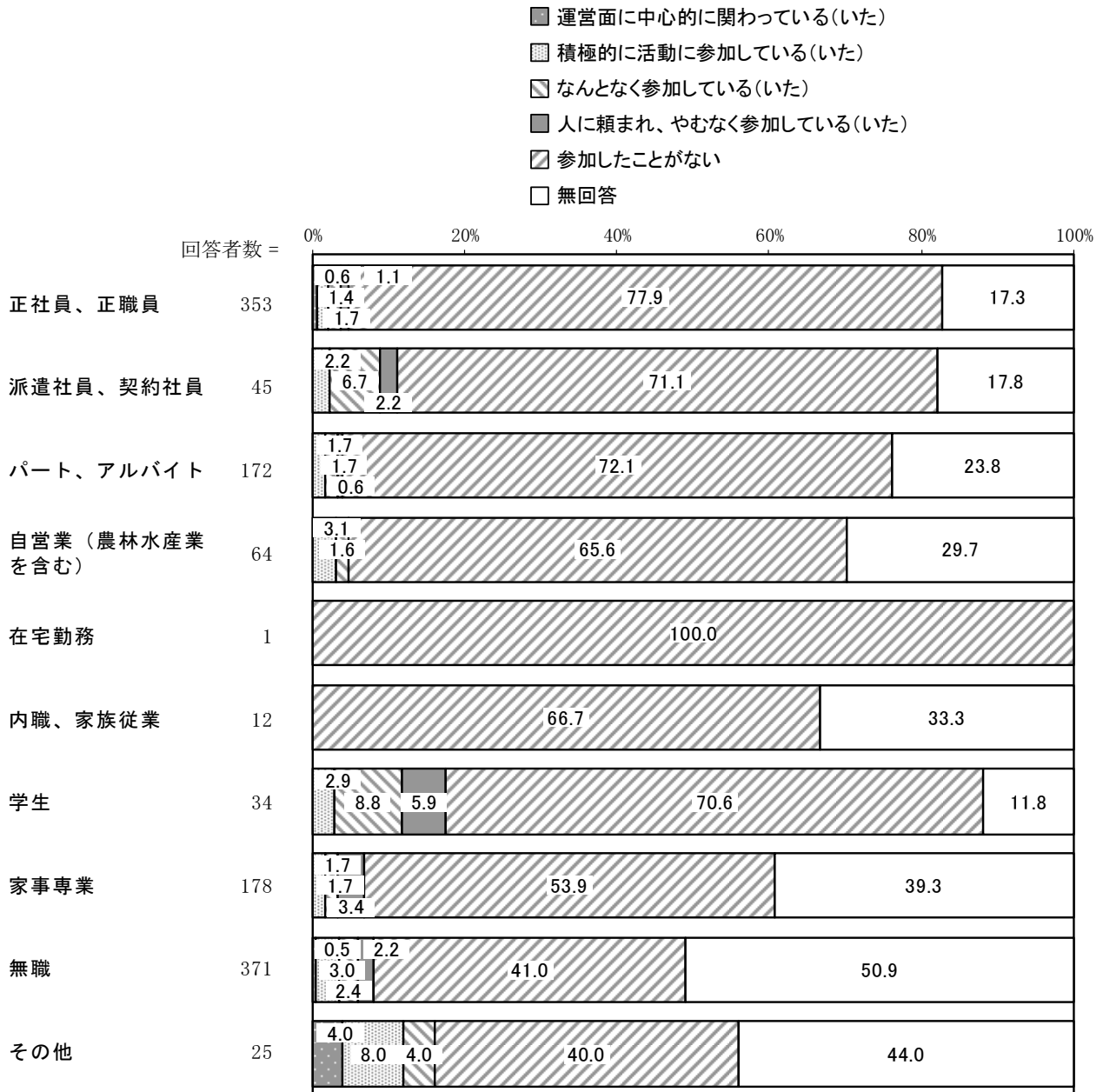
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



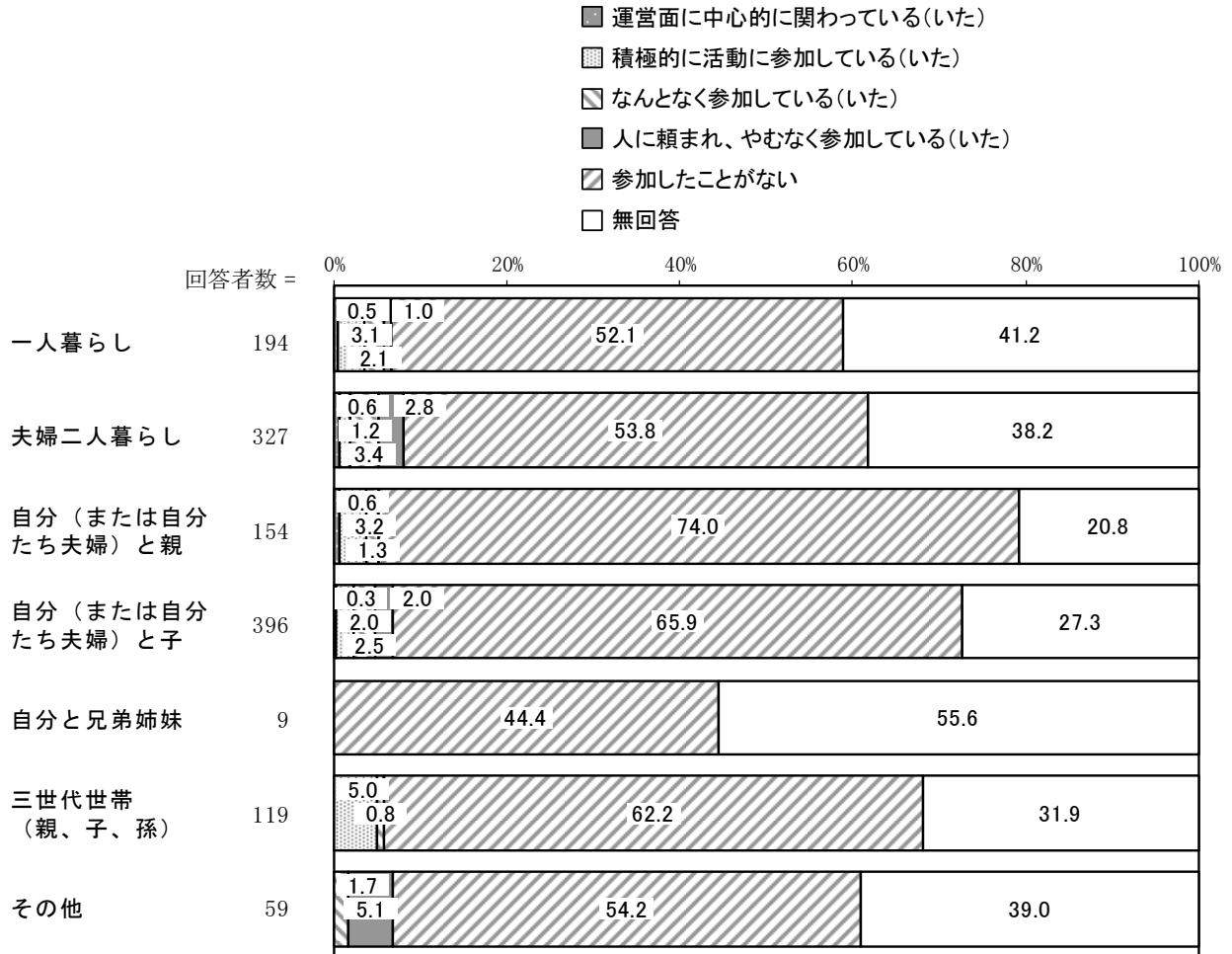
**【職業別】**

職業別でみると、他に比べ、正社員、正職員で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



**【家族構成別】**

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

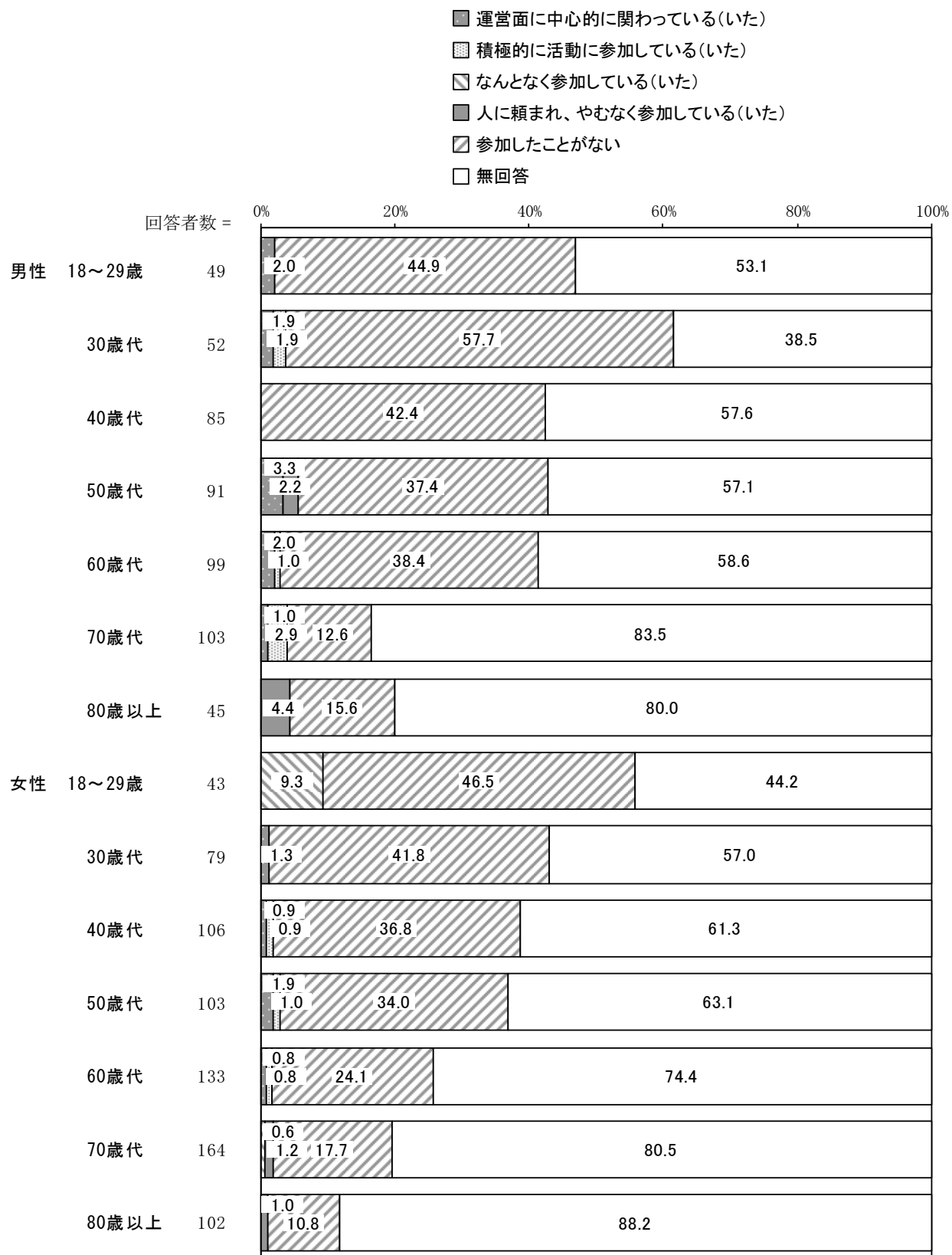




⑬その他

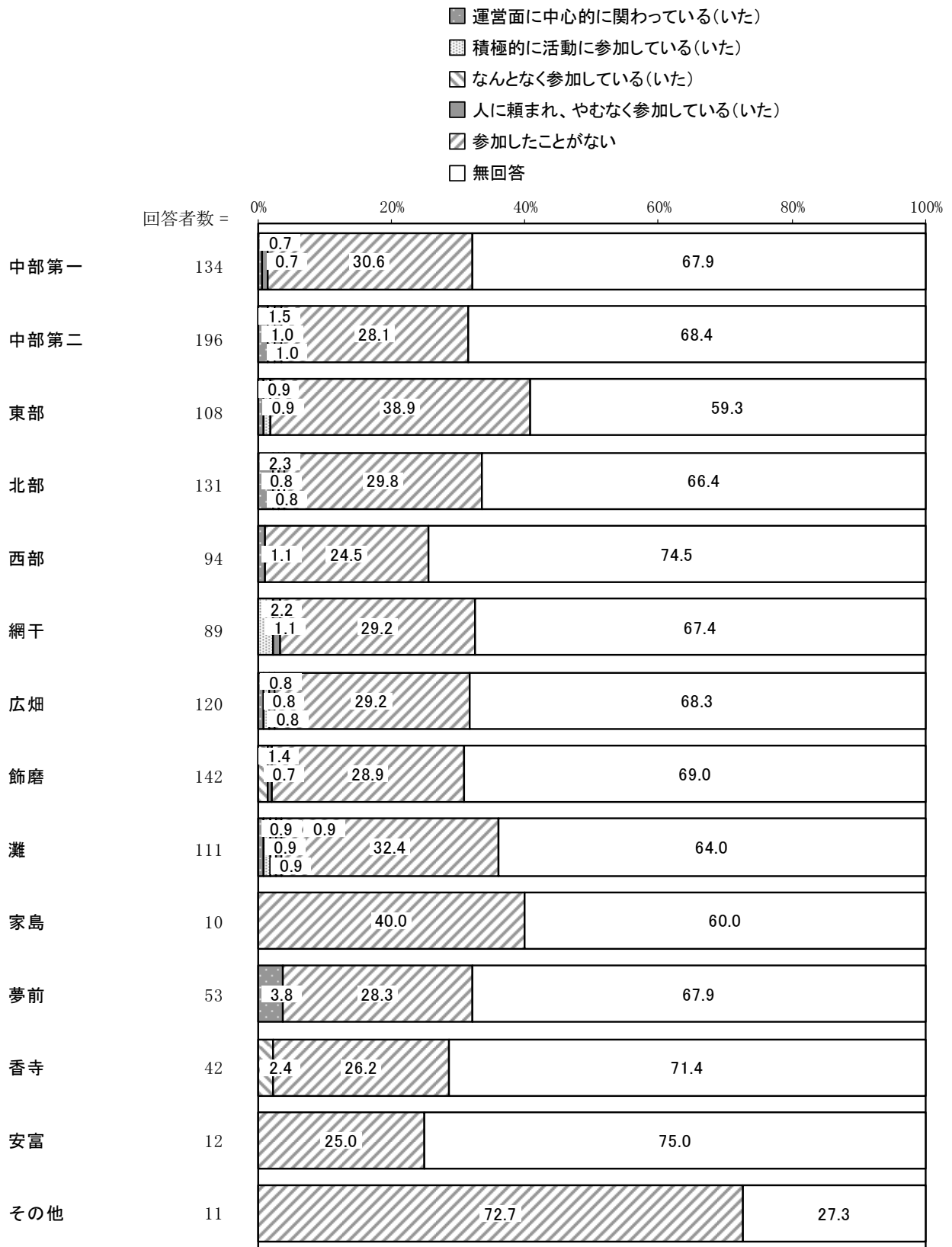
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代、女性の18～29歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



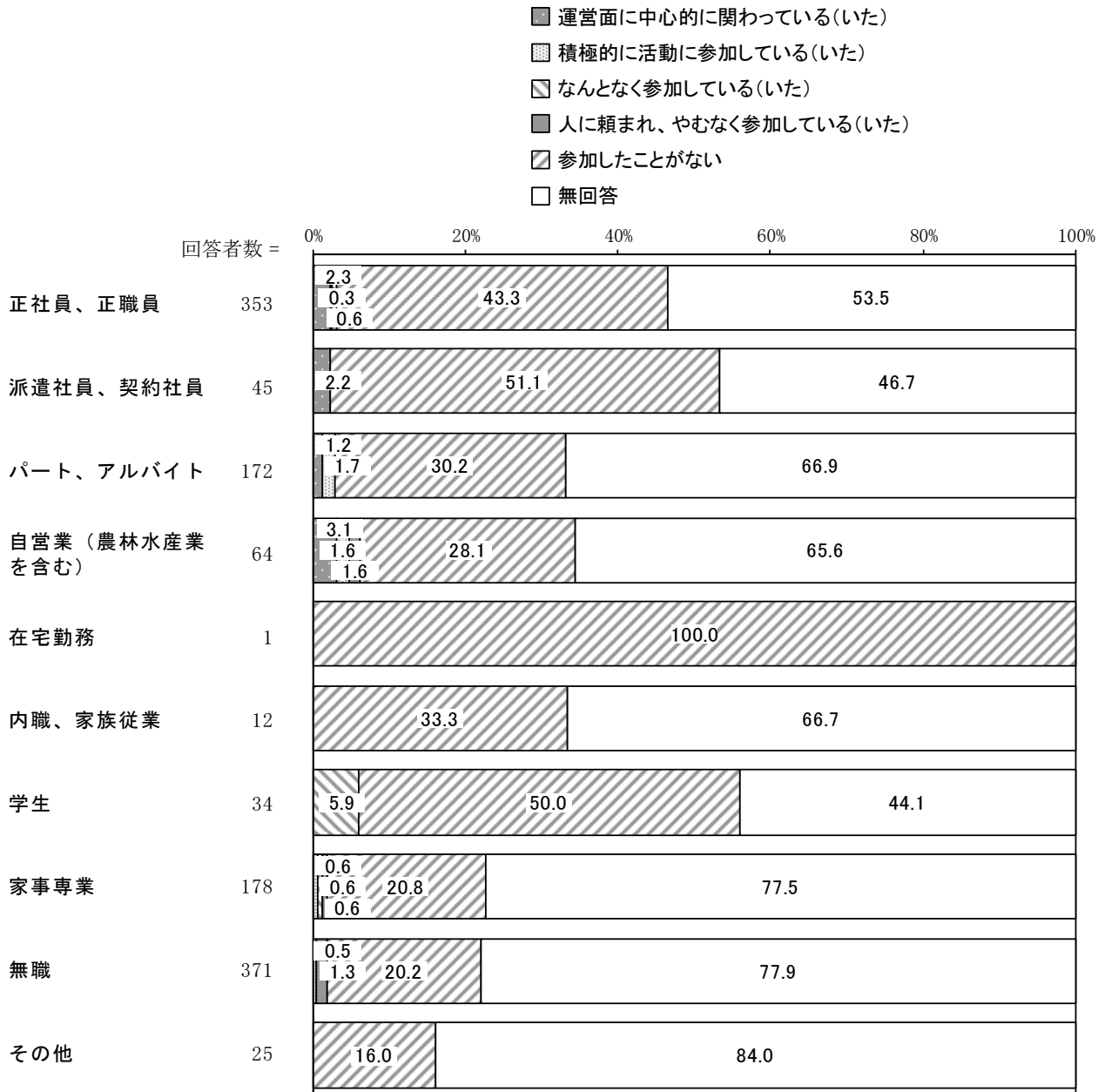
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、東部、家島で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



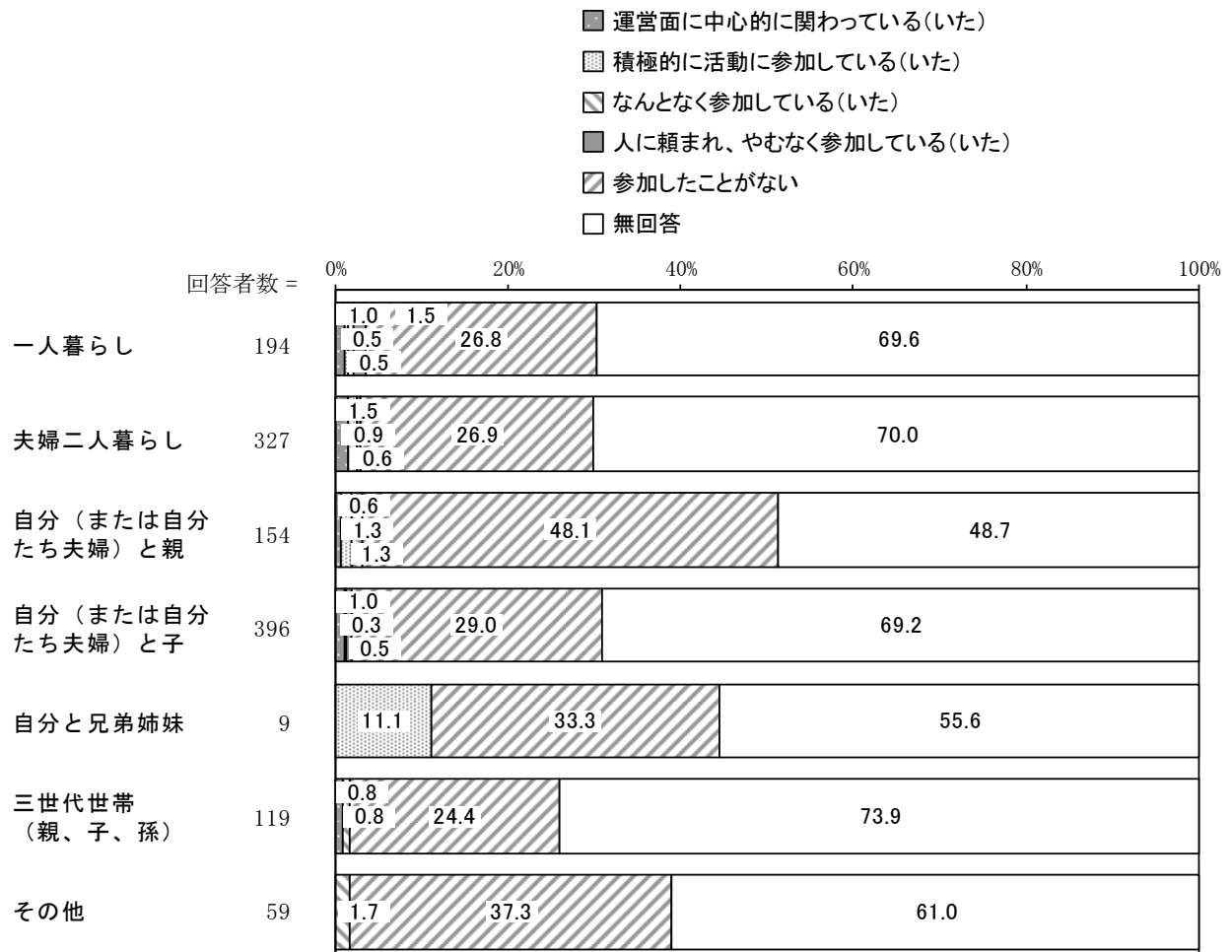
**【職業別】**

職業別でみると、他に比べ、派遣社員、契約社員、学生で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

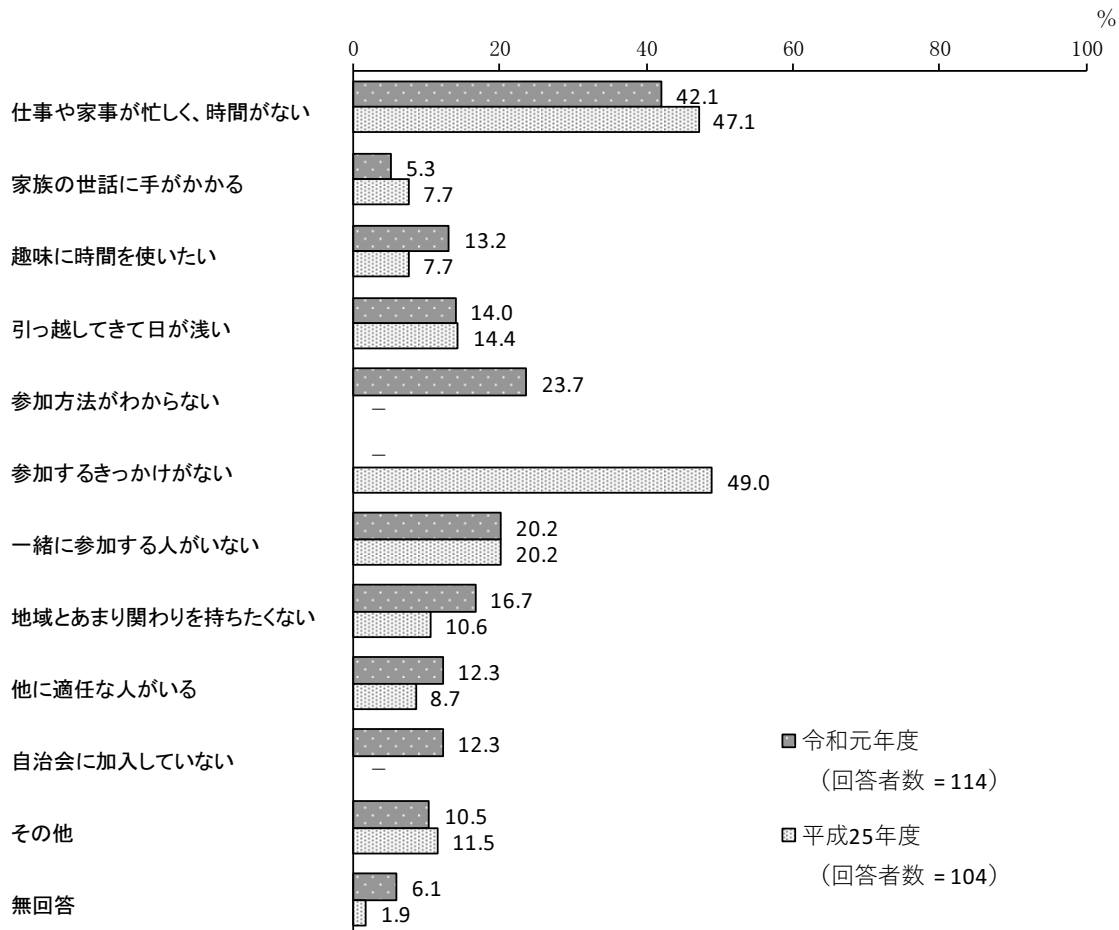
家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「参加したことがない」の割合が高くなっています。



問 15 (2) 【地域活動に参加したことがない方にお尋ねします。】  
 地域活動に参加していない理由は何ですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「仕事や家事が忙しく、時間がない」の割合が42.1%と最も高く、次いで「参加方法がわからない」の割合が23.7%、「一緒に参加する人がいない」の割合が20.2%となっています。

平成25年度と比較すると、「趣味に時間を使いたい」「地域とあまり関わりを持ちたくない」の割合が増加しています。一方、「仕事や家事が忙しく、時間がない」の割合が減少しています。



※「参加方法がわからない」「自治会に加入していない」は令和元年度調査から新たに追加しました。また、「参加するきっかけがない」は令和元年度調査にはありませんでした。

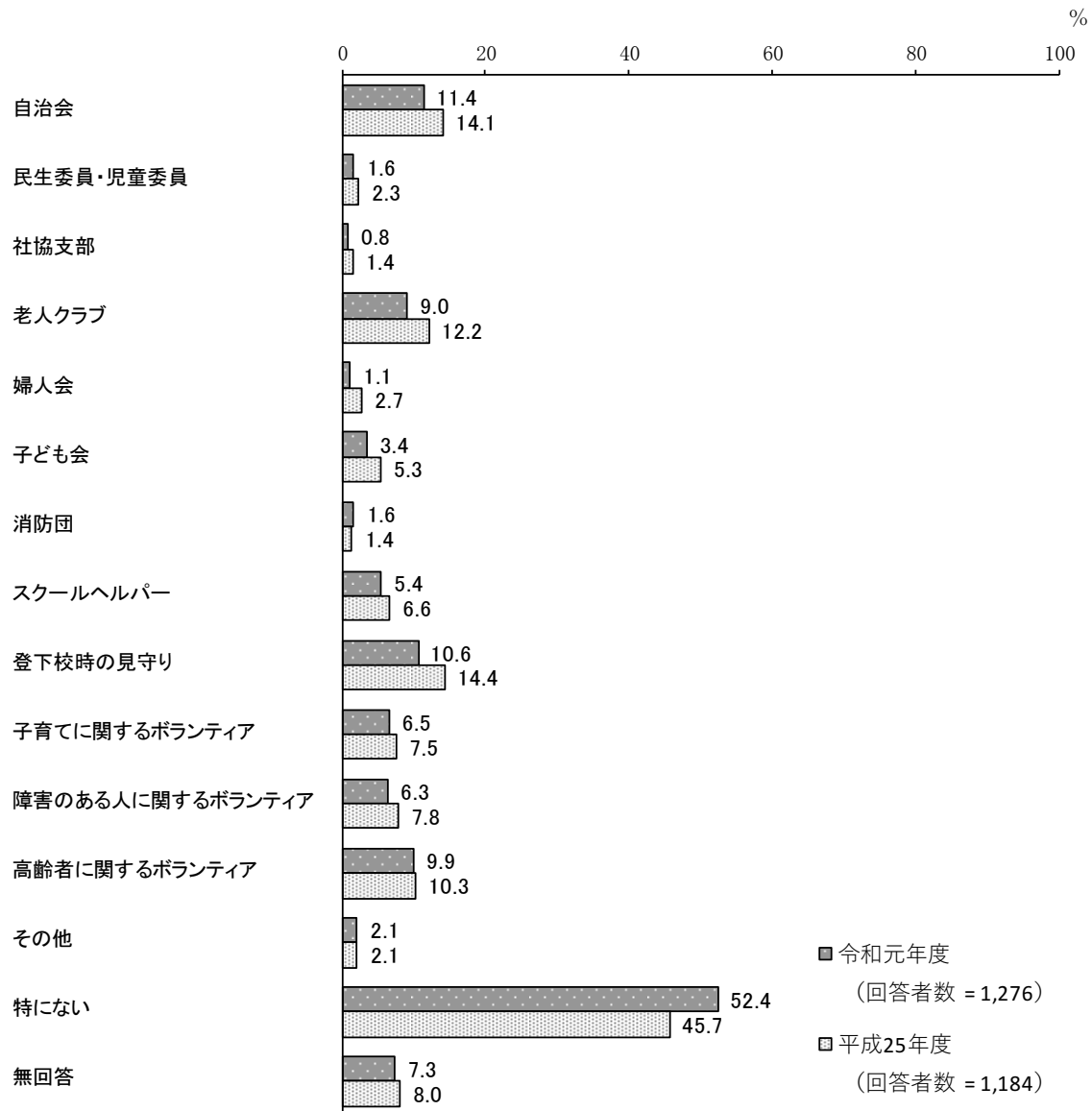
**問 16 【全員にお尋ねします。】**

将来参加してみたい地域活動は何ですか。

当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「特にない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「自治会」の割合が11.4%、「登下校時の見守り」の割合が10.6%となっています。

平成25年度と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。



## 【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の18～29歳、50歳代で「特にない」の割合が高くなっています。また、女性の70歳以上では「特にない」の割合が低く、地域活動への意欲が高いことが伺えます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自治会	民生委員・児童委員	社協支部	老人クラブ	婦人会	子ども会	消防団	スクールヘルパー	登下校時の見守り	子育てに関するボランティア	障害のある人に関するボランティア	高齢者に関するボランティア	その他	特にない	無回答
男性 18～29歳	49	14.3	—	—	—	—	4.1	6.1	2.0	2.0	16.3	2.0	2.0	2.0	63.3	2.0
30歳代	52	15.4	—	—	7.7	—	13.5	1.9	9.6	11.5	5.8	3.8	7.7	—	59.6	1.9
40歳代	85	17.6	2.4	—	2.4	—	8.2	4.7	7.1	8.2	3.5	4.7	7.1	2.4	60.0	2.4
50歳代	91	13.2	1.1	1.1	1.1	—	1.1	2.2	8.8	15.4	4.4	8.8	5.5	1.1	63.7	4.4
60歳代	99	18.2	4.0	—	9.1	—	1.0	3.0	4.0	12.1	1.0	2.0	4.0	—	55.6	7.1
70歳代	103	18.4	1.0	—	17.5	—	2.9	3.9	2.9	10.7	1.0	5.8	10.7	1.0	49.5	10.7
80歳以上	45	15.6	—	—	20.0	—	2.2	—	4.4	2.2	—	2.2	2.2	8.9	40.0	17.8
女性 18～29歳	43	4.7	4.7	—	—	2.3	14.0	—	11.6	16.3	11.6	18.6	11.6	4.7	51.2	4.7
30歳代	79	5.1	—	—	8.9	1.3	12.7	—	5.1	16.5	13.9	5.1	6.3	—	49.4	5.1
40歳代	106	4.7	3.8	1.9	0.9	1.9	3.8	0.9	9.4	15.1	11.3	11.3	14.2	—	53.8	—
50歳代	103	7.8	2.9	1.9	3.9	4.9	—	—	7.8	10.7	14.6	13.6	22.3	1.9	51.5	2.9
60歳代	133	6.0	—	1.5	9.0	0.8	—	0.8	6.0	12.8	9.8	7.5	13.5	0.8	56.4	4.5
70歳代	164	10.4	1.2	0.6	15.9	1.2	—	—	1.8	9.1	1.8	2.4	12.8	1.8	47.0	11.6
80歳以上	102	12.7	—	1.0	19.6	1.0	—	—	1.0	—	1.0	2.9	2.9	9.8	44.1	17.6

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、安富で「老人クラブ」の割合が高くなっています。また、家島で「特にない」の割合が高くなっています。

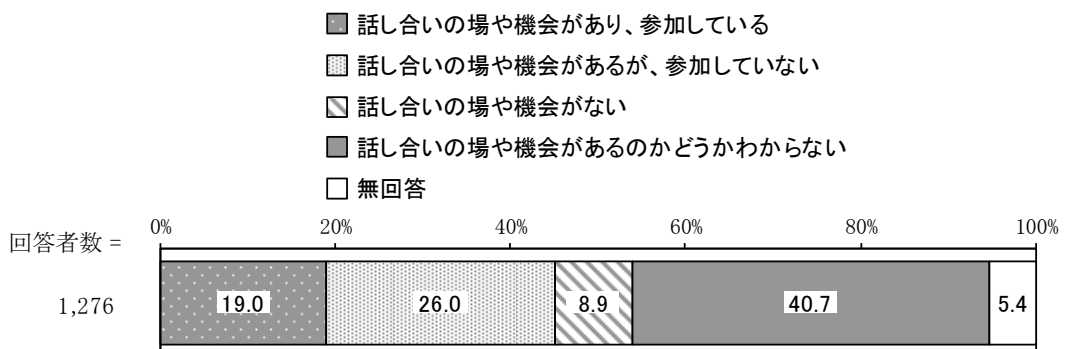
単位：％

区分	有効回答数(件)	自治会	民生委員・児童委員	社協支部	老人クラブ	婦人会	子ども会	消防団	スクールヘルパー	登下校時の見守り	子育てに関するボランティア	障害のある人に関するボランティア	高齢者に関するボランティア	その他	特にない	無回答
中部第一	134	14.2	1.5	0.7	4.5	1.5	2.2	1.5	6.7	9.0	3.7	6.0	9.7	2.2	56.7	4.5
中部第二	196	7.7	0.5	1.0	11.2	0.5	4.1	1.5	6.6	12.8	6.6	7.1	9.7	2.0	52.6	5.6
東部	108	7.4	—	0.9	10.2	0.9	7.4	—	2.8	6.5	11.1	4.6	5.6	—	55.6	7.4
北部	131	12.2	1.5	2.3	8.4	1.5	4.6	2.3	3.1	9.9	4.6	9.9	8.4	1.5	51.9	9.2
西部	94	16.0	4.3	1.1	8.5	3.2	1.1	2.1	6.4	9.6	10.6	9.6	16.0	2.1	47.9	8.5
網干	89	10.1	1.1	—	7.9	2.2	4.5	2.2	9.0	13.5	10.1	6.7	9.0	1.1	47.2	9.0
広畑	120	13.3	2.5	0.8	9.2	—	3.3	2.5	5.8	10.0	5.0	3.3	7.5	4.2	54.2	9.2
飾磨	142	7.0	0.7	—	6.3	0.7	1.4	0.7	5.6	5.6	2.1	2.8	9.2	2.1	62.7	7.7
灘	111	10.8	1.8	—	9.9	0.9	0.9	2.7	5.4	12.6	8.1	3.6	9.0	1.8	51.4	7.2
家島	10	—	—	—	—	10.0	—	—	—	—	—	—	10.0	10.0	60.0	10.0
夢前	53	17.0	1.9	1.9	15.1	—	1.9	—	3.8	18.9	11.3	11.3	17.0	1.9	39.6	7.5
香寺	42	19.0	2.4	—	11.9	—	11.9	—	2.4	16.7	7.1	7.1	7.1	2.4	47.6	—
安富	12	25.0	—	—	33.3	—	—	—	—	8.3	—	—	8.3	8.3	25.0	—
その他	11	18.2	9.1	—	—	—	—	—	9.1	9.1	—	27.3	36.4	9.1	54.5	—

問 17 【全員にお尋ねします。】

あなたの住んでいる地域(自治会等～小学校区ぐらいの範囲)の問題について、話し合いの場や機会がありますか。また、あなたは参加していますか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

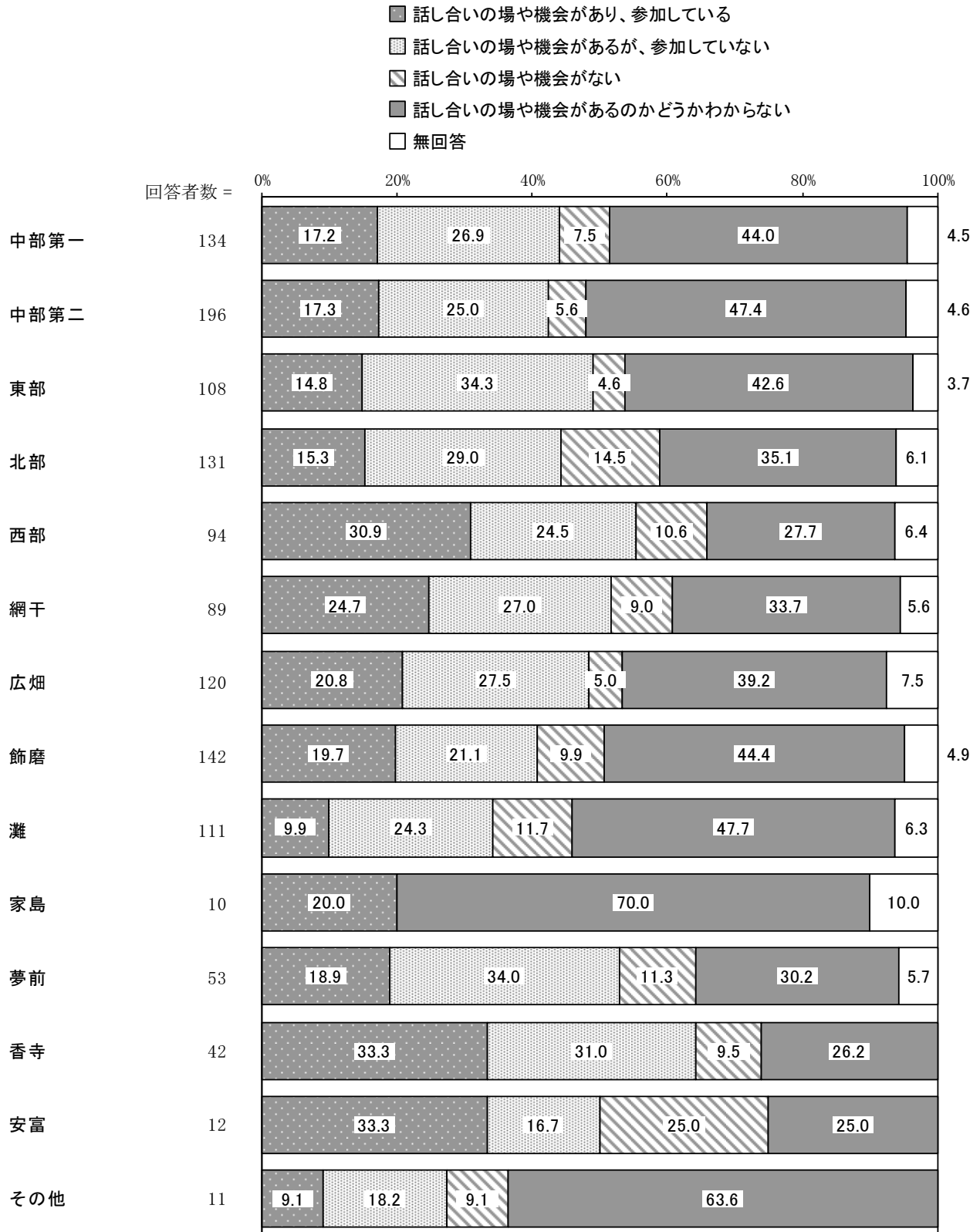
「話し合いの場や機会があるのかわからない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「話し合いの場や機会があるが、参加していない」の割合が26.0%、「話し合いの場や機会があり、参加している」の割合が19.0%となっています。





【地区別】

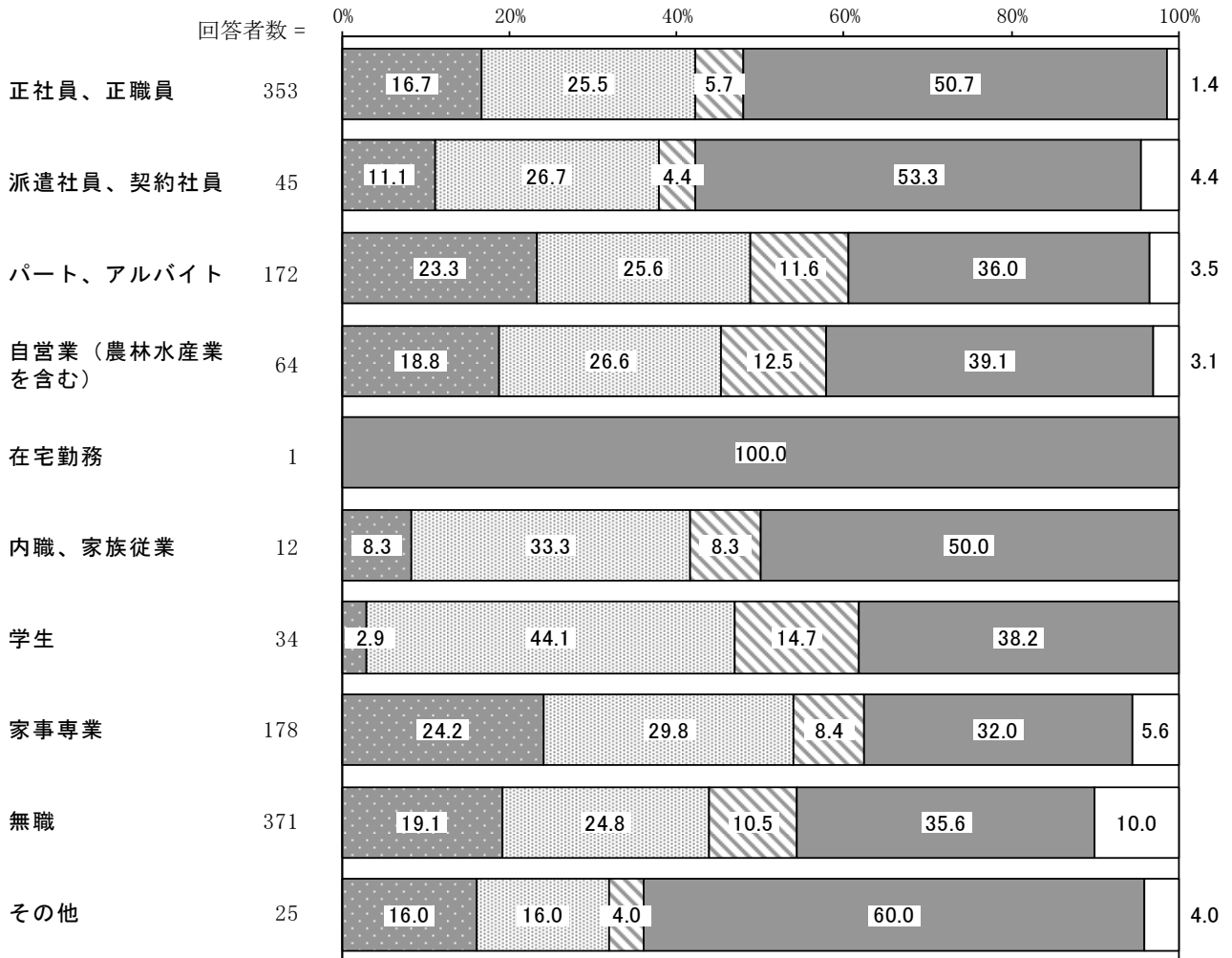
地区別でみると、他に比べ、西部、香寺、安富で「話し合いの場や機会があり、参加している」の割合が高くなっています。



**【職業別】**

職業別でみると、他に比べ、パート、アルバイト、家事専業で「話し合いの場や機会があり、参加している」の割合が高くなっています。

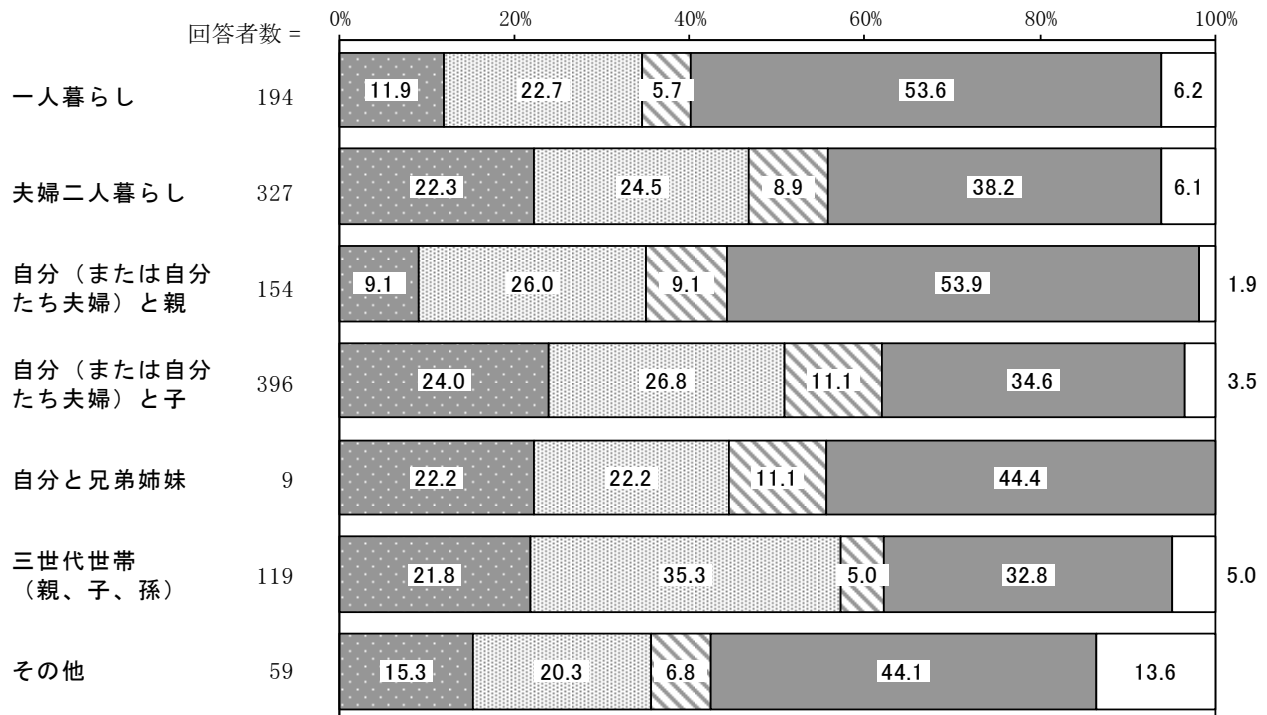
- 話し合いの場や機会があり、参加している
- ▨ 話し合いの場や機会があるが、参加していない
- ▧ 話し合いの場や機会がない
- 話し合いの場や機会があるのかわからない
- 無回答



### 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、一人暮らし、自分（または自分たち夫婦）と親で「話し合いの場や機会があり、参加している」の割合が低くなっています。

- 話し合いの場や機会があり、参加している
- ▨ 話し合いの場や機会があるが、参加していない
- ▧ 話し合いの場や機会がない
- 話し合いの場や機会があるのかわからない
- 無回答



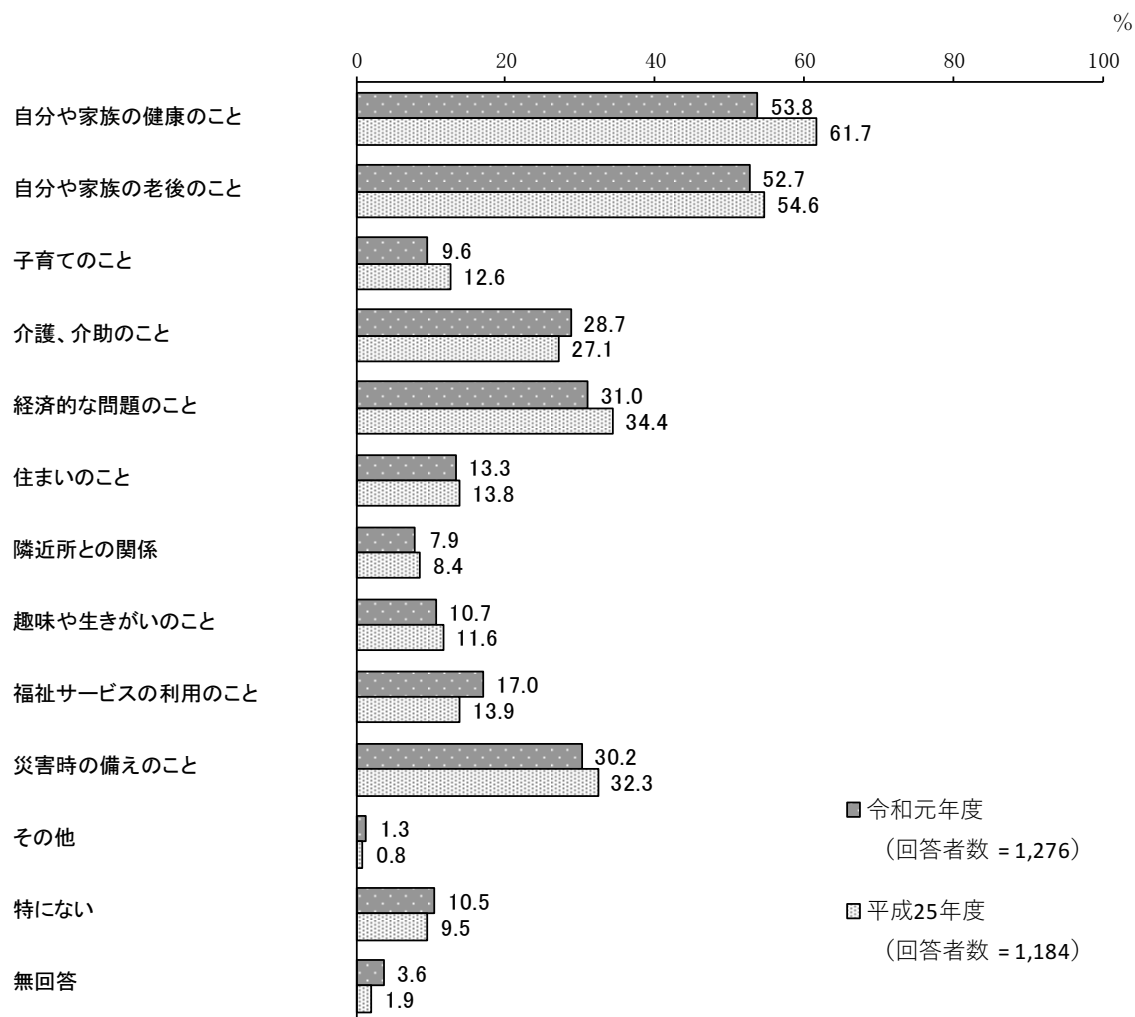
## (5) 日常生活の心配ごと、相談、支援について

### 問 18 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、日常生活の中で、どのようなことに悩みや不安を感じておられますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「自分や家族の健康のこと」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「自分や家族の老後のこと」の割合が 52.7%、「経済的な問題のこと」の割合が 31.0%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「自分や家族の健康のこと」の割合が減少しています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の70歳代で「自分や家族の健康のこと」の割合が、女性の40歳代、50歳代で「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	健康のこと	自分や家族の老後のこと	子育てのこと	介護、介助のこと	経済的な問題のこと	住まいのこと	隣近所との関係	趣味や生きがいのこと	福祉サービスの利用のこと	災害時の備えのこと	その他	特にない	無回答
男性 18～29歳	49	40.8	30.6	6.1	10.2	32.7	14.3	8.2	12.2	14.3	22.4	4.1	28.6	—
30歳代	52	51.9	48.1	25.0	23.1	30.8	13.5	13.5	19.2	15.4	42.3	—	19.2	1.9
40歳代	85	54.1	43.5	16.5	12.9	29.4	12.9	8.2	3.5	8.2	25.9	2.4	17.6	1.2
50歳代	91	58.2	56.0	7.7	27.5	40.7	25.3	7.7	14.3	14.3	31.9	2.2	12.1	1.1
60歳代	99	55.6	59.6	—	27.3	25.3	11.1	5.1	12.1	8.1	33.3	3.0	9.1	5.1
70歳代	103	65.0	57.3	3.9	42.7	38.8	12.6	6.8	12.6	26.2	27.2	—	6.8	4.9
80歳以上	45	48.9	42.2	—	53.3	26.7	8.9	6.7	8.9	22.2	20.0	2.2	6.7	8.9
女性 18～29歳	43	37.2	46.5	27.9	2.3	32.6	18.6	7.0	23.3	14.0	41.9	2.3	23.3	2.3
30歳代	79	54.4	46.8	32.9	11.4	36.7	21.5	12.7	8.9	6.3	32.9	3.8	8.9	3.8
40歳代	106	55.7	63.2	24.5	27.4	47.2	15.1	12.3	12.3	14.2	29.2	0.9	8.5	0.9
50歳代	103	51.5	63.1	9.7	32.0	40.8	16.5	3.9	13.6	18.4	37.9	—	5.8	1.9
60歳代	133	52.6	59.4	2.3	26.3	26.3	10.5	7.5	11.3	14.3	34.6	—	7.5	3.8
70歳代	164	56.7	56.1	1.8	36.6	21.3	8.5	7.3	5.5	25.6	29.3	0.6	7.9	3.0
80歳以上	102	53.9	37.3	—	45.1	13.7	7.8	5.9	4.9	23.5	18.6	—	7.8	6.9

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、香寺で「自分や家族の健康のこと」の割合が、安富で「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	健康のこと	自分や家族の老後のこと	子育てのこと	介護、介助のこと	経済的な問題のこと	住まいのこと	隣近所との関係	趣味や生きがいのこと	福祉サービスの利用のこと	災害時の備えのこと	その他	特にない	無回答
中部第一	134	53.0	53.7	7.5	29.9	31.3	12.7	6.0	9.0	14.2	24.6	0.7	10.4	1.5
中部第二	196	53.6	53.6	7.7	21.4	29.1	14.3	9.2	10.7	20.4	33.2	2.0	10.2	3.1
東部	108	49.1	59.3	13.0	26.9	31.5	22.2	7.4	10.2	16.7	26.9	1.9	10.2	5.6
北部	131	56.5	49.6	13.0	33.6	30.5	12.2	7.6	11.5	19.8	27.5	0.8	9.9	2.3
西部	94	57.4	59.6	9.6	33.0	34.0	11.7	10.6	7.4	13.8	25.5	2.1	7.4	2.1
網干	89	56.2	49.4	9.0	36.0	27.0	6.7	5.6	12.4	19.1	31.5	2.2	7.9	5.6
広畑	120	52.5	49.2	7.5	24.2	25.0	10.8	7.5	11.7	19.2	32.5	0.8	11.7	3.3
飾磨	142	51.4	50.0	12.0	26.1	31.0	12.7	9.2	7.0	10.6	31.0	1.4	12.7	4.9
灘	111	56.8	53.2	10.8	32.4	44.1	15.3	6.3	11.7	14.4	36.0	—	14.4	1.8
家島	10	50.0	30.0	20.0	60.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	—	20.0	10.0
夢前	53	52.8	54.7	5.7	32.1	35.8	11.3	3.8	11.3	17.0	35.8	—	5.7	5.7
香寺	42	61.9	50.0	16.7	26.2	23.8	11.9	11.9	11.9	19.0	33.3	2.4	11.9	2.4
安富	12	58.3	66.7	—	33.3	25.0	25.0	16.7	8.3	25.0	33.3	—	8.3	—
その他	11	36.4	36.4	—	27.3	27.3	—	9.1	27.3	—	18.2	—	27.3	—

## 【職業別】

職業別でみると、他に比べ、内職、家族従業で「自分や家族の健康のこと」の割合が、派遣社員、契約社員で「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	子育てのこと	介護、介助のこと	経済的な問題のこと	住まいのこと	隣近所との関係	趣味や生きがいのこと	福祉サービスの利用のこと	災害時の備えのこと	その他	特にない	無回答
正社員、正職員	353	51.0	50.4	15.9	21.5	32.9	14.4	8.8	12.7	12.5	33.4	2.0	13.0	1.7
派遣社員、契約社員	45	57.8	68.9	4.4	28.9	53.3	24.4	13.3	11.1	13.3	33.3	2.2	6.7	2.2
パート、アルバイト	172	55.8	61.6	13.4	22.1	42.4	12.8	6.4	11.0	14.5	31.4	0.6	8.7	0.6
自営業 (農林水産業を含む)	64	53.1	48.4	7.8	17.2	18.8	6.3	4.7	15.6	14.1	28.1	—	21.9	1.6
在宅勤務	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内職、家族従業	12	75.0	66.7	16.7	25.0	33.3	25.0	8.3	8.3	8.3	25.0	—	8.3	—
学生	34	32.4	32.4	8.8	8.8	26.5	2.9	2.9	11.8	17.6	26.5	5.9	32.4	—
家事専業	178	56.7	55.6	11.2	36.5	25.8	11.2	7.3	8.4	22.5	30.9	0.6	6.2	5.6
無職	371	56.6	50.7	3.0	39.4	27.2	14.0	8.6	8.4	21.0	27.5	1.1	7.5	5.7
その他	25	48.0	36.0	4.0	24.0	28.0	16.0	4.0	12.0	12.0	32.0	—	12.0	4.0

## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦二人暮らしで「自分や家族の老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

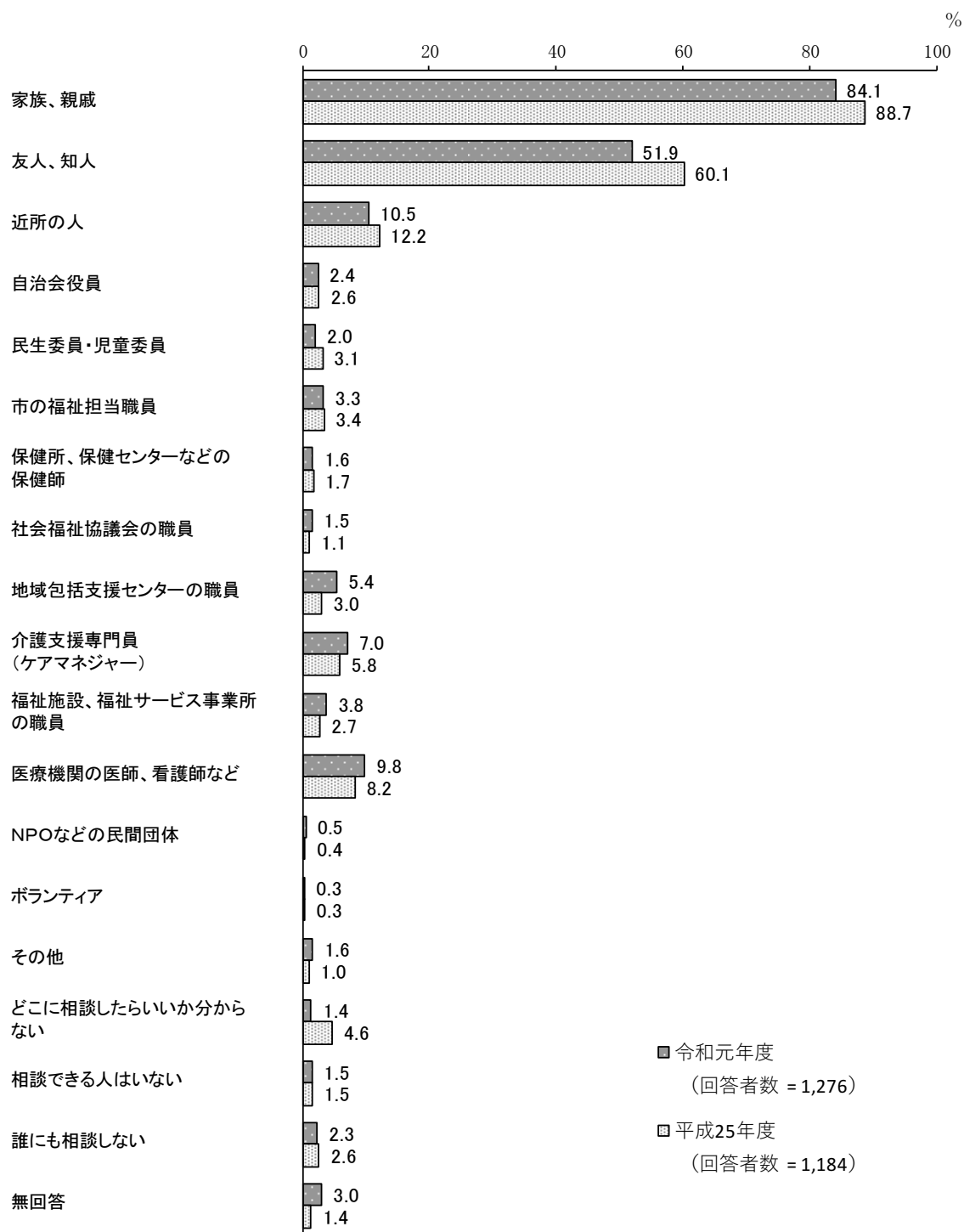
区分	有効回答数(件)	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	子育てのこと	介護、介助のこと	経済的な問題のこと	住まいのこと	隣近所との関係	趣味や生きがいのこと	福祉サービスの利用のこと	災害時の備えのこと	その他	特にない	無回答
一人暮らし	194	42.3	37.1	1.5	20.1	29.9	12.4	7.2	10.8	15.5	23.7	1.5	14.9	6.2
夫婦二人暮らし	327	57.2	60.9	4.9	34.6	26.3	11.0	9.2	10.4	19.3	31.5	1.2	8.3	4.6
自分(または自分たち夫婦)と親	154	56.5	57.8	0.6	27.9	36.4	18.8	6.5	12.3	14.3	33.1	1.3	13.6	1.3
自分(または自分たち夫婦)と子	396	55.8	54.0	21.7	28.5	35.1	15.9	8.8	11.4	16.4	31.8	0.5	9.1	1.5
自分と兄弟姉妹	9	44.4	66.7	—	33.3	44.4	—	—	11.1	11.1	11.1	—	—	—
三世代世帯 (親、子、孫)	119	55.5	47.1	11.8	29.4	26.1	9.2	4.2	6.7	15.1	29.4	1.7	10.9	4.2
その他	59	54.2	44.1	3.4	22.0	27.1	8.5	8.5	8.5	20.3	30.5	5.1	13.6	1.7

問 18 (2) 【全員にお尋ねします。】

あなたにとって、心配ごとや悩みを相談できる人はどなたですか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「家族、親戚」の割合が84.1%と最も高く、次いで「友人、知人」の割合が51.9%、「近所の人」の割合が10.5%となっています。

平成25年度と比較すると、「友人、知人」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島、香寺で「家族、親戚」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族、 親戚	友人、 知人	近所の人	自治会役員	民生委員・ 児童委員	市の福祉担 当職員	保健所、保 健センター などの保健 師	社会福祉協 議会の職員	地域包括支 援センター の職員
中部第一	134	81.3	53.0	8.2	1.5	2.2	6.0	0.7	2.2	5.2
中部第二	196	84.2	50.5	10.2	3.1	2.0	3.1	2.0	1.0	4.1
東部	108	82.4	55.6	11.1	2.8	0.9	0.9	0.9	1.9	5.6
北部	131	88.5	54.2	9.2	3.1	2.3	2.3	2.3	1.5	5.3
西部	94	84.0	54.3	12.8	5.3	6.4	4.3	2.1	2.1	11.7
網干	89	87.6	57.3	9.0	—	—	4.5	2.2	1.1	4.5
広畑	120	84.2	45.8	10.0	2.5	1.7	3.3	2.5	1.7	4.2
飾磨	142	83.8	57.7	11.3	1.4	0.7	2.8	1.4	1.4	5.6
灘	111	86.5	45.9	9.9	1.8	—	1.8	—	0.9	4.5
家島	10	90.0	60.0	20.0	—	—	—	—	10.0	20.0
夢前	53	75.5	47.2	18.9	5.7	3.8	7.5	1.9	1.9	7.5
香寺	42	90.5	52.4	14.3	—	2.4	2.4	—	—	2.4
安富	12	91.7	41.7	16.7	—	8.3	—	—	—	8.3
その他	11	90.9	45.5	—	—	—	—	—	—	—

区分	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	福祉施設、福祉サー ビス 事業所の職員	医療機関の医師、看護 師 など	NPOなどの民間団体	ボランティア	その他	どこに相談したらいい か分からない	相談できる人はいない	誰にも相談しない	無回答
中部第一	6.0	2.2	7.5	—	0.7	0.7	—	2.2	3.0	2.2
中部第二	5.6	2.0	10.2	0.5	1.0	1.0	2.6	1.0	2.6	2.6
東部	4.6	2.8	6.5	0.9	—	0.9	1.9	2.8	2.8	3.7
北部	5.3	3.1	10.7	1.5	0.8	1.5	0.8	—	1.5	2.3
西部	17.0	8.5	12.8	—	—	2.1	—	1.1	2.1	3.2
網干	7.9	3.4	10.1	—	—	3.4	1.1	2.2	1.1	2.2
広畑	5.8	4.2	11.7	—	—	0.8	3.3	0.8	2.5	2.5
飾磨	5.6	4.2	8.5	0.7	—	1.4	2.8	2.1	2.1	4.2
灘	7.2	5.4	9.0	—	—	2.7	—	2.7	2.7	1.8
家島	20.0	—	10.0	—	—	—	—	—	—	10.0
夢前	13.2	5.7	9.4	1.9	—	1.9	—	1.9	1.9	3.8
香寺	2.4	2.4	14.3	—	—	4.8	—	—	2.4	—
安富	—	—	8.3	—	—	—	—	—	—	—
その他	9.1	—	9.1	—	—	—	—	—	9.1	—



【職業別】

職業別でみると、他に比べ、派遣社員、契約社員で「家族、親戚」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族、 親戚	友人、 知人	近所の人	自治会役員	民生委員・ 児童委員	市の福祉担 当職員	保健所、保 健センター などの保健 師	社会福祉協 議会の職員	地域包括支 援センター の職員
正社員、正職員	353	85.8	58.4	7.4	1.4	0.6	1.1	1.1	0.6	2.0
派遣社員、契約社員	45	93.3	66.7	6.7	4.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
パート、アルバイト	172	85.5	62.8	10.5	1.2	0.6	1.7	0.6	1.7	1.2
自営業(農林水産業を含む)	64	82.8	62.5	9.4	4.7	—	—	—	1.6	1.6
在宅勤務	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
内職、家族従業	12	83.3	66.7	8.3	—	—	—	8.3	—	—
学生	34	85.3	61.8	5.9	—	—	5.9	2.9	—	—
家事専業	178	89.3	56.7	12.9	1.1	2.8	2.2	1.1	1.1	9.6
無職	371	80.3	36.1	14.6	4.3	3.5	6.7	2.4	2.4	10.5
その他	25	72.0	28.0	4.0	—	8.0	8.0	—	4.0	4.0

区分	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	福祉施設、福祉サー ビス 事業所の職員	医療機関の医師、看護 師 など	NPOなどの民間団 体	ボラン ティア	その他	どこに相談したらいい か分からない	相談できる人はいない	誰にも相談しない	無回 答
正社員、正職員	2.8	1.1	5.9	0.6	0.3	1.1	2.3	2.0	3.1	1.4
派遣社員、契約社員	—	—	6.7	2.2	—	4.4	—	—	—	2.2
パート、アルバイト	1.7	3.5	5.8	—	—	0.6	0.6	2.3	3.5	0.6
自営業(農林水産業を含む)	3.1	3.1	6.3	—	1.6	1.6	—	1.6	3.1	—
在宅勤務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内職、家族従業	8.3	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—
学生	—	2.9	8.8	—	—	8.8	2.9	—	—	2.9
家事専業	10.1	2.8	11.2	—	—	1.1	1.1	0.6	—	3.4
無職	14.0	7.3	15.1	0.8	0.5	1.6	1.6	1.3	2.4	4.9
その他	8.0	8.0	16.0	—	—	—	—	4.0	4.0	4.0

## 【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦二人暮らし、自分（または自分たち夫婦）と子、三世帯世帯（親、子、孫）で「家族、親戚」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族、親戚	友人、知人	近所の人	自治会役員	民生委員・児童委員	市の福祉担当職員	保健所、保健センターなどの保健師	社会福祉協議会の職員	地域包括支援センターの職員
一人暮らし	194	71.6	45.4	8.8	1.5	4.6	6.2	1.5	1.5	6.7
夫婦二人暮らし	327	89.6	47.1	12.8	3.7	2.4	4.0	2.1	2.1	5.8
自分(または自分たち夫婦)と親	154	78.6	52.6	5.8	0.6	1.3	1.3	—	—	2.6
自分(または自分たち夫婦)と子	396	88.6	59.8	11.6	3.0	1.0	2.5	2.0	1.5	6.1
自分と兄弟姉妹	9	66.7	33.3	—	—	—	11.1	—	—	—
三世帯世帯(親、子、孫)	119	89.9	58.8	10.1	0.8	—	0.8	0.8	1.7	3.4
その他	59	78.0	37.3	11.9	—	1.7	5.1	1.7	1.7	5.1

区分	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	福祉施設、福祉サービス 事業所の職員	医療機関の医師、看護師 など	NPOなどの民間団体	ボランティア	その他	どこに相談したらいい か分からない	相談できる人はいない	誰にも相談しない	無回答
一人暮らし	6.7	5.2	7.7	0.5	—	2.6	1.5	3.6	3.1	3.1
夫婦二人暮らし	8.9	5.5	13.1	0.9	0.6	1.2	0.6	1.2	1.2	3.7
自分(または自分たち夫婦)と親	3.9	0.6	5.2	—	0.6	—	4.5	0.6	4.5	1.9
自分(または自分たち夫婦)と子	6.8	3.5	9.6	0.3	0.3	1.0	0.8	1.3	1.5	1.8
自分と兄弟姉妹	—	—	11.1	—	—	—	—	—	22.2	—
三世帯世帯(親、子、孫)	7.6	3.4	13.4	0.8	—	1.7	1.7	—	1.7	3.4
その他	6.8	—	6.8	—	—	6.8	1.7	1.7	3.4	1.7

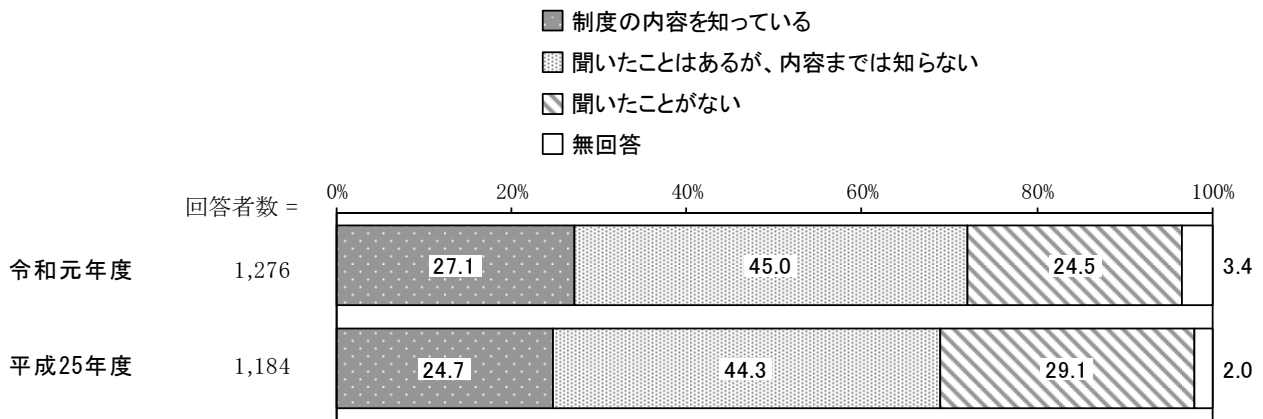
問 19 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは「成年後見制度」をご存知ですか。

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

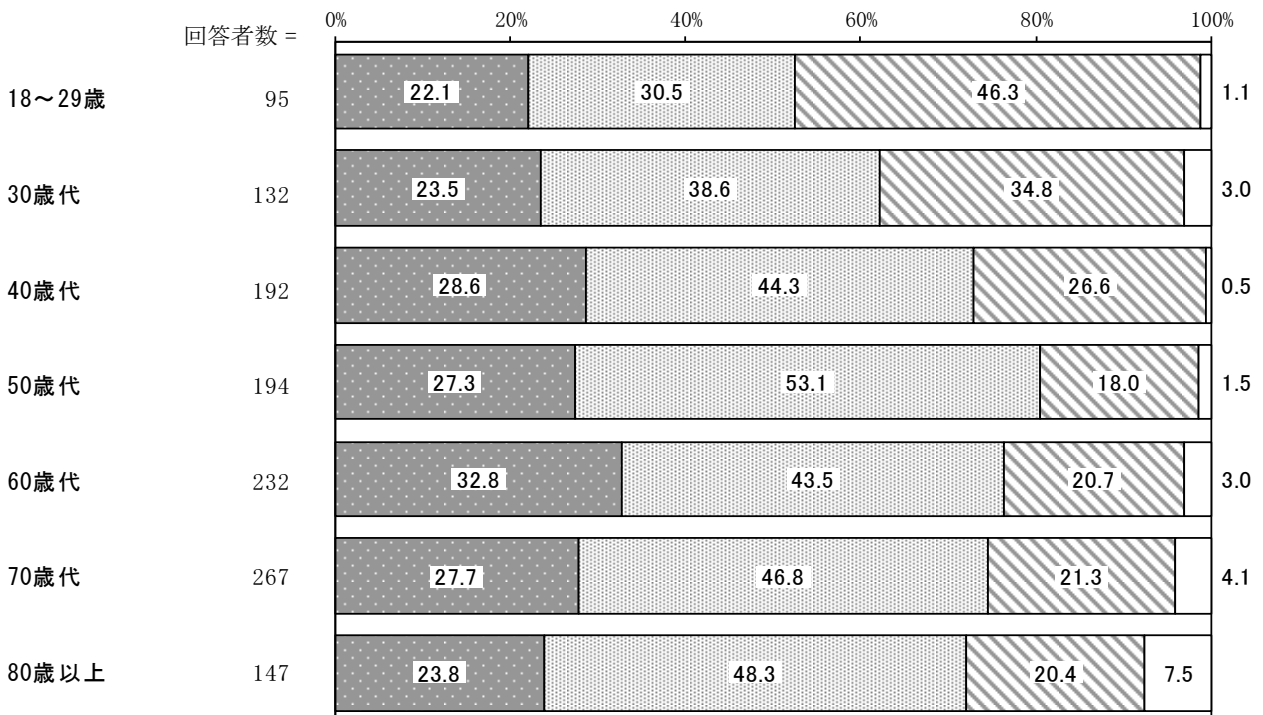
「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「制度の内容を知っている」の割合が27.1%、「聞いたことがない」の割合が24.5%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



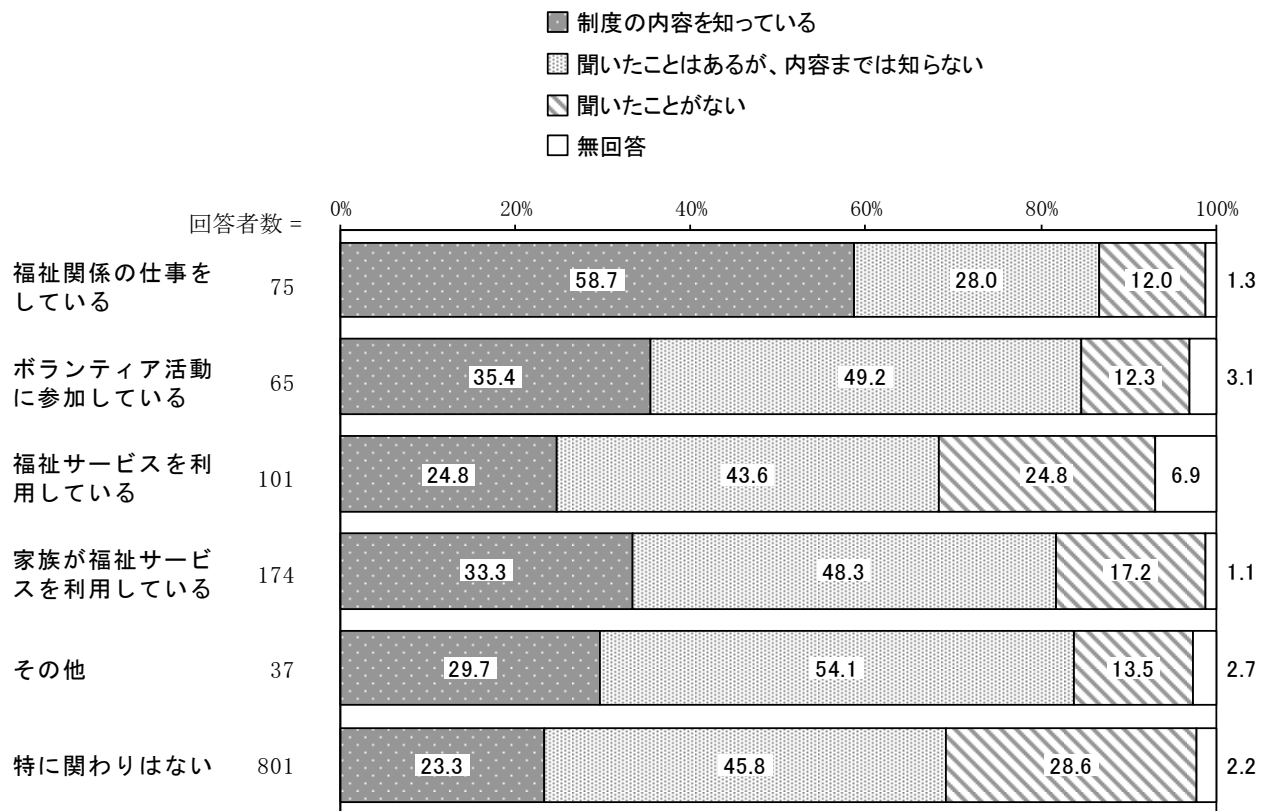
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、18～29歳で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



### 【福祉との関わり別】

福祉との関わり別でみると、他に比べ、特に関わりはないで「聞いたことがない」の割合が高くなっています。

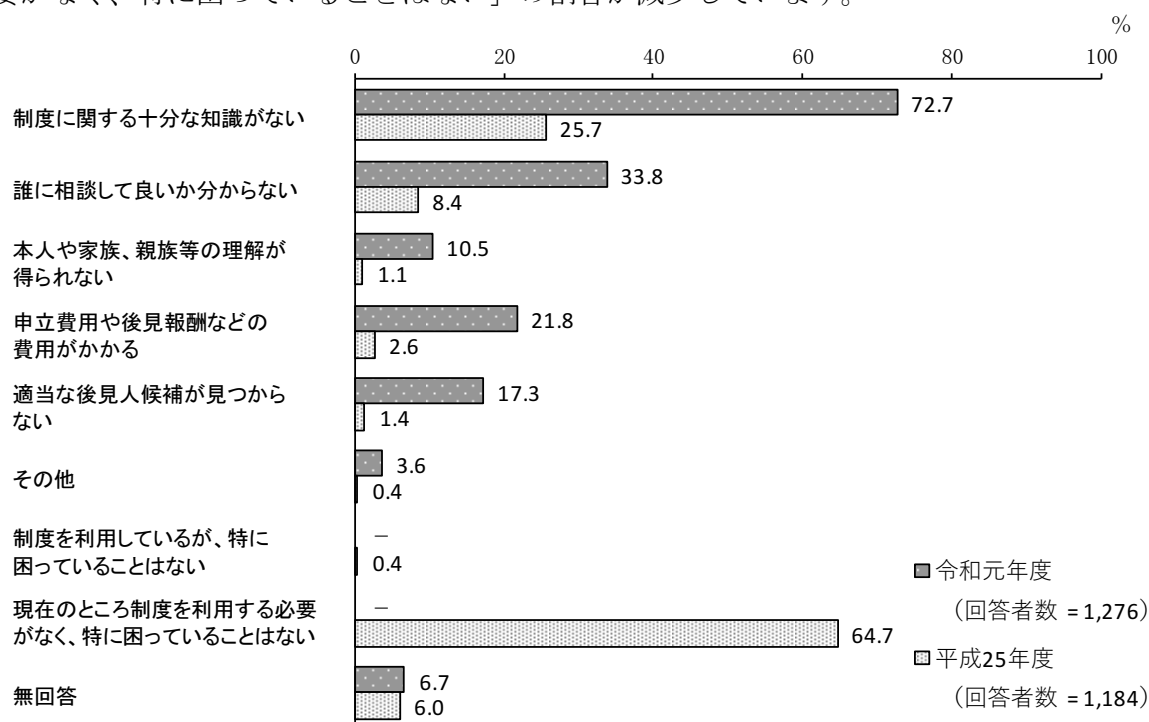


問 19 (2) 【全員にお尋ねします。】

成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思いますか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「制度に関する十分な知識がない」の割合が72.7%と最も高く、次いで「誰に相談して良いかわからない」の割合が33.8%、「申立費用や後見報酬などの費用がかかる」の割合が21.8%となっています。

平成25年度と比較すると、「制度に関する十分な知識がない」「誰に相談して良いかわからない」「本人や家族、親族等の理解が得られない」「申立費用や後見報酬などの費用がかかる」「適当な後見人候補が見つからない」の割合が増加しています。一方、「現在のところ制度を利用する必要がなく、特に困っていることはない」の割合が減少しています。

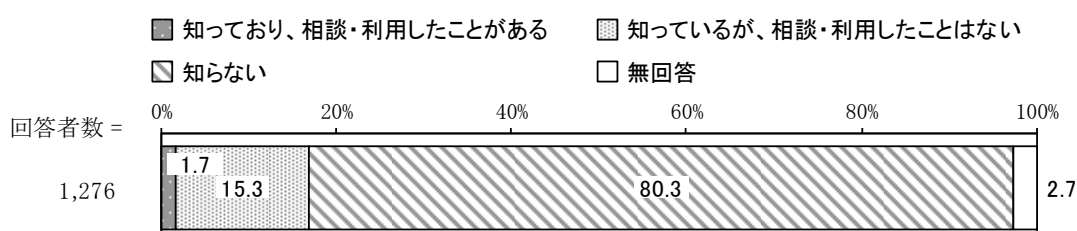


※「制度を利用しているが、特に困っていることはない」「現在のところ制度を利用する必要がなく、特に困っていることはない」は令和元年度調査にはありませんでした。

問 19 (3) 【全員にお尋ねします。】

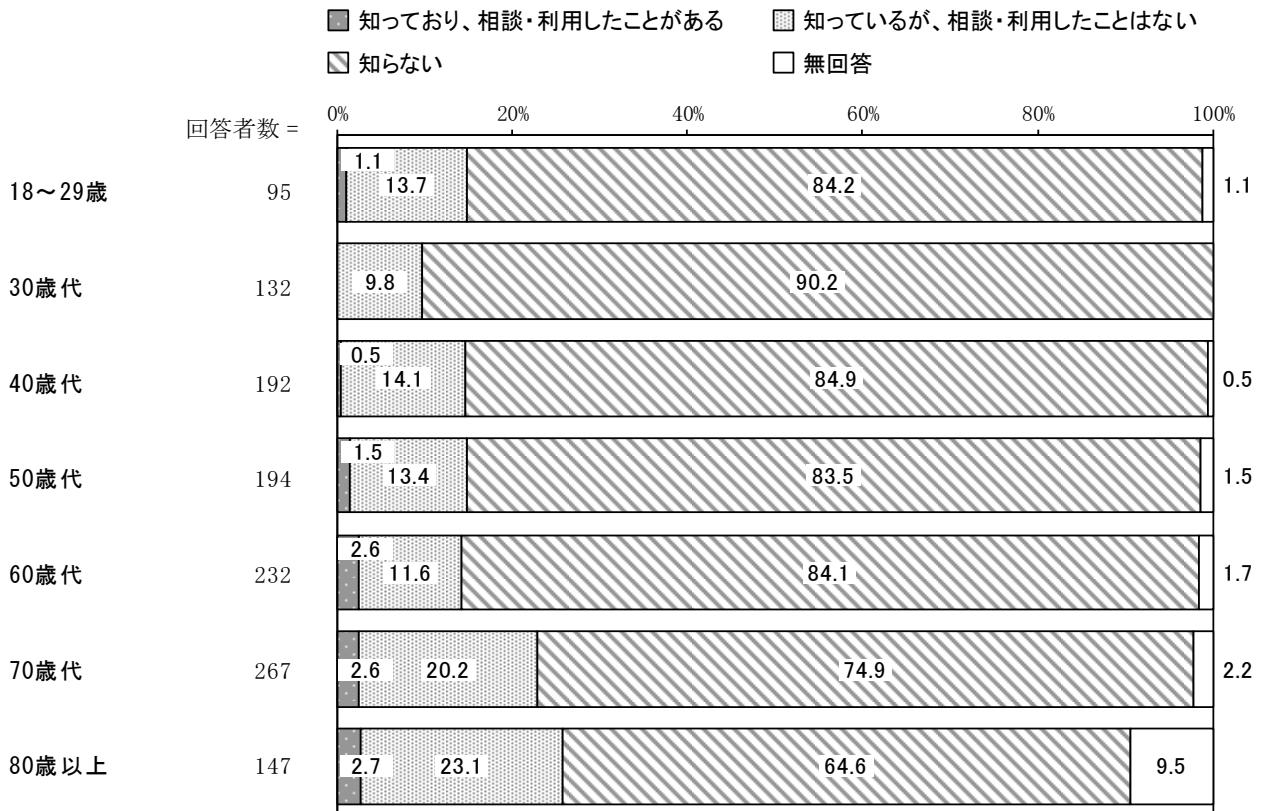
あなたは、成年後見支援センターをご存知ですか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「知らない」の割合が80.3%と最も高く、次いで「知っているが、相談・利用したことはない」の割合が15.3%となっています。



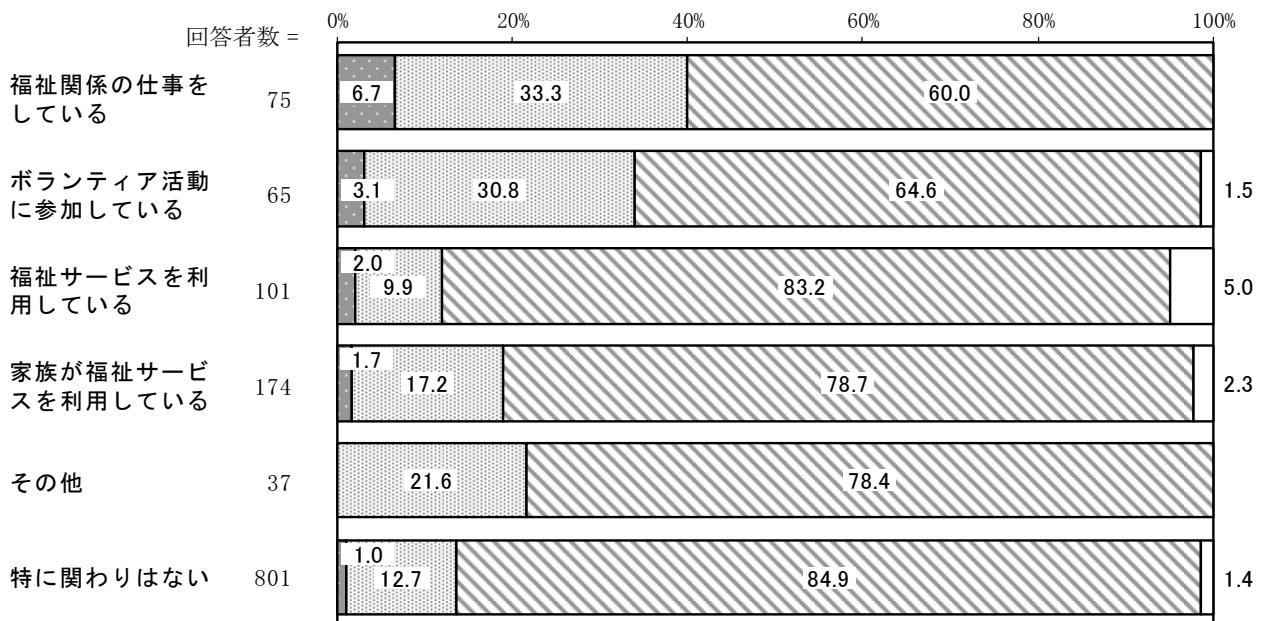
## 【年代別】

年代別で見ると、他に比べ、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



## 【福祉との関わり別】

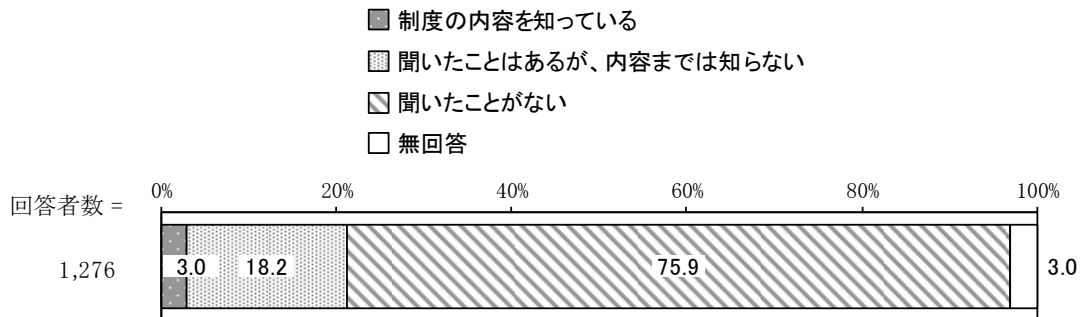
福祉との関わり別で見ると、他に比べ、福祉サービスを利用している、特に関わりはないで「知らない」の割合が高くなっています。



問 19 (4) 【全員にお尋ねします。】

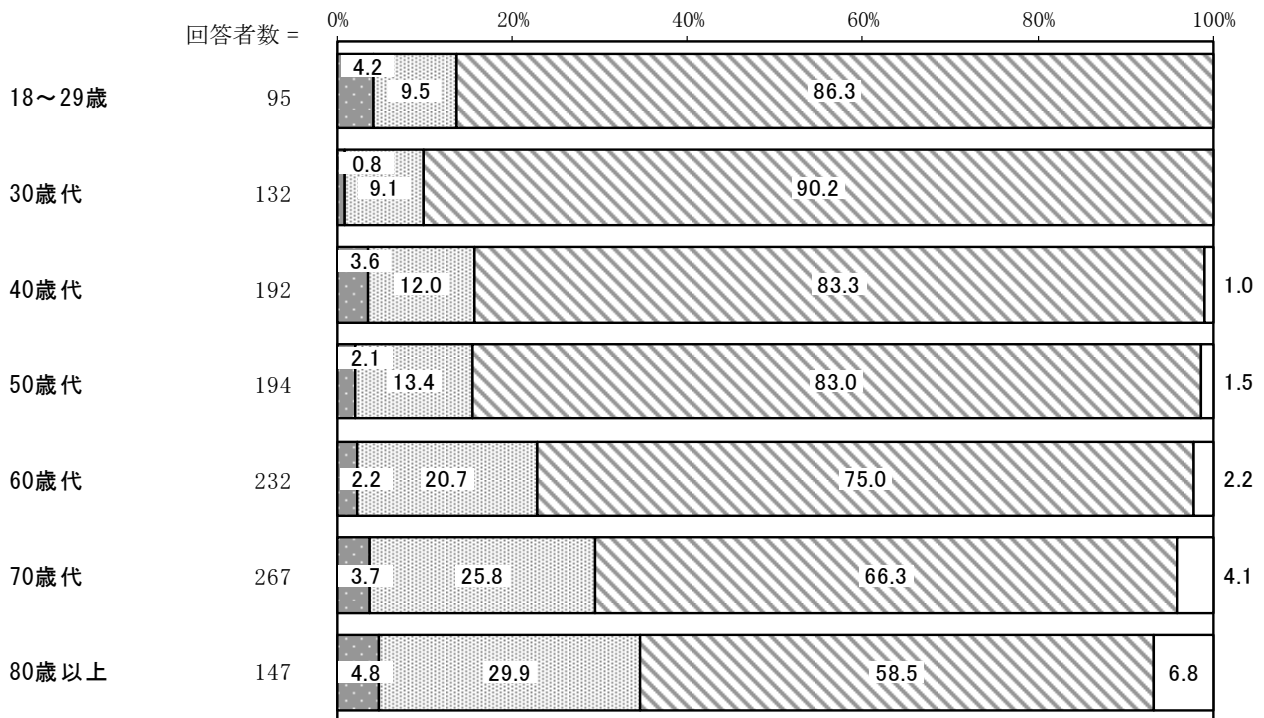
あなたは、市民後見制度をご存知ですか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「聞いたことがない」の割合が75.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の割合が18.2%となっています。



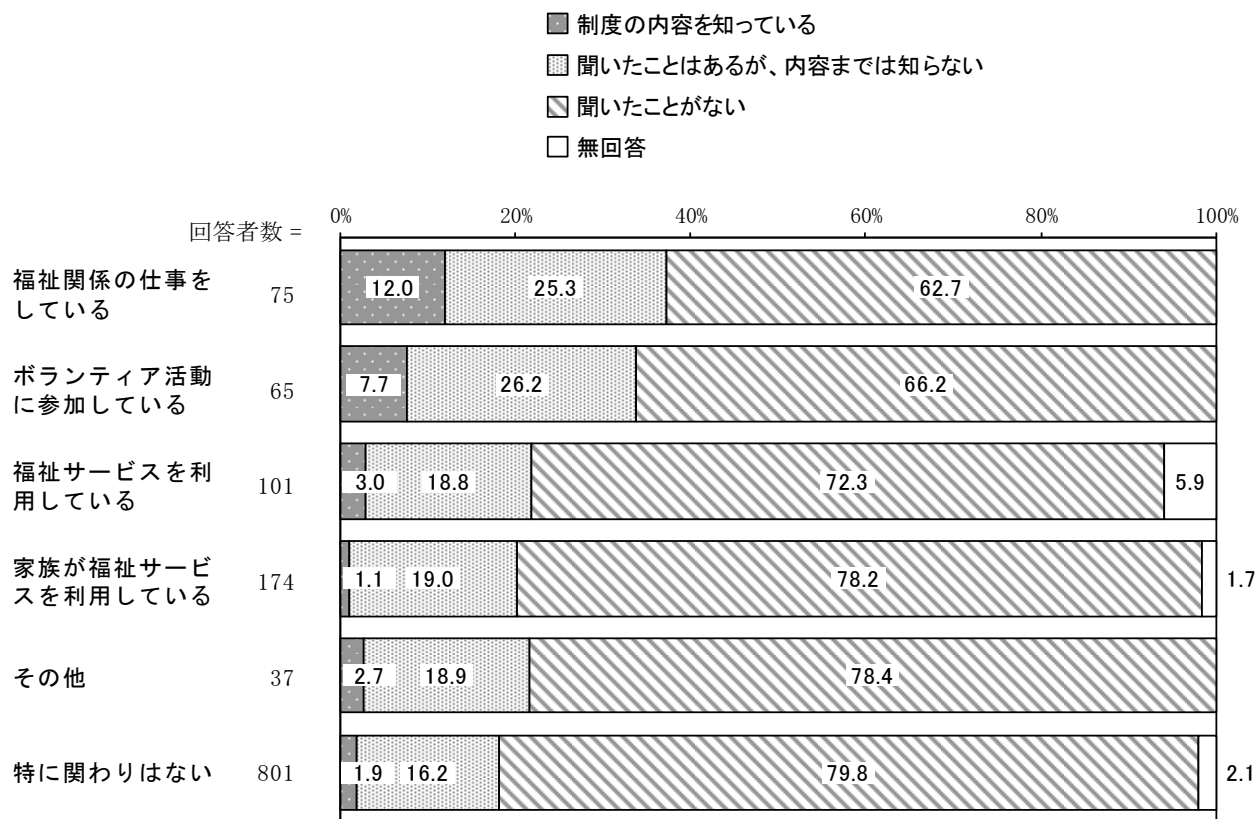
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



### 【福祉との関わり別】

福祉との関わり別でみると、他に比べ、家族が福祉サービスを利用している、特に関わりはないで「聞いたことがない」の割合が高くなっています。





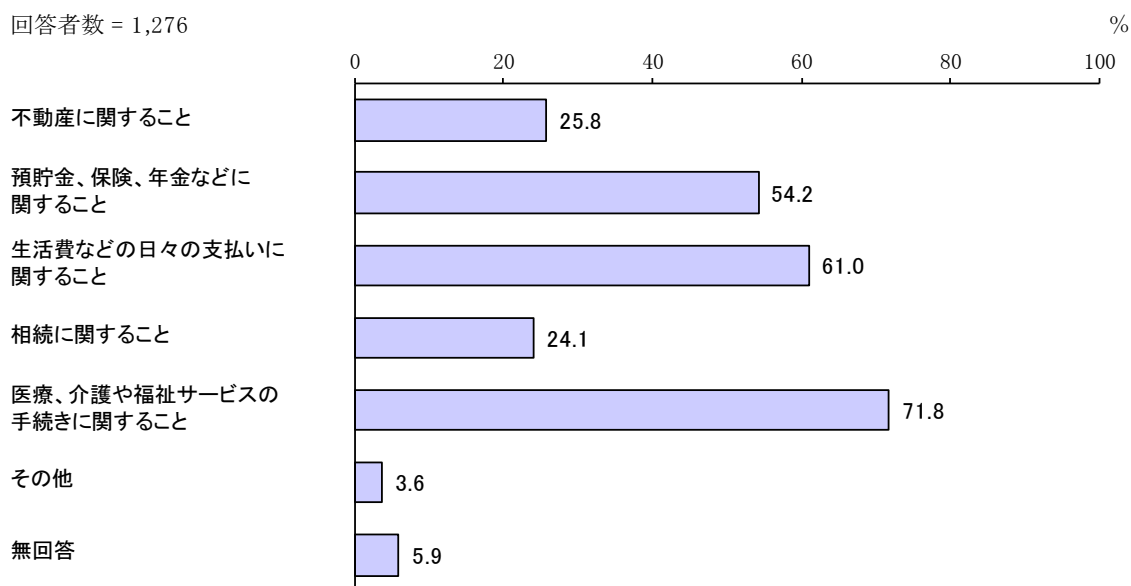
問 19 (5) 【全員にお尋ねします。】

もしあなたが障害や認知症などで判断能力が低下した場合、支援してほしいこと（困ること）はなんですか。

当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「生活費などの日々の支払いに関すること」の割合が 61.0%、「預貯金、保険、年金などに関すること」の割合が 54.2%となっています。

回答者数 = 1,276



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「生活費などの日々の支払いに関すること」の割合が高くなっています。また、一人暮らしで「医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	不動産に関すること	預貯金、保険、年金などに関すること	生活費などの日々の支払いに関すること	相続に関すること	医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること	その他	無回答
一人暮らし	194	22.2	45.4	50.5	18.0	61.3	5.2	8.8
夫婦二人暮らし	327	28.4	54.4	57.2	26.0	74.0	3.1	8.0
自分(または自分たち夫婦)と親	154	26.0	66.9	70.8	25.3	77.3	1.3	0.6
自分(または自分たち夫婦)と子	396	28.8	57.1	66.2	27.8	74.7	2.8	3.8
自分と兄弟姉妹	9	11.1	22.2	55.6	22.2	77.8	11.1	—
三世代世帯(親、子、孫)	119	24.4	51.3	61.3	20.2	73.1	5.0	4.2
その他	59	10.2	45.8	61.0	16.9	61.0	8.5	8.5

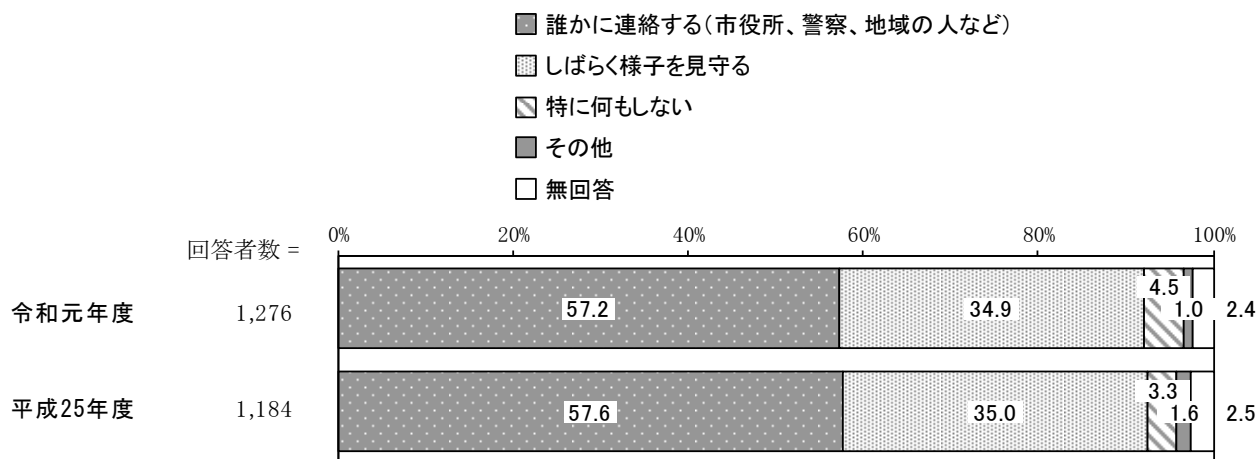
問 20 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、虐待や権利侵害と思われるケースを見聞きした場合、どのような対応を取ろうと思いますか。

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

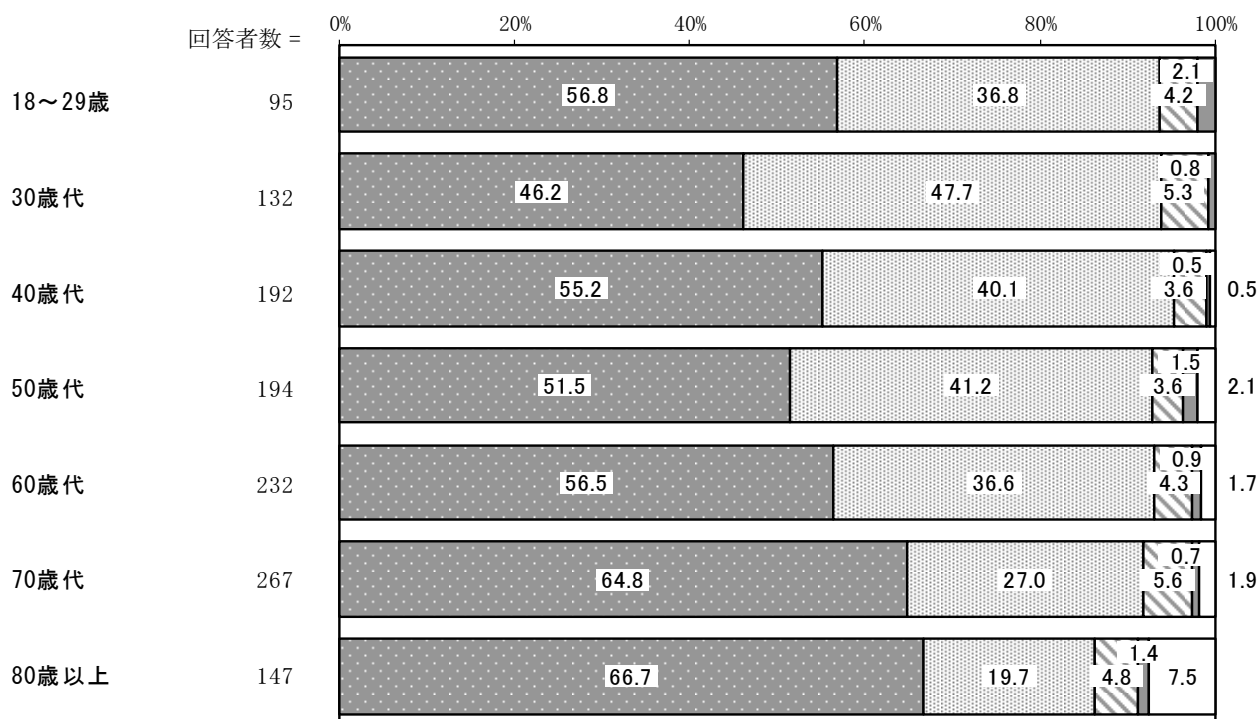
「誰かに連絡する（市役所、警察、地域の人など）」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「しばらく様子を見守る」の割合が 34.9%となっています。

平成 25 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



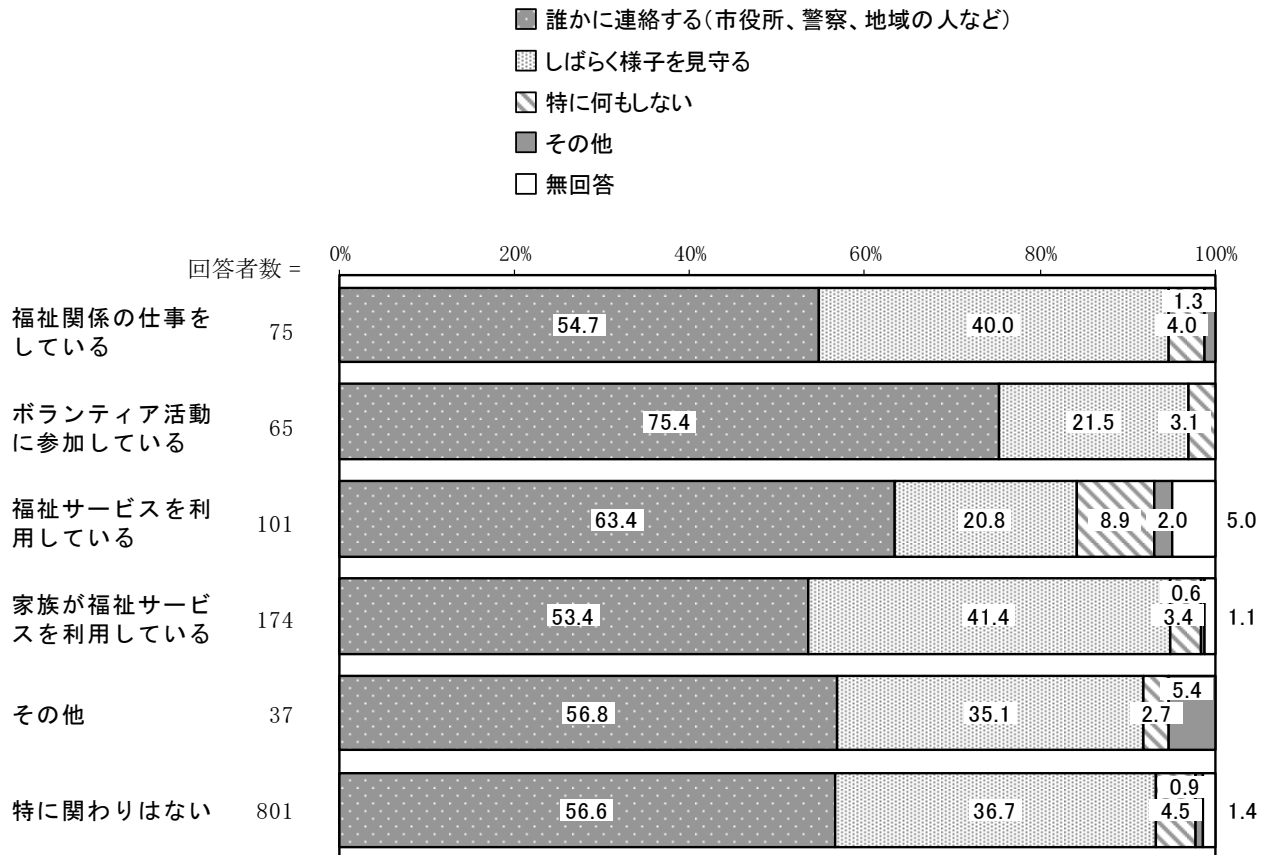
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「誰かに連絡する（市役所、警察、地域の人など）」の割合が低くなっています。



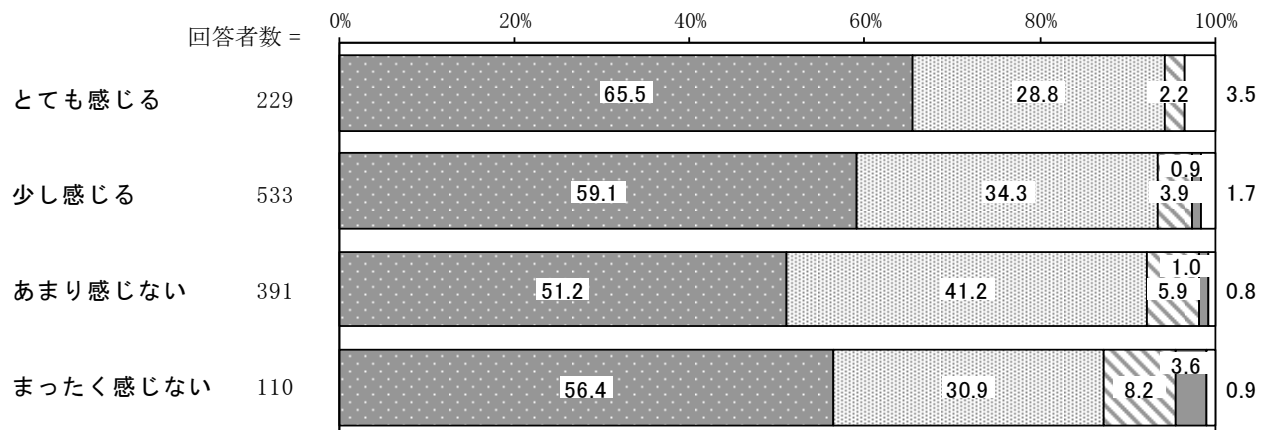
### 【福祉との関わり別】

福祉との関わり別でみると、他に比べ、ボランティア活動に参加しているで「誰かに連絡する（市役所、警察、地域の人など）」の割合が高くなっています。



### 【地域のつながりの感じ方別】

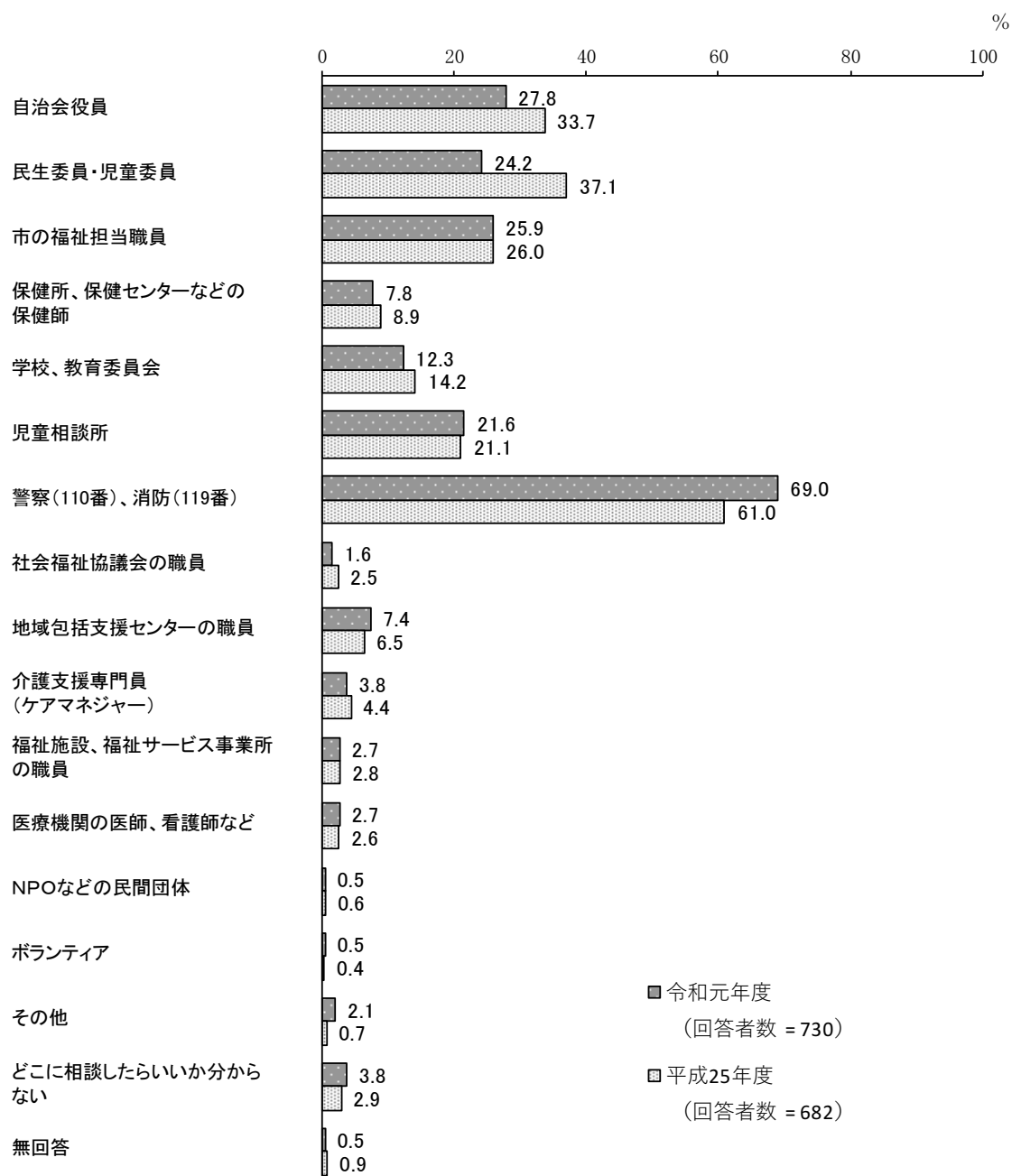
地域とのつながりの感じ方別でみると、他に比べ、あまり感じないで「誰かに連絡する（市役所、警察、地域の人など）」の割合が低くなっています。



問 20 (2) 【(1)で「1」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 虐待や権利侵害と思われるケースを見聞きした場合、どなたに連絡、相談  
 されますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「警察（110番）、消防（119番）」の割合が69.0%と最も高く、次いで「自治会役員」の割合  
 が27.8%、「市の福祉担当職員」の割合が25.9%となっています。

平成25年度と比較すると、「警察（110番）、消防（119番）」の割合が増加しています。一方、  
 「自治会役員」「民生委員・児童委員」の割合が減少しています。



## 【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳代で「自治会役員」の割合が、40歳代から60歳代で「警察（110番）、消防（119番）」の割合が高くなっています。

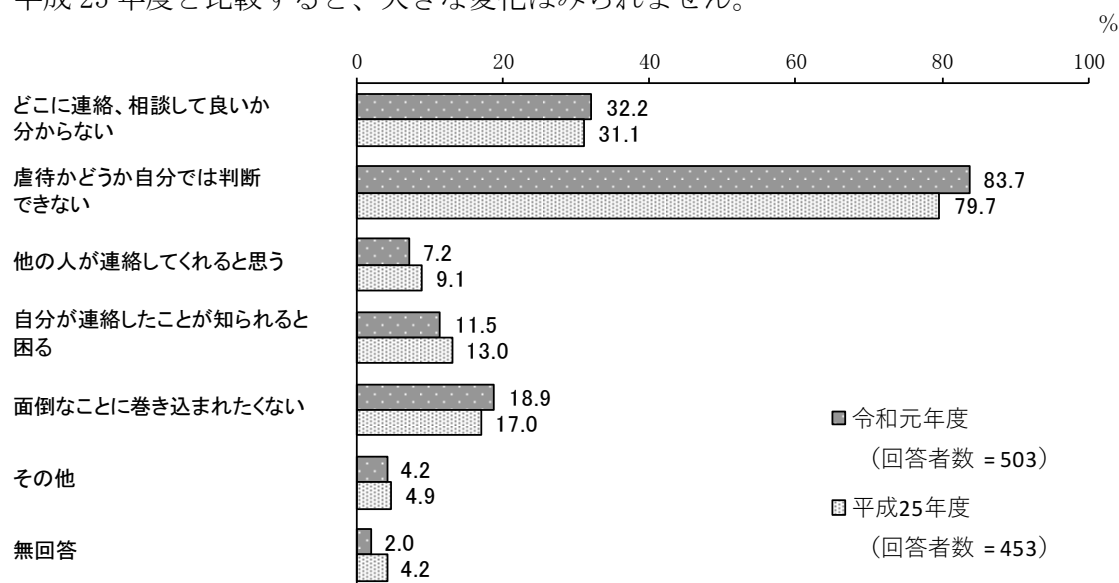
単位：％

区分	有効回答数（件）	自治会役員	民生委員・児童委員	市の福祉担当職員	保健所、保健センターなどの保健師	学校、教育委員会	児童相談所	警察（110番）、消防（119番）	社会福祉協議会の職員	地域包括支援センターの職員	介護支援専門員（ケアマネジャー）	福祉施設、福祉サービス事業所の職員	医療機関の医師、看護師など	NPOなどの民間団体	ボランティア	その他	どこに相談したらいいかわからない	無回答
18～29歳	54	7.4	5.6	25.9	16.7	13.0	35.2	70.4	1.9	1.9	—	5.6	1.9	—	—	1.9	9.3	—
30歳代	61	3.3	6.6	23.0	13.1	16.4	37.7	67.2	—	3.3	1.6	3.3	1.6	—	—	6.6	6.6	—
40歳代	106	17.0	17.0	30.2	6.6	22.6	36.8	78.3	1.9	3.8	1.9	2.8	2.8	1.9	0.9	1.9	2.8	—
50歳代	100	18.0	17.0	26.0	7.0	12.0	25.0	78.0	—	7.0	6.0	3.0	5.0	1.0	1.0	1.0	3.0	—
60歳代	131	36.6	32.8	26.7	9.2	16.0	16.8	75.6	0.8	8.4	3.8	—	2.3	—	—	0.8	1.5	0.8
70歳代	173	44.5	30.1	28.3	5.8	7.5	10.4	61.8	2.9	11.6	3.5	2.9	2.3	0.6	0.6	1.2	3.5	1.2
80歳以上	98	33.7	36.7	16.3	3.1	3.1	11.2	56.1	3.1	8.2	7.1	4.1	3.1	—	1.0	4.1	5.1	1.0

問20 (3) 【(1)で「しばらく様子を見守る」か「特に何もしない」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 連絡、相談しない理由は何ですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「虐待かどうか自分では判断できない」の割合が83.7%と最も高く、次いで「どこに連絡、相談して良いかわからない」の割合が32.2%、「面倒なことに巻き込まれたくない」の割合が18.9%となっています。

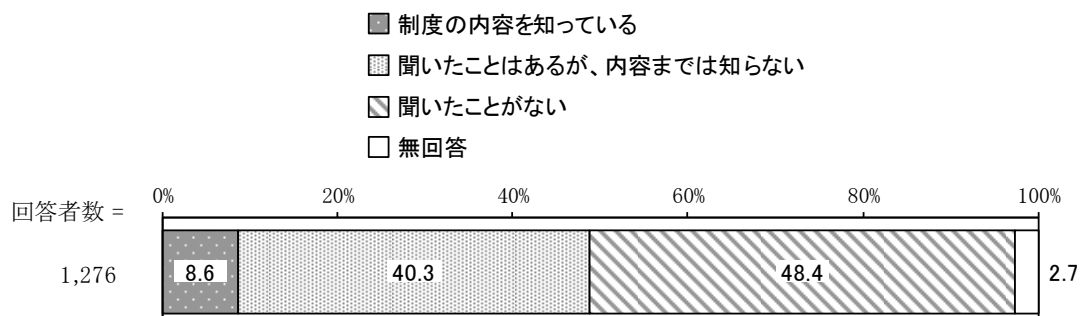
平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 (1) 【全員にお尋ねします。】

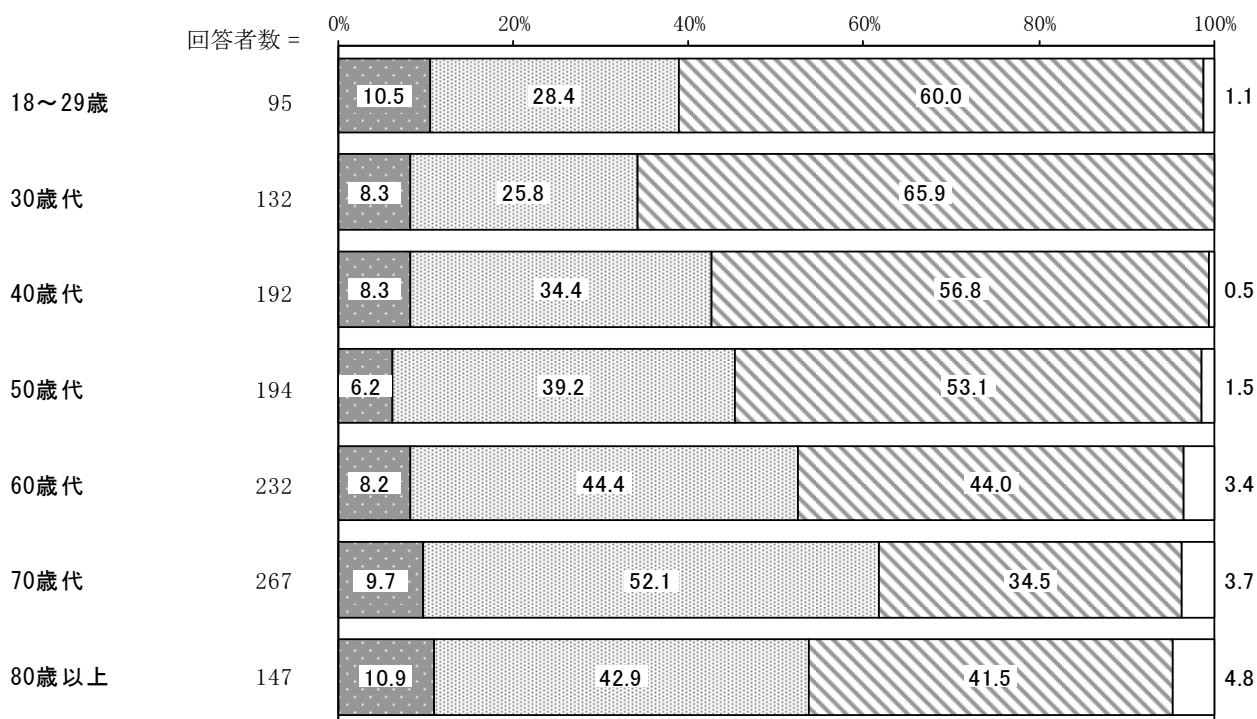
あなたは「生活困窮者自立支援制度」をご存知ですか。  
 当てはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

「聞いたことがない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の割合が40.3%となっています。



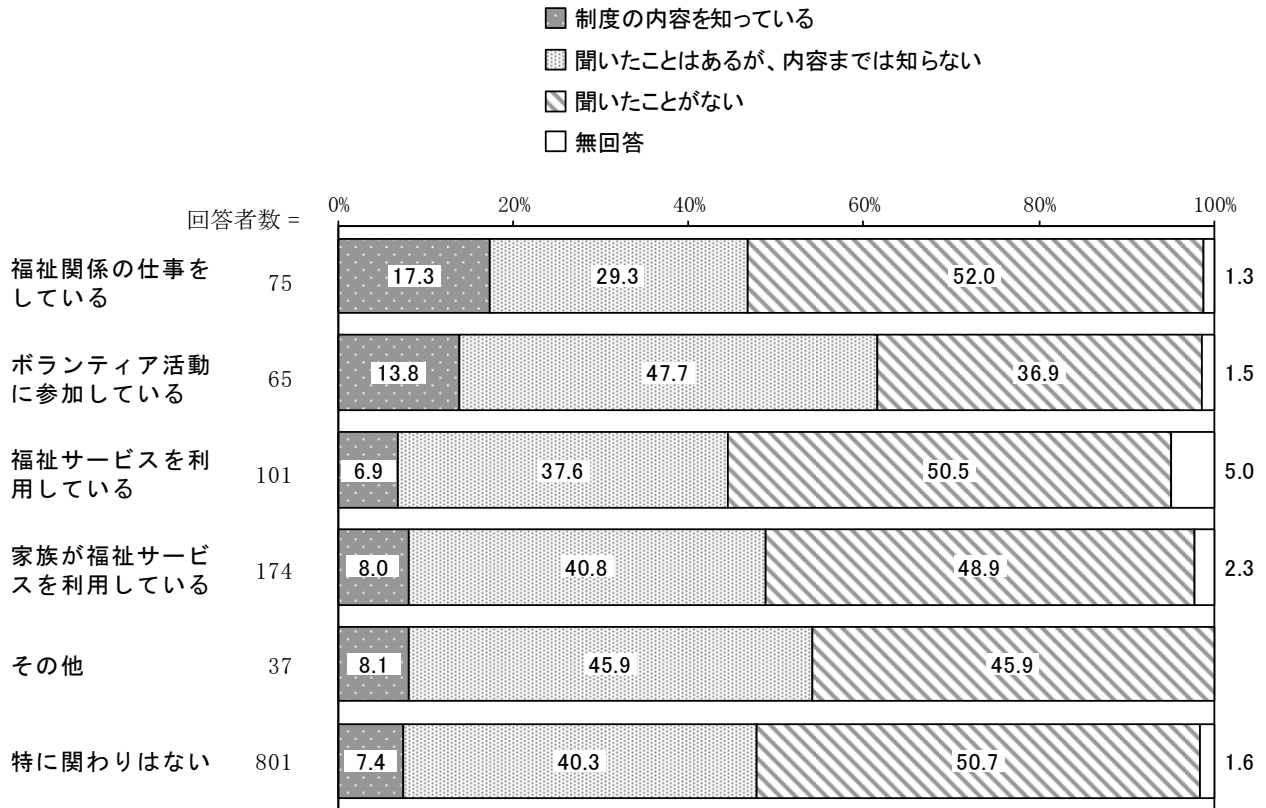
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



**【福祉との関わり別】**

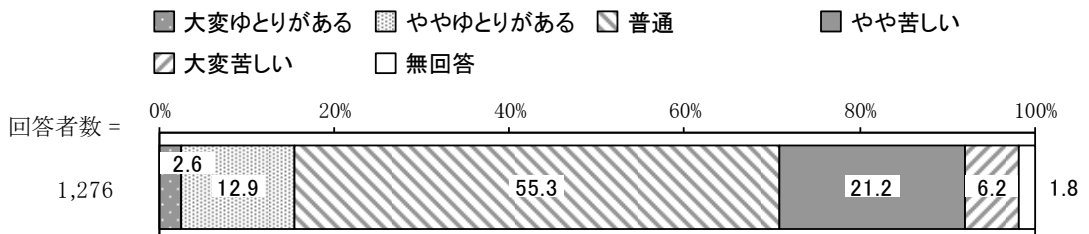
福祉との関わり別でみると、他に比べ、ボランティア活動に参加しているで「聞いたことがない」の割合が低くなっています。



**問 21 (2) 【全員にお尋ねします。】**

あなたの現在の経済的な暮らし向きはいかがですか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

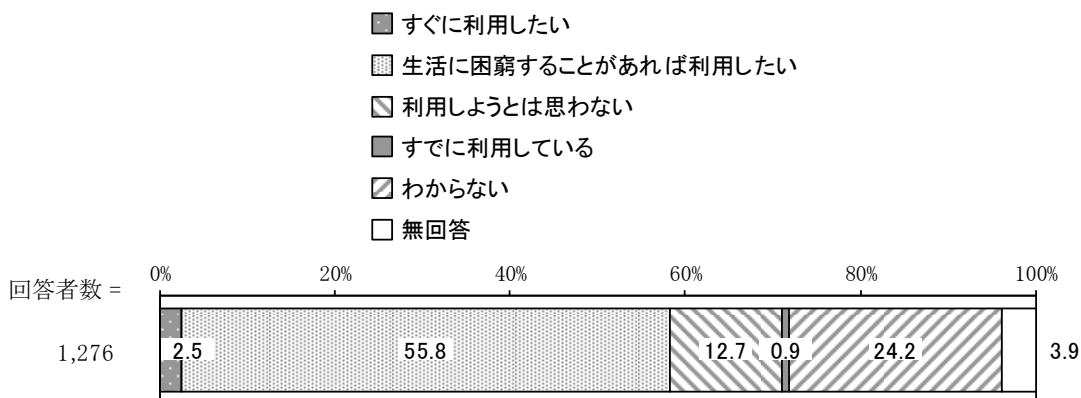
「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が 15.5%、「普通」の割合が 55.3%、「やや苦しい」と「大変苦しい」をあわせた” 苦しい “の割合が 27.4% となっています。



問 21 (3) 【全員にお尋ねします。】

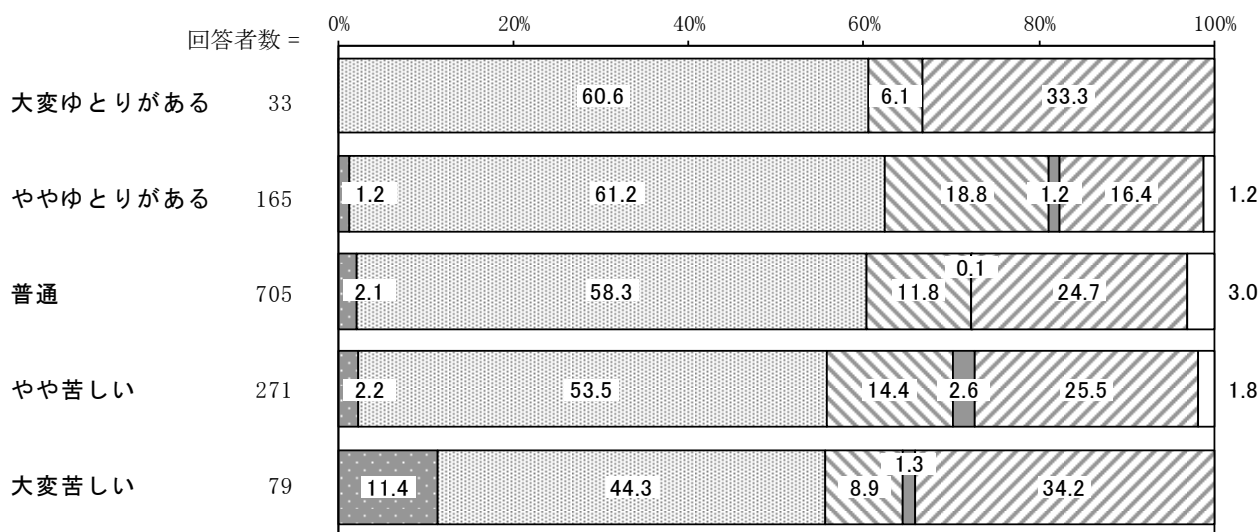
あなたは経済的に困窮することがある場合、「くらしと仕事の相談窓口」を利用しようと思いますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「生活に困窮することがあれば利用したい」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%、「利用しようとは思わない」の割合が 12.7%となっています。



【経済的な暮らし向き別】

経済的な暮らし向き別でみると、ゆとりがある人ほど「生活に困窮することがあれば利用したい」の割合が高くなる傾向がみられます。



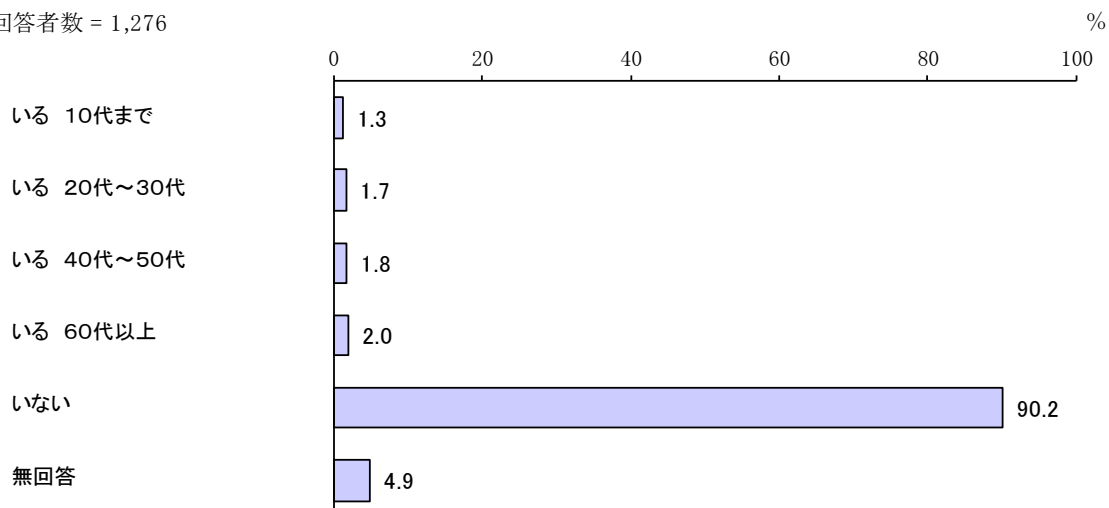


問 22 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたやあなたのご家族にひきこもり状態の方はおられますか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「いない」の割合が90.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,276



問 22 (2) 【(1)で「いる 10代まで」から「いる 60代以上」を選ばれた方にお尋ねします。】

(1)で選択された方に対して、どのような支援を期待しますか。

(1)で選択された年代に対する支援について、当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

『①10代まで』で「当事者・家族の相談先」「相談窓口・家族会等の情報提供」の割合が、『③40代~50代』で「当事者の居場所づくり」「就労支援」の割合が高くなっています。

単位：%

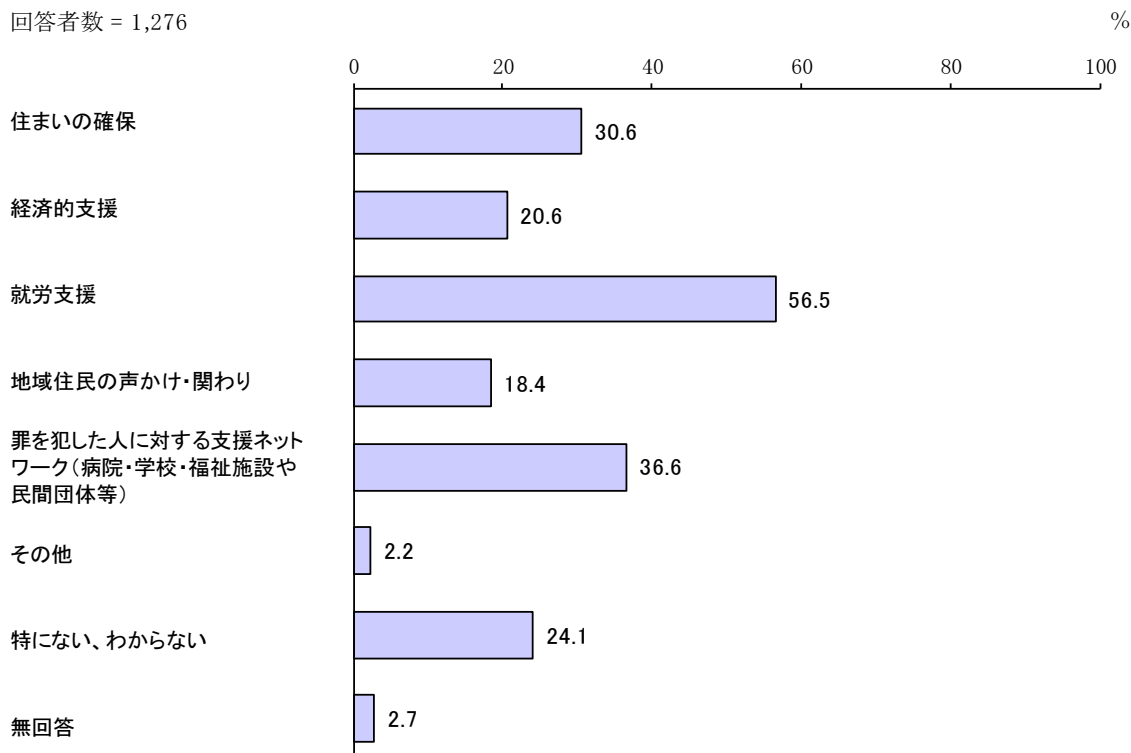
区分	有効回答数(件)	当事者・家族の相談先	相談窓口・家族会等の情報提供	当事者の居場所づくり	就労支援	その他	無回答
①10代まで	17	41.2	41.2	41.2	47.1	29.4	—
②20代~30代	22	22.7	18.2	22.7	40.9	22.7	22.7
③40代~50代	23	34.8	30.4	47.8	56.5	26.1	0.0
④60代以上	25	48.0	20.0	28.0	—	20.0	12.0

問 23 【全員にお尋ねします。】

罪を犯した人が地域に戻る場合、その人に対してどのような再犯防止支援が必要だと思えますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「就労支援」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「罪を犯した人に対する支援ネットワーク（病院・学校・福祉施設や民間団体等）」の割合が 36.6%、「住まいの確保」の割合が 30.6%となっています。

回答者数 = 1,276



【福祉との関わり別】

福祉との関わり別でみると、他に比べ、福祉関係の仕事をしている、ボランティア活動に参加しているで「就労支援」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	住まいの確保	経済的支援	就労支援	地域住民の声かけ・関わり	罪を犯した人に対する支援ネットワーク (病院・学校・福祉施設や民間団体等)	その他	特にない、わからない	無回答
福祉関係の仕事をしている	75	42.7	28.0	68.0	20.0	56.0	2.7	16.0	1.3
ボランティア活動に参加している	65	40.0	21.5	69.2	43.1	38.5	4.6	16.9	1.5
福祉サービスを利用している	101	34.7	20.8	52.5	17.8	27.7	2.0	27.7	3.0
家族が福祉サービスを利用している	174	31.6	21.8	63.8	25.9	48.3	1.7	17.2	2.3
その他	37	37.8	27.0	48.6	27.0	43.2	5.4	21.6	—
特に関わりはない	801	28.5	19.7	55.7	15.1	34.7	2.1	25.7	1.7

## (6) 介護や医療について

問 24 (1) 【全員にお尋ねします。】

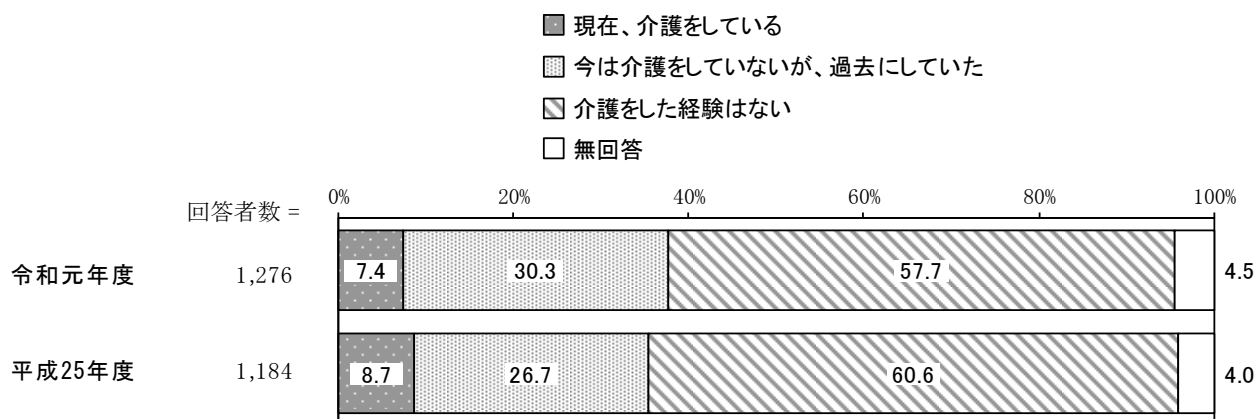
あなたは、ご家族の介護をしておられますか。

(医療機関へ入院、福祉施設などへ入所されている場合は除きます。)

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

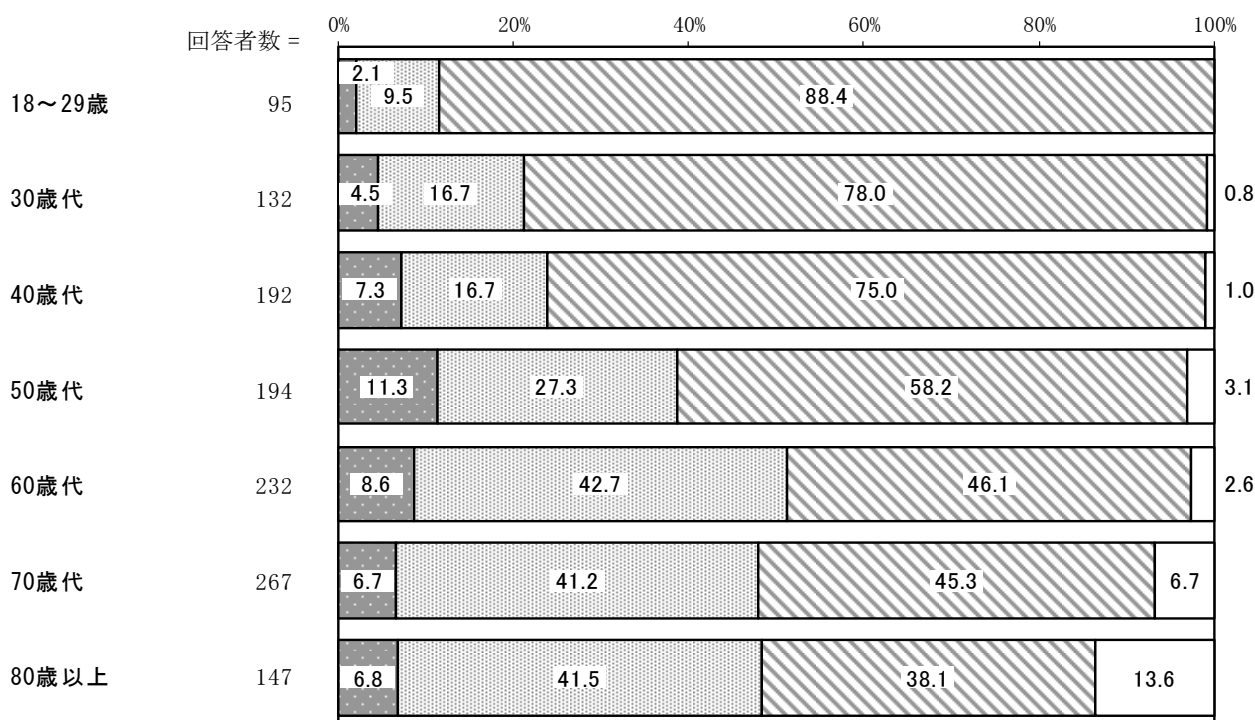
「介護をした経験はない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「今は介護をしていないが、過去にしていた」の割合が 30.3%となっています。

平成 25 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【年代別】

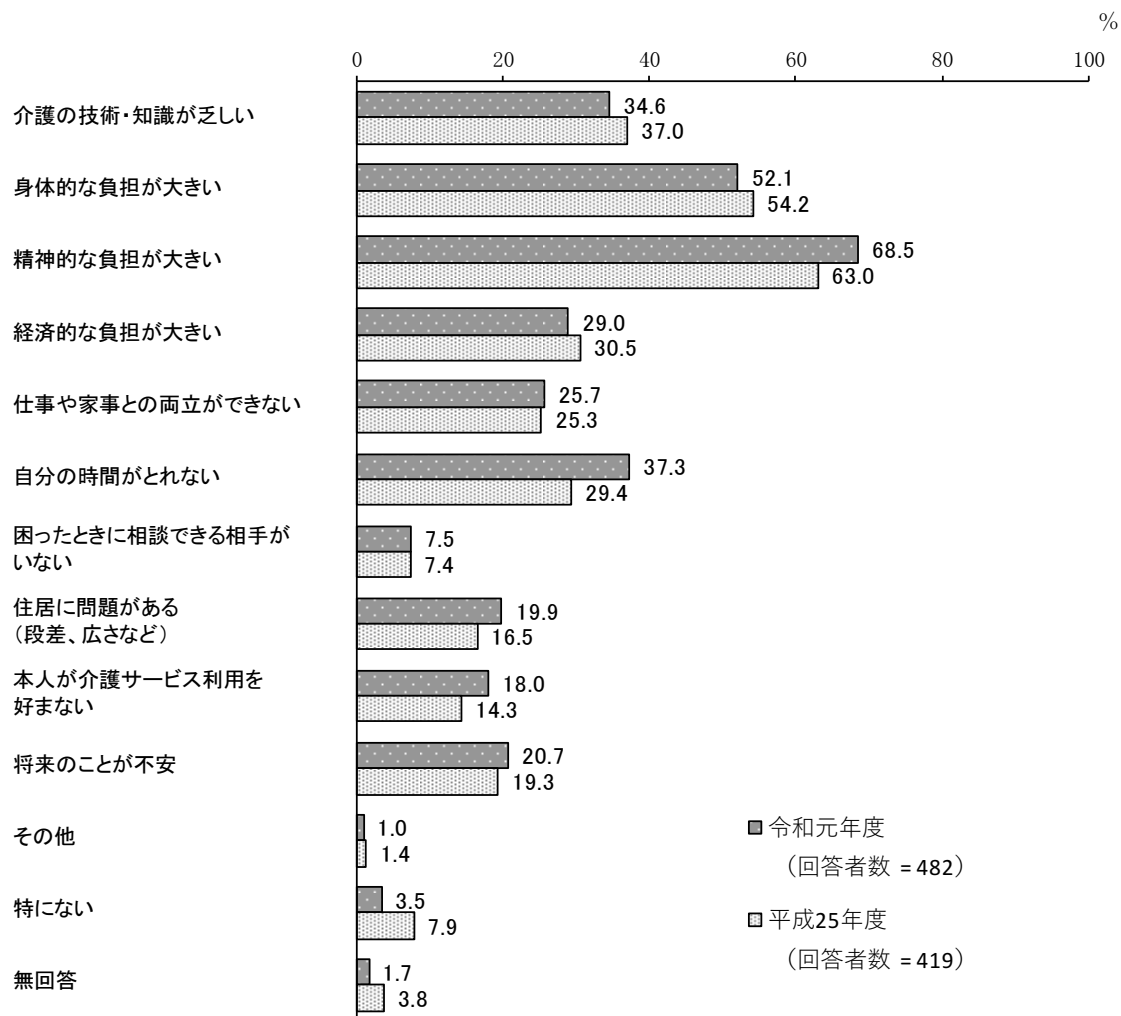
年代別でみると、他に比べ、50 歳代で「現在、介護をしている」の割合が高くなっています。



問 24 (2) 【(1)で「現在、介護をしている」か「今は介護をしていないが、過去にしていた」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 家族の介護に携わる中で、悩みはありますか（または、ありましたか）。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「精神的な負担が大きい」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「身体的な負担が大きい」の割合が 52.1%、「自分の時間がとれない」の割合が 37.3%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「精神的な負担が大きい」「自分の時間がとれない」の割合が増加しています。

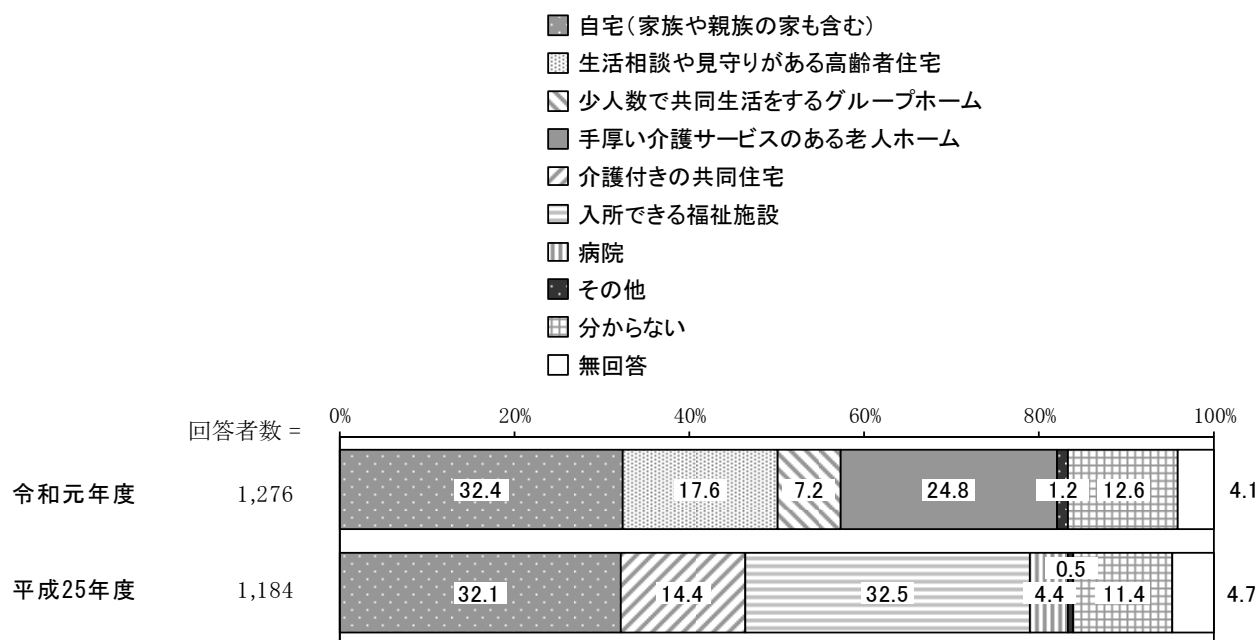


問 25 (1) 【全員にお尋ねします。】

将来、あなたご自身が介護の必要な状況になったとき、どこで暮らしたいですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「自宅（家族や親族の家も含む）」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「手厚い介護サービスのある老人ホーム」の割合が 24.8%、「生活相談や見守りがある高齢者住宅」の割合が 17.6%となっています。

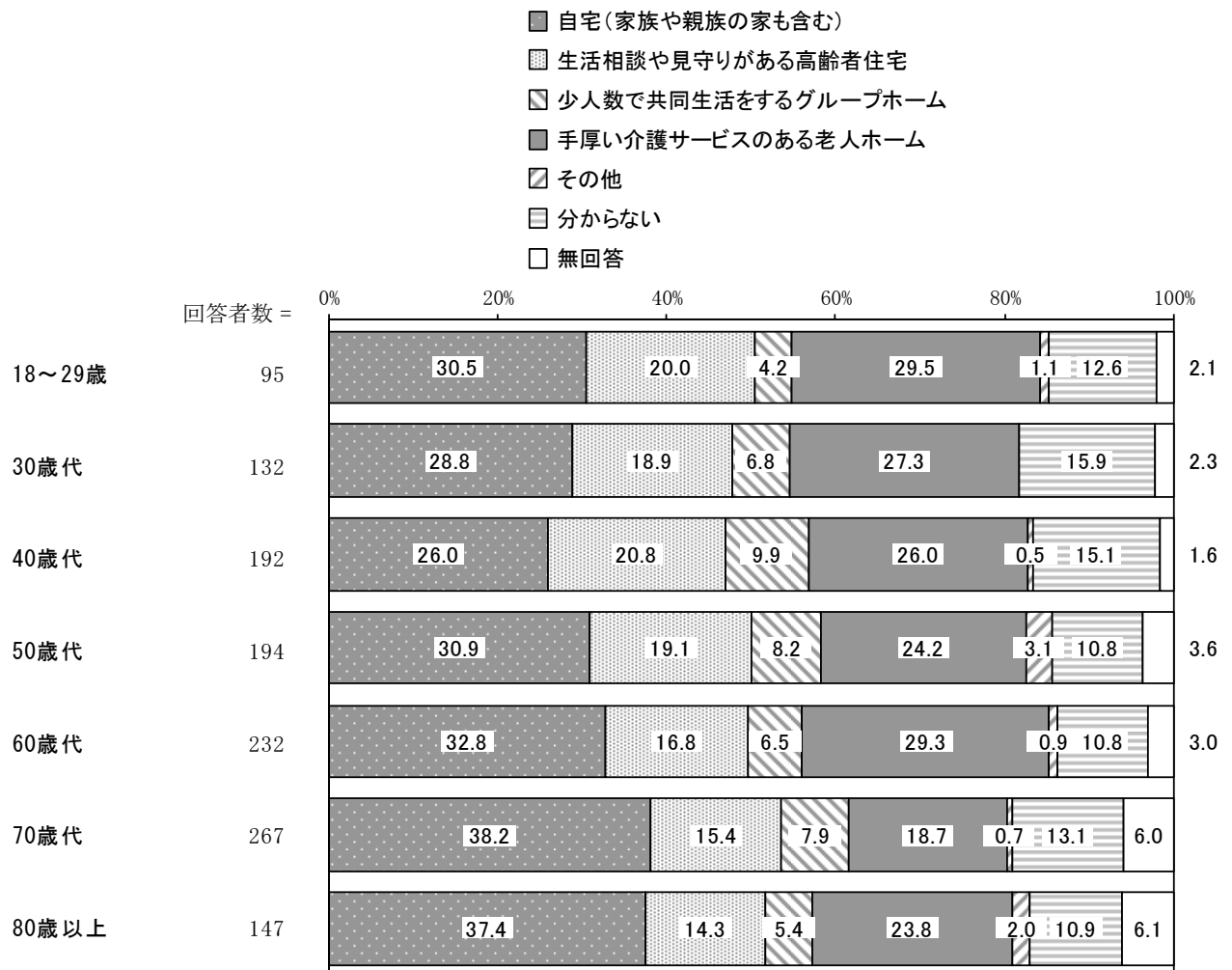
平成 25 年度と比較すると、「生活相談や見守りがある高齢者住宅」「少人数で共同生活をするグループホーム」「手厚い介護サービスのある老人ホーム」の割合が増加しています。



※「介護付きの共同住宅」「入所できる福祉施設」「病院」は令和元年度調査にはありませんでした。

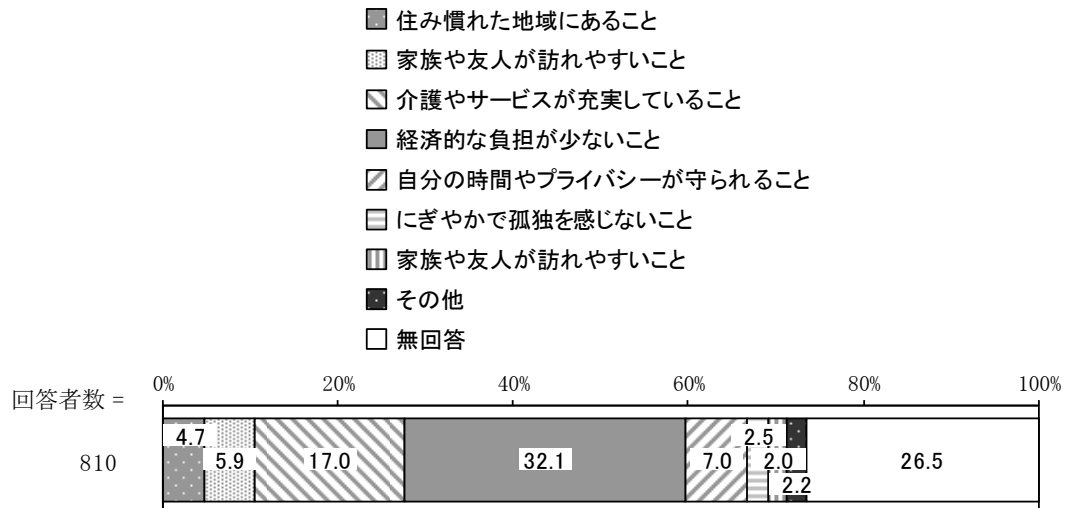
**【年代別】**

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「自宅（家族や親族の家も含む）」の割合が高くなっています。



問 25 (2) 【(1)で「自宅（家族や親族の家も含む）」以外を選ばれた方にお尋ねします。】  
 自宅以外を選択するにあたり、もっとも重視したいことは何ですか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「経済的な負担が少ないこと」の割合が32.1%と最も高く、次いで「介護やサービスが充実していること」の割合が17.0%となっています。



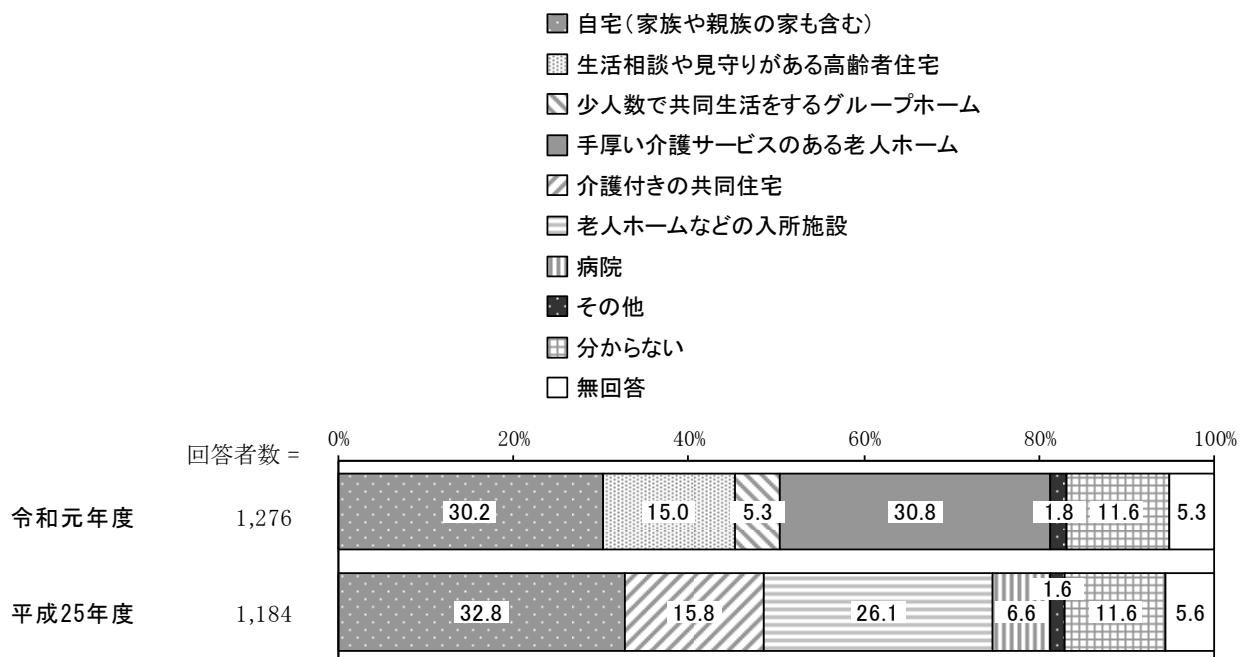
問 26 (1) 【全員にお尋ねします。】

将来、あなたのご家族が介護の必要な状況になったとき、ご家族にはどこで暮らしてほしいと思いますか。

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「手厚い介護サービスのある老人ホーム」の割合が30.8%と最も高く、次いで「自宅(家族や親族の家も含む)」の割合が30.2%、「生活相談や見守りがある高齢者住宅」の割合が15.0%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「生活相談や見守りがある高齢者住宅」「少人数で共同生活をするグループホーム」「手厚い介護サービスのある老人ホーム」の割合が増加しています。

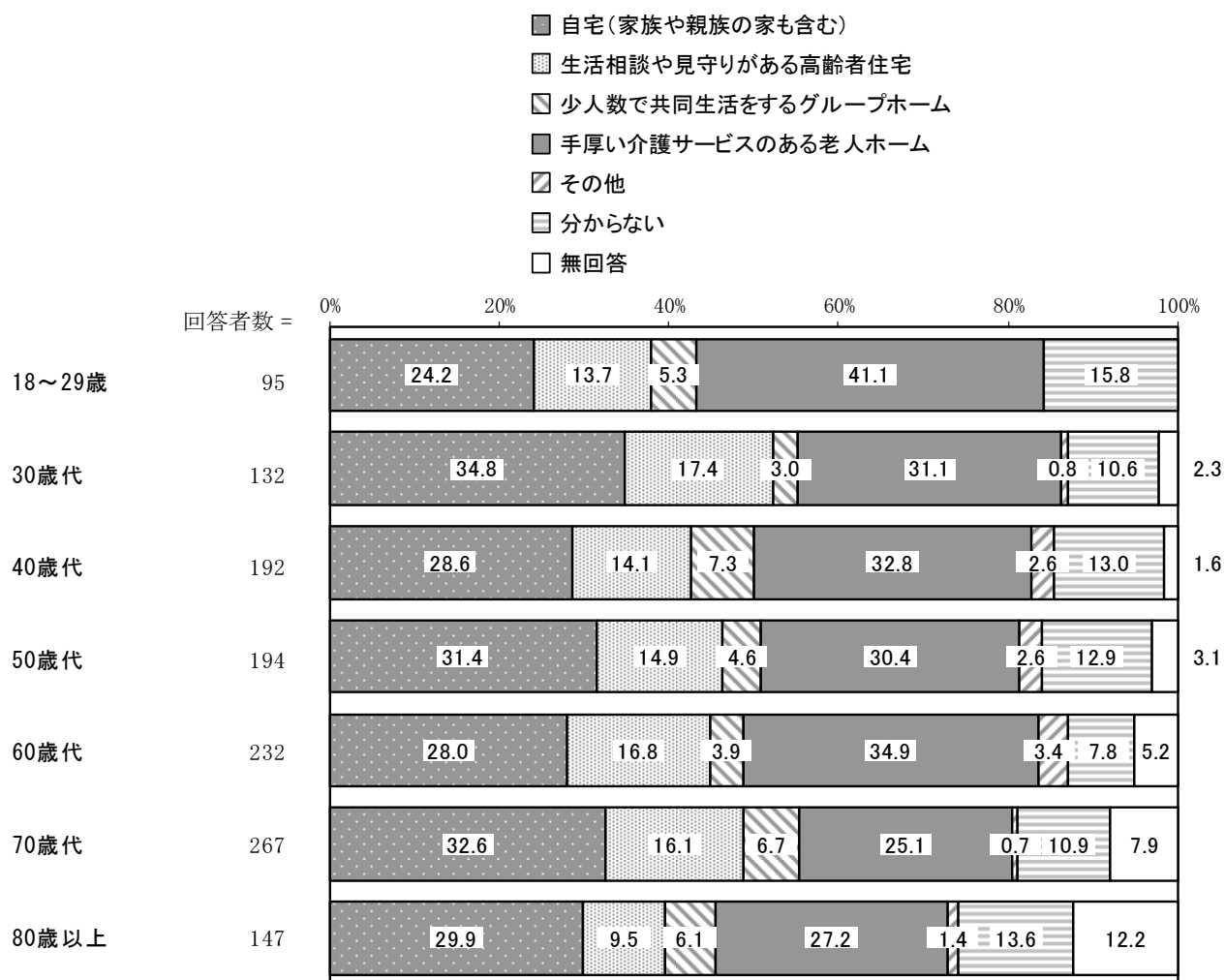


※「介護付きの共同住宅」「老人ホームなどの入所施設」「病院」は令和元年度調査にはありませんでした。



【年代別】

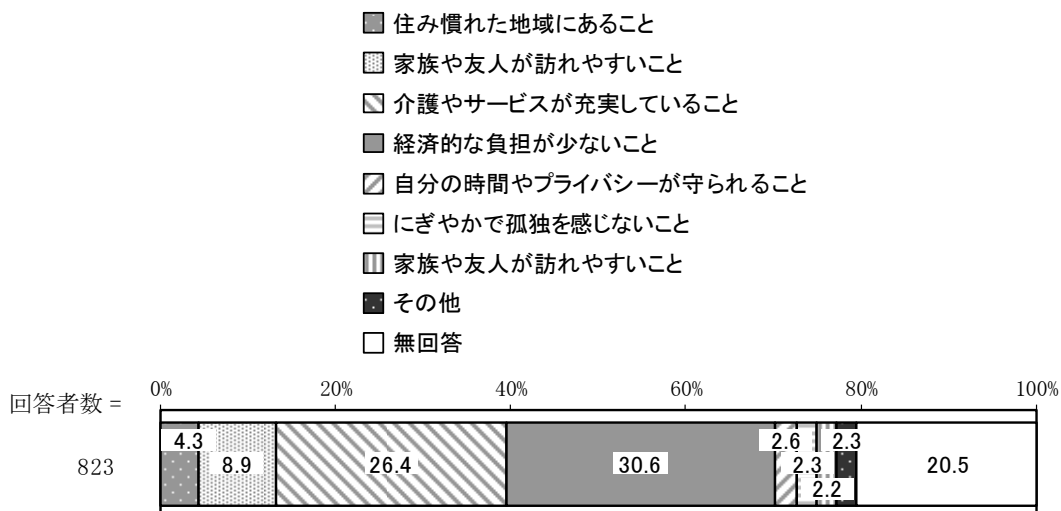
年代別でみると、他に比べ、30歳代で「自宅（家族や親族の家も含む）」の割合が高くなっています。



問 26 (2) 【(1)で「自宅（家族や親族の家も含む）」以外を選ばれた方にお尋ねします。】

自宅以外を選択するにあたり、もっとも重視したいことは何ですか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「経済的な負担が少ないこと」の割合が30.6%と最も高く、次いで「介護やサービスが充実していること」の割合が26.4%となっています。

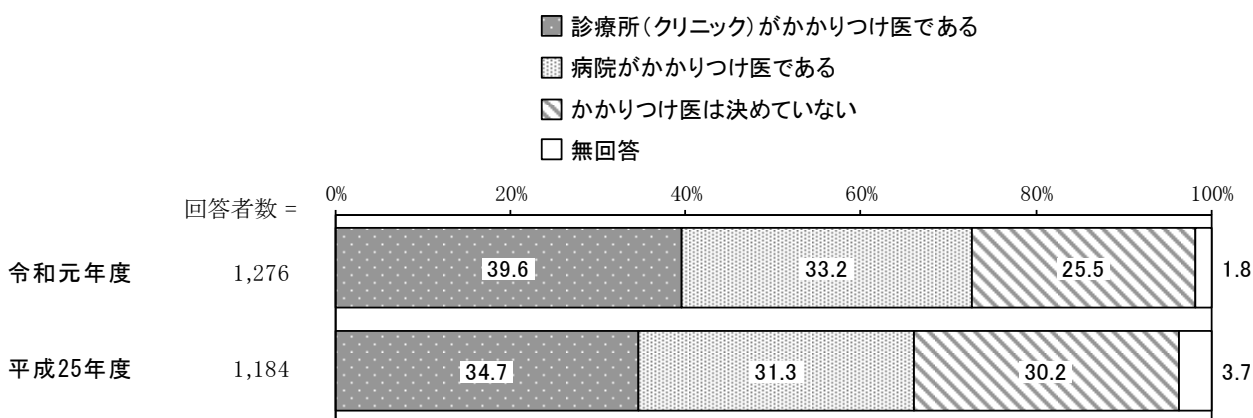


問 27 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、体調が悪いときにまず診てもらったり、日頃から健康について相談したりできる「かかりつけ医」を決めていますか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「診療所（クリニック）がかかりつけ医である」の割合が39.6%と最も高く、次いで「病院がかかりつけ医である」の割合が33.2%、「かかりつけ医は決めていない」の割合が25.5%となっています。

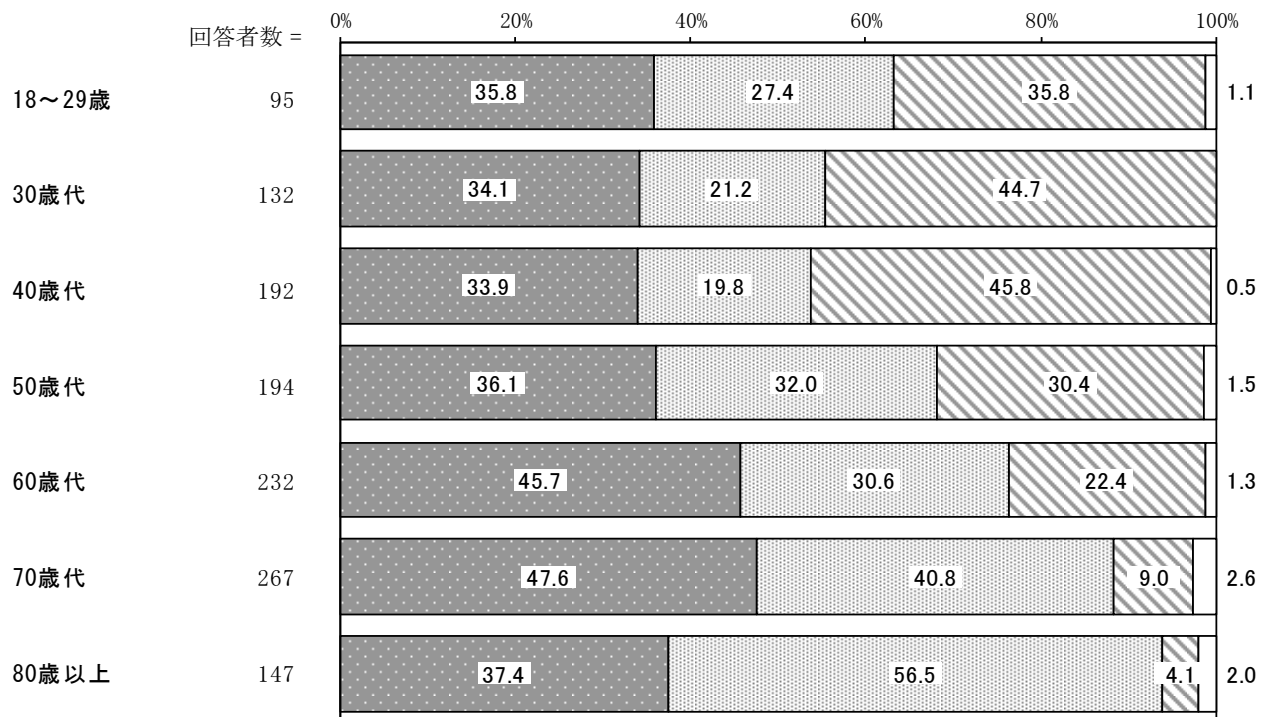
平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳代、70歳代で「診療所（クリニック）がかかりつけ医である」の割合が、30歳代、40歳代で「かかりつけ医は決めていない」の割合が高くなっています。

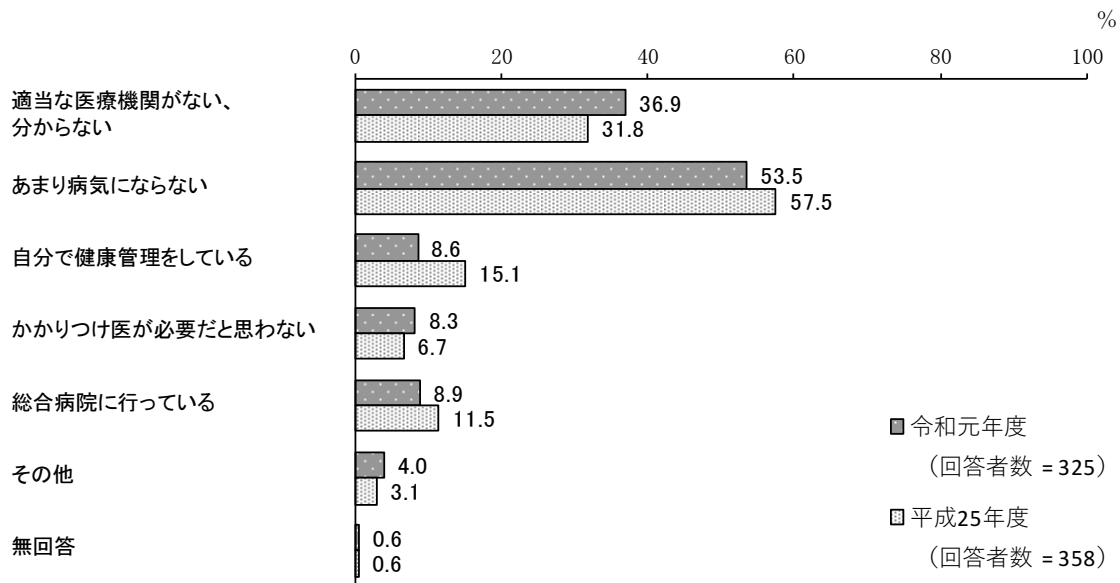
- 診療所（クリニック）がかりつけ医である
- ▨ 病院がかりつけ医である
- ▧ かかりつけ医は決めていない
- 無回答



問 27 (2) 【(1)で「かかりつけ医は決めていない」を選ばれた方にお尋ねします。  
 かかりつけ医を決めていない理由は何ですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「あまり病気になるしない」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「適当な医療機関がない、分からない」の割合が 36.9%となっています。

平成 25 年度と比較すると、「適当な医療機関がない、分からない」の割合が増加しています。一方、「自分で健康管理をしている」の割合が減少しています。

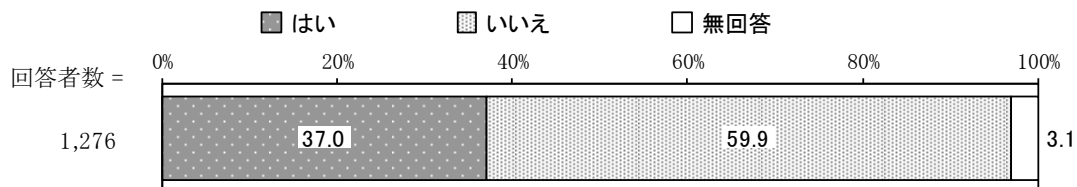


## (7) 災害時要援護者の支援について

### 問 28 【全員にお尋ねします。】

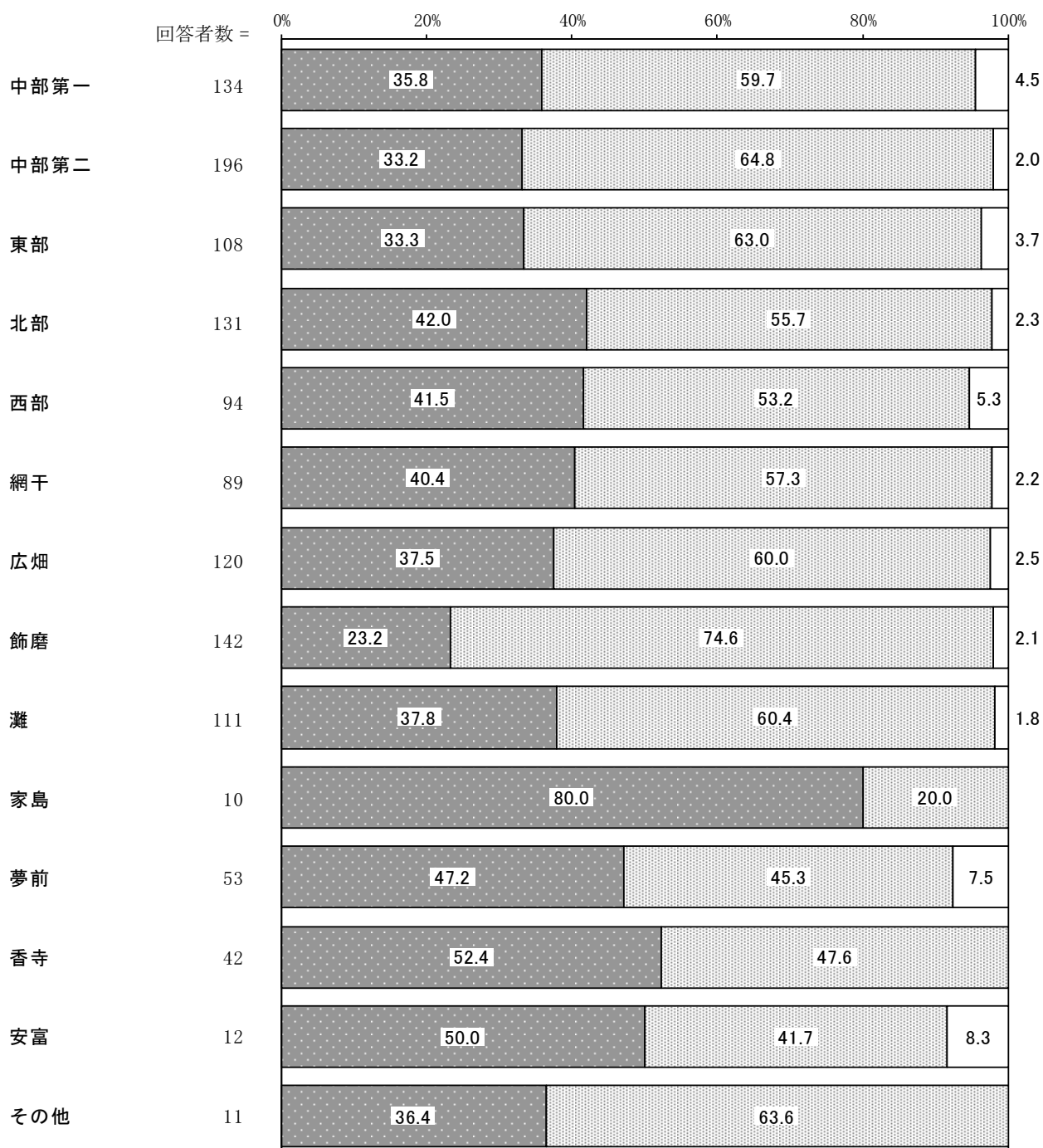
隣近所で支援を必要とする人（高齢者・障害者（児）等）がいる世帯をご存知ですか。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

「はい」の割合が37.0%、「いいえ」の割合が59.9%となっています。



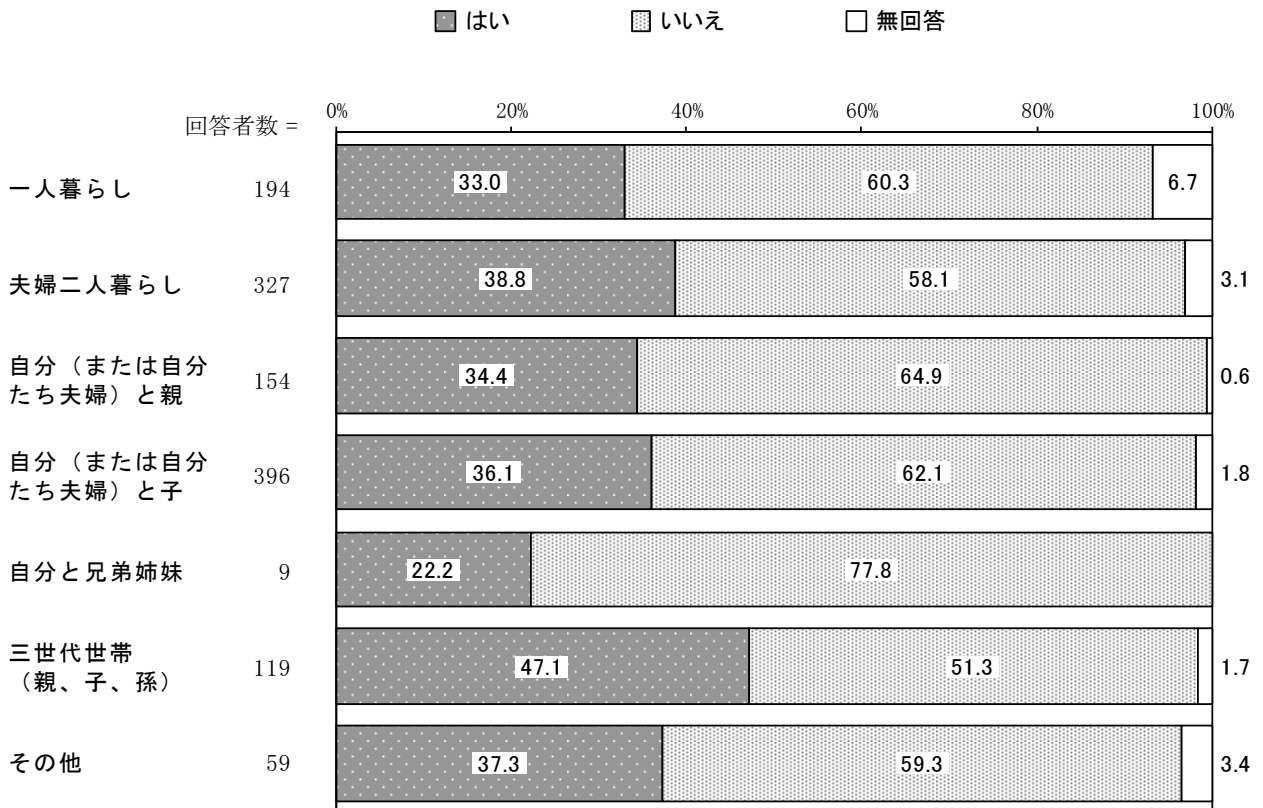
### 【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部第二、東部で「いいえ」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、自分（または自分たち夫婦）と親で「いいえ」の割合が高くなっています。

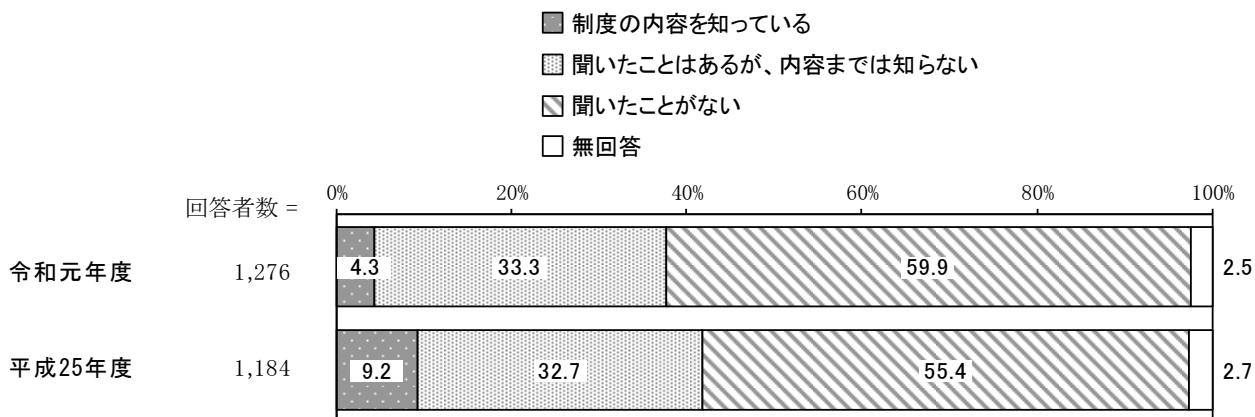


問 29 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、「災害時要援護者支援事業」をご存知ですか。  
 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

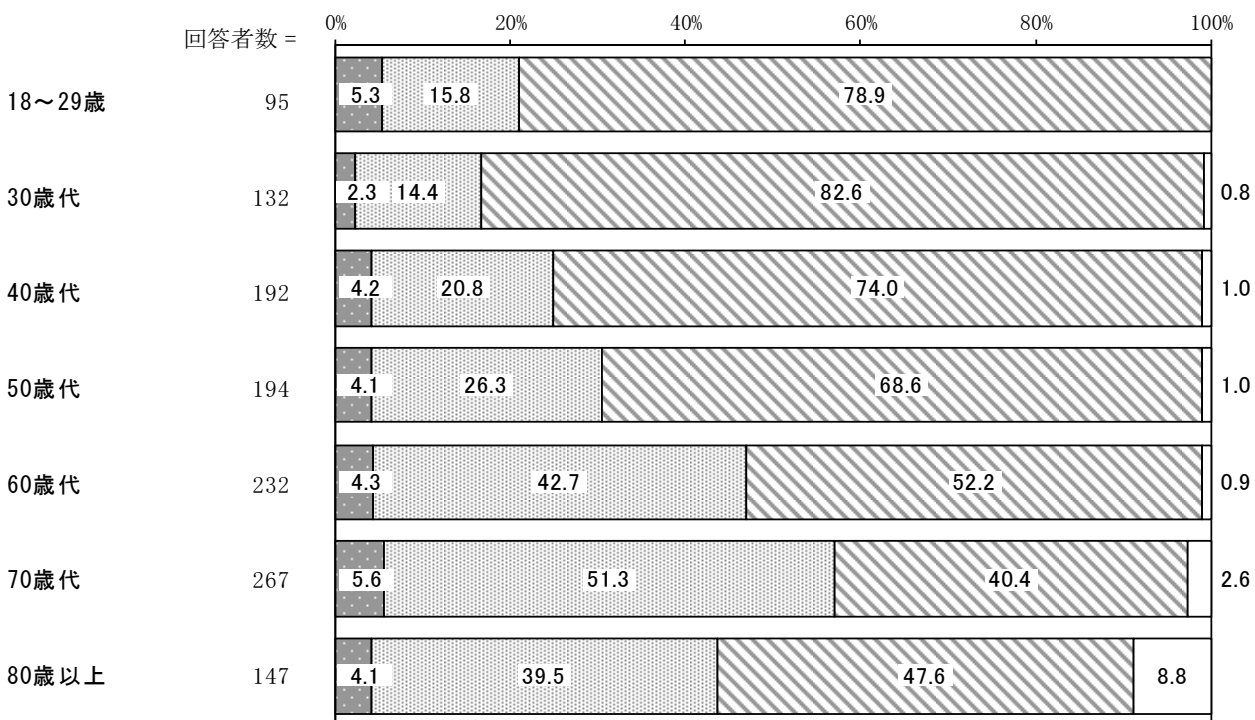
「聞いたことがない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の割合が33.3%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



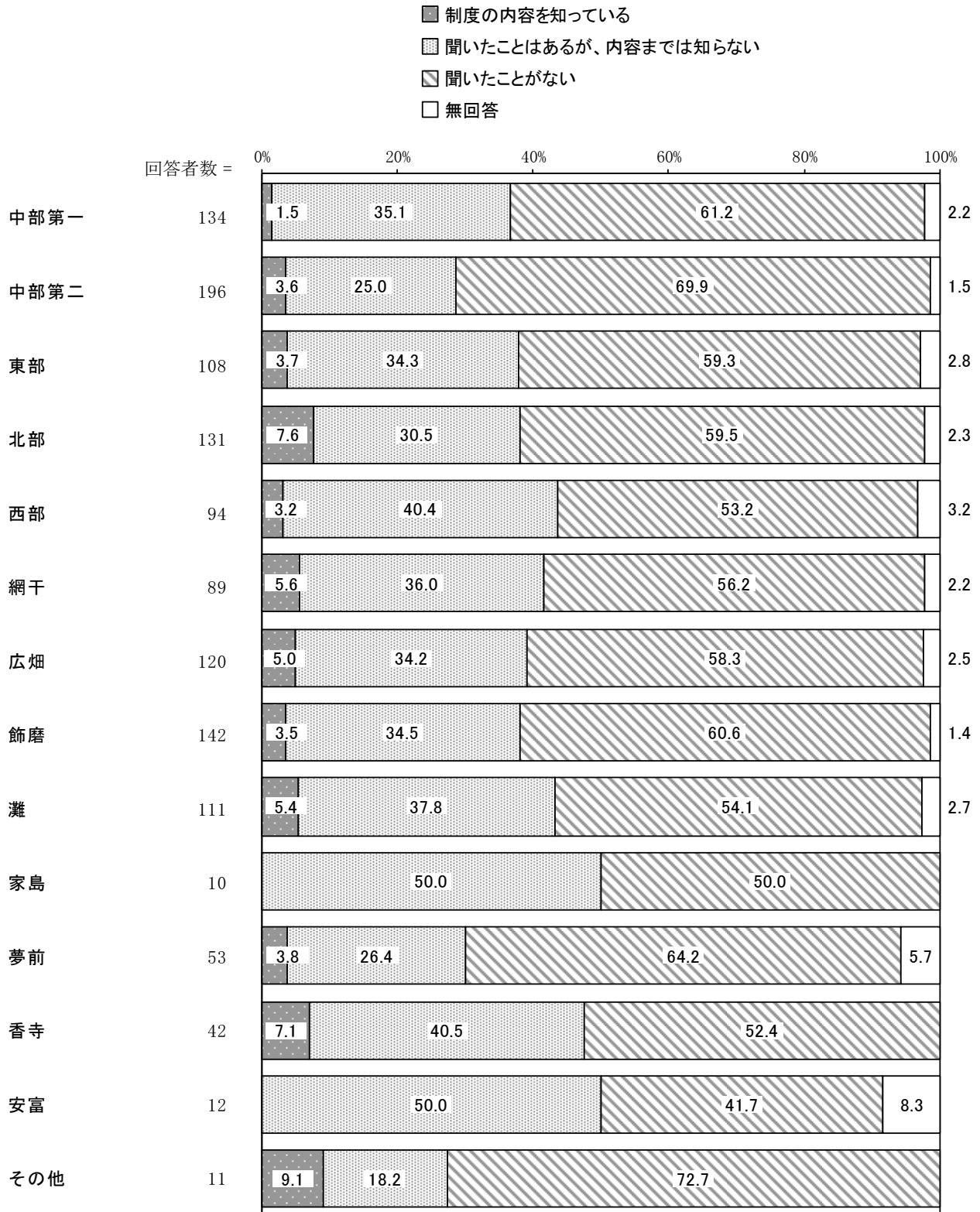
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、中部第二で「聞いたことがない」の割合が高くなっています。



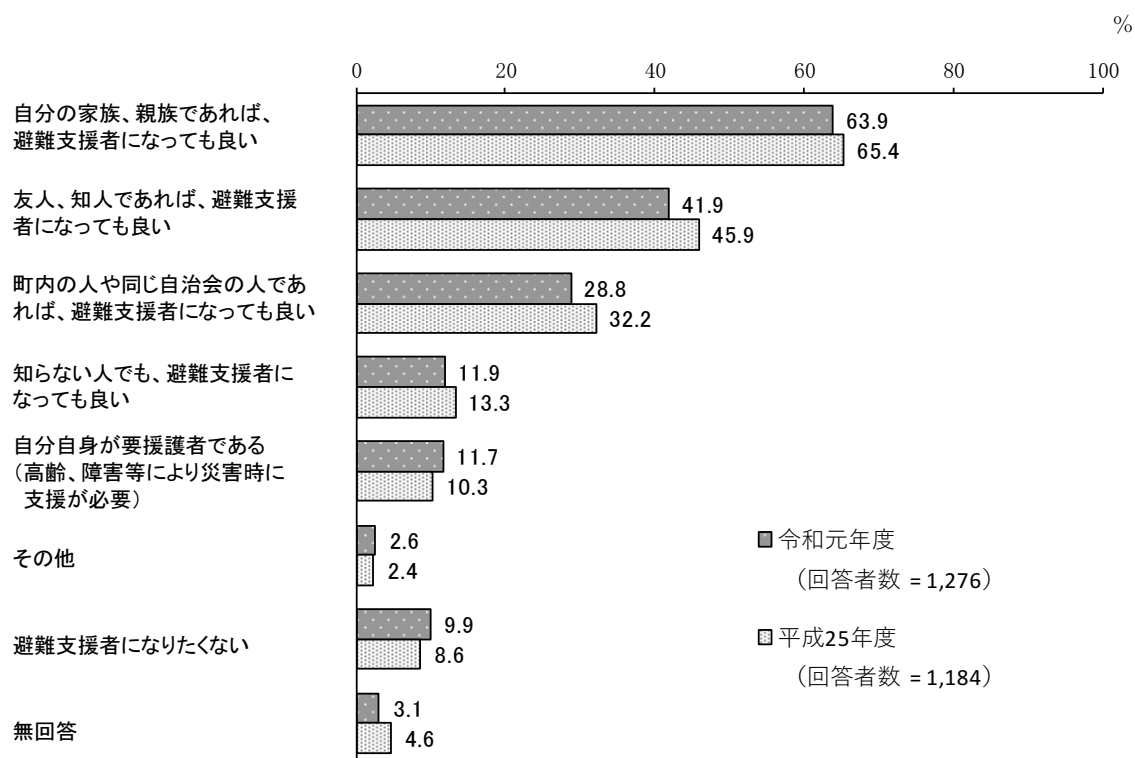


問 29 (2) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、避難支援者になることについて、どのように思いますか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い」の割合が63.9%と最も高く、次いで「友人、知人であれば、避難支援者になっても良い」の割合が41.9%、「町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い」の割合が28.8%となっています。

平成25年度と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性の40歳代で「自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い」の割合が高くなっています。また、男女ともに80歳以上で「自分自身が要援護者である（高齢、障害等により災害時に支援が必要）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い	友人、知人であれば、避難支援者になっても良い	町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い	知らない人でも、避難支援者になっても良い	自分自身が要援護者である（高齢、障害等により災害時に支援が必要）	その他	避難支援者になりたくない	無回答
男性 18～29 歳	49	73.5	49.0	12.2	12.2	2.0	2.0	12.2	—
30 歳代	52	67.3	48.1	26.9	15.4	1.9	5.8	13.5	—
40 歳代	85	71.8	51.8	28.2	14.1	3.5	3.5	5.9	2.4
50 歳代	91	61.5	39.6	36.3	14.3	—	1.1	19.8	2.2
60 歳代	99	62.6	34.3	32.3	8.1	7.1	2.0	9.1	3.0
70 歳代	103	61.2	40.8	37.9	7.8	24.3	1.9	4.9	2.9
80 歳以上	45	24.4	15.6	24.4	6.7	37.8	2.2	15.6	8.9
女性 18～29 歳	43	67.4	46.5	18.6	16.3	2.3	7.0	11.6	—
30 歳代	79	77.2	51.9	24.1	12.7	—	1.3	12.7	2.5
40 歳代	106	83.0	62.3	28.3	12.3	1.9	1.9	4.7	—
50 歳代	103	68.9	47.6	30.1	17.5	1.0	1.0	8.7	1.9
60 歳代	133	73.7	52.6	39.1	12.8	4.5	2.3	11.3	0.8
70 歳代	164	57.9	30.5	26.8	10.4	22.6	3.0	8.5	2.4
80 歳以上	102	35.3	18.6	15.7	5.9	45.1	4.9	10.8	9.8

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い	友人、知人であれば、避難支援者になっても良い	町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い	知らない人でも、避難支援者になっても良い	自分自身が要援護者である（高齢、障害等により災害時に支援が必要）	その他	避難支援者になりたくない	無回答
中部第一	134	61.9	37.3	25.4	11.9	11.9	2.2	9.7	3.0
中部第二	196	67.3	47.4	30.6	13.8	12.2	2.6	10.7	1.0
東部	108	69.4	42.6	23.1	13.9	4.6	1.9	13.0	4.6
北部	131	54.2	38.2	28.2	9.9	13.0	5.3	11.5	3.1
西部	94	66.0	38.3	34.0	13.8	12.8	1.1	8.5	4.3
網干	89	68.5	43.8	28.1	6.7	9.0	3.4	7.9	4.5
広畑	120	63.3	39.2	23.3	8.3	14.2	1.7	10.8	2.5
飾磨	142	60.6	40.1	22.5	9.9	12.0	2.8	12.7	2.1
灘	111	59.5	38.7	30.6	10.8	16.2	3.6	5.4	3.6
家島	10	100.0	50.0	40.0	20.0	10.0	—	—	—
夢前	53	56.6	37.7	39.6	11.3	9.4	1.9	11.3	3.8
香寺	42	78.6	59.5	35.7	11.9	7.1	2.4	9.5	—
安富	12	66.7	58.3	58.3	16.7	8.3	—	8.3	16.7
その他	11	81.8	72.7	54.5	45.5	—	—	—	—

【地域のつながりの感じ方別】

地域とのつながりの感じ方別でみると、感じている人ほど「友人、知人であれば、避難支援者になっても良い」「町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い」の割合が高く、身近な人の避難支援者になってもよい人が多くなっています。

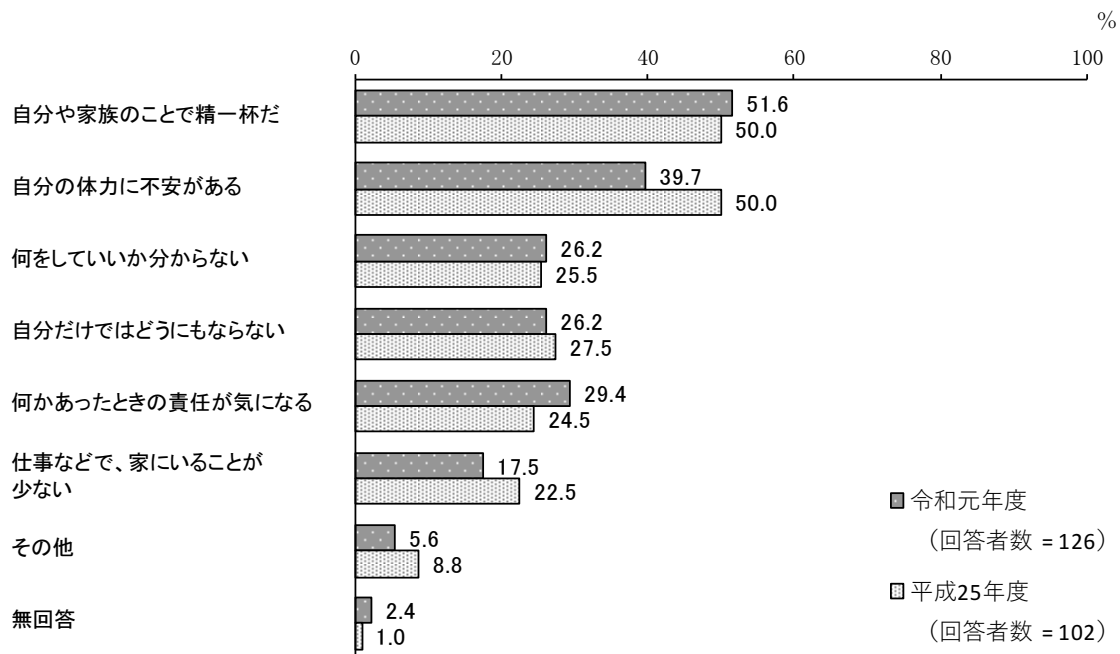
単位：％

区分	有効回答数（件）	自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い	友人、知人であれば、避難支援者になっても良い	町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い	知らない人でも、避難支援者になっても良い	自分自身が要援護者である（高齢、障害等により災害時に支援が必要）	その他	避難支援者になりたくない	無回答
とても感じる	229	65.5	51.5	43.2	10.9	16.2	0.9	6.1	4.4
少し感じる	533	63.6	42.2	32.1	11.3	12.2	3.0	8.4	2.6
あまり感じない	391	65.7	39.6	21.5	13.3	8.4	3.1	11.8	2.6
まったく感じない	110	58.2	30.9	10.9	11.8	10.9	2.7	18.2	0.9

問 29 (3) 【(2)で「避難支援者になりたくない」を選ばれた方にお尋ねします。】  
 避難支援者になりたくない理由は何ですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「自分や家族のことで精一杯だ」の割合が51.6%と最も高く、次いで「自分の体力に不安がある」の割合が39.7%、「何かあったときの責任が気になる」の割合が29.4%となっています。

平成25年度と比較すると、「自分の体力に不安がある」「仕事などで、家にいることが少ない」の割合が減少しています。



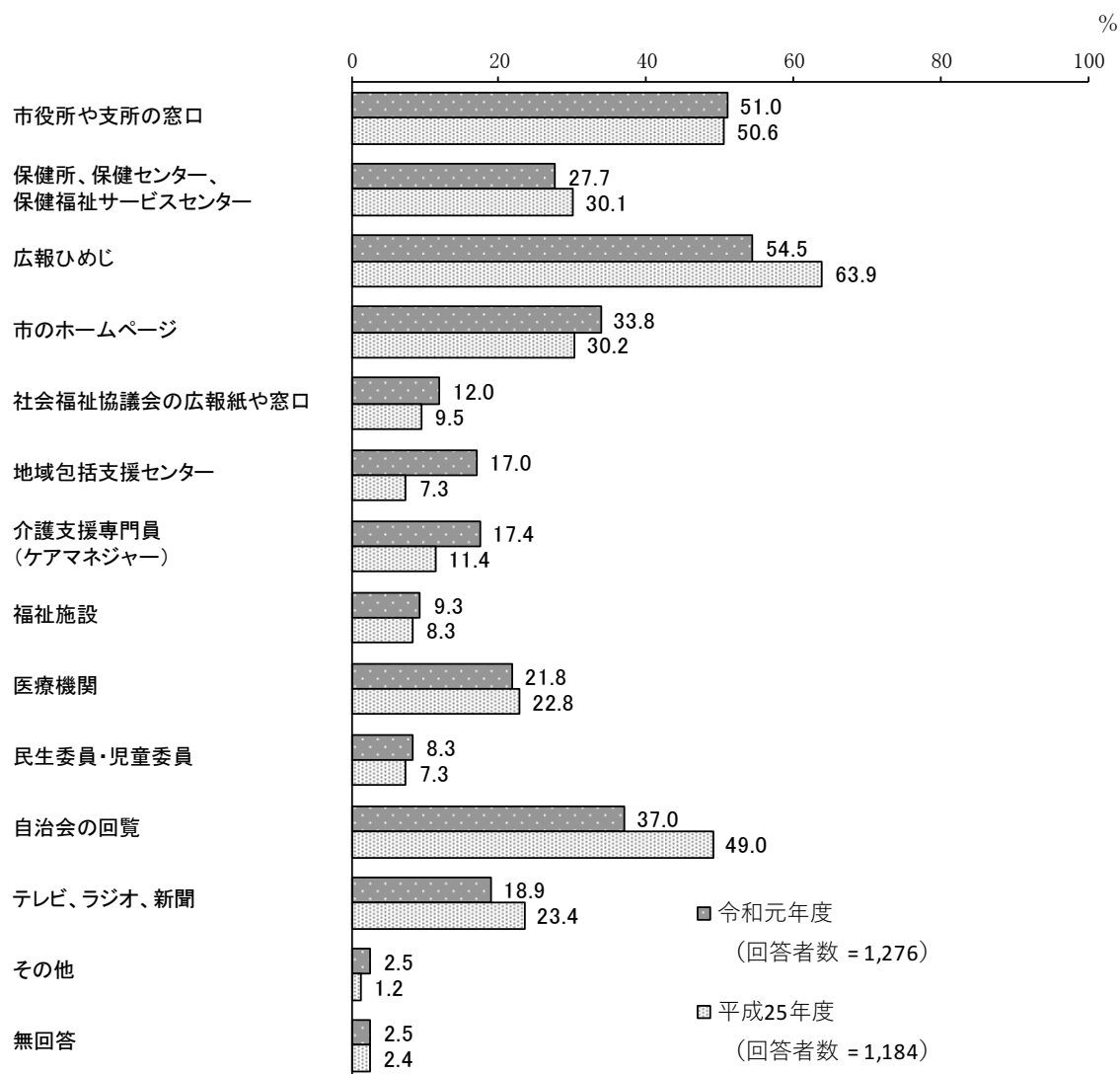
## (8) 福祉サービスの利用、これからの福祉のあり方について

### 問 30 【全員にお尋ねします。】

市の福祉サービスに関する情報は、どこから入手したいと思われませんか。  
当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「広報ひめじ」の割合が54.5%と最も高く、次いで「市役所や支所の窓口」の割合が51.0%、「自治会の回覧」の割合が37.0%となっています。

平成25年度と比較すると、「地域包括支援センター」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が増加しています。一方、「広報ひめじ」「自治会の回覧」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳代で「広報ひめじ」の割合が、30歳代で「市のホームページ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市役所や支所の窓口	保健所、保健センター、保健福祉サービスセンター	広報ひめじ	市のホームページ	社会福祉協議会の広報紙や窓口	地域包括支援センター	介護支援専門員(ケアマネジャー)	福祉施設	医療機関	民生委員・児童委員	自治会の回覧	テレビ、ラジオ、新聞	その他	無回答
18～29歳	95	49.5	29.5	38.9	55.8	7.4	9.5	5.3	8.4	28.4	3.2	25.3	27.4	4.2	1.1
30歳代	132	49.2	28.8	57.6	61.4	7.6	6.8	6.1	11.4	20.5	3.0	34.1	22.7	2.3	1.5
40歳代	192	50.0	31.3	58.9	56.8	9.4	10.4	15.1	13.5	26.0	6.3	34.9	18.2	4.7	0.5
50歳代	194	57.7	31.4	54.1	43.3	13.4	15.5	16.0	10.3	24.2	5.7	34.0	19.1	4.1	1.5
60歳代	232	57.3	27.6	61.2	26.7	13.4	16.8	23.7	7.3	19.0	8.6	40.5	19.0	1.3	1.7
70歳代	267	49.8	26.2	52.4	10.9	14.2	25.1	16.9	6.7	19.5	11.2	44.6	15.7	0.4	3.7
80歳以上	147	39.5	21.1	50.3	7.5	13.6	28.6	32.7	10.2	20.4	16.3	34.0	17.0	2.7	4.1

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、家島で「市役所や支所の窓口」の割合が、香寺で「広報ひめじ」の割合が高くなっています。また、安富で「自治会の回覧」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市役所や支所の窓口	保健所、保健センター、保健福祉サービスセンター	広報ひめじ	市のホームページ	社会福祉協議会の広報紙や窓口	地域包括支援センター	介護支援専門員(ケアマネジャー)	福祉施設	医療機関	民生委員・児童委員	自治会の回覧	テレビ、ラジオ、新聞	その他	無回答
中部第一	134	56.7	26.9	53.7	36.6	16.4	14.9	19.4	9.0	25.4	9.0	38.1	16.4	0.7	0.7
中部第二	196	55.6	25.5	56.6	35.7	10.2	16.3	12.8	8.2	20.9	5.1	39.8	19.4	2.6	2.6
東部	108	50.9	26.9	38.0	41.7	9.3	13.9	17.6	9.3	19.4	2.8	29.6	15.7	2.8	4.6
北部	131	51.9	23.7	56.5	35.1	10.7	21.4	16.8	9.9	20.6	8.4	42.0	16.8	3.8	1.5
西部	94	50.0	25.5	60.6	31.9	11.7	21.3	24.5	12.8	22.3	10.6	44.7	24.5	2.1	3.2
網干	89	52.8	33.7	46.1	31.5	15.7	15.7	15.7	10.1	21.3	7.9	32.6	12.4	2.2	2.2
広畑	120	40.0	24.2	55.0	30.8	8.3	15.8	8.3	5.8	18.3	8.3	36.7	17.5	1.7	1.7
飾磨	142	44.4	31.0	58.5	33.8	7.7	17.6	19.0	8.5	24.6	11.3	27.5	20.4	3.5	3.5
灘	111	56.8	31.5	60.4	36.0	12.6	18.9	19.8	15.3	27.9	9.0	41.4	21.6	3.6	0.9
家島	10	80.0	40.0	60.0	10.0	30.0	20.0	10.0	—	20.0	20.0	20.0	10.0	—	—
夢前	53	49.1	34.0	45.3	22.6	11.3	18.9	32.1	11.3	24.5	13.2	32.1	26.4	1.9	5.7
香寺	42	40.5	26.2	71.4	35.7	21.4	7.1	16.7	2.4	14.3	2.4	42.9	19.0	—	—
安富	12	50.0	33.3	41.7	—	33.3	33.3	16.7	—	—	8.3	50.0	8.3	—	—
その他	11	54.5	18.2	63.6	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	—

## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、三世帯世帯（親、子、孫）で「広報ひめじ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	市役所や支所の窓口	保健所、保健センター、 福祉サービスセンター	広報ひめじ	市のホームページ	社会福祉協議会の 広報紙や窓口	地域包括支援センター	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	福祉施設	医療機関	民生委員・児童委員	自治会の回覧	テレビ、ラジオ、 新聞	その他	無回答
一人暮らし	194	44.8	24.2	47.4	26.8	12.4	20.6	17.0	6.7	16.5	11.9	27.8	12.9	5.7	4.1
夫婦二人暮らし	327	51.1	28.4	54.7	30.0	15.0	20.2	17.7	5.8	19.9	8.9	40.1	17.7	0.9	3.4
自分(または自分 たち夫婦)と親	154	51.9	28.6	40.9	44.8	7.8	10.4	16.9	7.8	22.1	3.9	30.5	23.4	2.6	1.9
自分(または自分 たち夫婦)と子	396	56.1	31.8	61.1	41.2	11.6	16.2	17.7	13.1	23.5	7.6	39.6	19.9	2.3	0.5
自分と兄弟姉妹	9	55.6	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	—	—	33.3	11.1	44.4	—	11.1	—
三世帯世帯(親、 子、孫)	119	44.5	21.8	66.4	28.6	11.8	16.8	16.8	14.3	29.4	5.0	46.2	20.2	1.7	1.7
その他	59	55.9	23.7	54.2	20.3	8.5	11.9	22.0	8.5	22.0	16.9	28.8	25.4	1.7	—

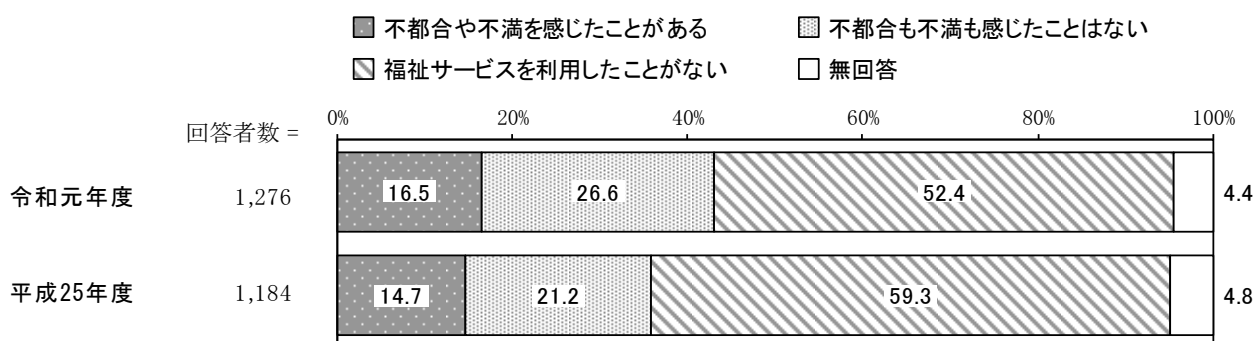
問 31 (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったことはありますか。

当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

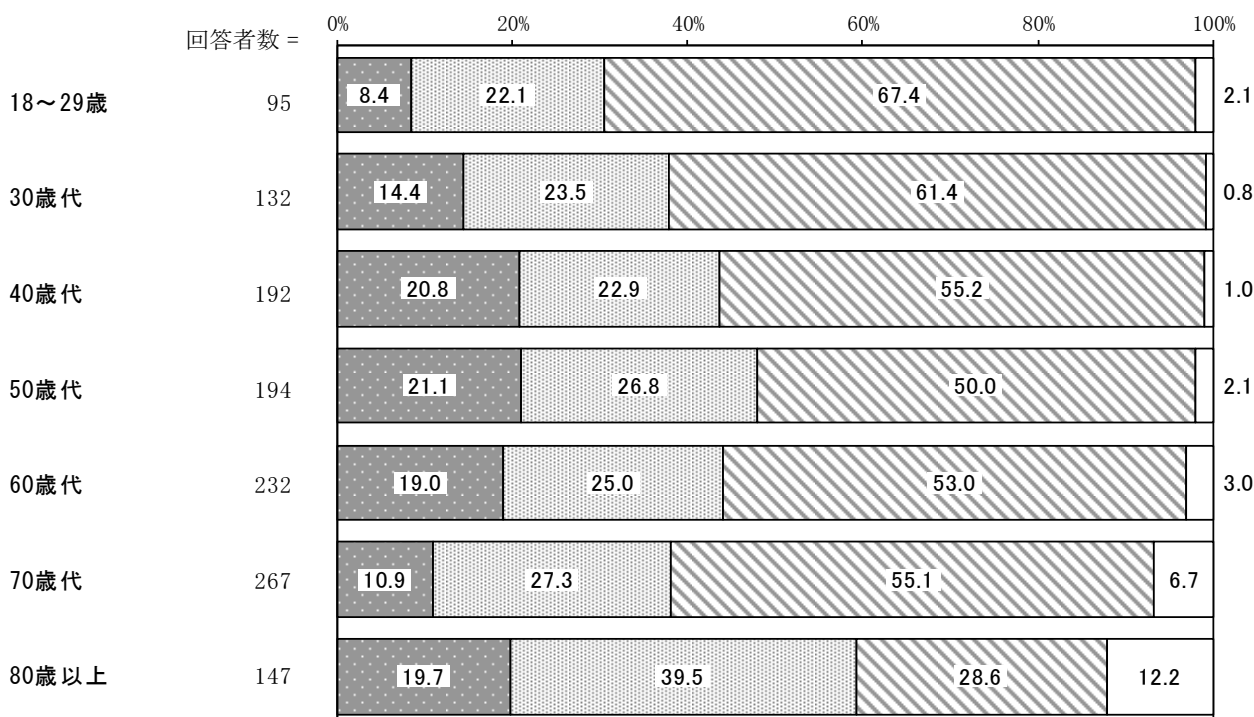
「福祉サービスを利用したことがない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「不都合も不満も感じたことはない」の割合が26.6%、「不都合や不満を感じたことがある」の割合が16.5%となっています。

平成25年度と比較すると、「不都合も不満も感じたことはない」の割合が増加しています。一方、「福祉サービスを利用したことがない」の割合が減少しています。



【年代別】

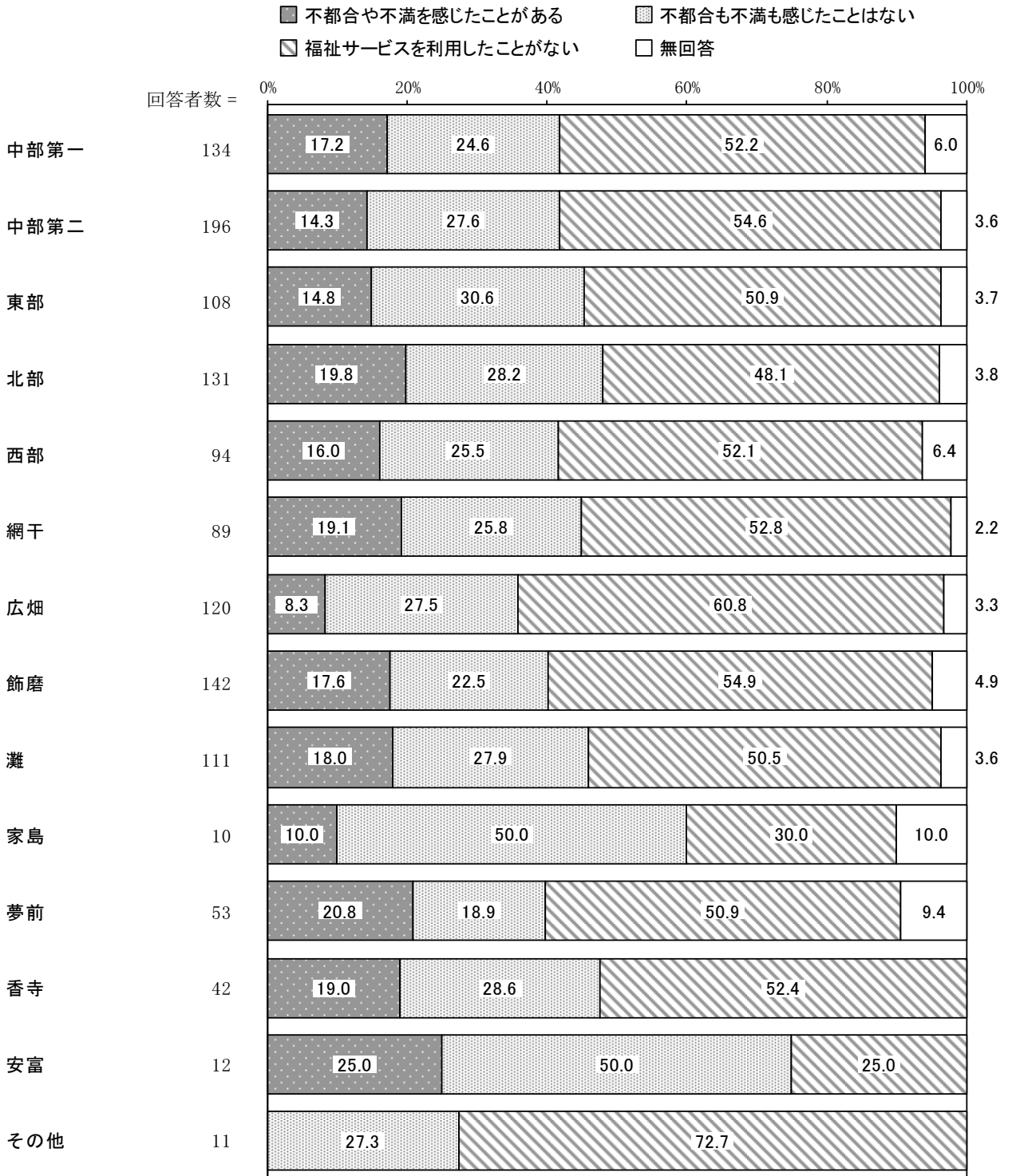
年代別でみると、他に比べ、40歳代から60歳代、80歳以上で「不都合や不満を感じたことがある」の割合が高くなっています。





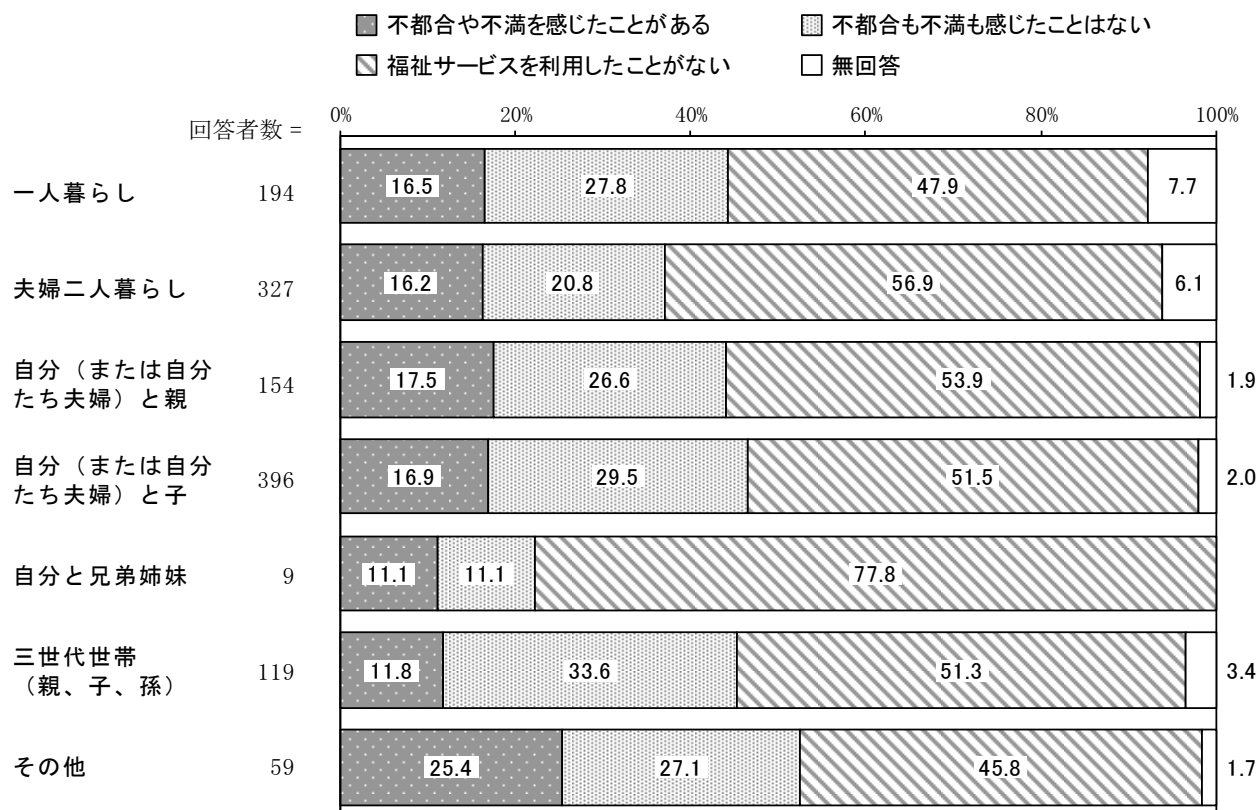
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、安富で「不都合や不満を感じたことがある」の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、三世代世帯（親、子、孫）で「不都合や不満を感じたことがある」の割合が低くなっています。

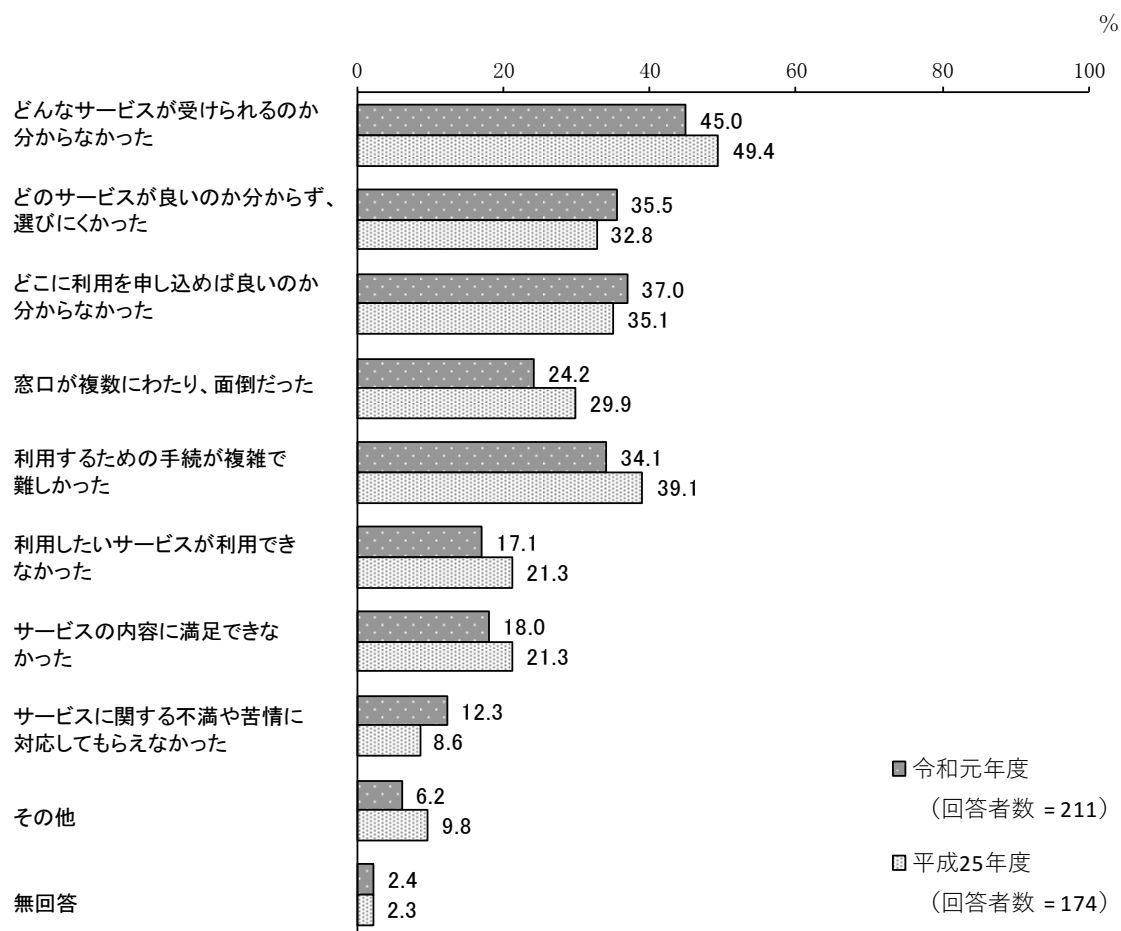


問 31 (2) 【(1)で「不都合や不満を感じたことがある」を選ばれた方にお尋ねします。】

不都合を感じたり不満に思ったのはどのようなことですか。  
 当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

「どんなサービスが受けられるのか分からなかった」の割合が45.0%と最も高く、次いで「どこに利用を申し込めば良いのか分からなかった」の割合が37.0%、「どのサービスが良いのか分からず、選びにくかった」の割合が35.5%となっています。

平成25年度と比較すると、「窓口が複数にわたり、面倒だった」の割合が減少しています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、西部で「どのサービスが良いのか分からず、選びにくかった」の割合が、東部で「利用するための手順が複雑で難しかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	なげられるのか分からなかった	どんなサービスが受けられるのか分からなかった	どのサービスが良いのか分からず、選びにくかった	どのサービスが良いのか分からなかった	どこに利用を申し込めば良いのか分からなかった	窓口が複数にわたり、面倒だった	利用するための手順が複雑で難しかった	利用したいサービスが利用できなかった	サービスの内容に満足できなかった	サービスに関する不満や苦情に対応してもらえなかった	その他	無回答
中部第一	23	43.5	34.8	60.9	34.8	43.5	21.7	17.4	26.1	—	—	8.7	
中部第二	28	25.0	32.1	35.7	28.6	21.4	7.1	28.6	7.1	10.7	—	—	
東部	16	62.5	25.0	31.3	25.0	62.5	6.3	—	12.5	6.3	—	—	
北部	26	26.9	26.9	26.9	30.8	34.6	26.9	19.2	15.4	7.7	3.8	—	
西部	15	66.7	73.3	60.0	20.0	33.3	13.3	13.3	13.3	6.7	—	—	
網干	17	41.2	29.4	35.3	29.4	35.3	11.8	17.6	5.9	5.9	—	—	
広畑	10	40.0	10.0	30.0	10.0	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	—	—	
飾磨	25	64.0	52.0	36.0	28.0	32.0	24.0	8.0	8.0	4.0	—	—	
灘	20	40.0	40.0	25.0	15.0	30.0	15.0	20.0	15.0	10.0	10.0	—	
家島	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	
夢前	11	54.5	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	—	9.1	—	—	
香寺	8	75.0	12.5	25.0	25.0	37.5	50.0	37.5	12.5	—	—	—	
安富	3	33.3	—	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

**問 32 【全員にお尋ねします。】**

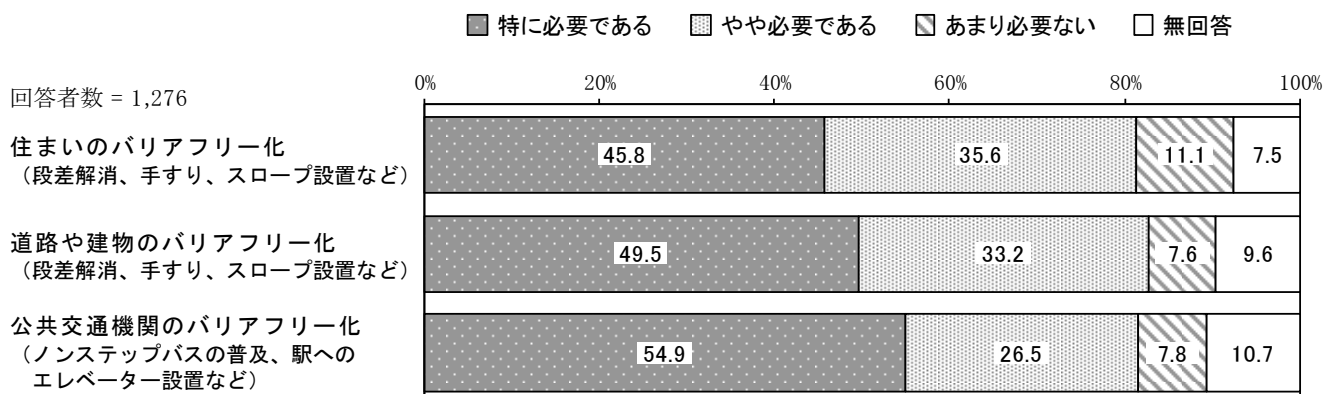
住み慣れた地域でいつまでも暮らすために、以下の取り組みについての必要度と充足度をお答えください。

回答例にならって、「必要度」と「充足度」のそれぞれについて、各項目について、今のお気持ちに一番当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

**必要度**

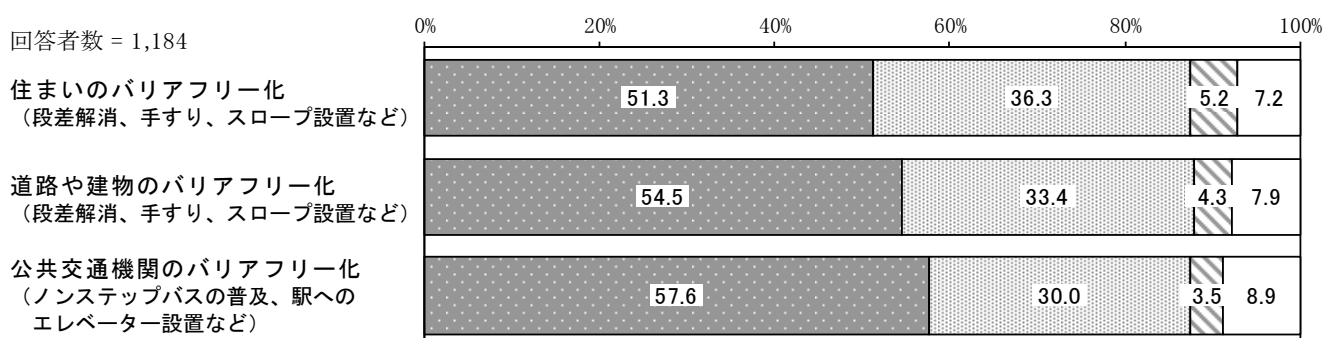
**① 住まいやまちのバリアフリー化について**

『公共交通機関のバリアフリー化（ノンステップバスの普及、駅へのエレベーター設置など）』で「特に必要である」の割合が高くなっています。



**【平成 25 年度】**

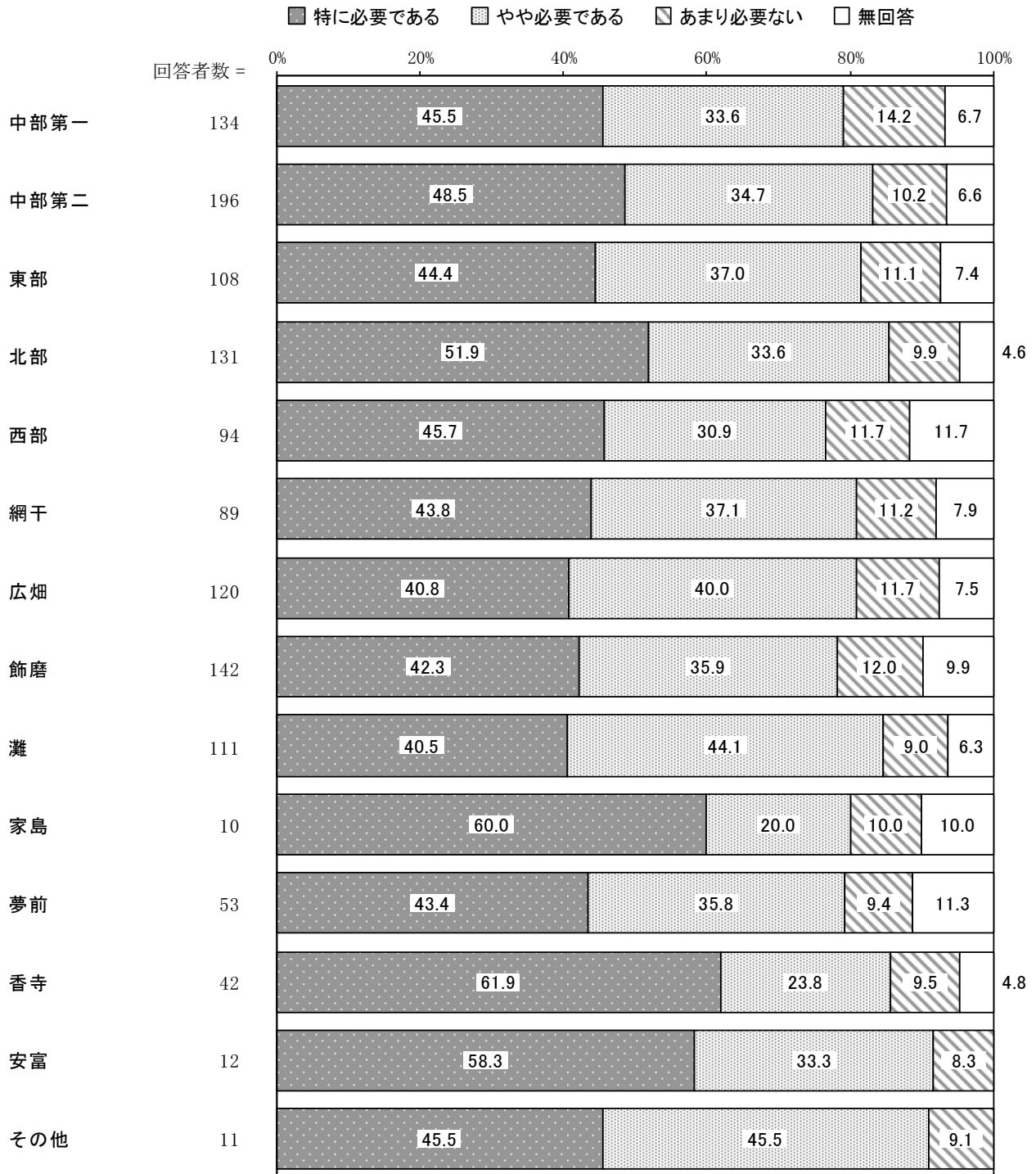
平成 25 年度と比較すると、『住まいのバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）』『道路や建物のバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）』で「特に必要である」の割合が減少しています。



【地区別】

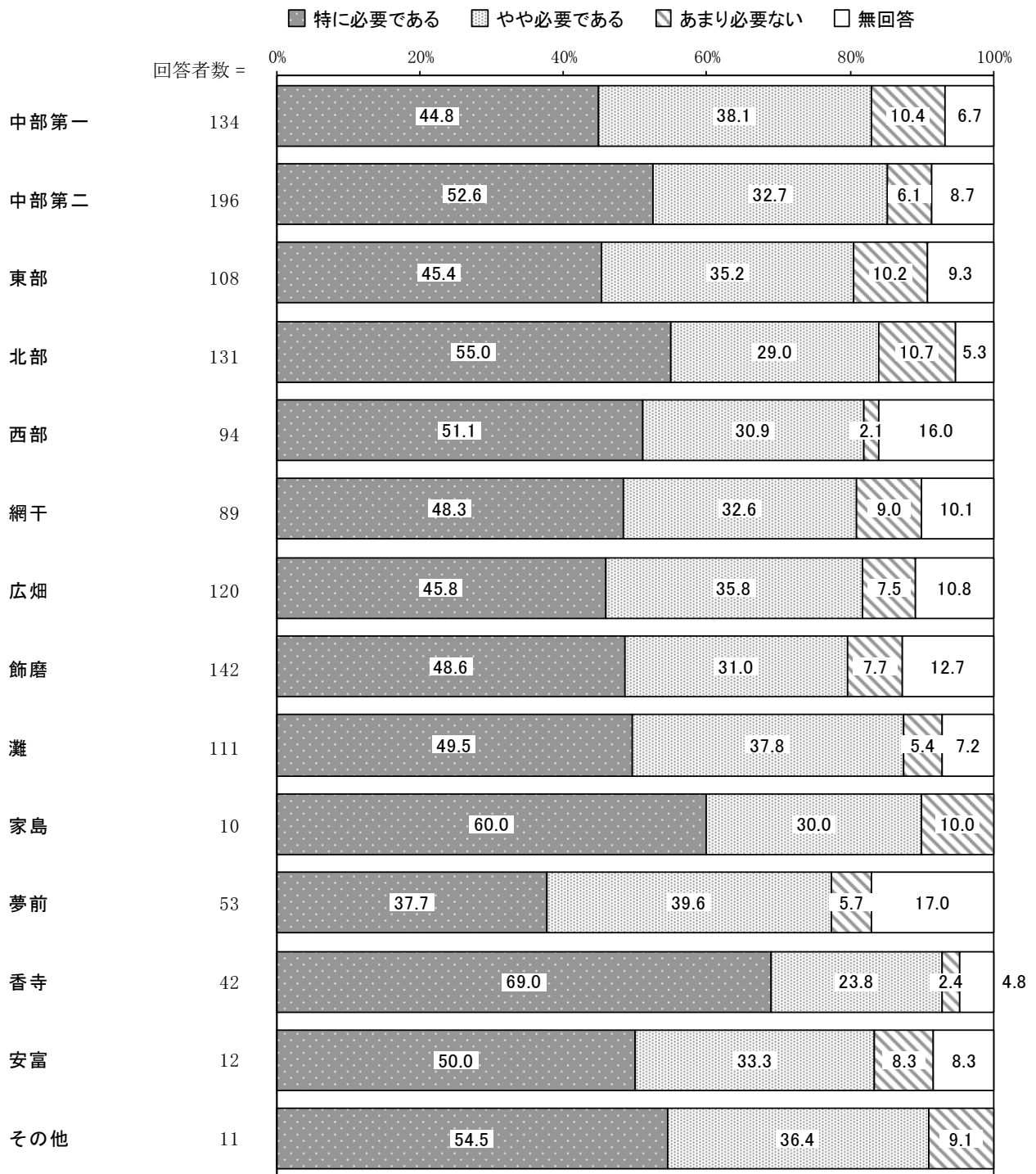
住まいのバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）

地区別でみると、他に比べ、家島、香寺、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



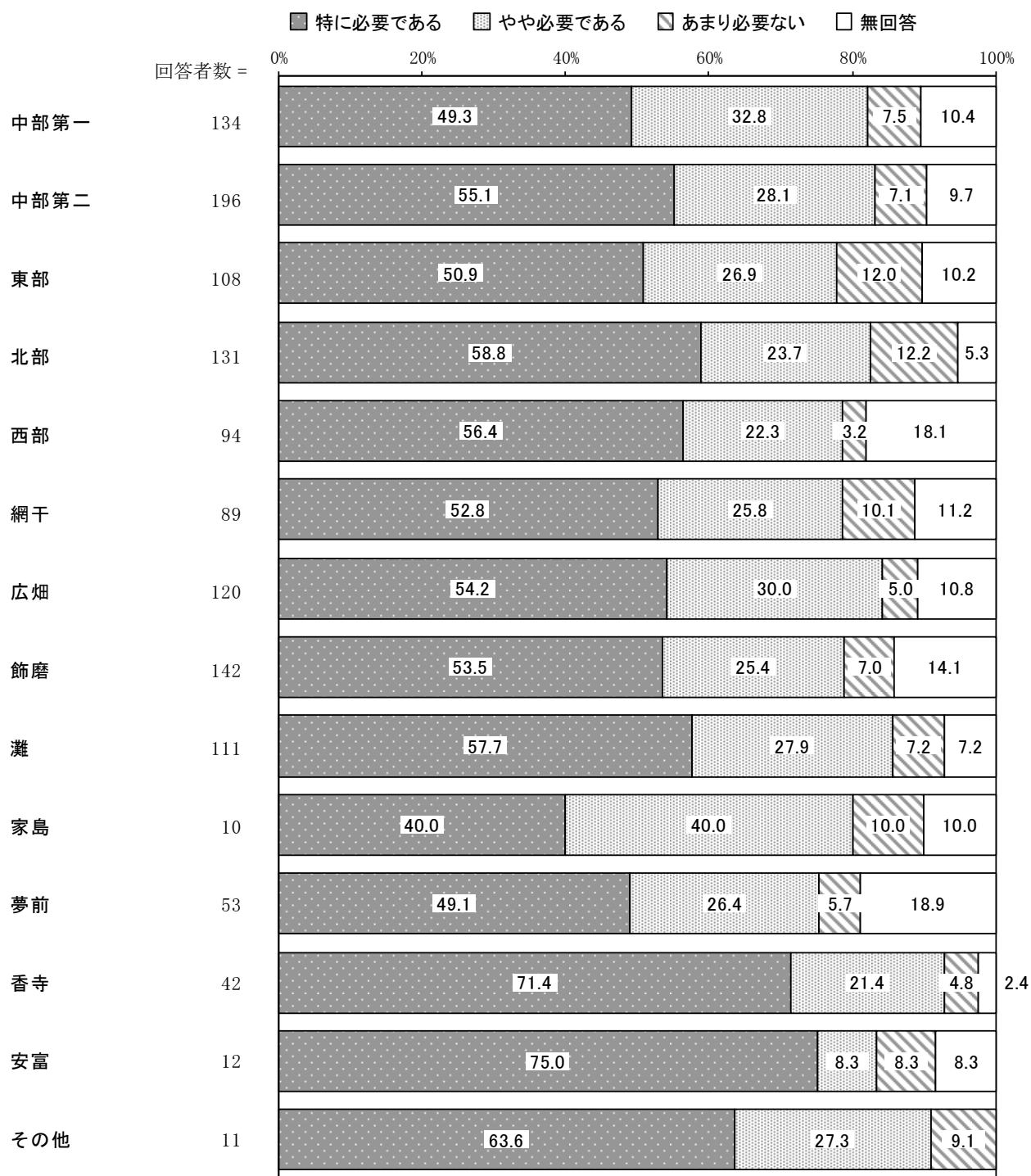
### 道路や建物のバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）

地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



### 公共交通機関のバリアフリー化（ノンステップバスの普及、駅へのエレベーター設置など）

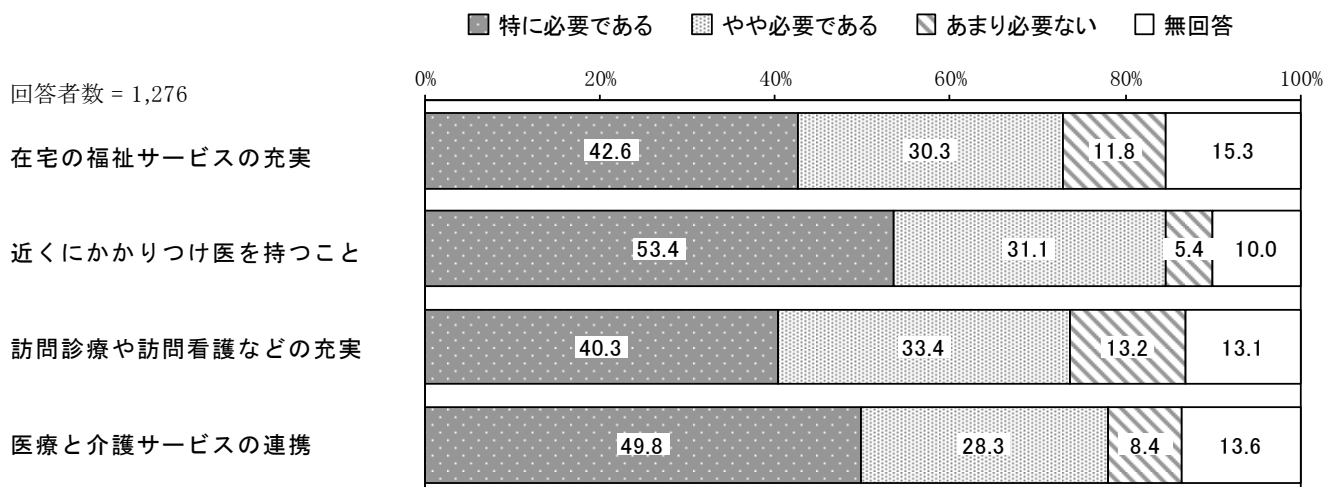
地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。





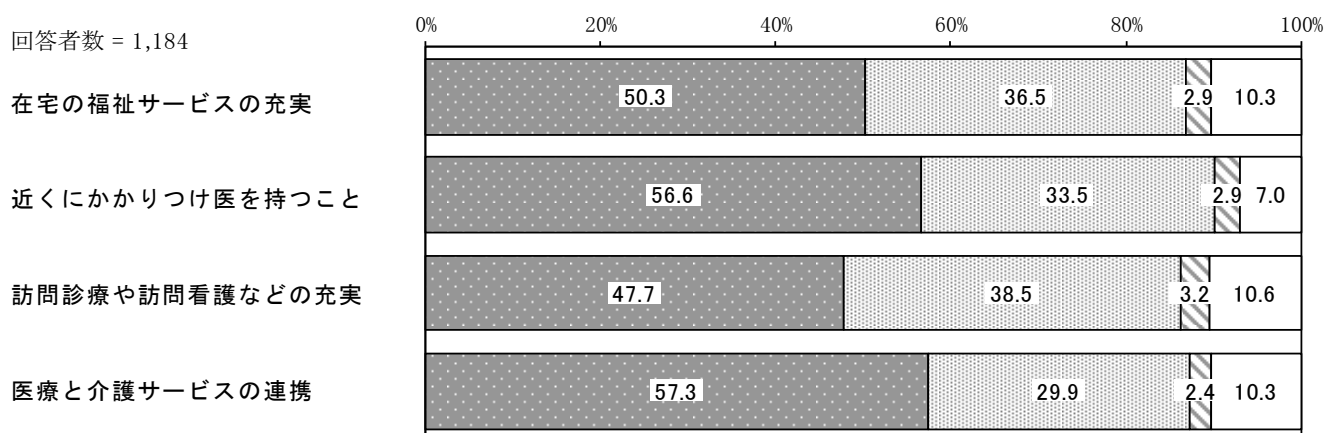
## ② 医療や福祉について

『近くにかかりつけ医を持つこと』で「特に必要である」の割合が高くなっています。



### 【平成 25 年度】

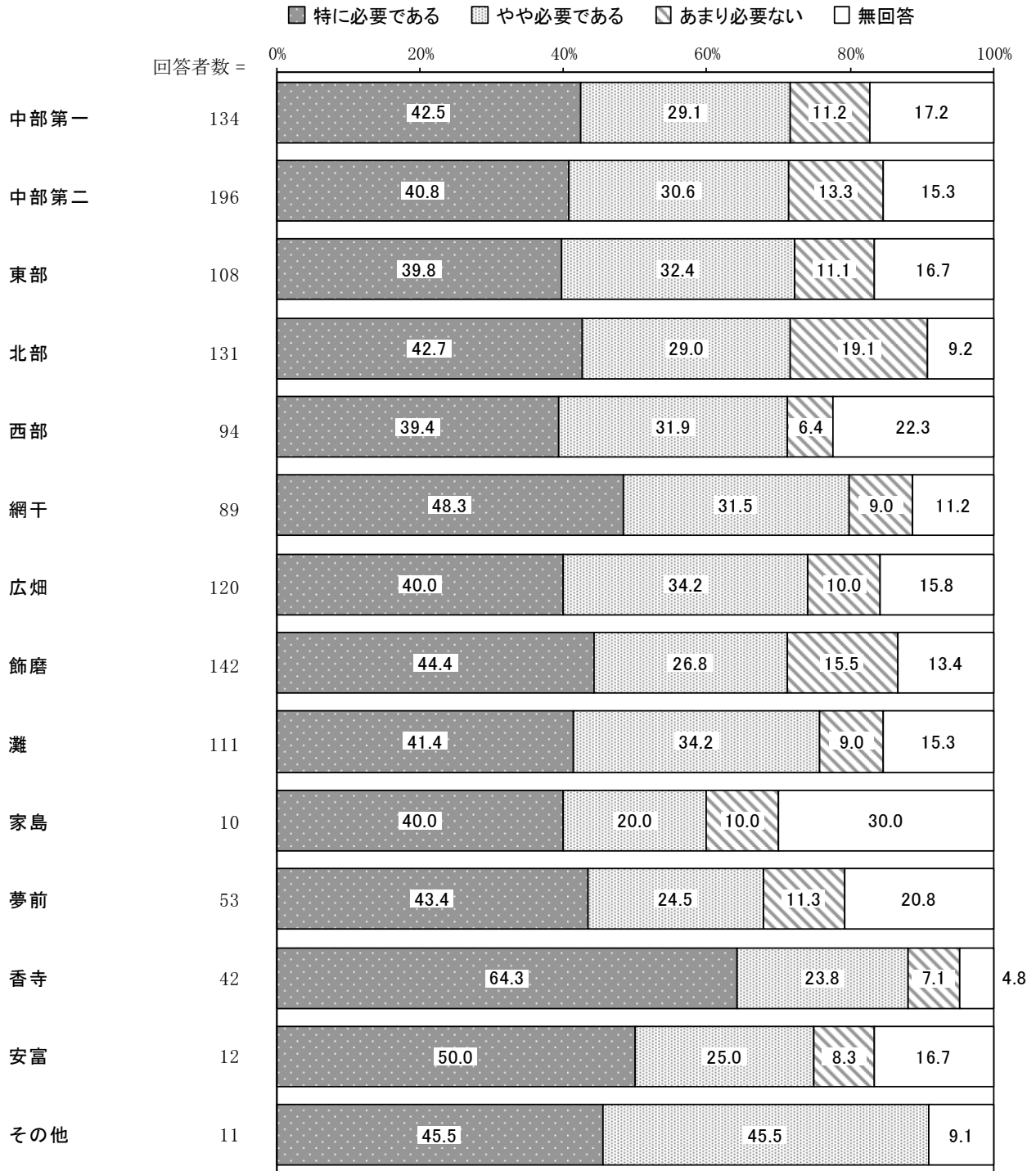
平成 25 年度と比較すると、『在宅の福祉サービスの充実』『訪問診療や訪問看護などの充実』『医療と介護サービスの連携』で「特に必要である」の割合が減少しています。



【地区別】

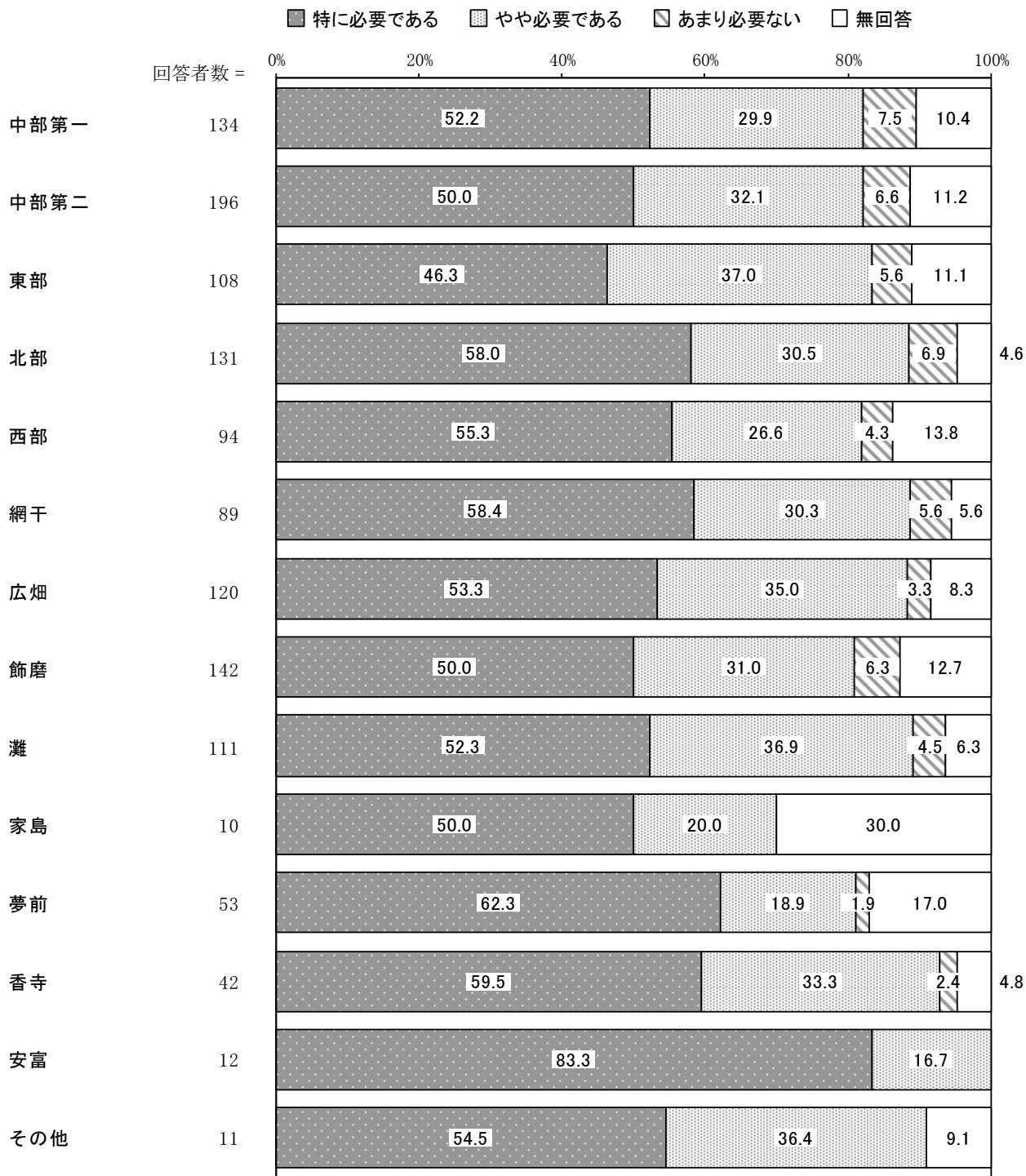
在宅の福祉サービスの充実

地区別でみると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



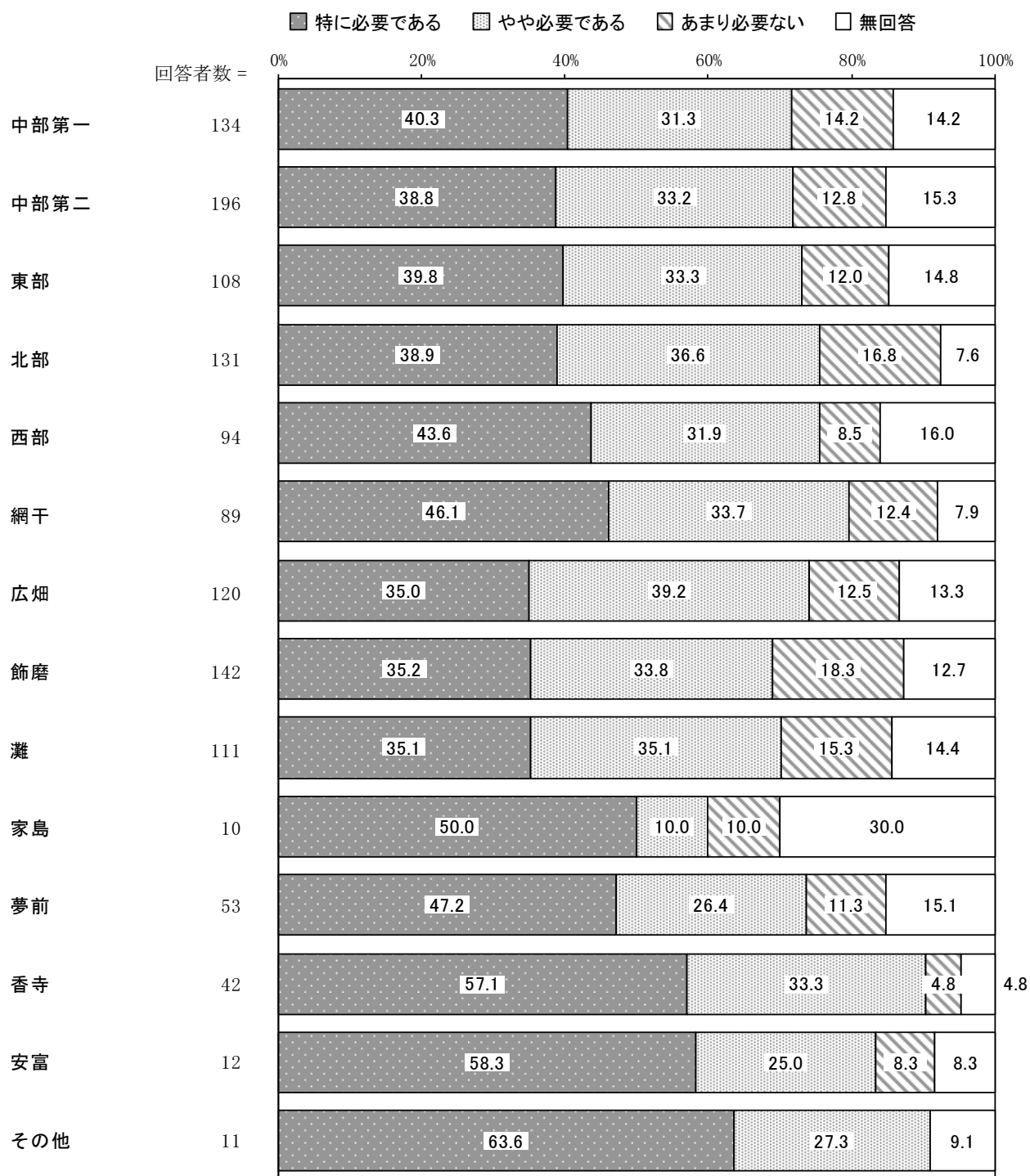
### 近くにかかりつけ医を持つこと

地区別でみると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



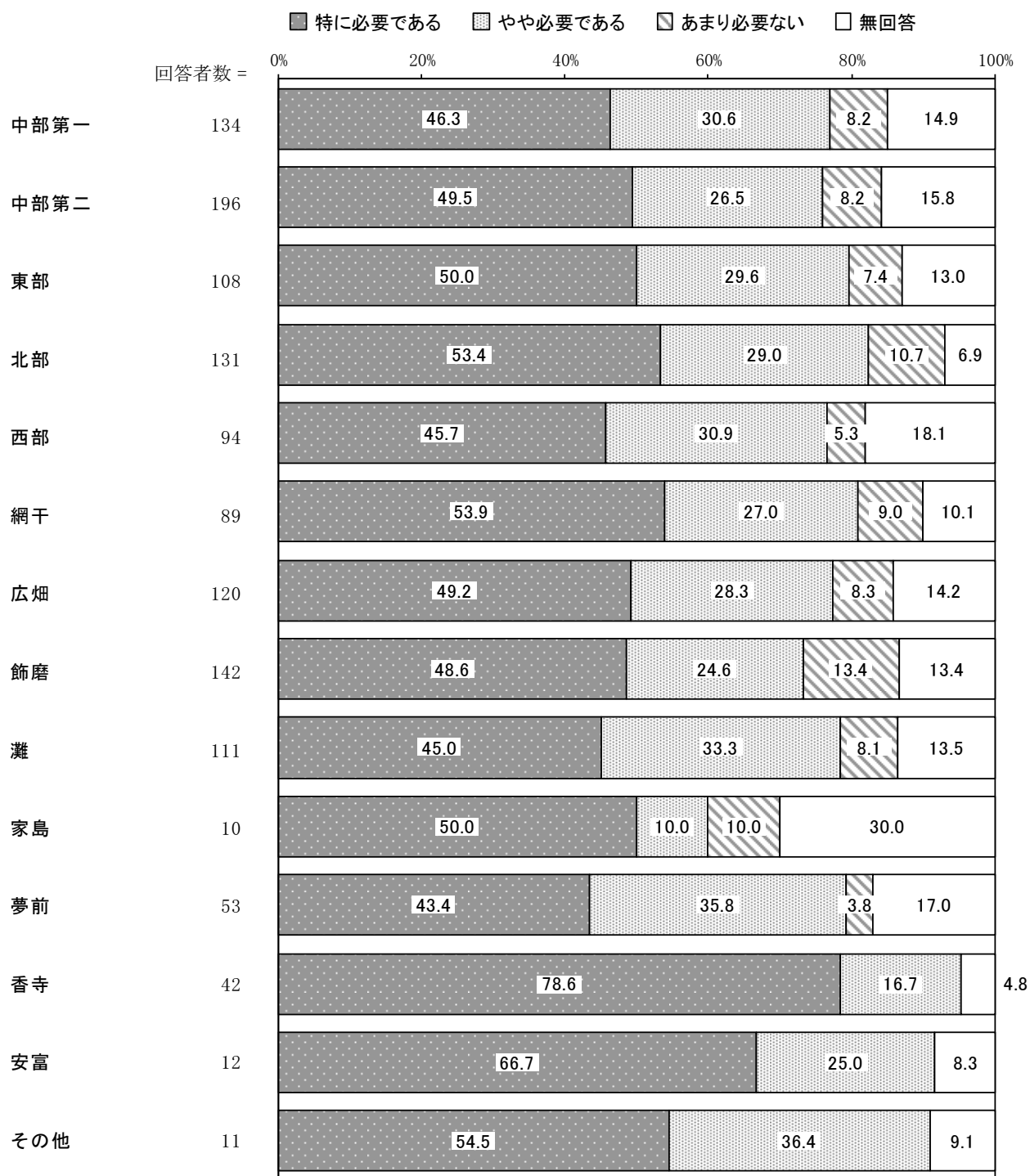
### 訪問診療や訪問看護などの充実

地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



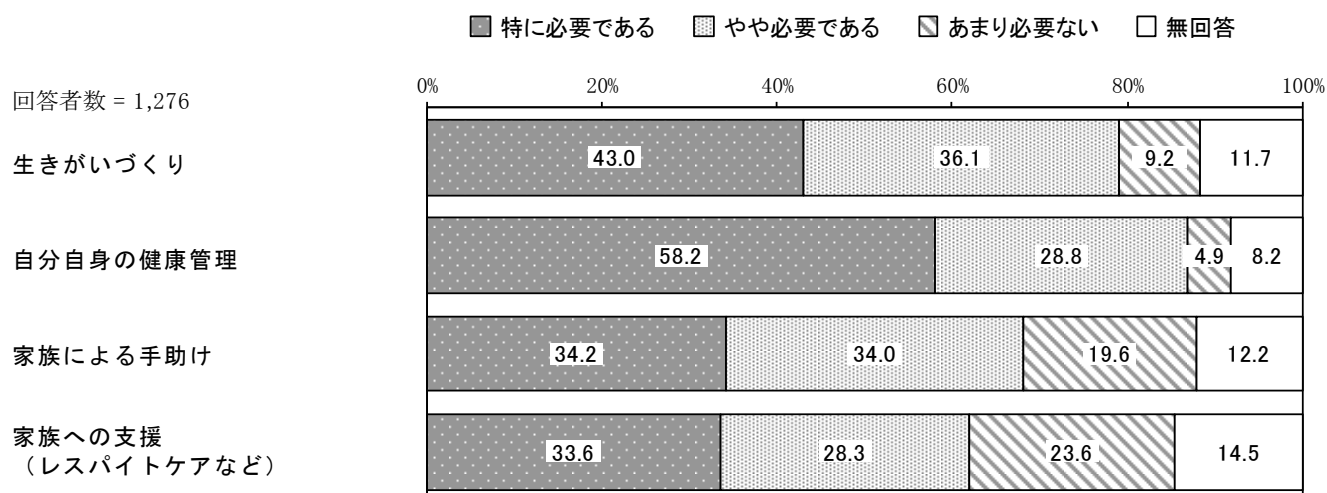
## 医療と介護サービスの連携

地区別でみると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



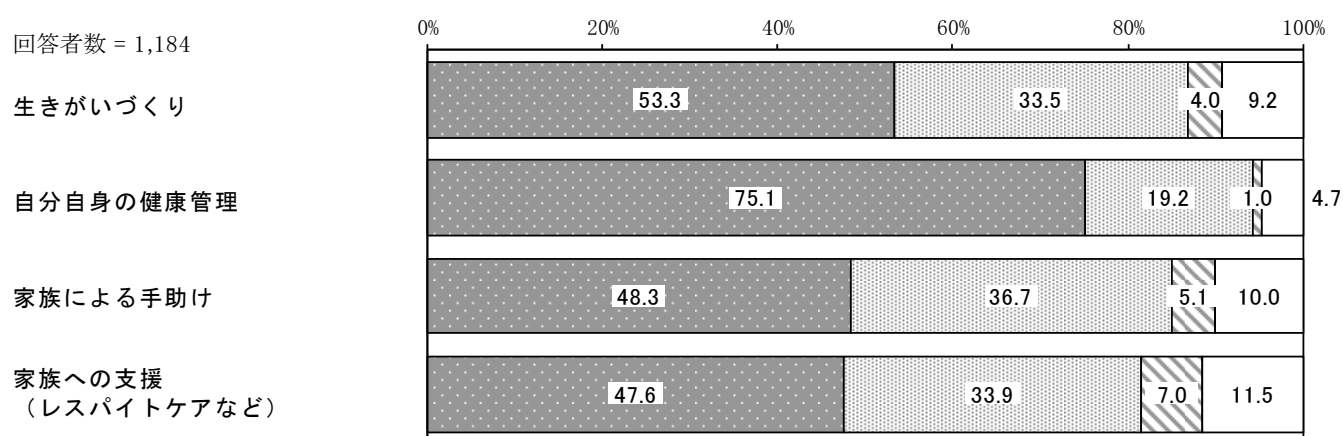
### ③ 自分自身や家族のことについて

『自分自身の健康管理』で「特に必要である」の割合が高くなっています。



#### 【平成 25 年度】

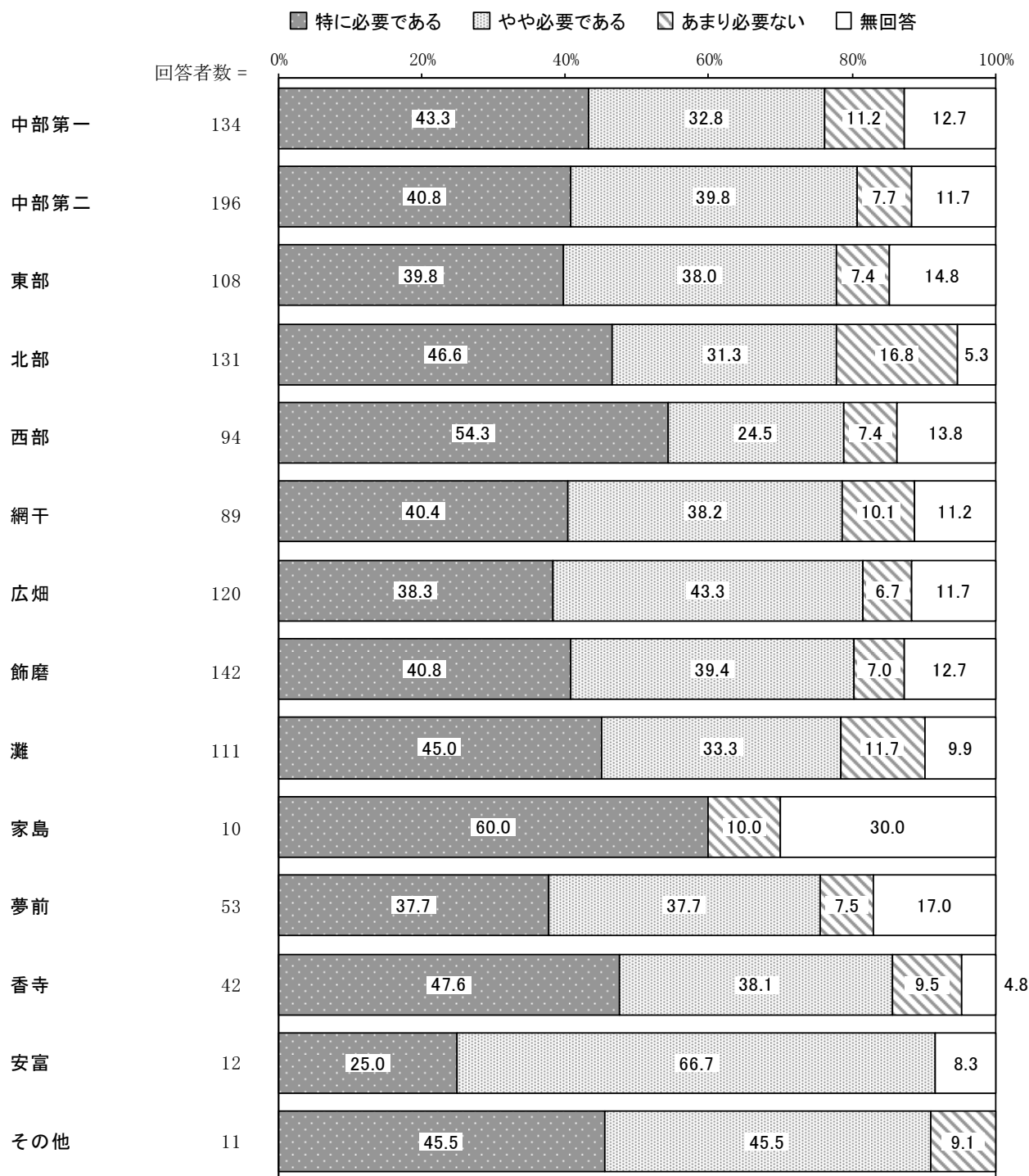
平成 25 年度と比較すると、『生きがいがづくり』『自分自身の健康管理』『家族による手助け』『家族への支援 (レスパイトケアなど)』で「特に必要である」の割合が減少しています。



【地区別】

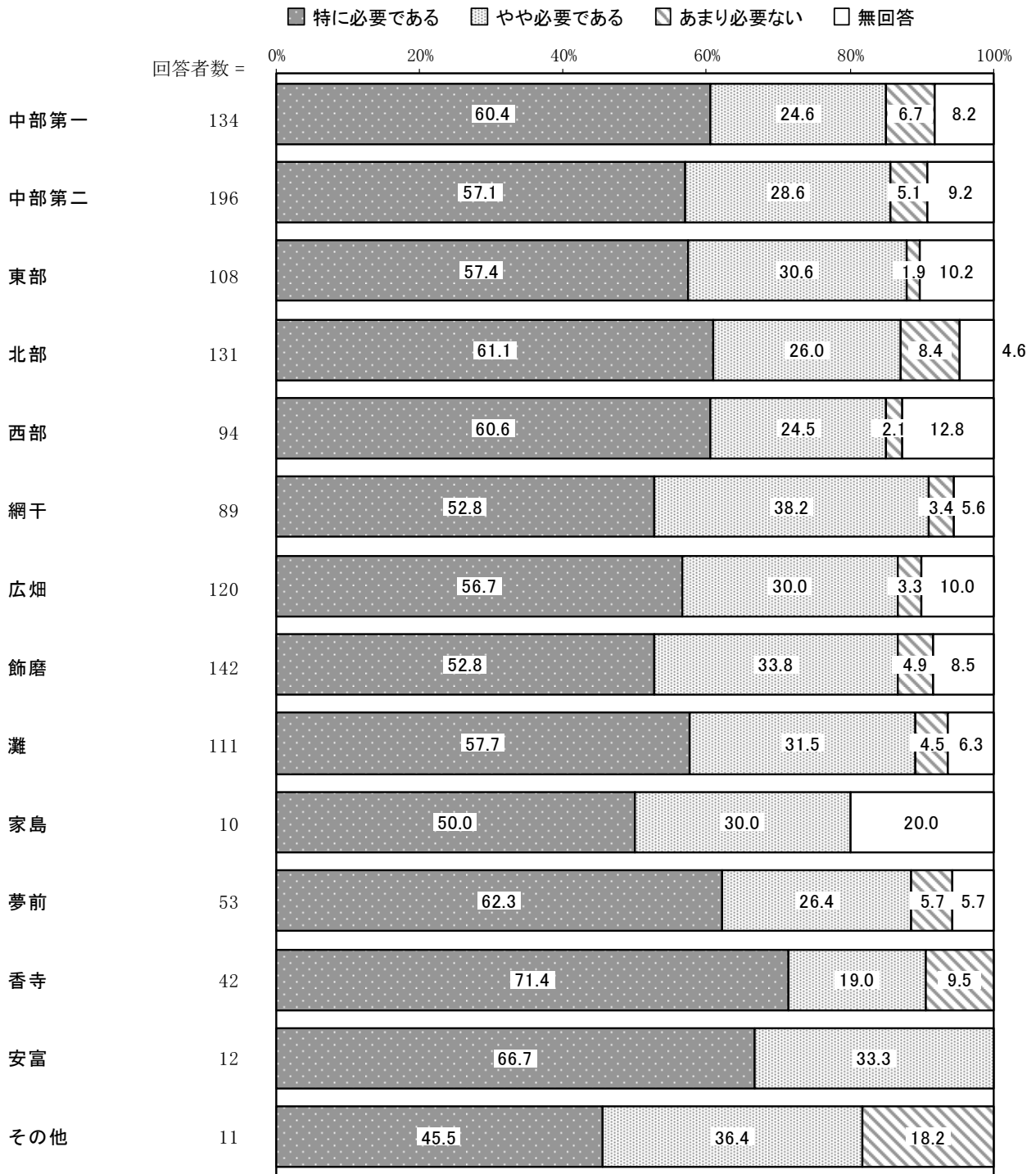
生きがづくり

地区別でみると、他に比べ、家島で「特に必要である」の割合が高くなっています。



## 自分自身の健康管理

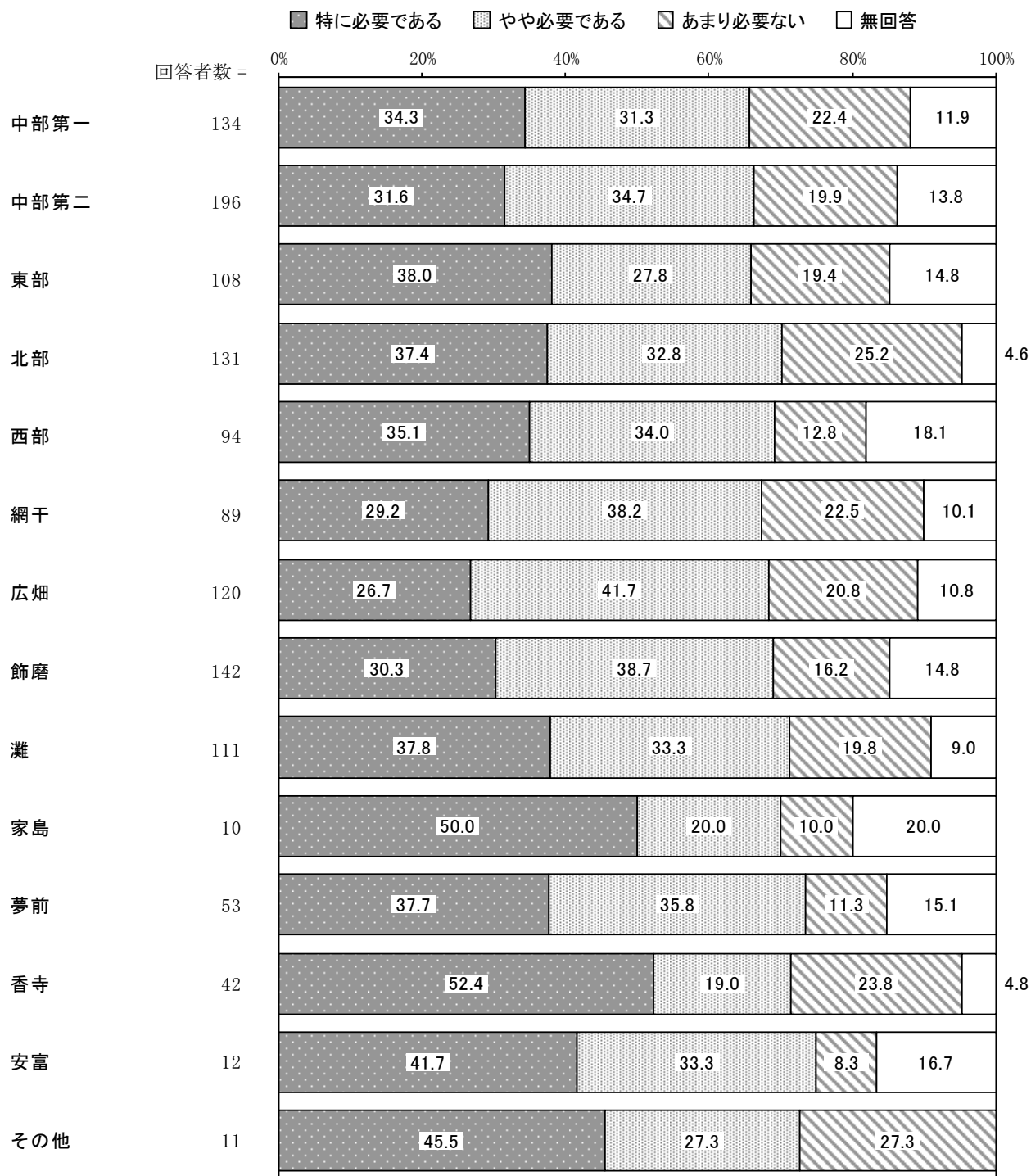
地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。





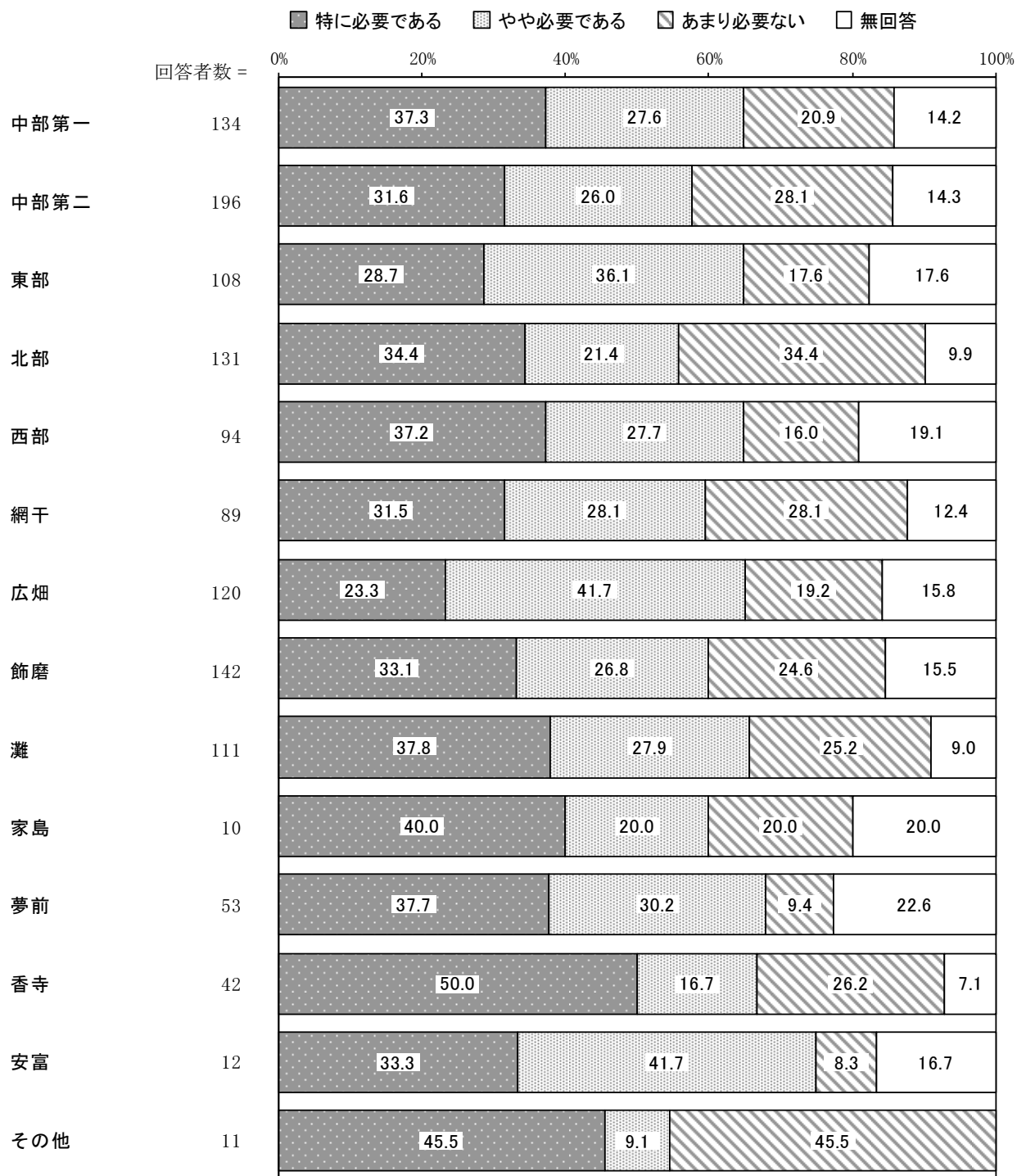
## 家族による手助け

地区別で見ると、他に比べ、家島、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



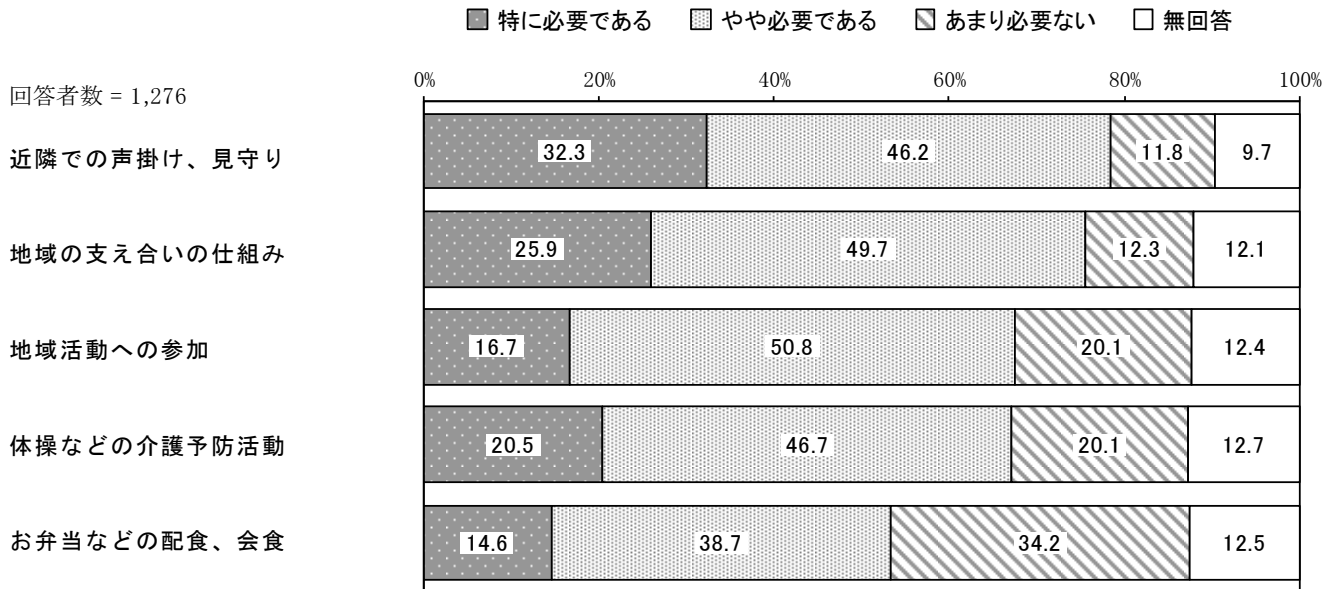
### 家族への支援（レスパイトケアなど）

地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



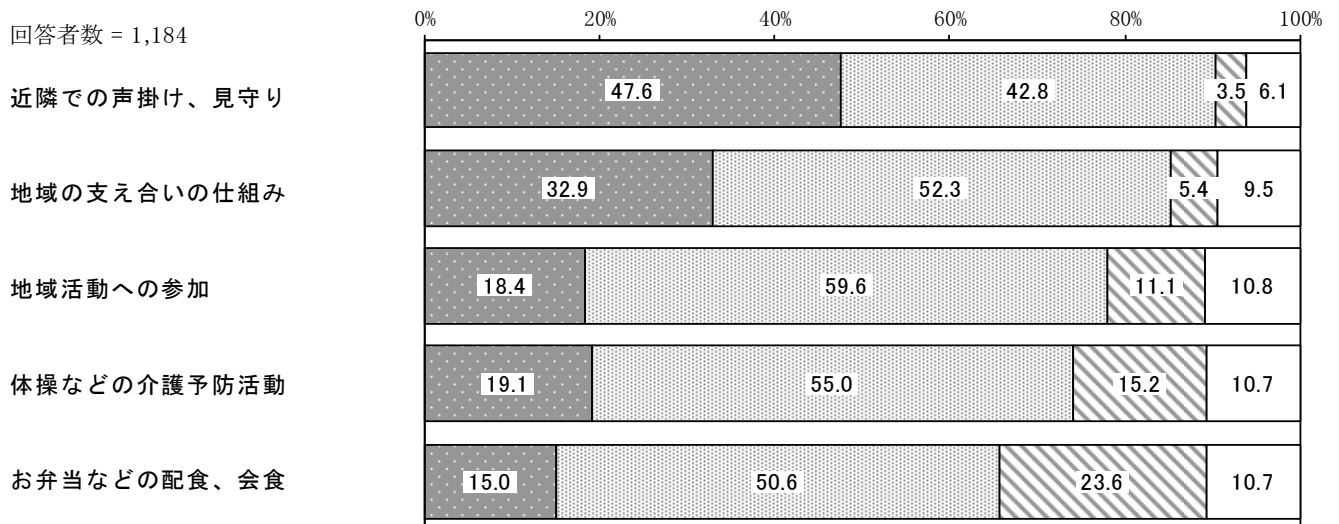
④ 地域との関わりについて

『近隣での声掛け、見守り』で「特に必要である」の割合が高くなっています。



【平成 25 年度】

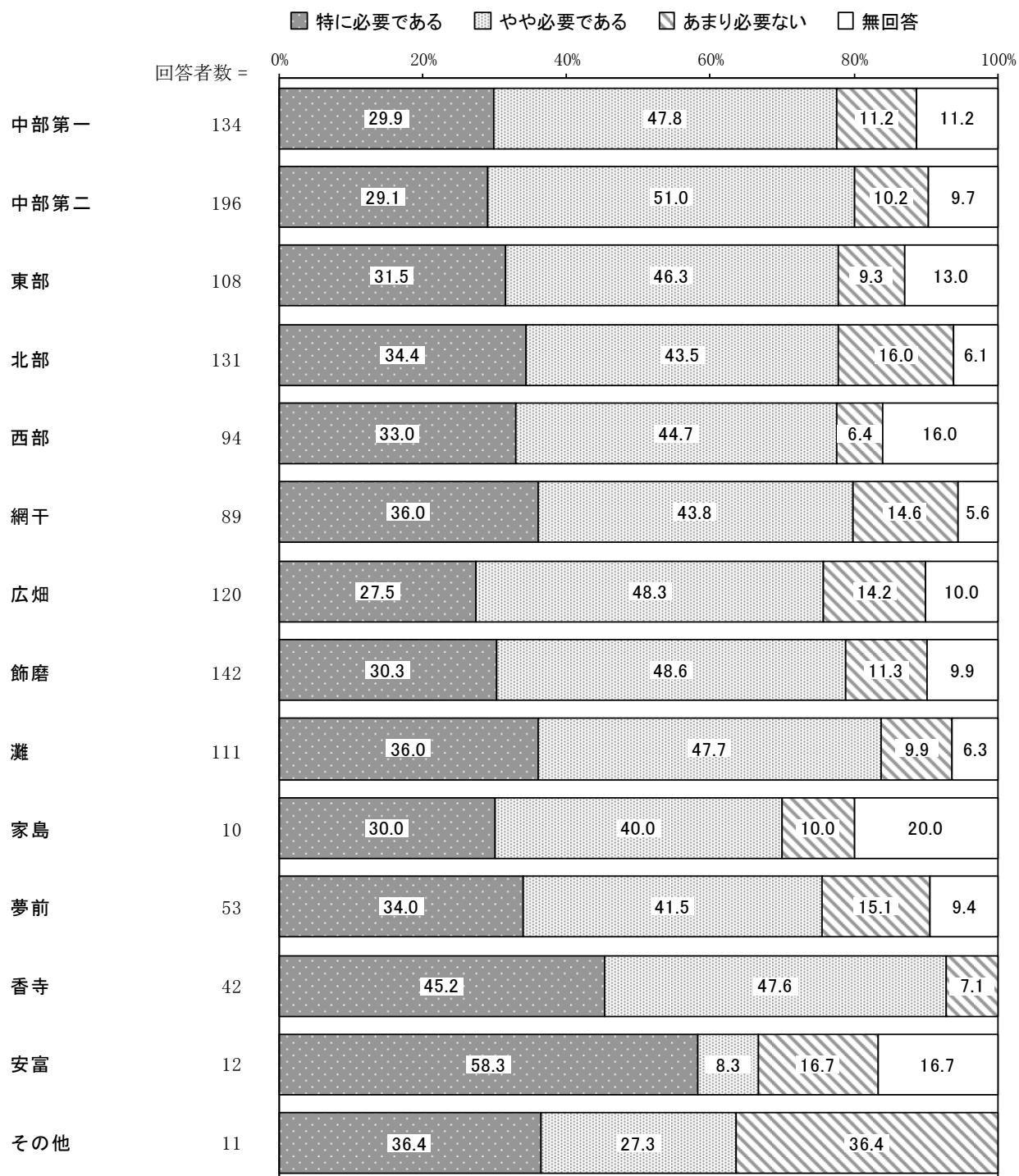
平成 25 年度と比較すると、『近隣での声掛け、見守り』『地域の支え合いの仕組み』で「特に必要である」の割合が減少しています。



【地区別】

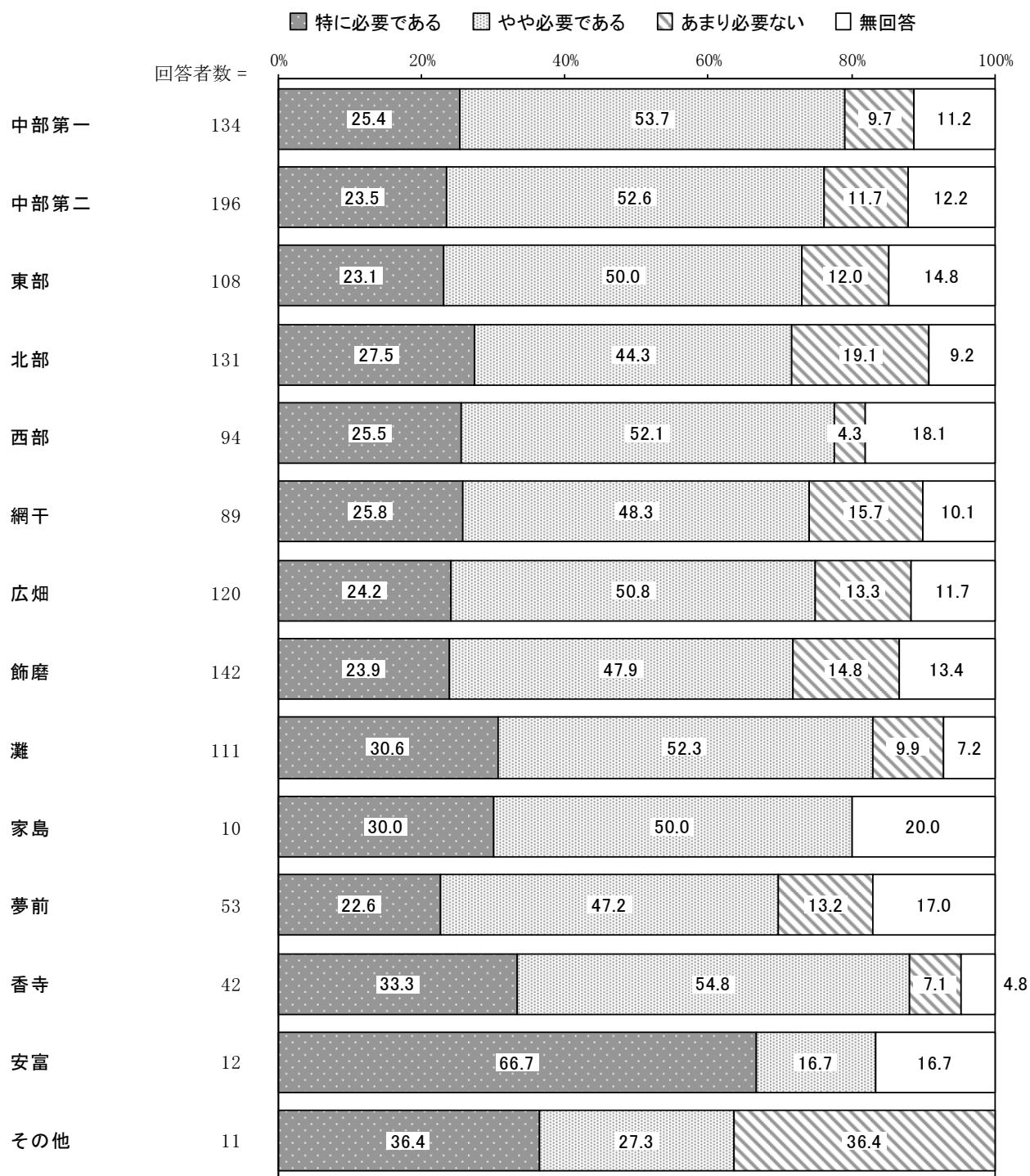
近隣での声掛け、見守り

地区別でみると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



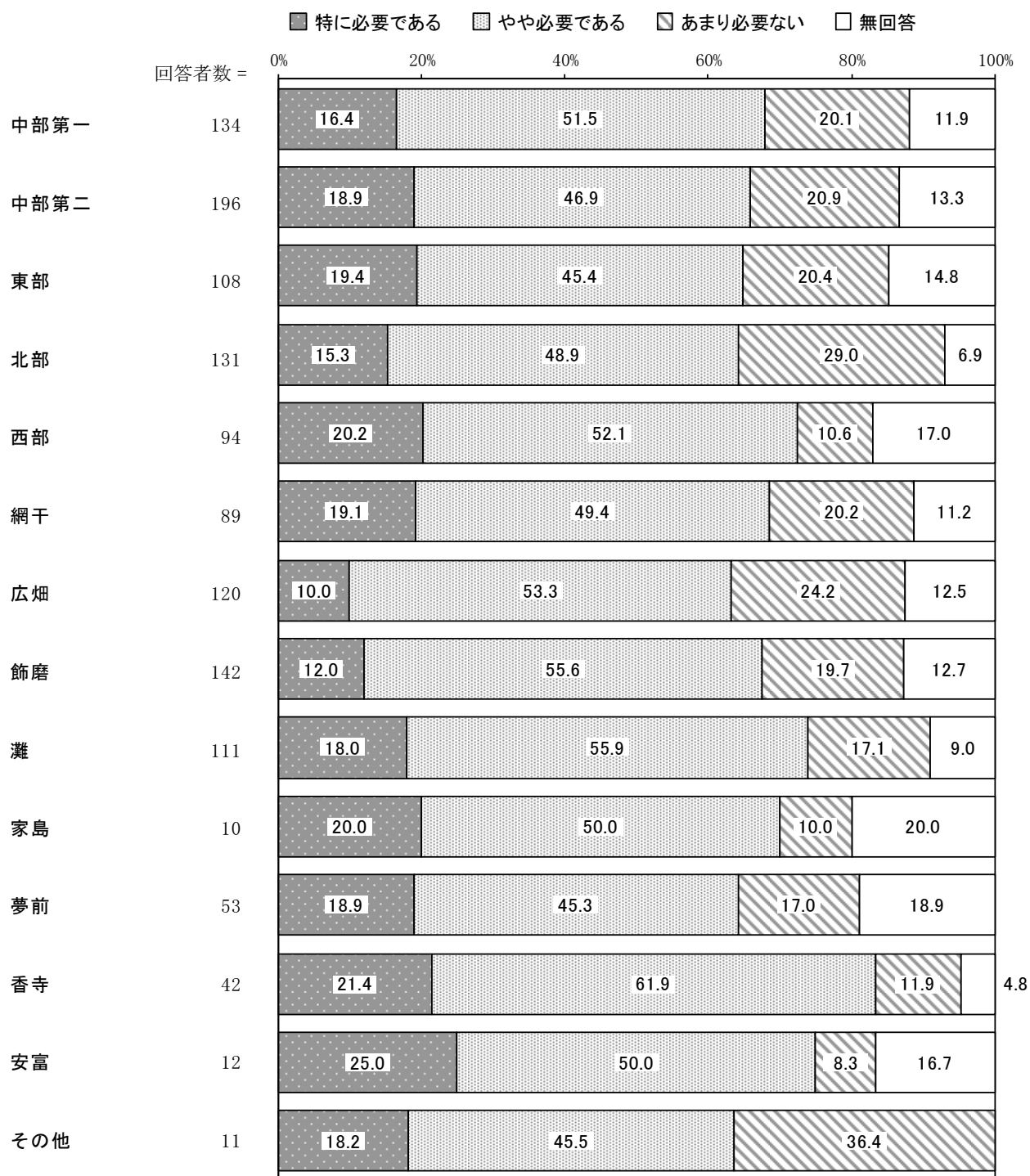
### 地域の支え合いの仕組み

地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



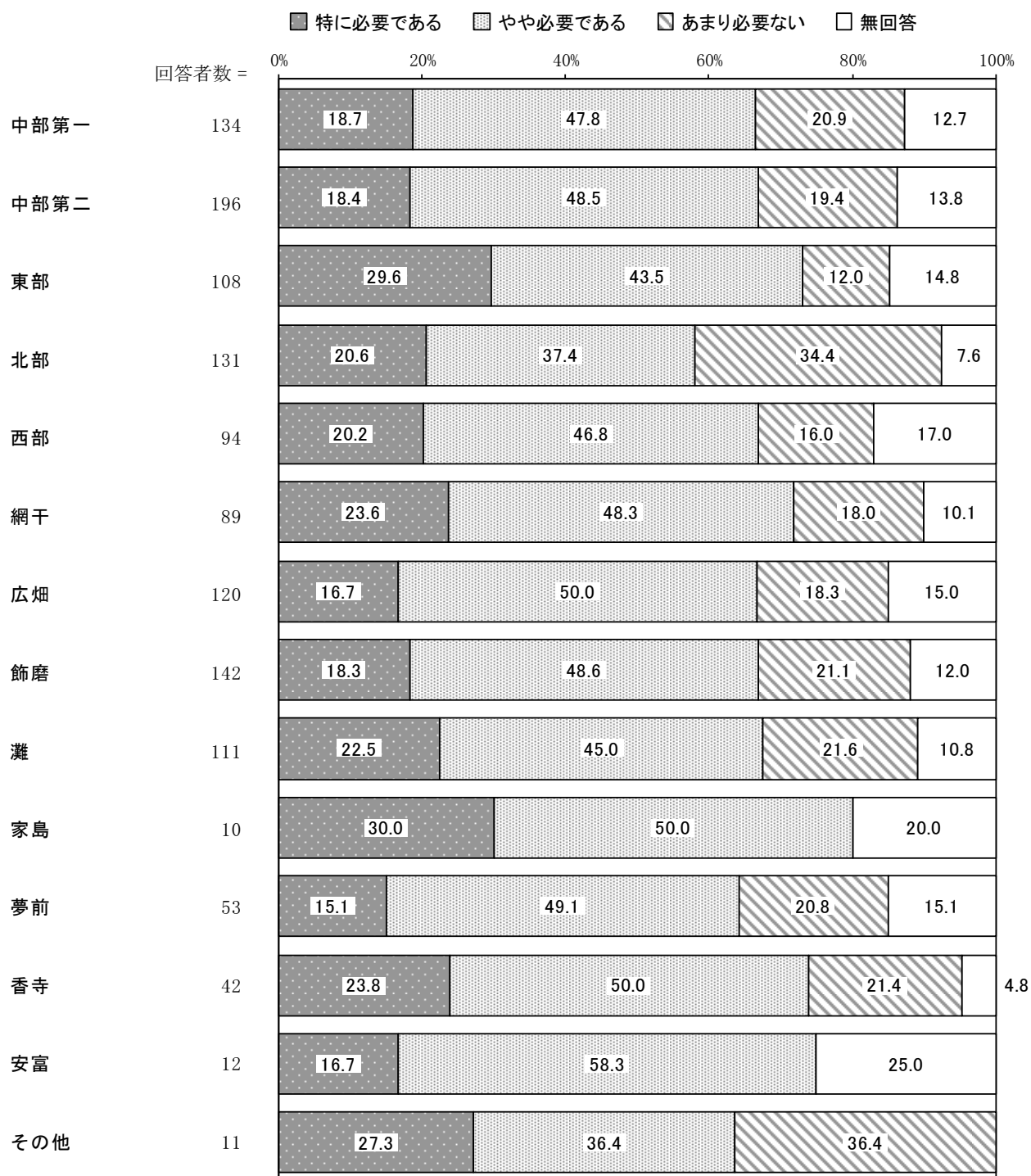
## 地域活動への参加

地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



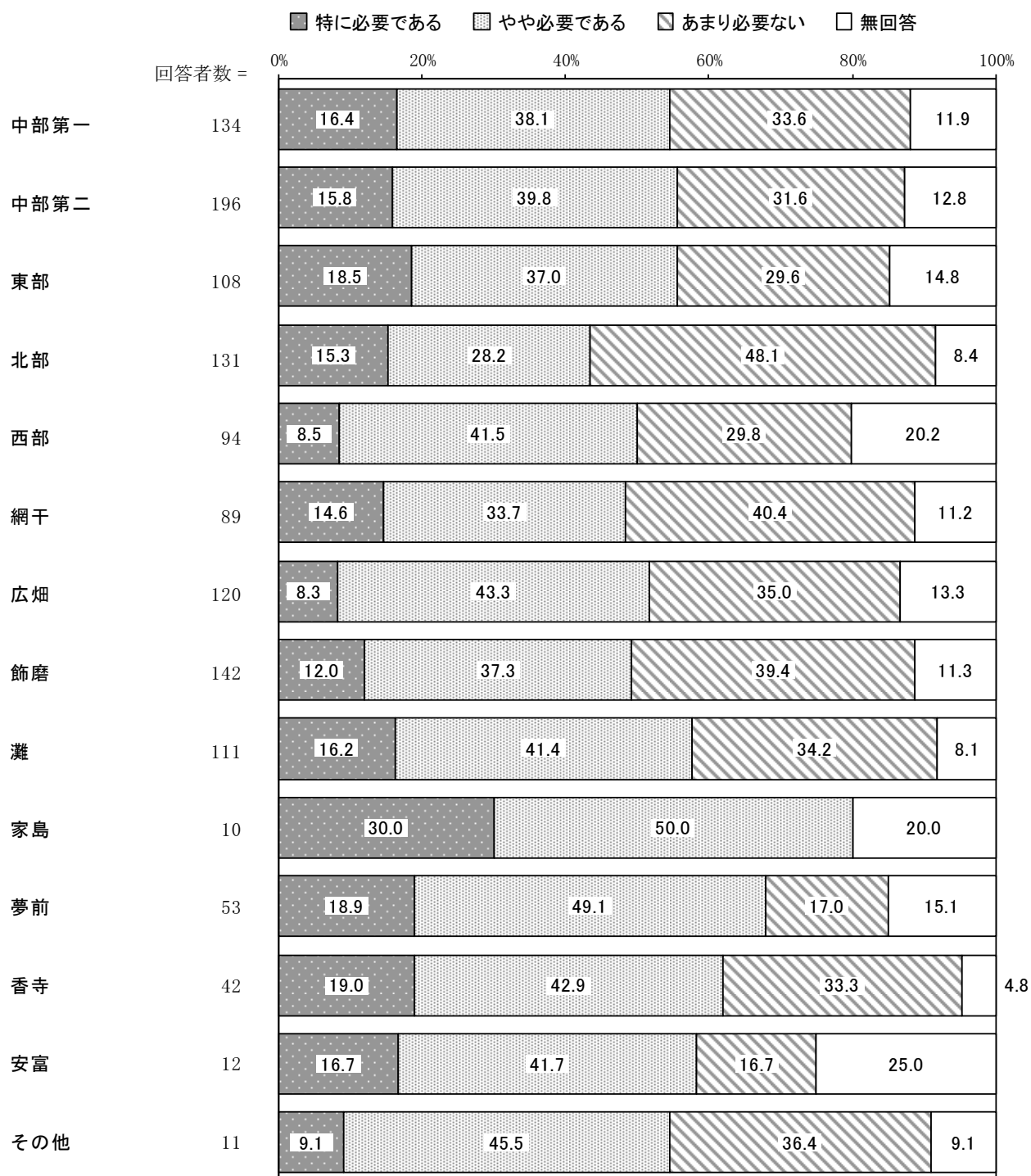
## 体操などの介護予防活動

地区別で見ると、他に比べ、東部、家島で「特に必要である」の割合が高くなっています。



## お弁当などの配食、会食

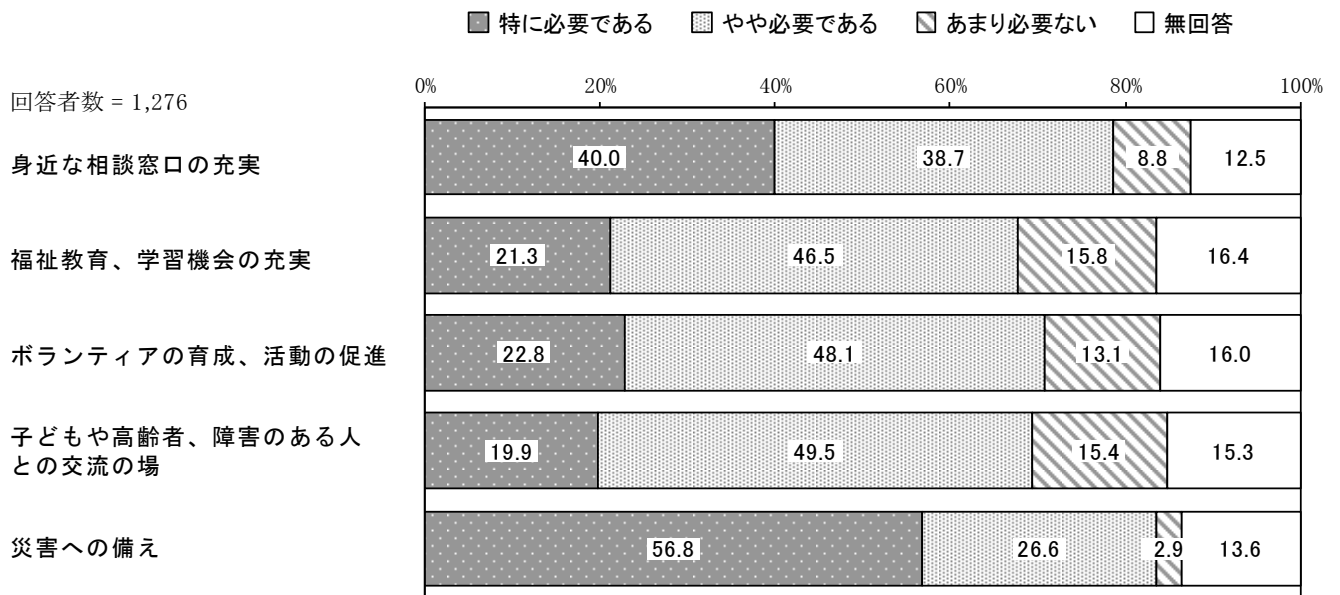
地区別で見ると、他に比べ、家島で「特に必要である」の割合が高くなっています。





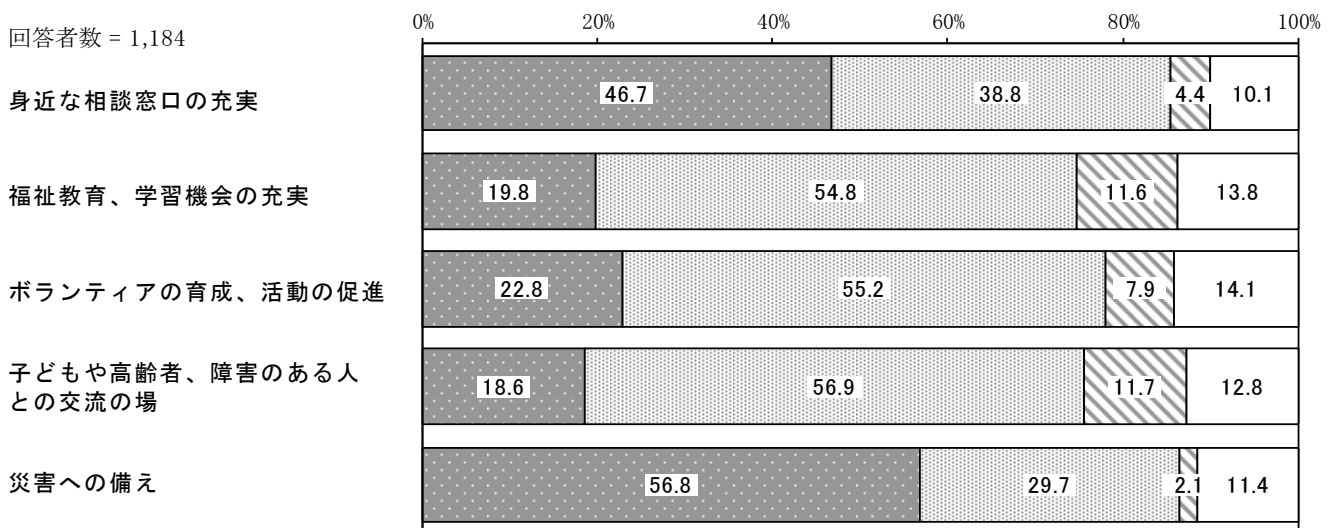
⑤ その他

『災害への備え』で「特に必要である」の割合が高くなっています。



【平成 25 年度】

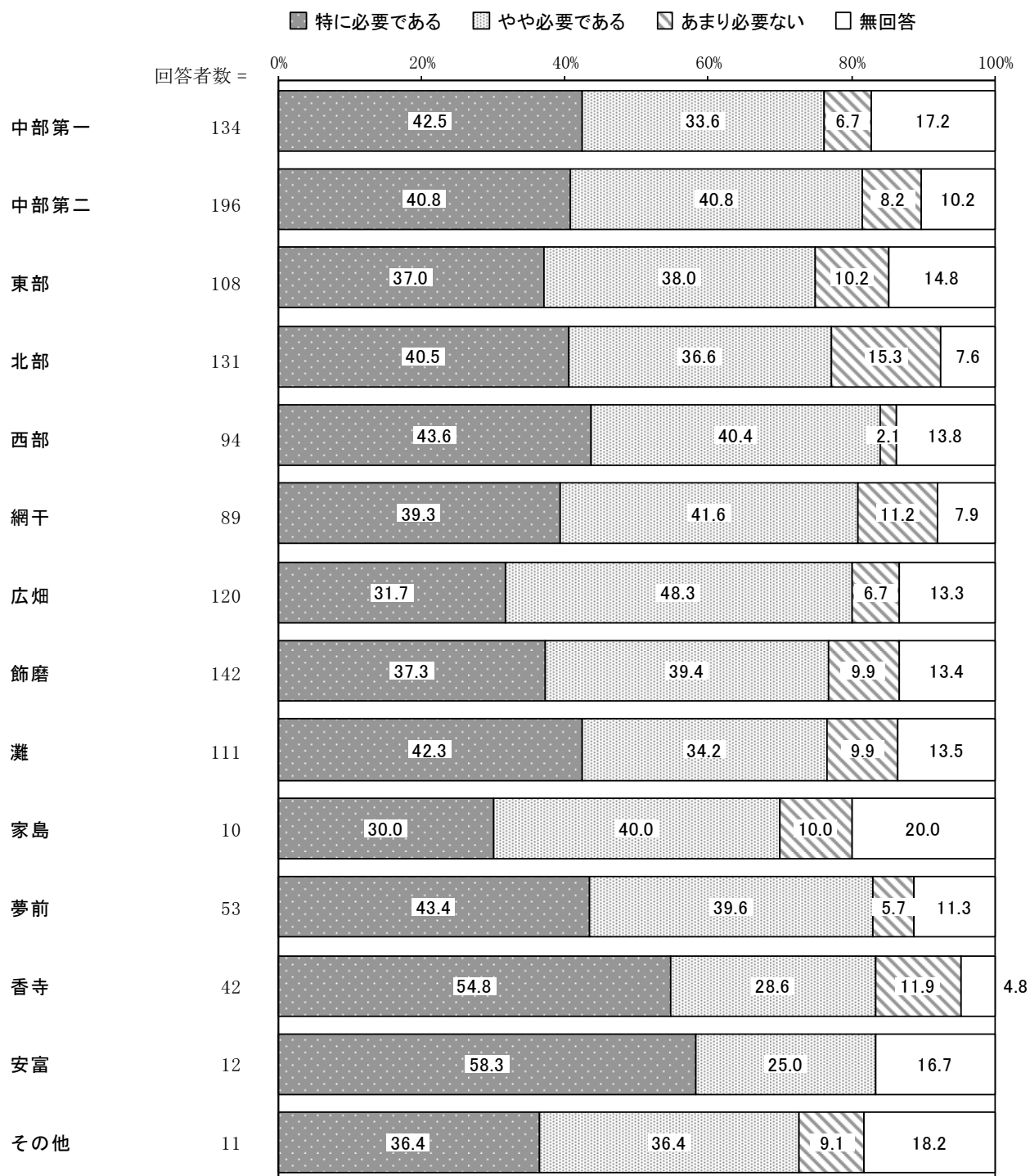
平成 25 年度と比較すると、『身近な相談窓口の充実』で「特に必要である」の割合が減少しています。



【地区別】

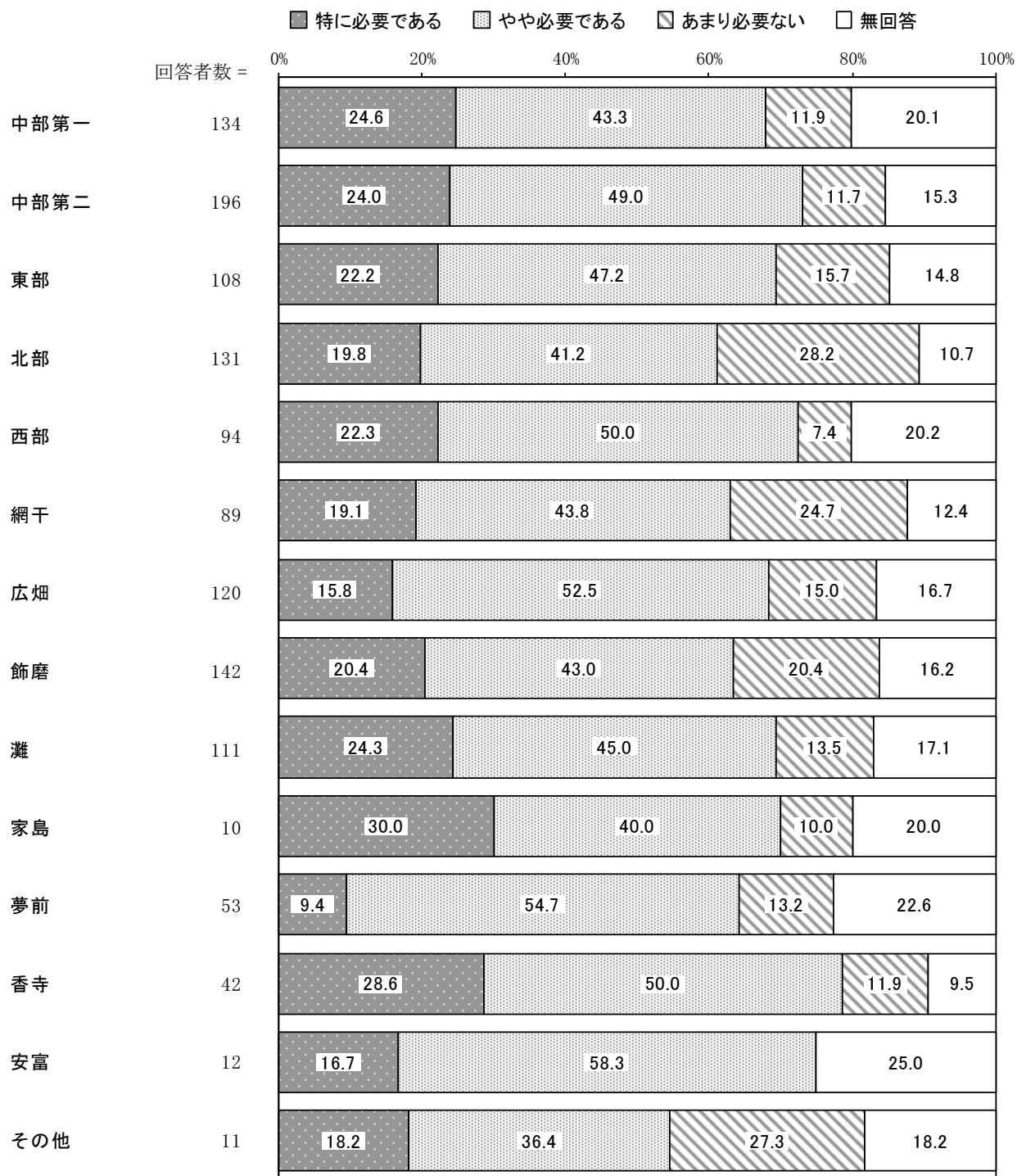
身近な相談窓口の充実

地区別でみると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



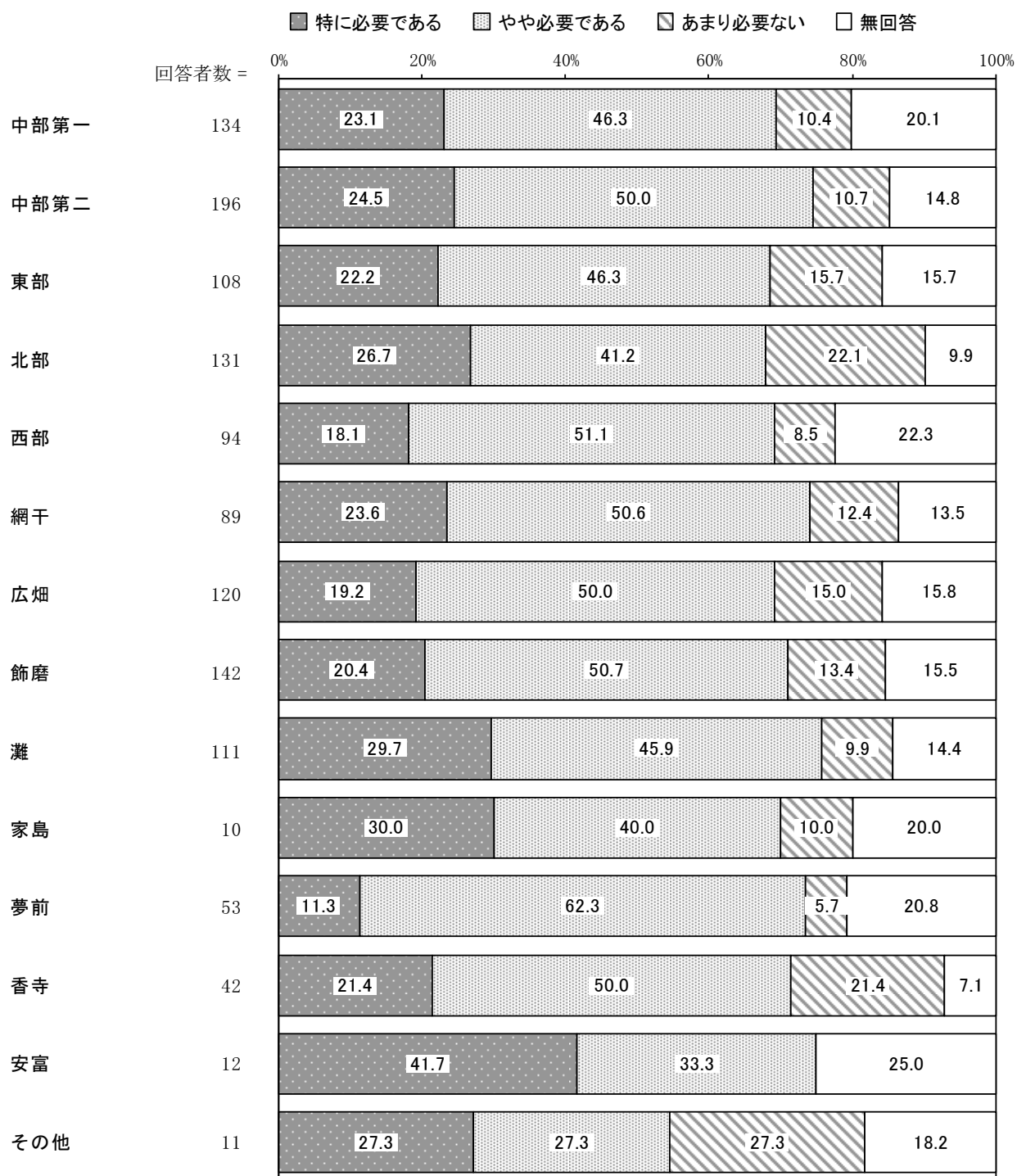
## 福祉教育、学習機会の充実

地区別で見ると、他に比べ、家島、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



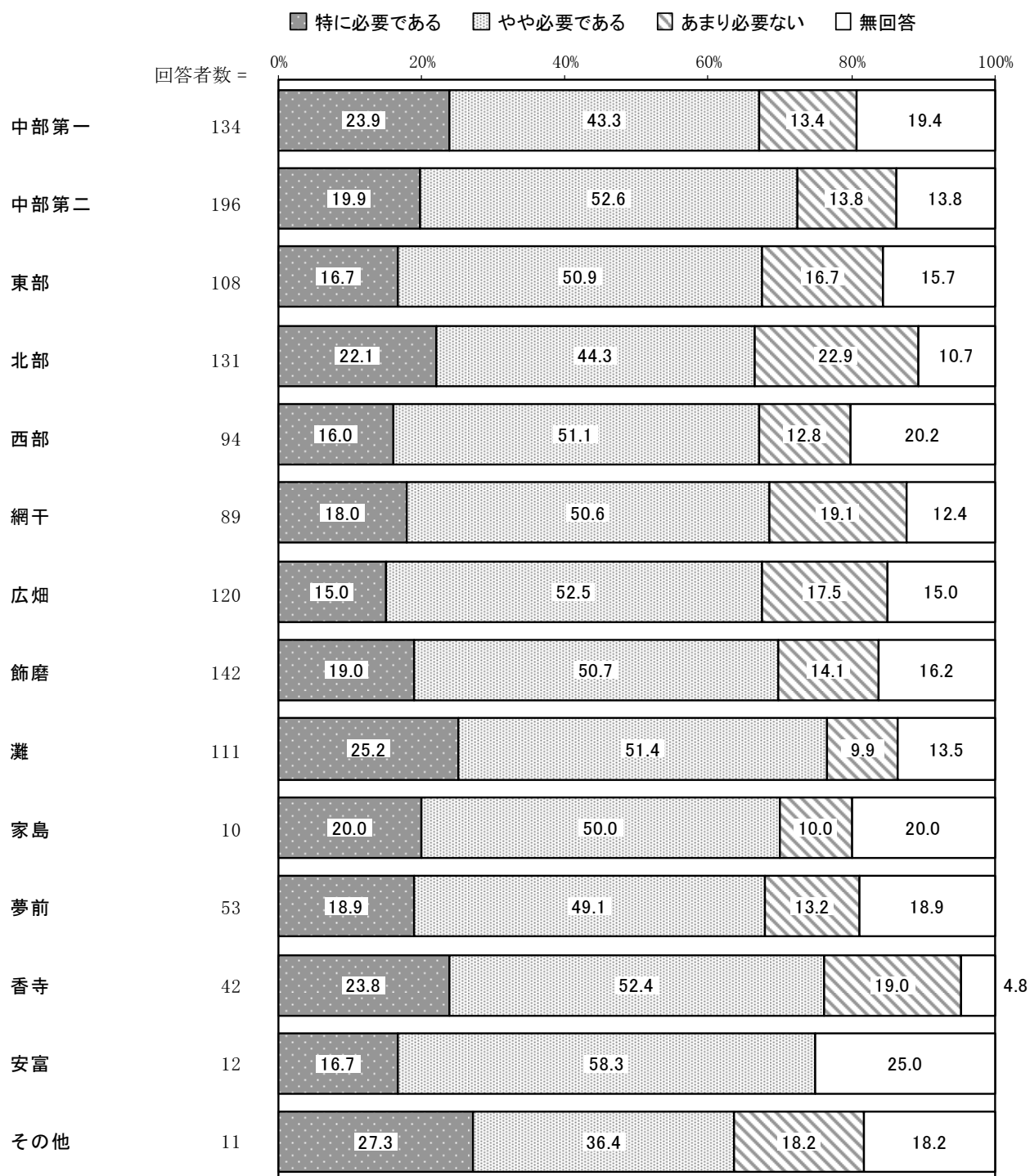
## ボランティアの育成、活動の促進

地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に必要である」の割合が高くなっています。



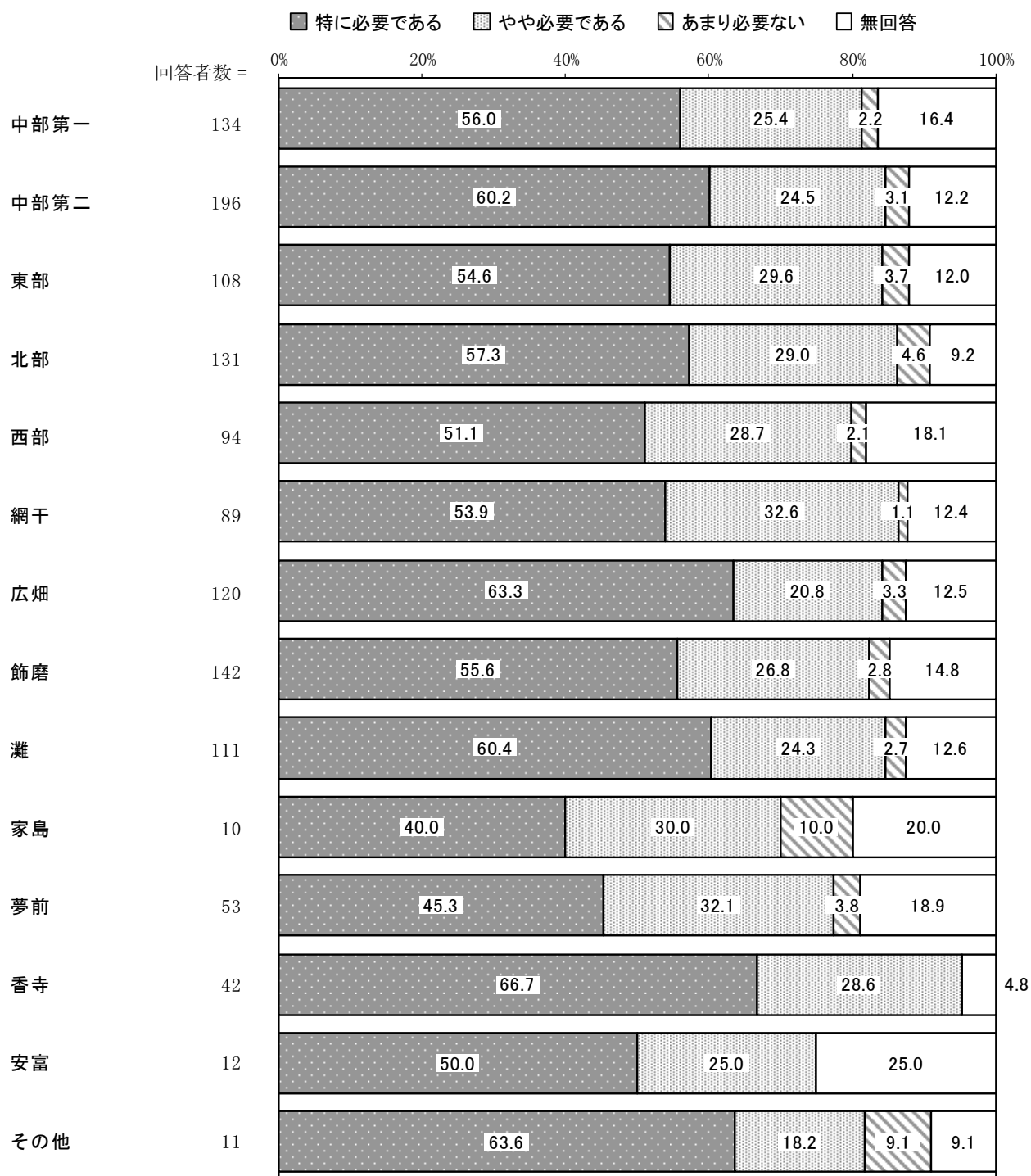
## 子どもや高齢者、障害のある人との交流の場

地区別で見ると、他に比べ、灘で「特に必要である」の割合が高くなっています。



## 災害への備え

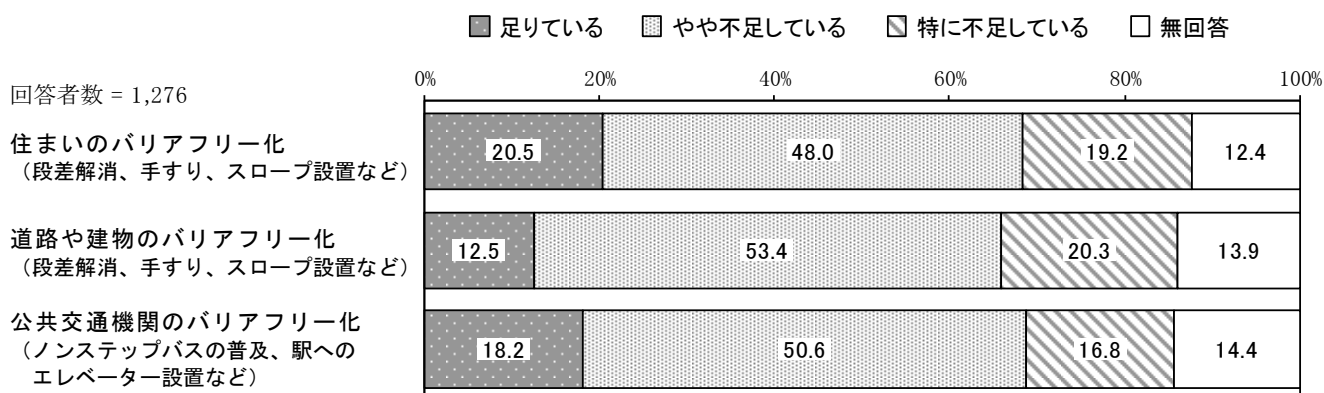
地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に必要である」の割合が高くなっています。



## 充足度

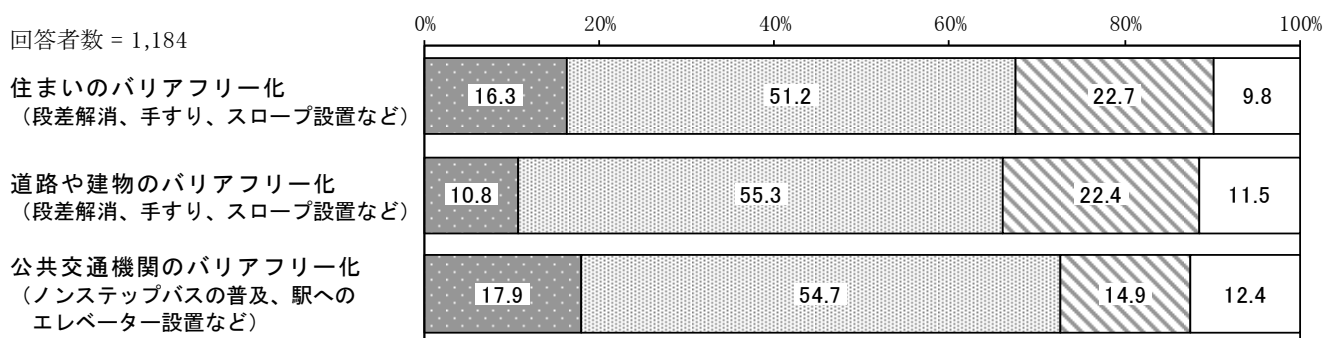
### ① 住まいやまちのバリアフリー化について

『道路や建物のバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）』で「足りている」の割合が低くなっています。



### 【平成 25 年度】

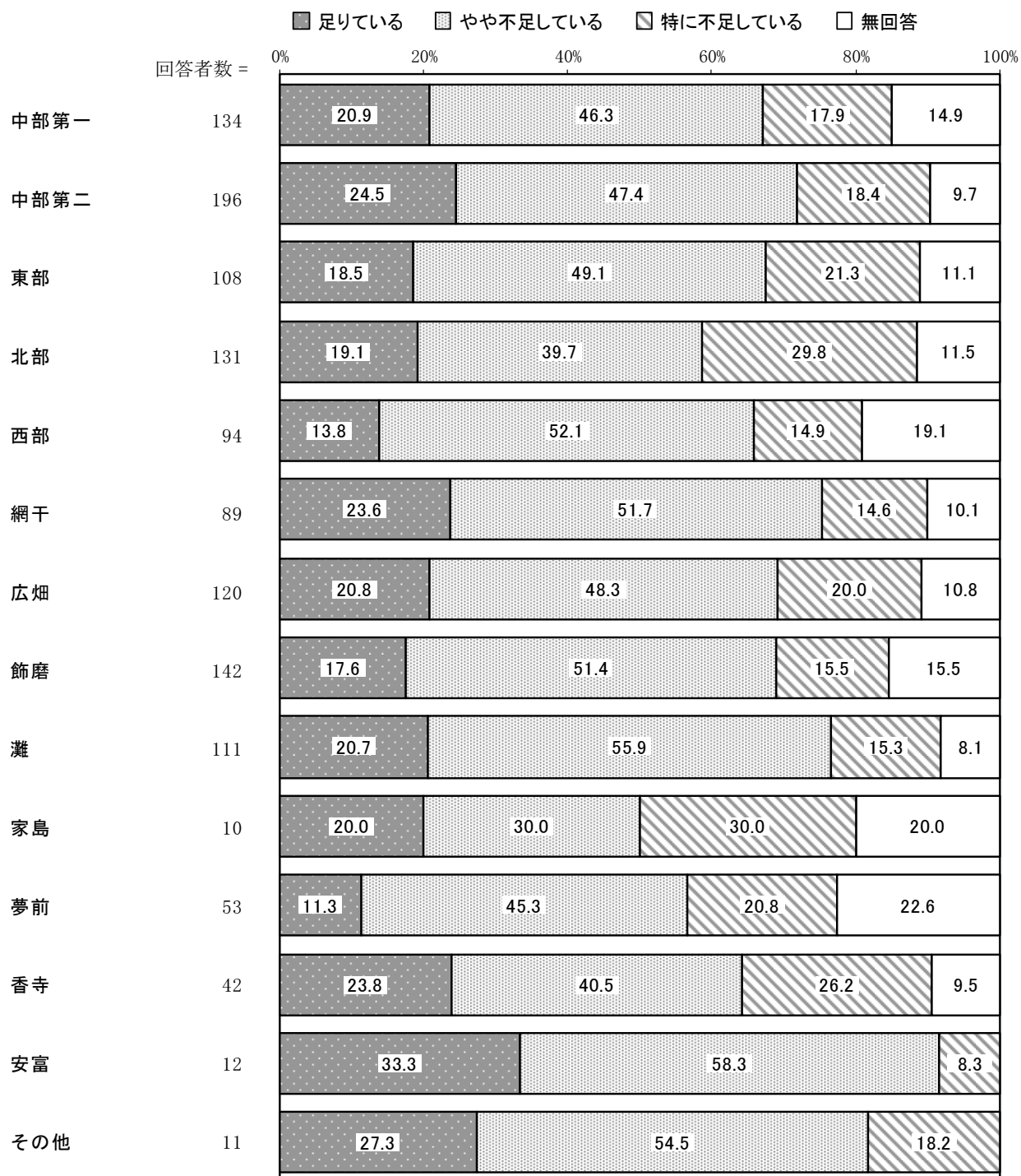
平成 25 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【地区別】

住まいのバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）

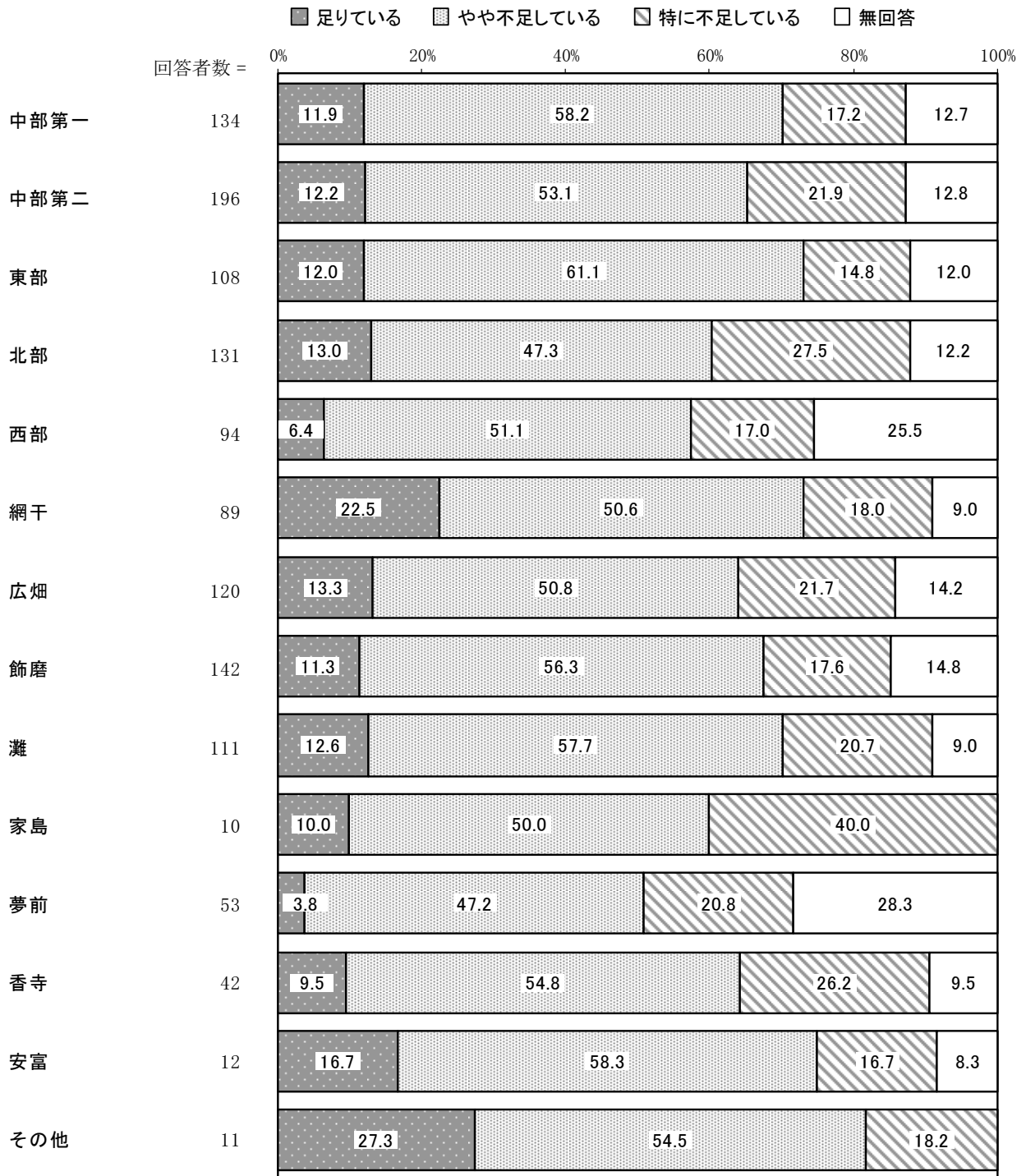
地区別でみると、他に比べ、北部、家島で「特に不足している」の割合が高くなっています。





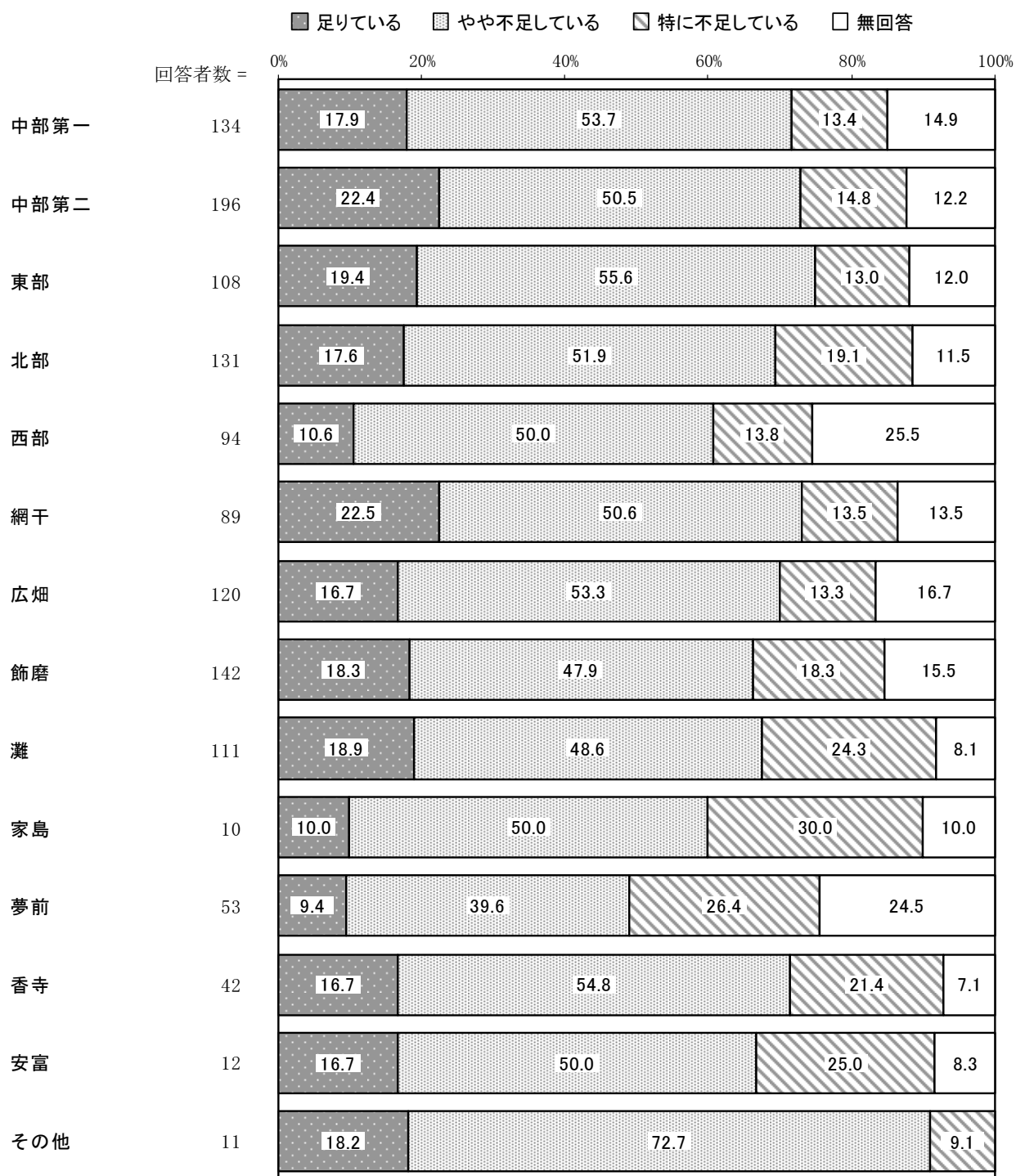
### 道路や建物のバリアフリー化（段差解消、手すり、スロープ設置など）

地区別で見ると、他に比べ、家島で「特に不足している」の割合が高くなっています。



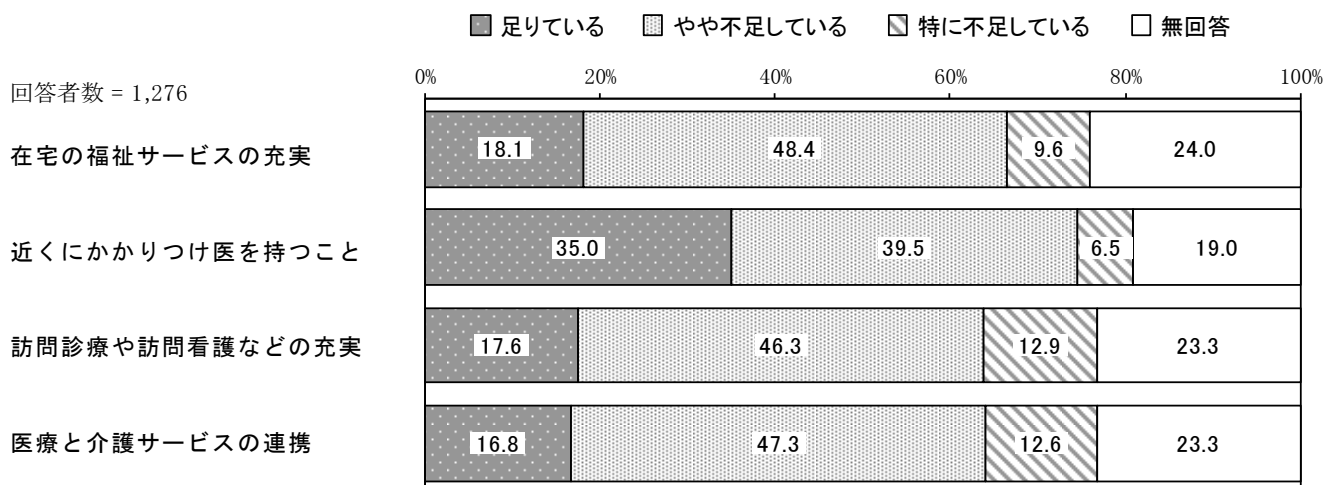
### 公共交通機関のバリアフリー化（ノンステップバスの普及、駅へのエレベーター設置など）

地区別で見ると、他に比べ、家島で「特に不足している」の割合が高くなっています。



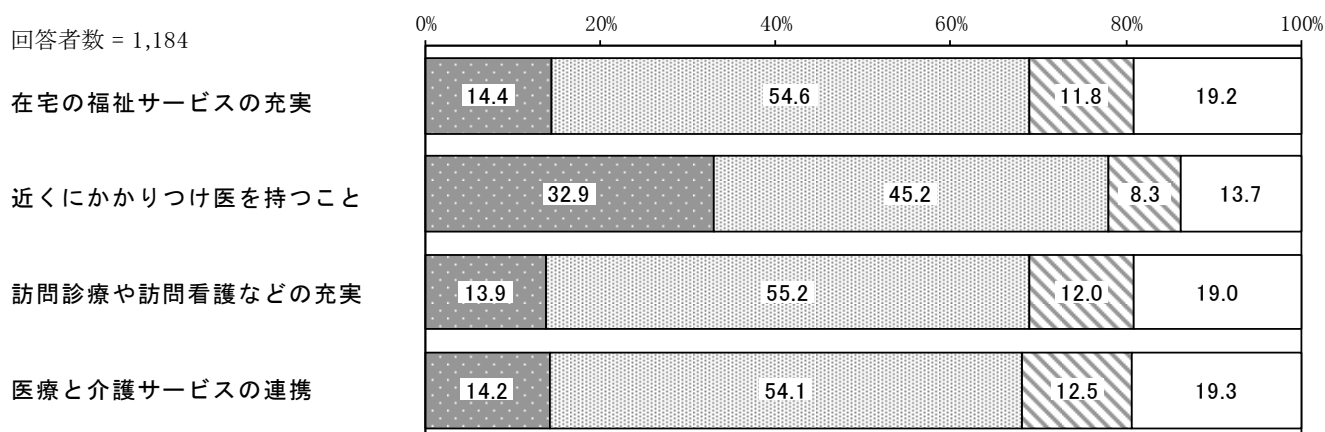
## ② 医療や福祉について

『訪問診療や訪問看護などの充実』『医療と介護サービスの連携』で「特に不足している」の割合が高くなっています。



### 【平成 25 年度】

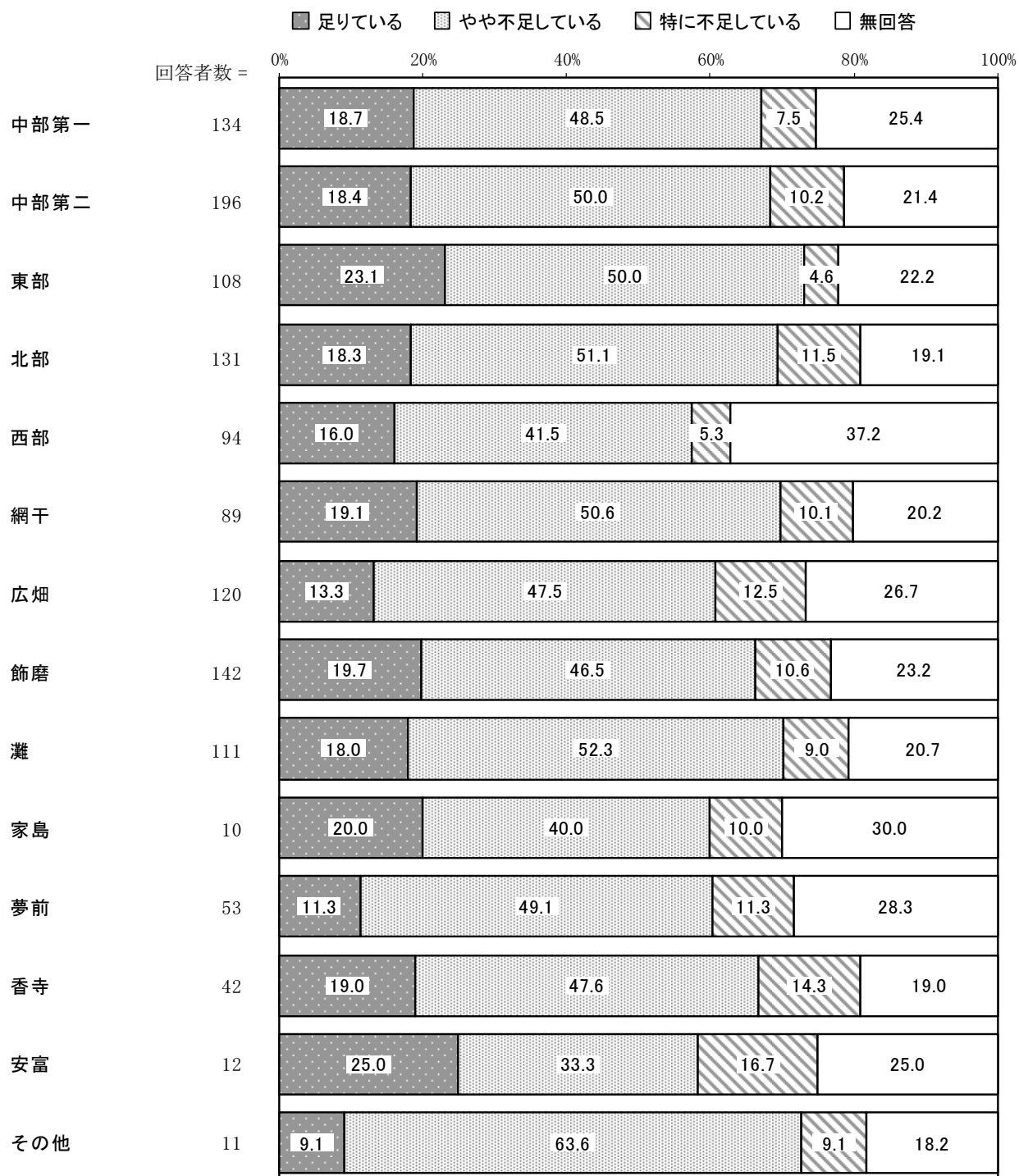
平成 25 年度と比較すると、『在宅の福祉サービスの充実』『近くにかかりつけ医を持つこと』『訪問診療や訪問看護などの充実』『医療と介護サービスの連携』で「やや不足している」の割合が減少しています。



【地区別】

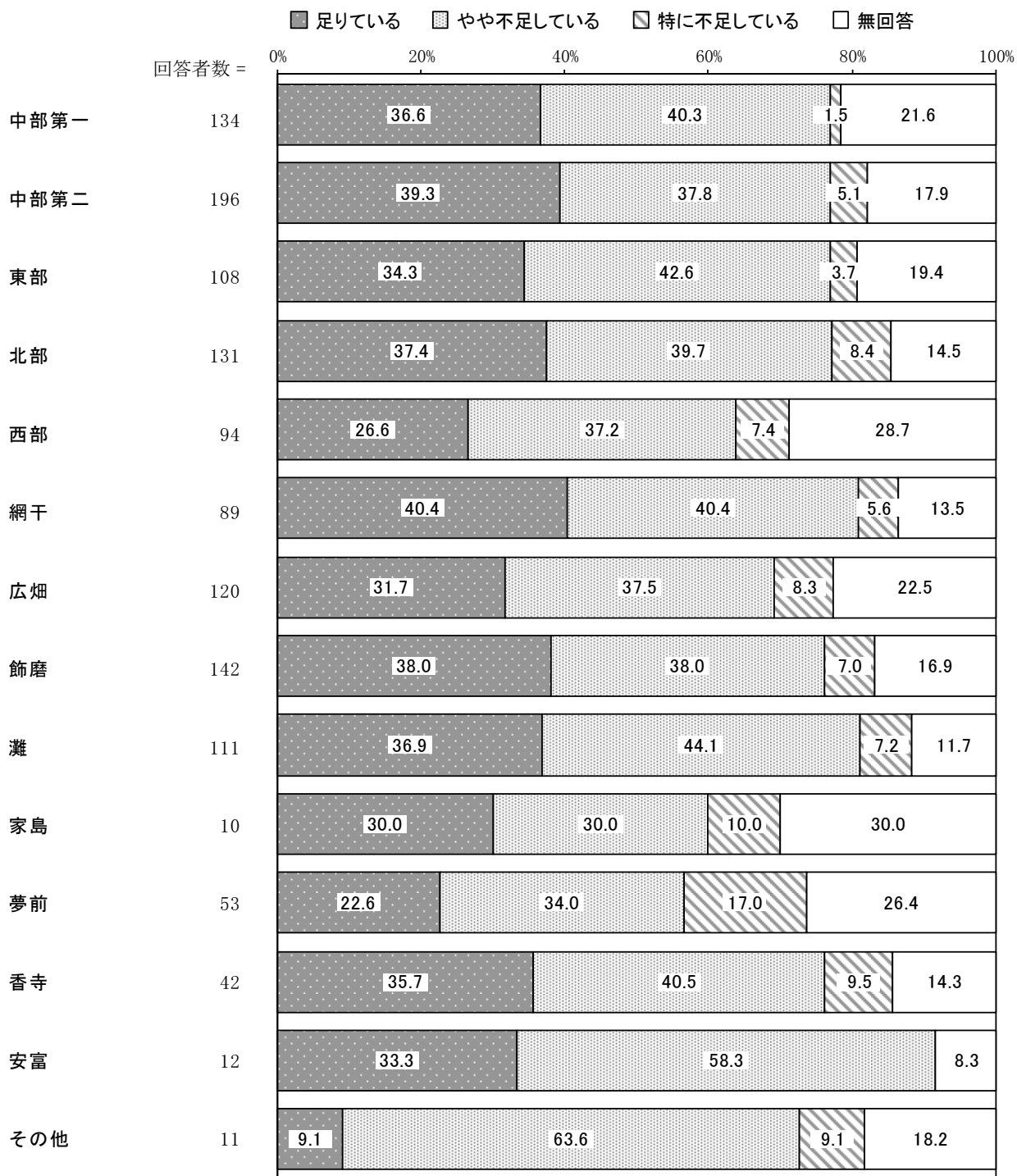
在宅の福祉サービスの充実

地区別でみると、他に比べ、香寺、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



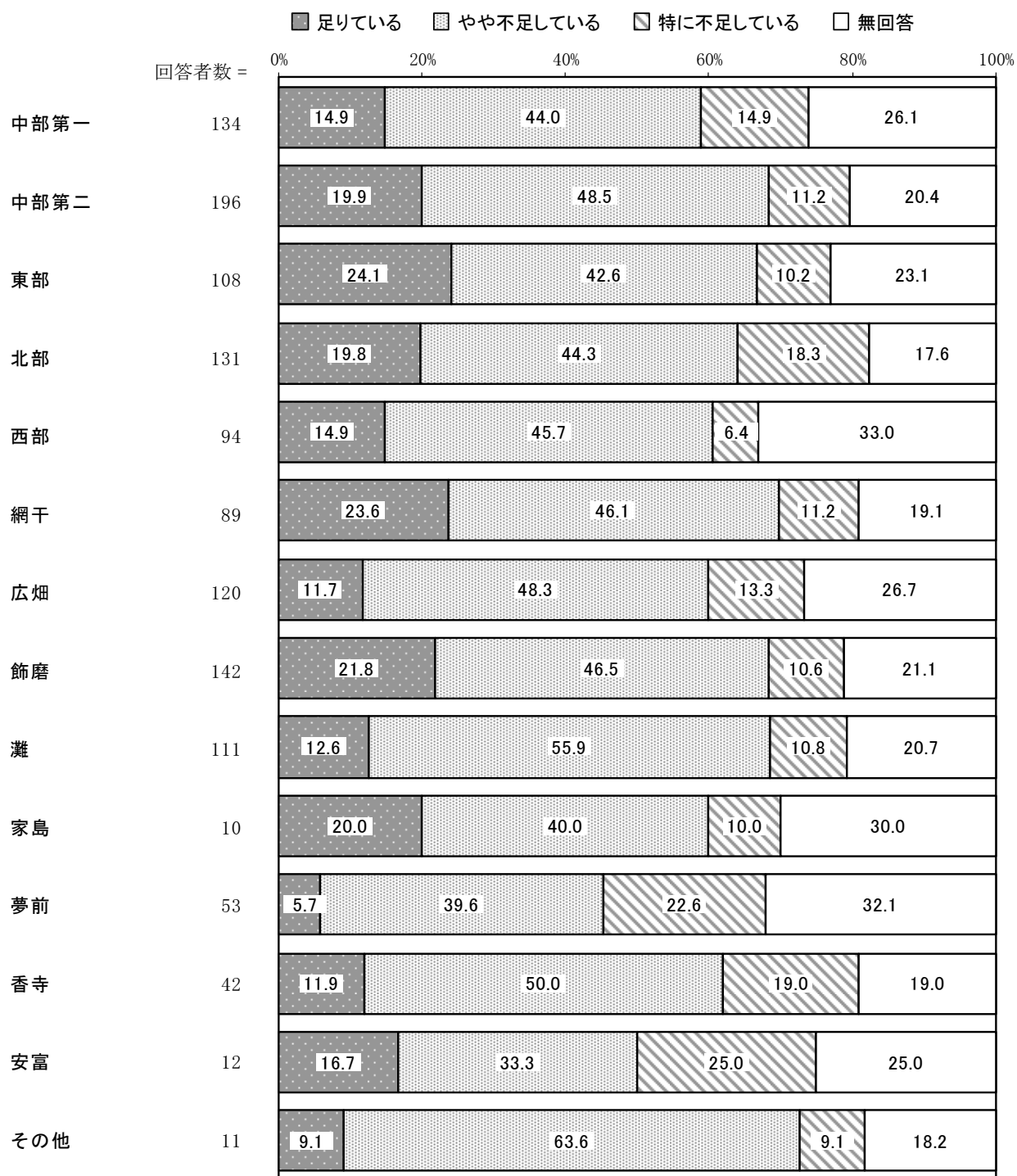
### 近くにかかりつけ医を持つこと

地区別で見ると、他に比べ、夢前で「特に不足している」の割合が高くなっています。



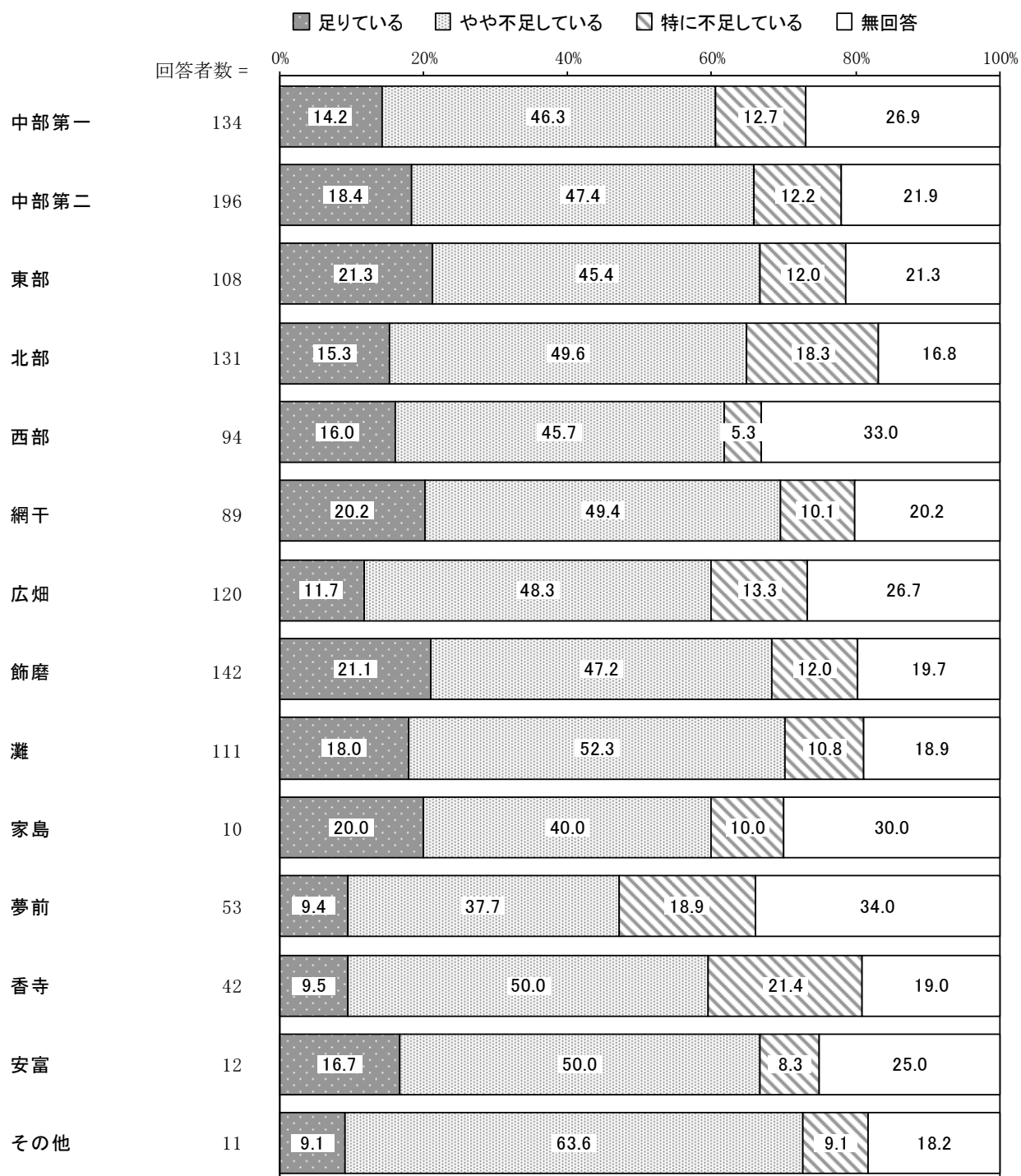
## 訪問診療や訪問看護などの充実

地区別で見ると、他に比べ、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



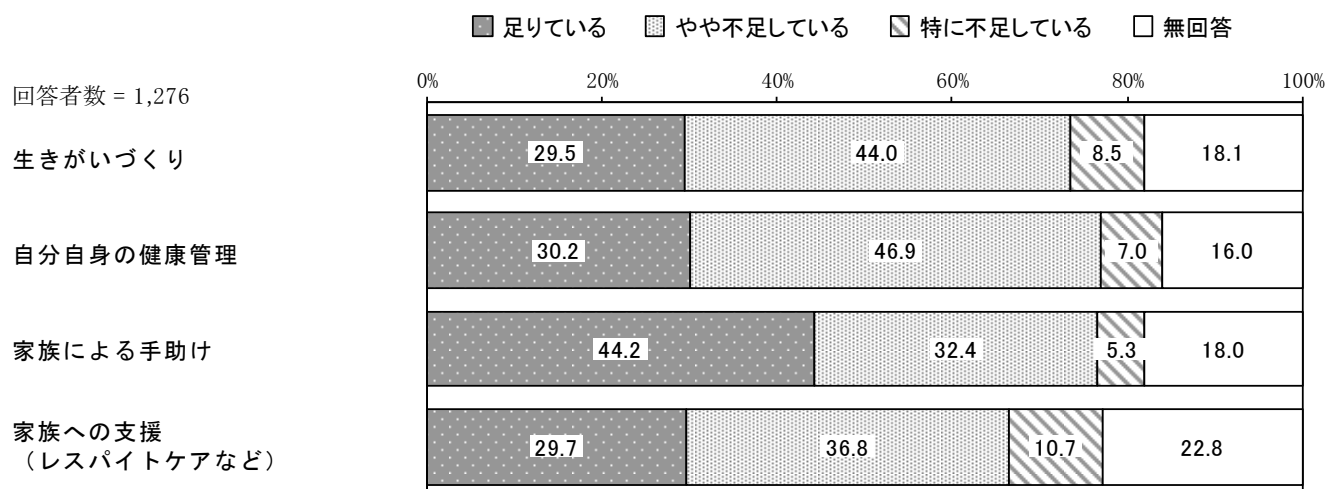
## 医療と介護サービスの連携

地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。



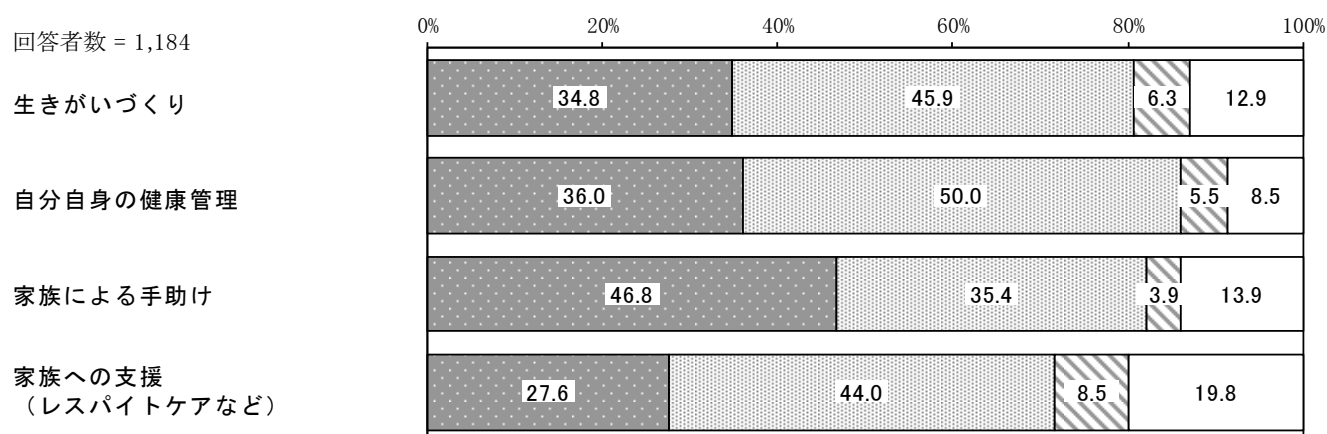
③ 自分自身や家族のことについて 生きがいくくり

『家族への支援（レスパイトケアなど）』で「特に不足している」の割合が高くなっています。



【平成 25 年度】

平成 25 年度と比較すると、『生きがいくくり』『自分自身の健康管理』で「足りている」の割合が減少しています。

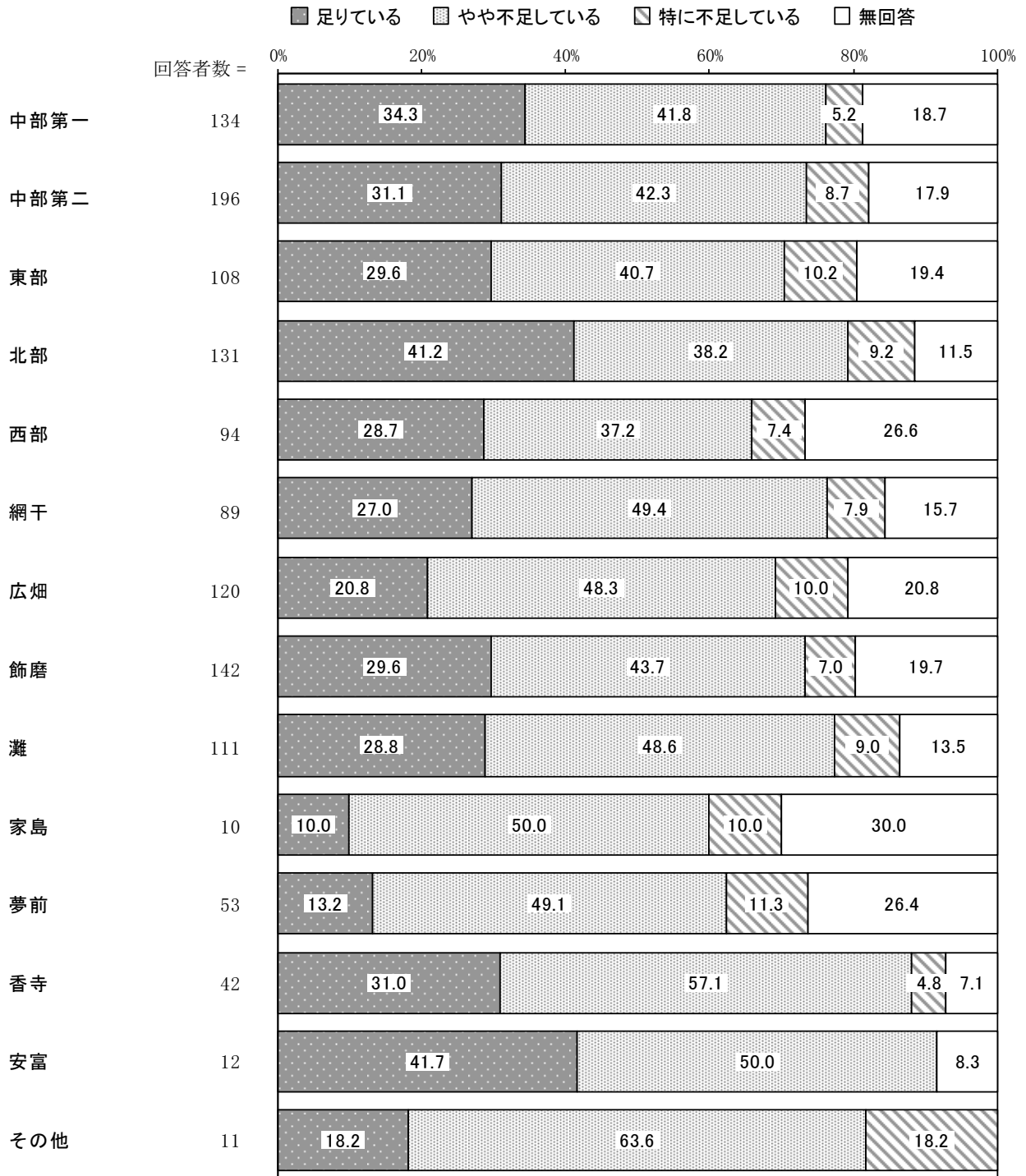




【地区別】

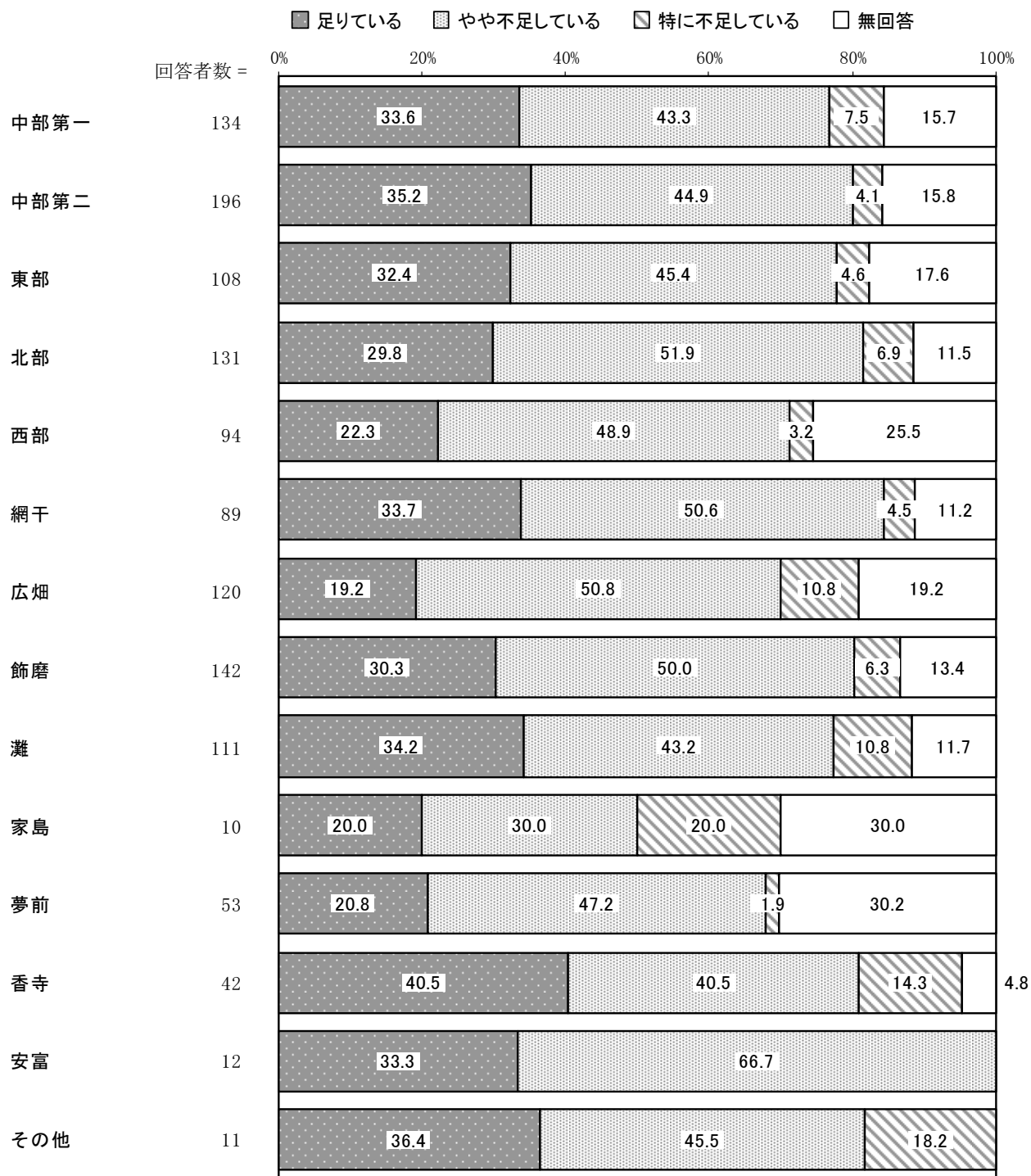
生きがいくり

地区別でみると、他に比べ、東部、広畑、家島、夢前で「特に不足している」の割合が高くなっています。



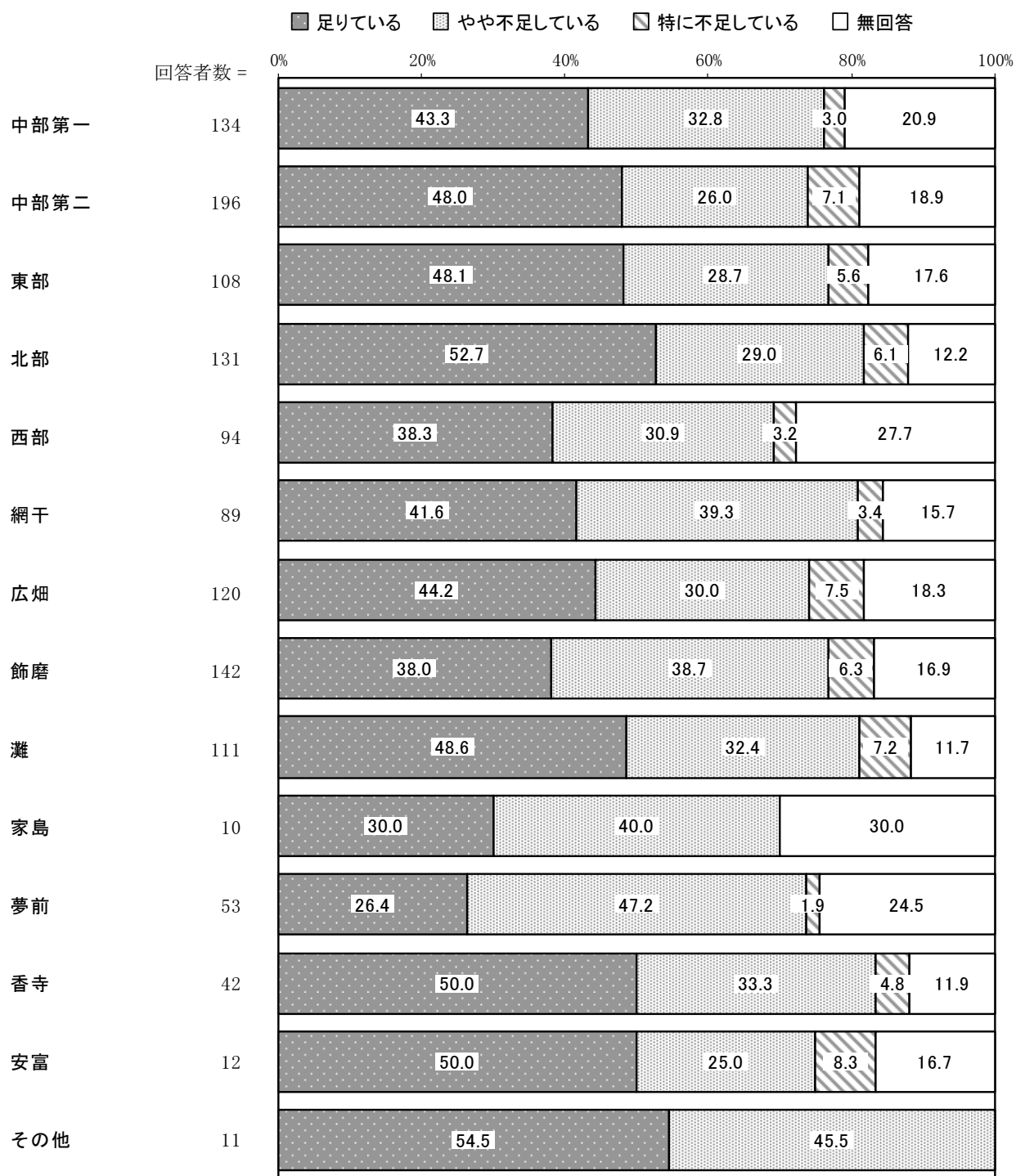
## 自分自身の健康管理

地区別で見ると、他に比べ、家島で「特に不足している」の割合が高くなっています。



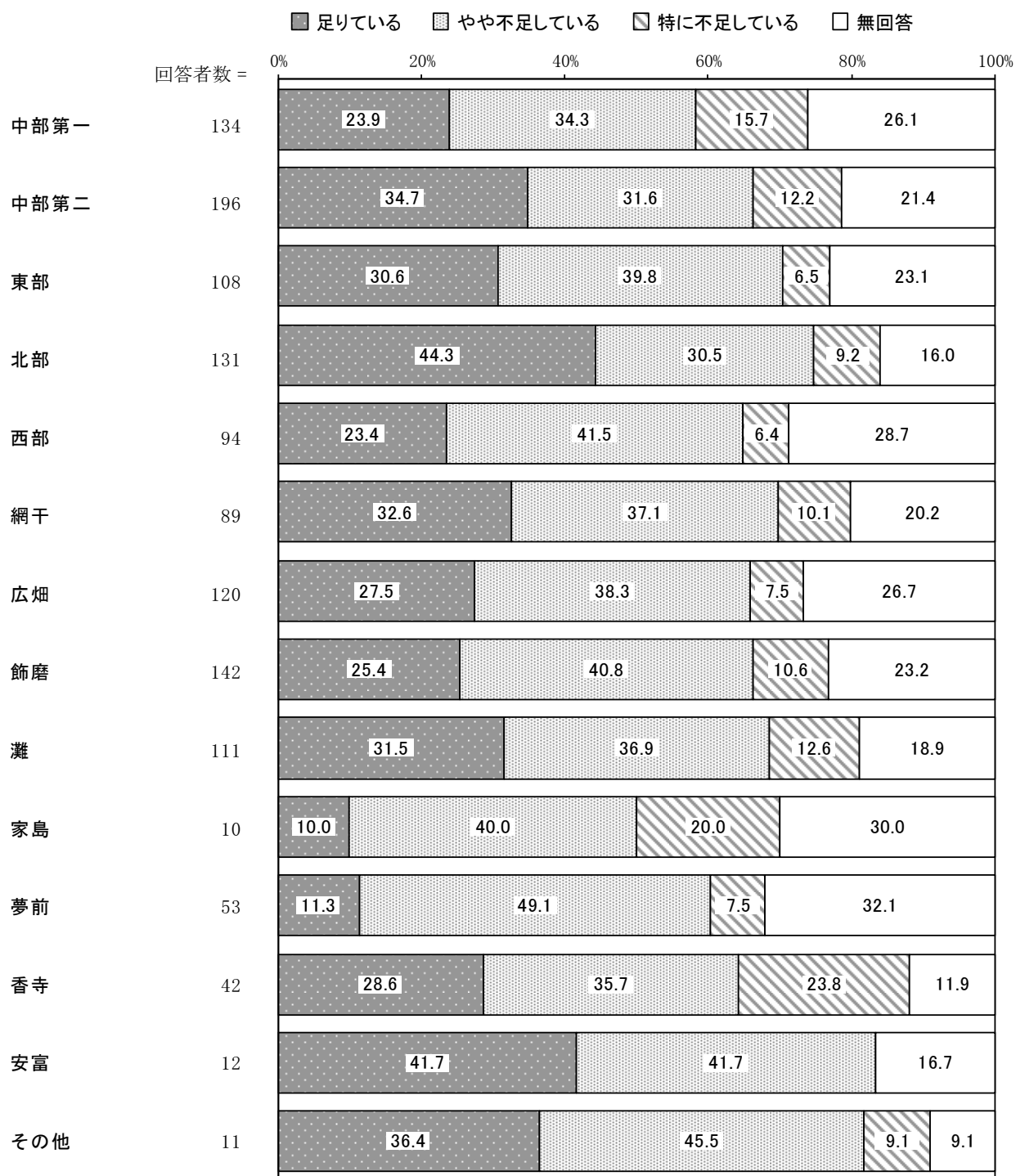
## 家族による手助け

地区別で見ると、他に比べ、夢前で「足りている」の割合が低くなっています。



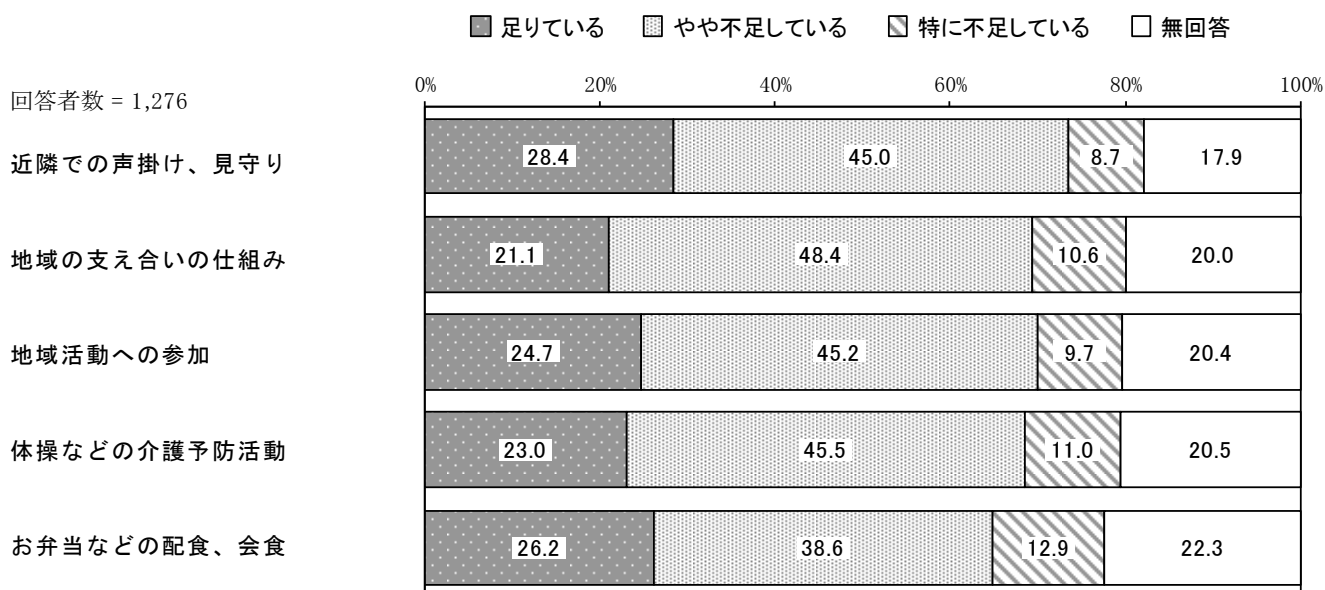
### 家族への支援（レスパイトケアなど）

地区別で見ると、他に比べ、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。



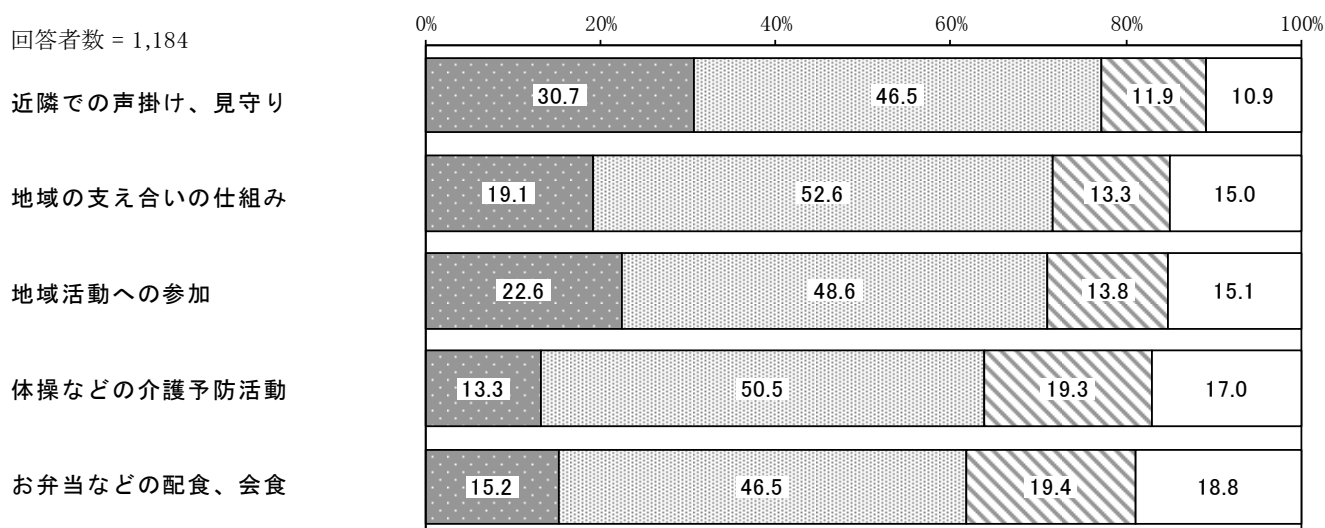
④ 地域との関わりについて 近隣での声掛け、見守り

『近隣での声掛け、見守り』で「足りている」の割合が高くなっています。



【平成 25 年度】

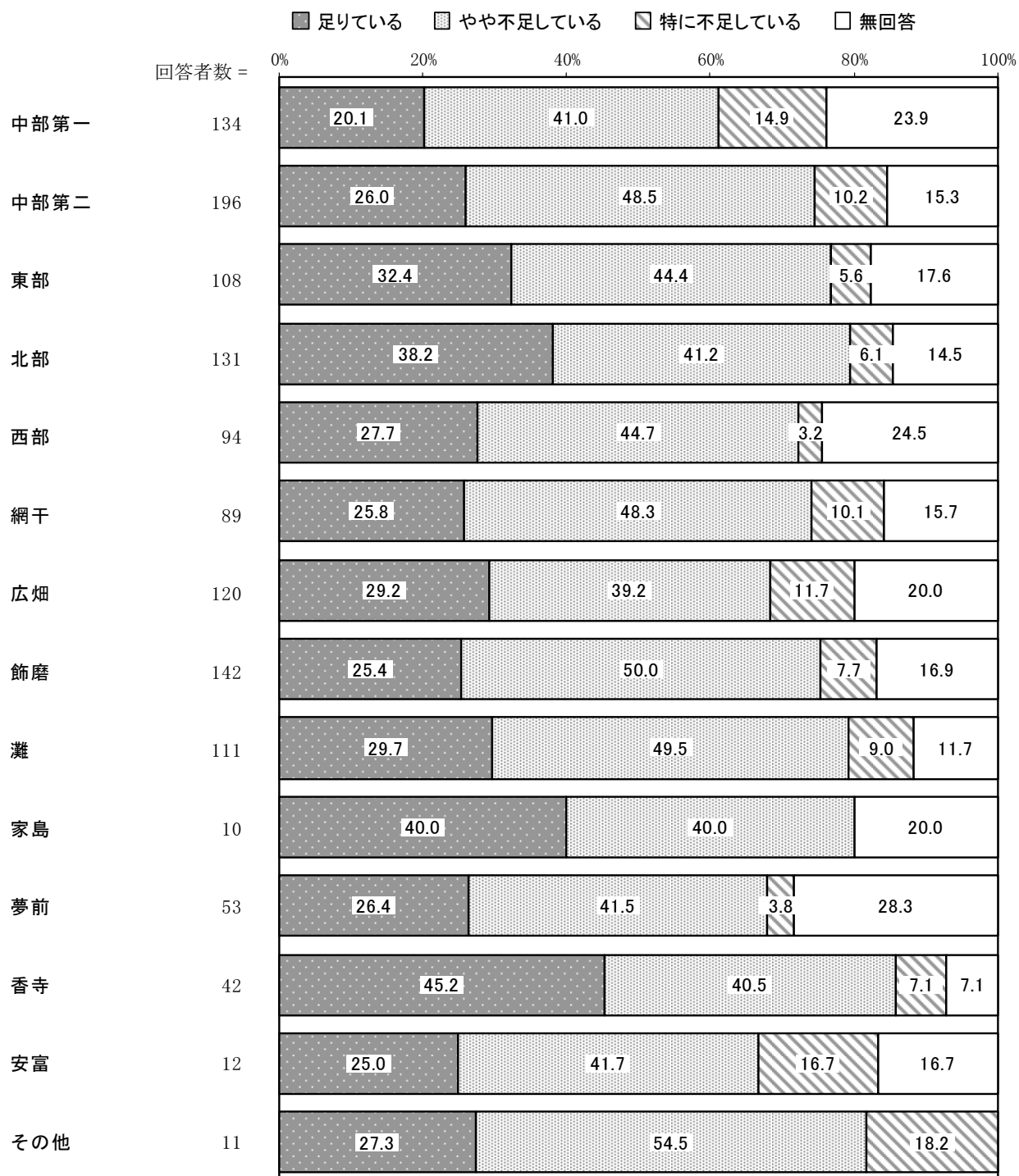
平成 25 年度と比較すると、『体操などの介護予防活動』『お弁当などの配食、会食』で「足りている」の割合が増加しています。



【地区別】

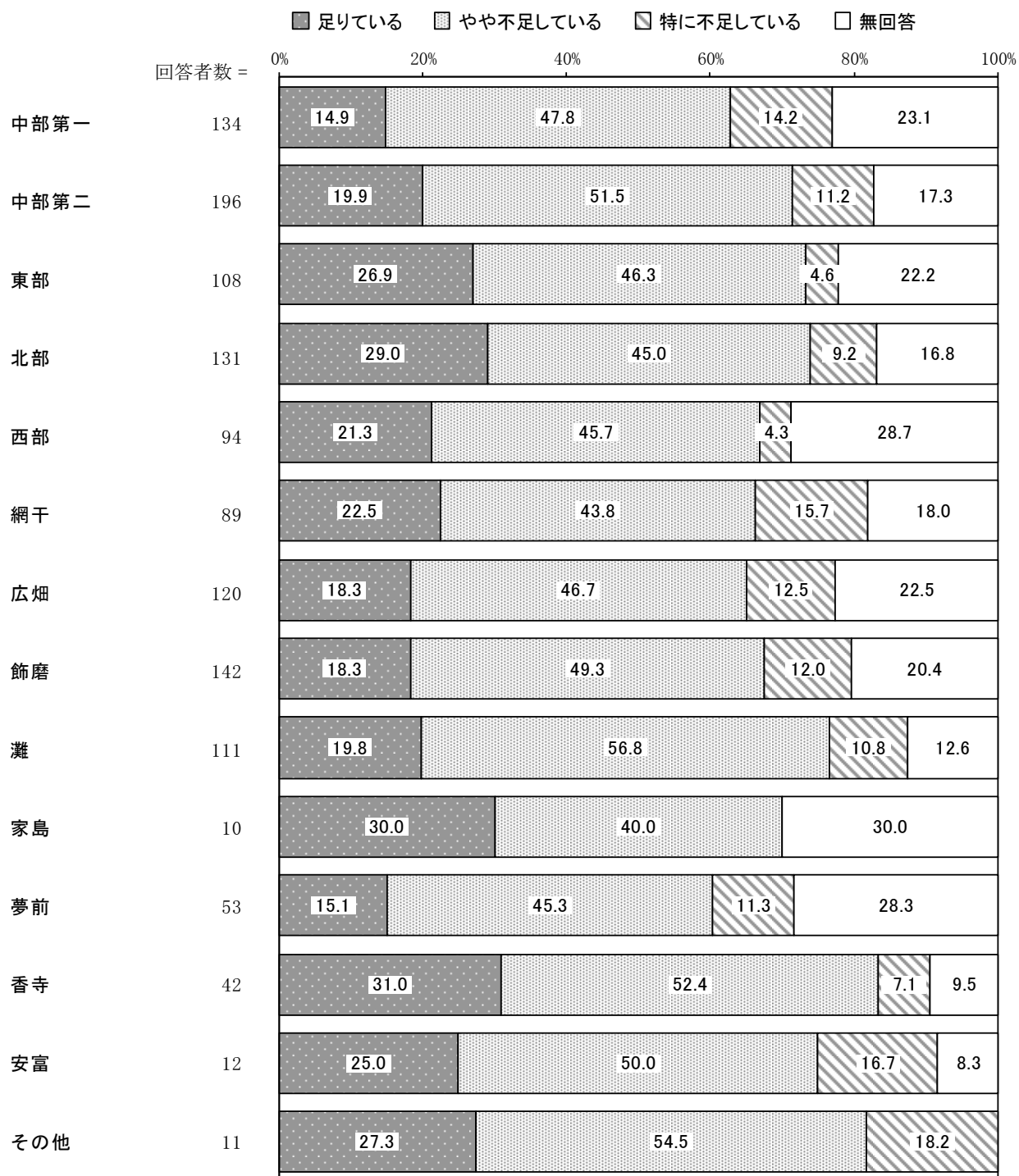
近隣での声掛け、見守り

地区別でみると、他に比べ、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



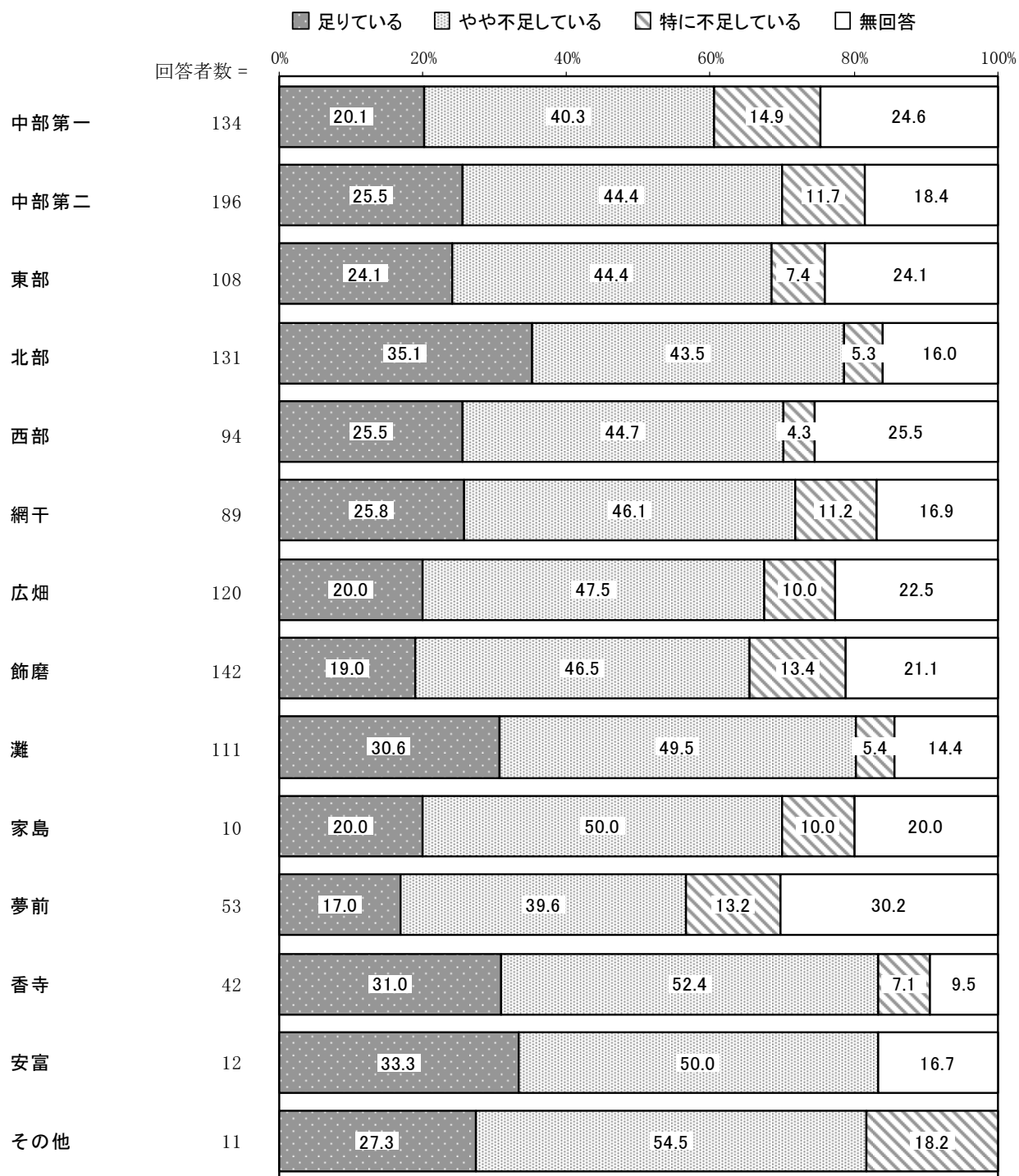
### 地域の支え合いの仕組み

地区別で見ると、他に比べ、中部第一、網干、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



## 地域活動への参加

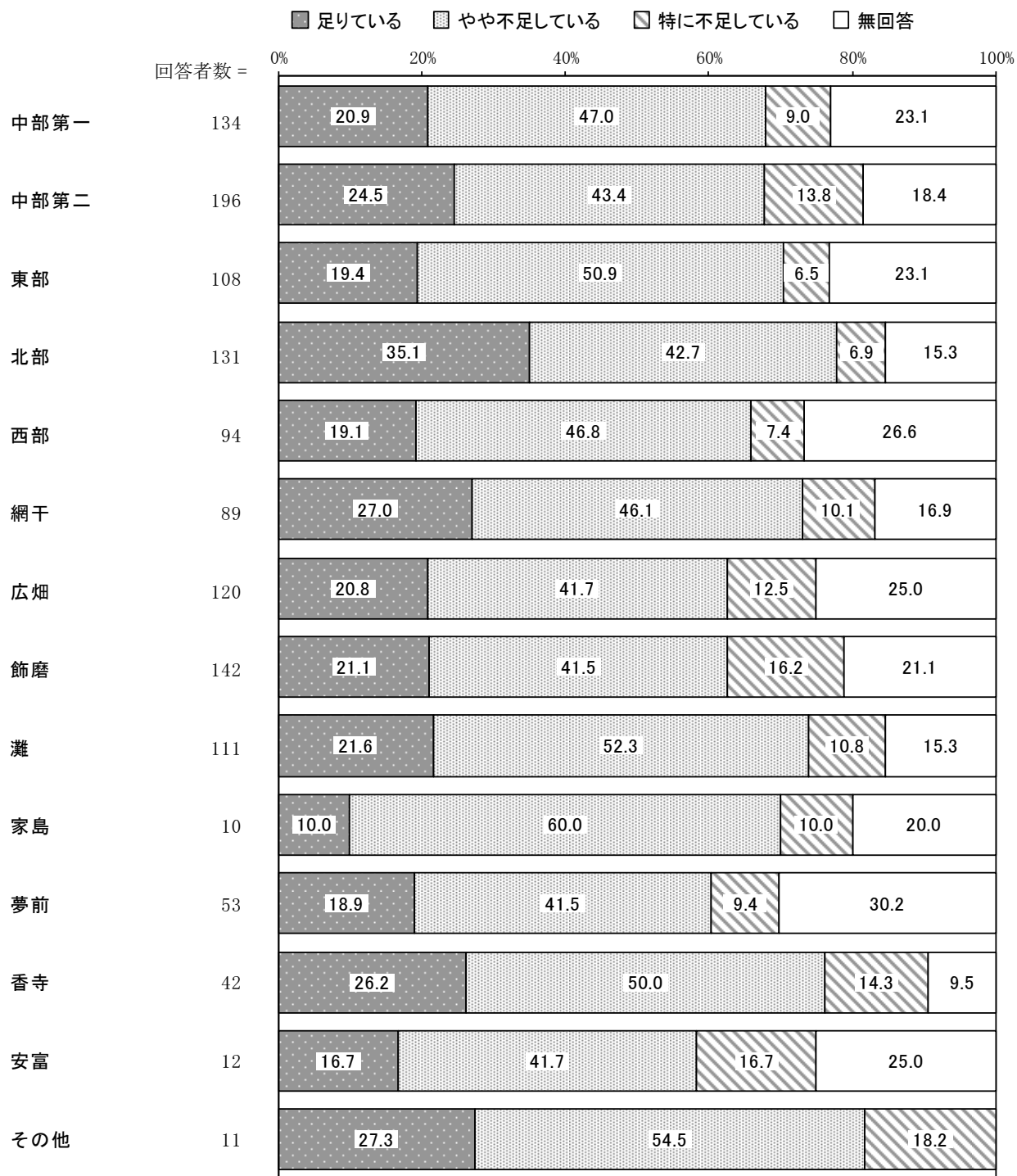
地区別で見ると、他に比べ、中部第一、飾磨、夢前で「特に不足している」の割合が高くなっています。





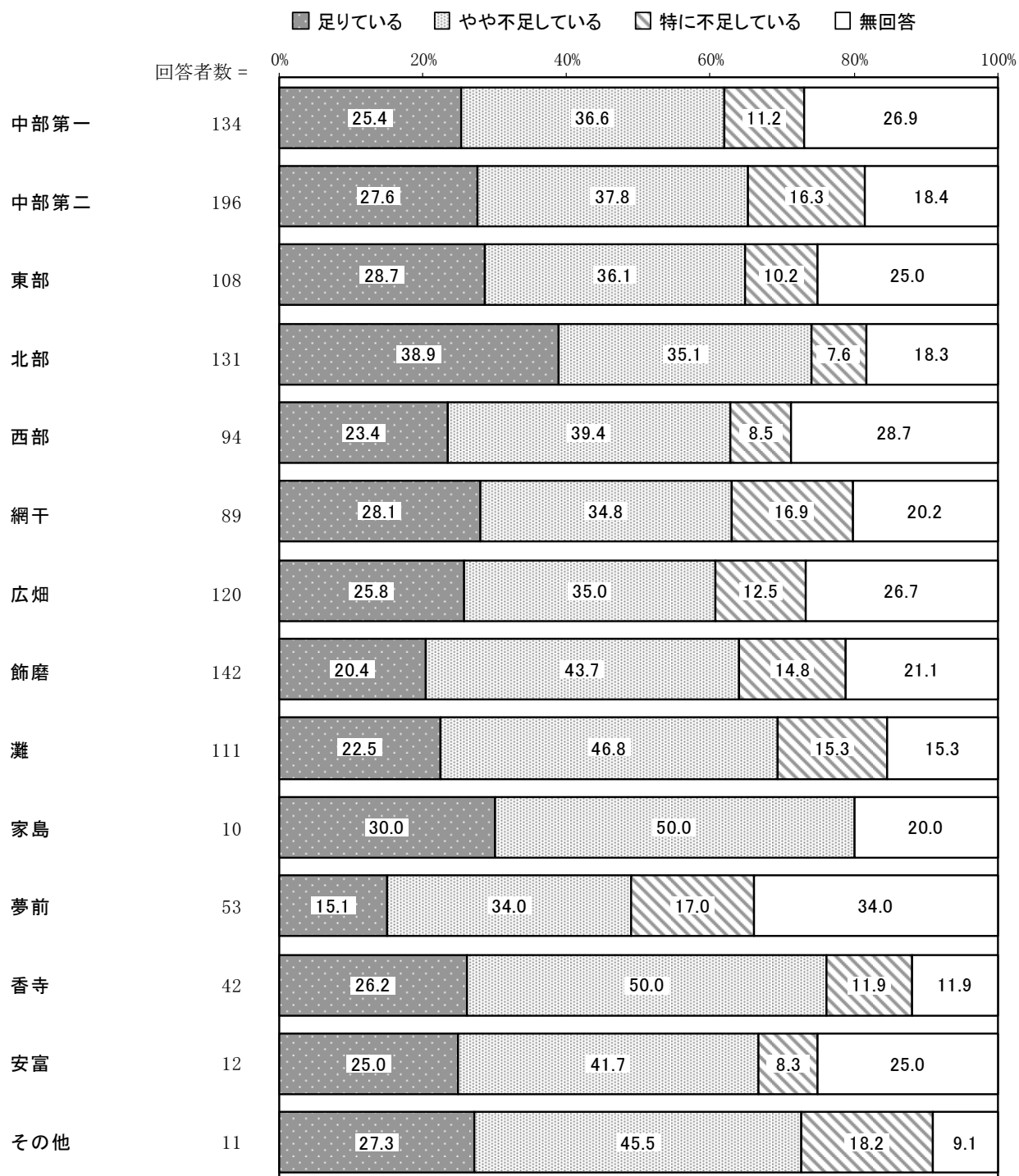
### 体操などの介護予防活動

地区別で見ると、他に比べ、飾磨、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



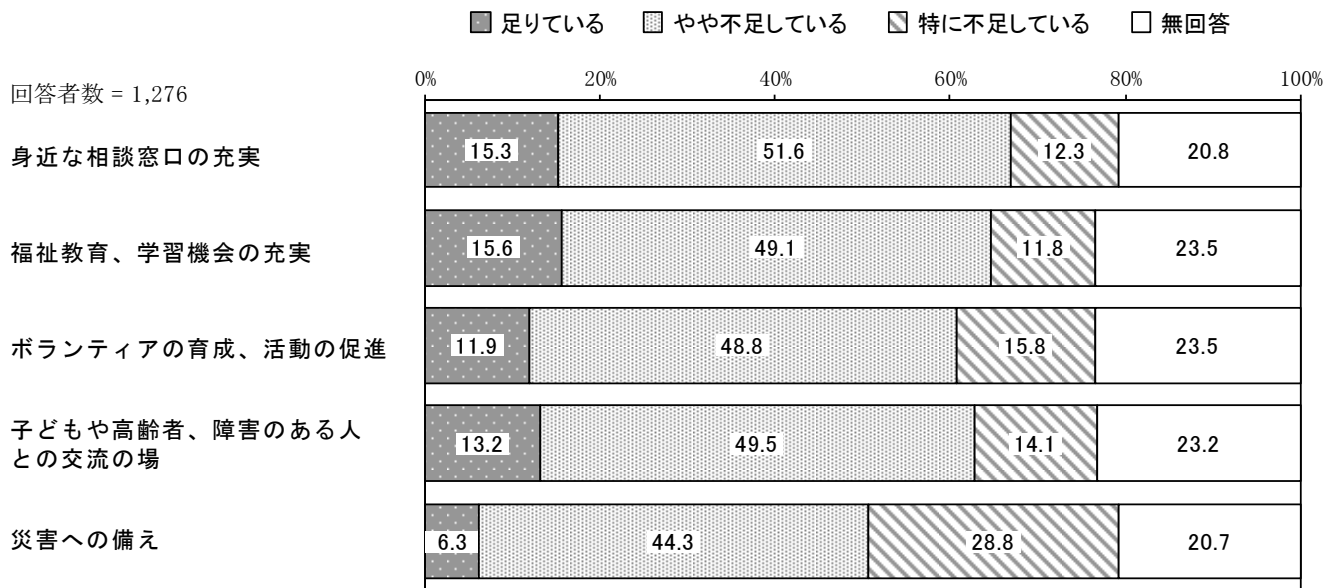
## お弁当などの配食、会食

地区別で見ると、他に比べ、中部第二、網干、飾磨、灘、夢前で「特に不足している」の割合が高くなっています。



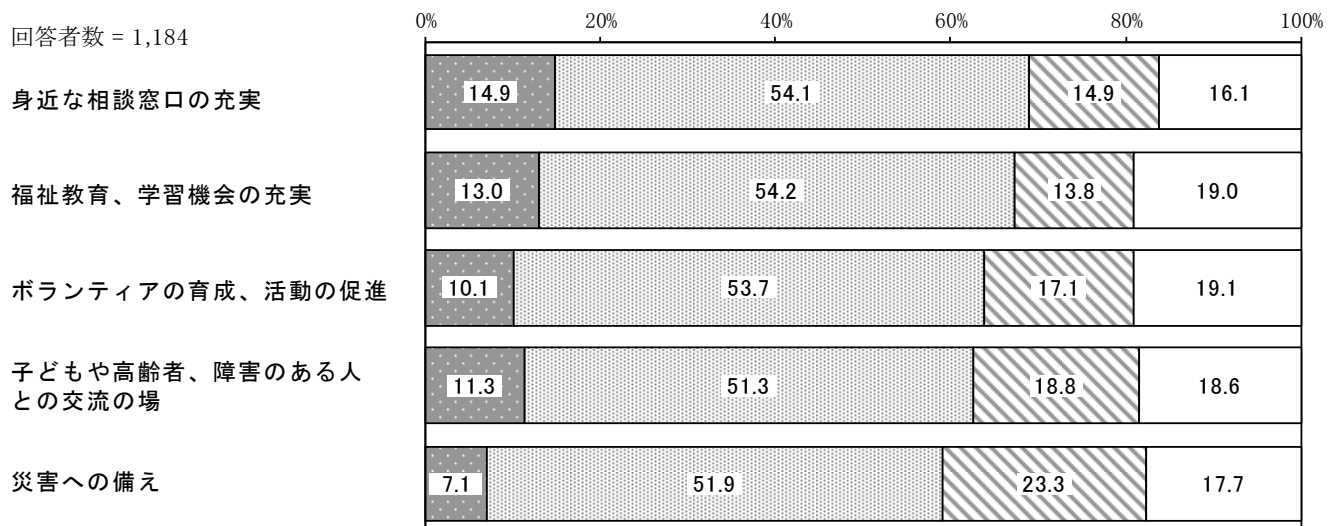
⑤ その他

『災害への備え』で「特に不足している」の割合が高くなっています。



【平成 25 年度】

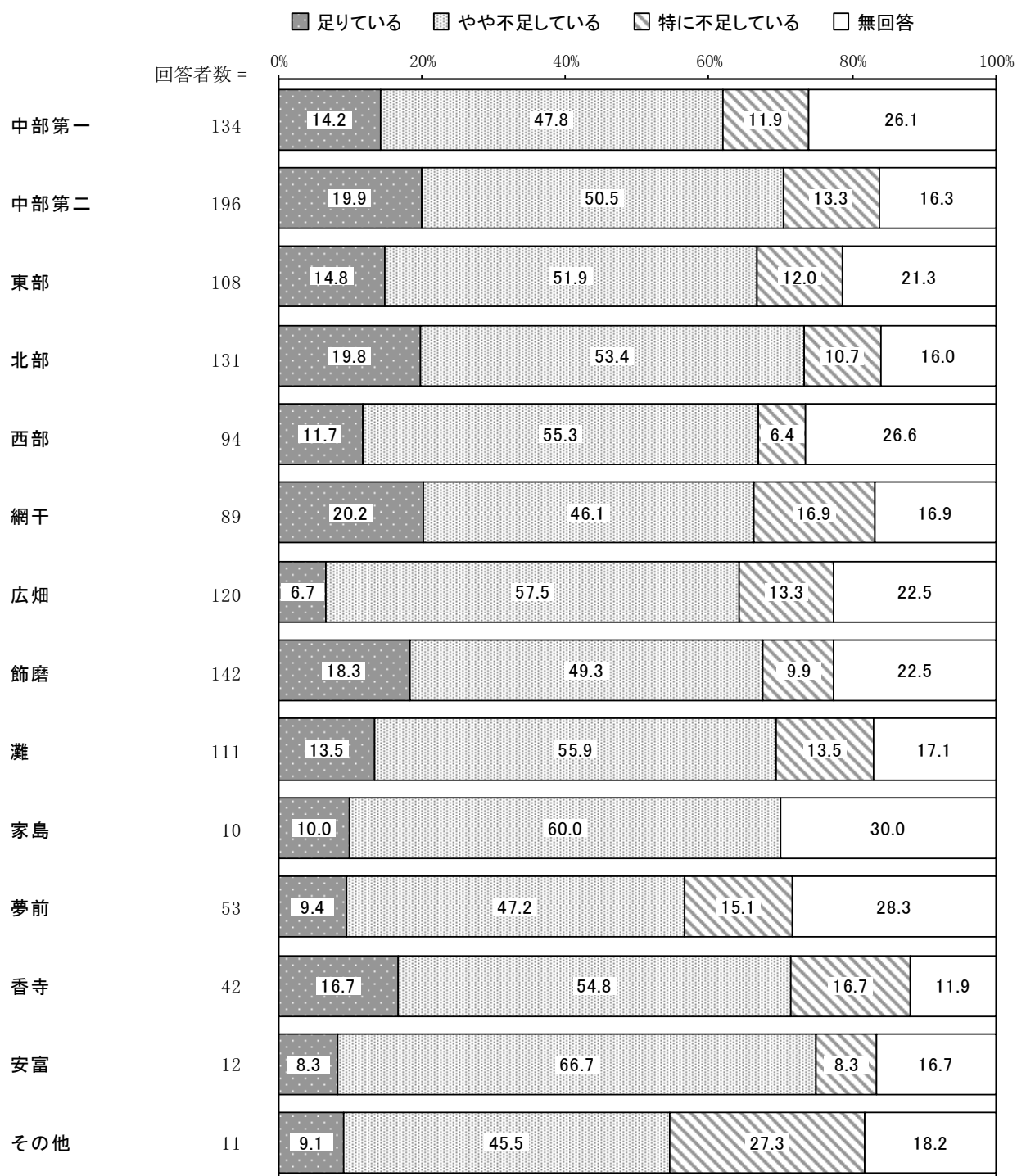
平成 25 年度と比較すると、『災害への備え』で「特に不足している」の割合が増加しています。



## 【地区別】

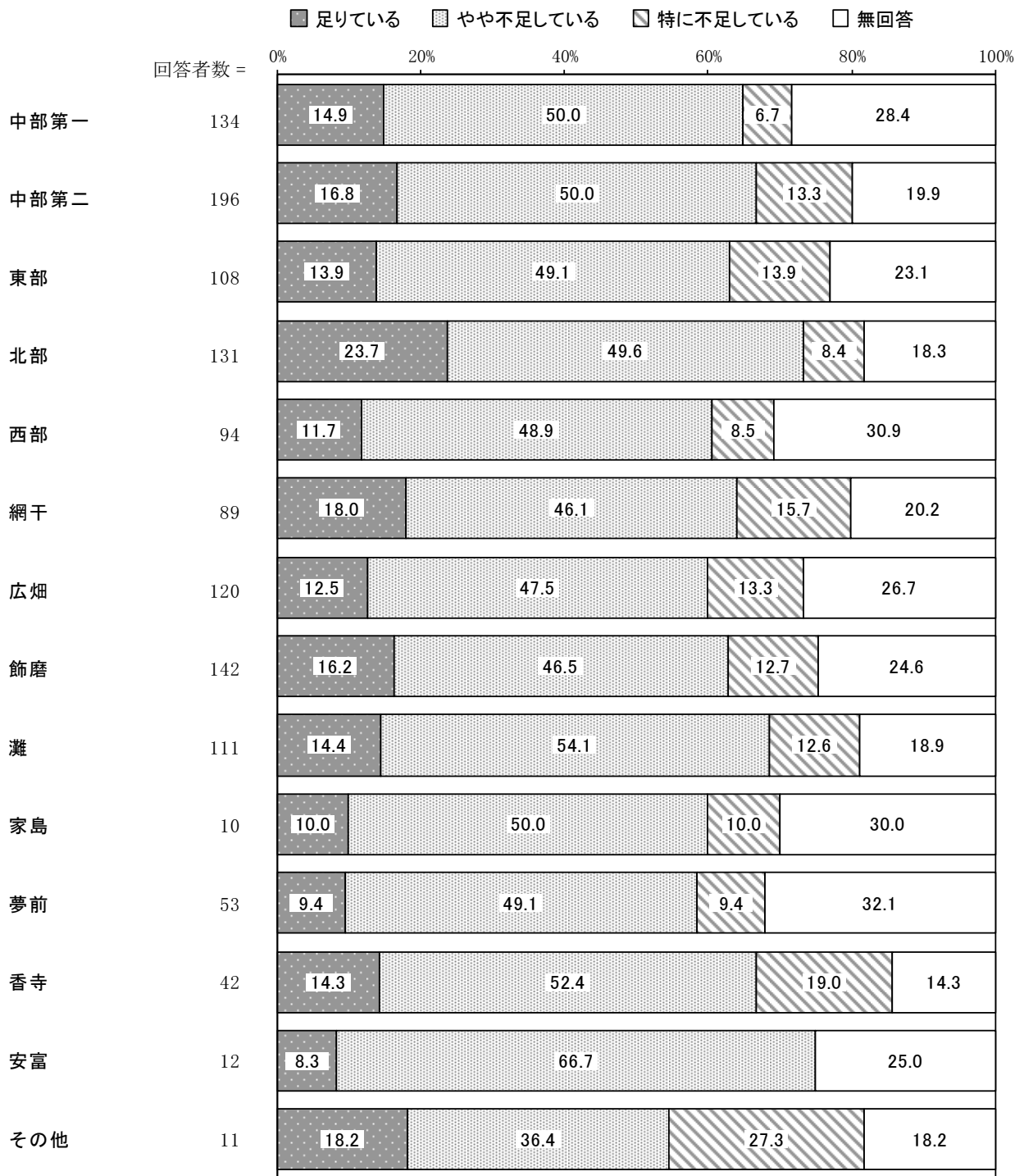
### 身近な相談窓口の充実

地区別でみると、他に比べ、網干、広畑、灘、夢前、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。



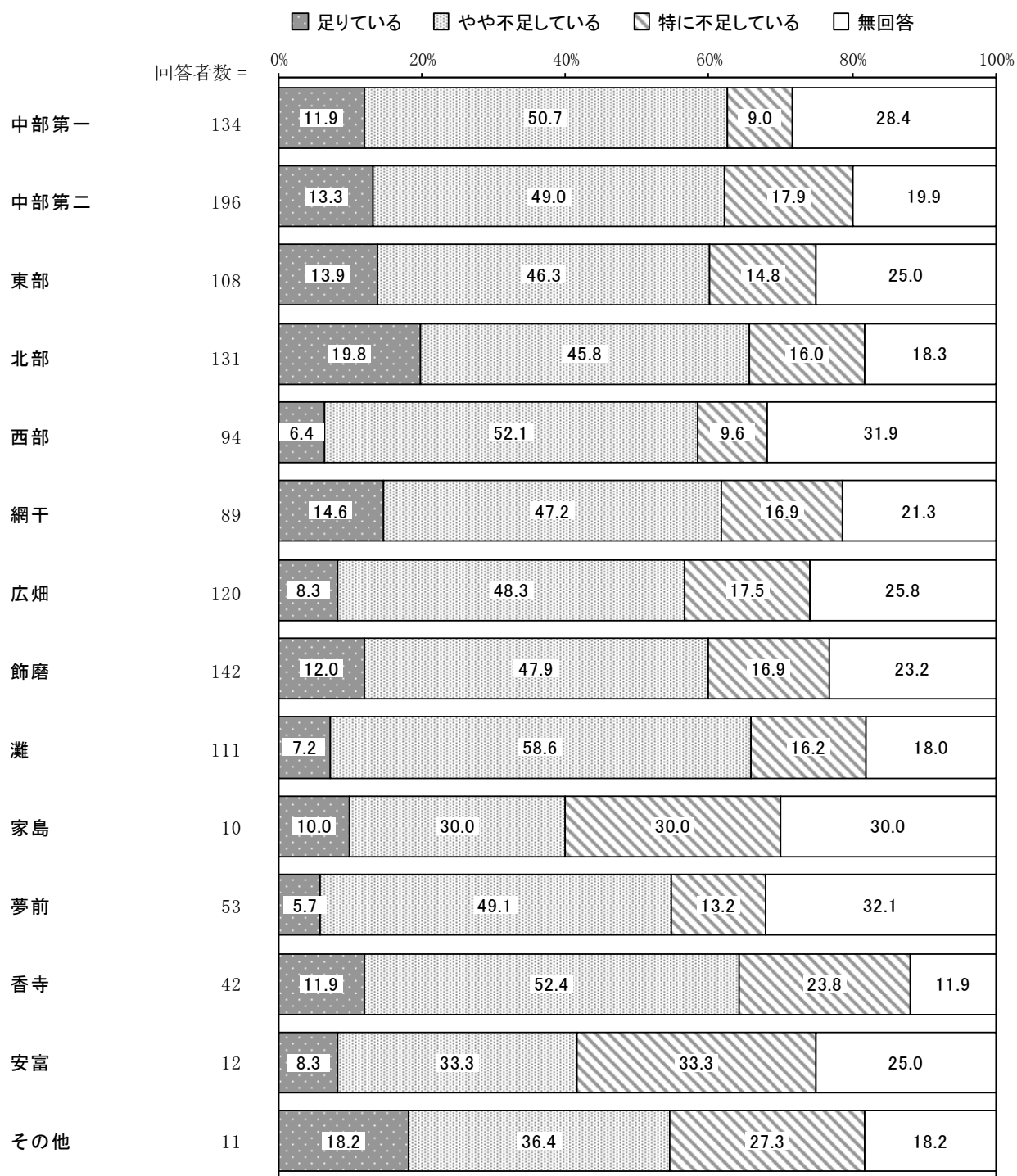
## 福祉教育、学習機会の充実

地区別でみると、他に比べ、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。



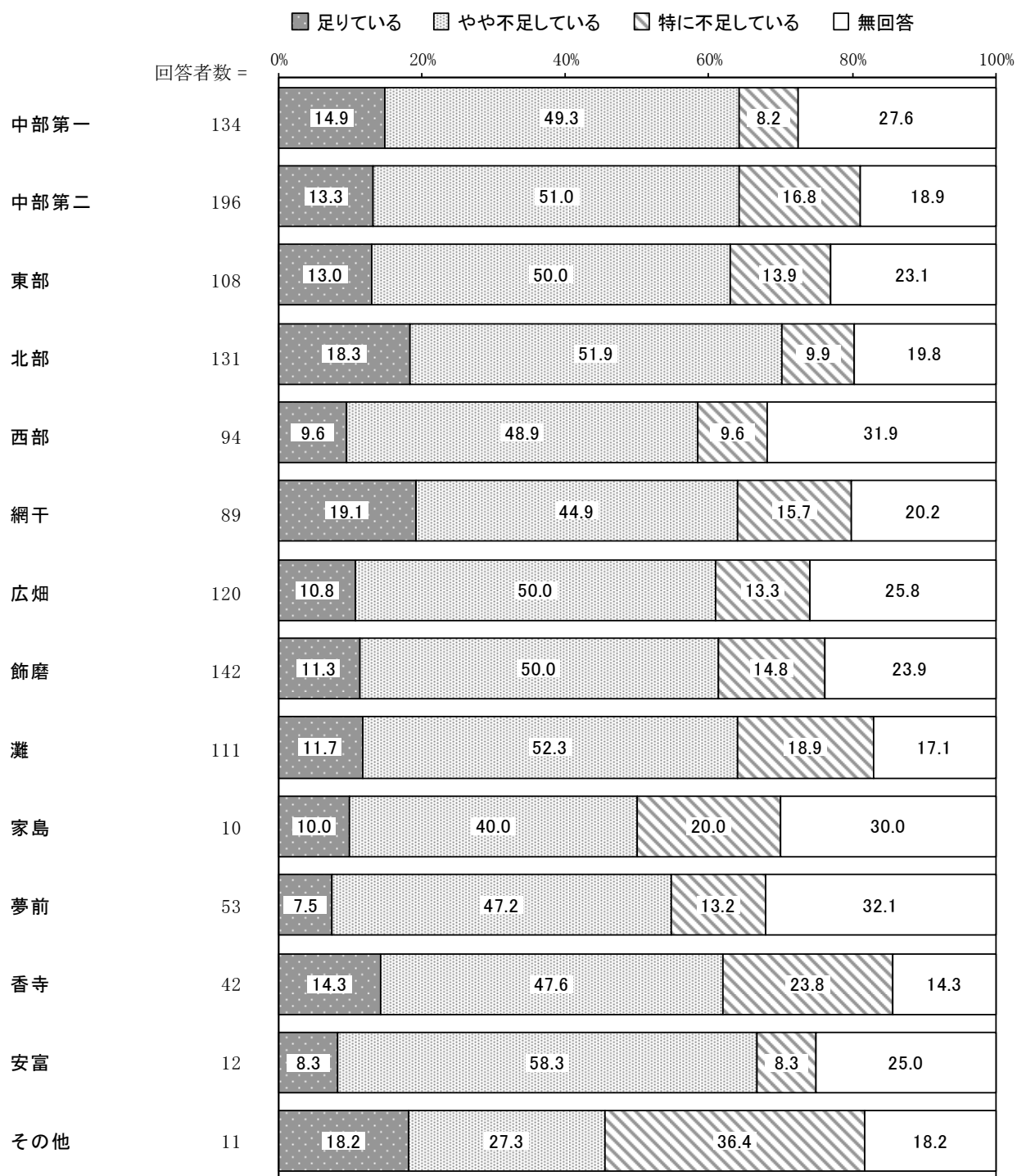
## ボランティアの育成、活動の促進

地区別で見ると、他に比べ、家島、安富で「特に不足している」の割合が高くなっています。



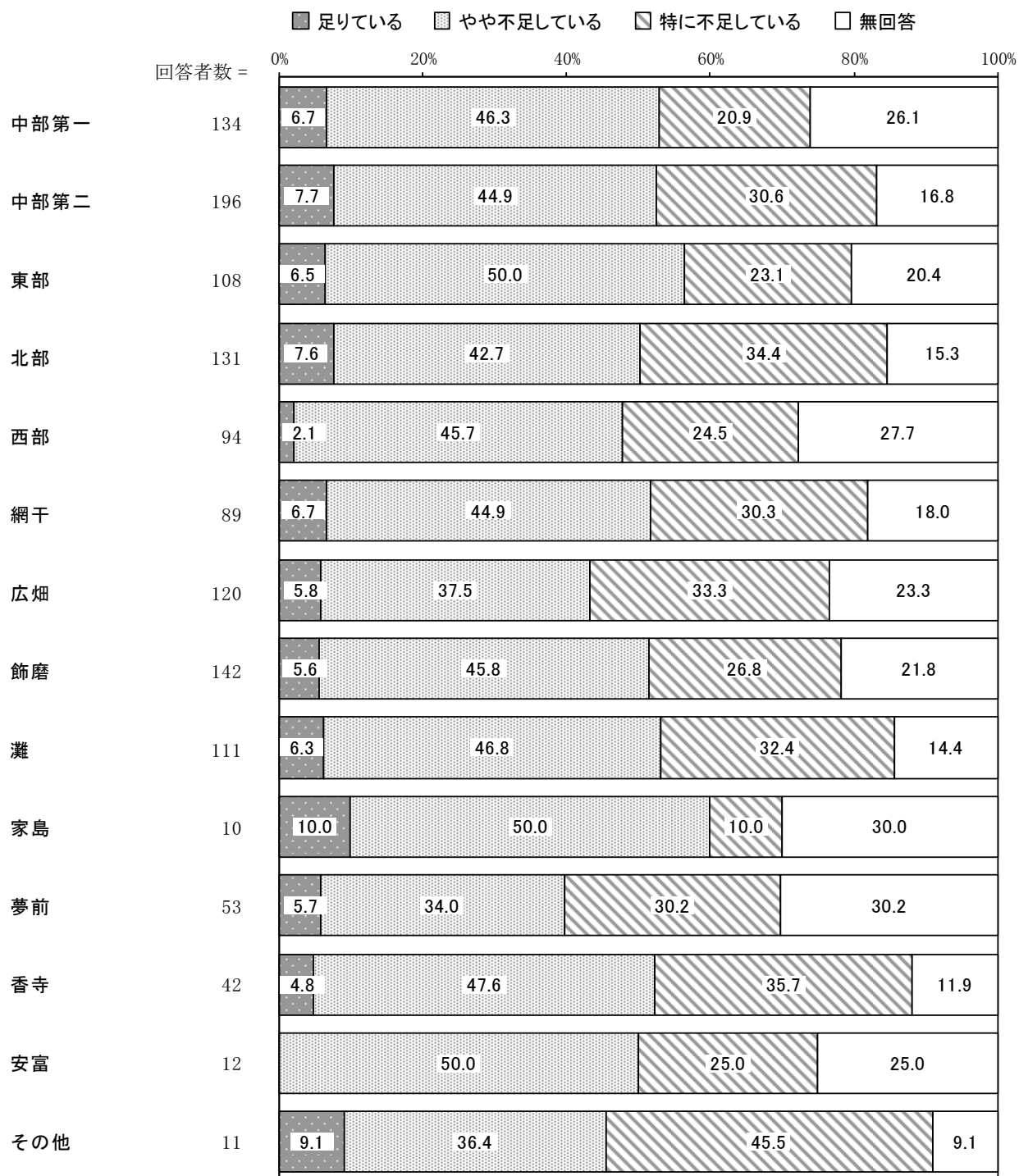
## 子どもや高齢者、障害のある人との交流の場

地区別で見ると、他に比べ、家島、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。



## 災害への備え

地区別で見ると、他に比べ、北部、広畑、灘、香寺で「特に不足している」の割合が高くなっています。







## 令和元年度 姫路市地域福祉実態意向調査

### 【調査ご協力のお願い】

市民の皆さまには、日頃より市政推進に当たりご理解とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。

さて、本市では、「姫路市地域福祉計画」に基づき、地域福祉施策を推進しております。本計画は、令和2年度に見直しをする予定としており、市民の皆さまのご意見を参考にしながら、策定を進めたいと考えております。

つきましては、令和2年1月15日現在、本市在住の18歳以上の方の中から無作為に抽出した3,000人を対象に、「地域福祉実態意向調査」を実施いたします。

なお、調査票に記入していただいた内容は、統計の作成に関する目的以外に使用することはありません。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年1月

姫路市長 清元 秀泰

### 【ご記入に当たってのお願い】

- 1 ご回答は、原則としてあて名のご本人がご記入ください。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族またはご本人の日常の様子をよくお分かりの方がお手伝いください。
- 2 設問によってご回答いただく方を限定している場合がありますので、【     】内のことわり書きに従ってご回答ください。
- 3 ご回答は、選択肢の番号に○を付けてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- 4 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」を選択された場合は、(     )内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 ご記入が終わりましたら、この調査票を、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、2月21日（金）までにご投函ください。
- 6 ご回答いただく上でご不明な点があるときは、下記までお問い合わせください。

○ 姫路市地域福祉実態意向調査コールセンター 電話：0120-969-452



問5 【全員にお尋ねします。】

あなたは、福祉とどのような関わりがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 福祉関係の仕事をしている     | 4 家族が福祉サービス（※）を利用している |
| 2 ボランティア活動に参加している  | 5 その他（ ）              |
| 3 福祉サービス（※）を利用している | 6 特に関わりはない            |

※ 福祉サービス

介護保険サービスや障害福祉サービス、保育所など、公的な制度に基づくサービスをいいます。

問6

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、これまでに介護・介助を必要とする高齢者や障害のある人と接したことはありますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |               |   |                                |
|---------------|---|--------------------------------|
| 1 普段接する機会がある  | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ |
| 2 過去に接した経験がある | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ |
| 3 ない          | ⇒ | <input type="checkbox"/> 問7 へ  |

(2) 【(1)で「1」か「2」を選ばれた方にお尋ねします。】

あなたがこれまで介護・介助を必要とする高齢者や障害のある人と接したのは、どのような場面でしたか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 自分自身に介護・介助が必要である    |
| 2 家族や親戚に介護・介助が必要な人がいる |
| 3 近所で付き合いがある          |
| 4 ボランティアやNPO活動で経験がある  |
| 5 学校や職場で接する機会がある      |
| 6 その他（ ）              |



問 10

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、10 年後も現在お住まいの地域で暮らしたいと思いますか。当てはまるものを 1 つ選び、番号に○を付けてください。

1	これからもずっと暮らしたい	⇒	<input type="checkbox"/> (2) へ
2	もし引っ越したとしても、やがて帰ってきたい	⇒	<input type="checkbox"/> (2) へ
3	市内の他の地域に引っ越したい (またはその予定である)	⇒	<input type="checkbox"/> (3) へ
4	市外に引っ越したい (またはその予定である)	⇒	<input type="checkbox"/> (3) へ
5	分からない	⇒	<input type="checkbox"/> 問 11 へ

(2) 【(1)で「1」か「2」を選ばれた方にお尋ねします。】

お住まいの地域で暮らしたい理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	家族、親戚がいる	7	地域のつながりがあまりない
2	土地、家がある	8	住みやすい
3	友人、知人がいる	9	仕事や学業の都合
4	地域に愛着がある	10	引っ越す理由がない
5	近隣との付き合いがうまくいっている	11	その他 ( )
6	地域のつながりが深い		

⇒  問 11 へ

(3) 【(1)で「3」か「4」を選ばれた方にお尋ねします。】

引っ越したい (またはその予定である) 理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	他の地域に家族、親戚がいる	7	地域のつながりが少なすぎる
2	他の地域に土地、家がある	8	住みにくい
3	他の地域に友人、知人がいる	9	仕事や学業の都合
4	他に愛着のある地域がある	10	老人ホームなどの施設に入りたい
5	近隣との付き合いがうまくいっていない	11	その他 ( )
6	地域のつながり、行事などが面倒		

## 地域での生活について

---

### 問 11 【全員にお尋ねします。】

あなたは、ご近所の方とどの程度お付き合いしていますか。当てはまるものを 1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 お互いに訪問しあう人がいる  | 4 顔もよく知らない人がほとんどだ    |
| 2 立ち話をする程度の人がある  | 5 近隣との付き合いがうまくいっていない |
| 3 あいさつをする程度の人がある | 6 その他( )             |

### 問 12 【全員にお尋ねします。】

あなたにとって、住民が助け合うべき「地域」とはどの範囲だと思いますか。当てはまるものを 1つ選び、番号に○を付けてください。

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 1 隣近所  | 5 複数の中学校区の範囲（飾磨、網干など） |
| 2 自治会  | 6 姫路市全域               |
| 3 小学校区 | 7 その他( )              |
| 4 中学校区 | 8 分からない               |

### 問 13

#### (1) 【全員にお尋ねします。】

現在お住まいの地域で、つながりを感じますか。当てはまるものを 1つ選び、番号に○を付けてください。

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 とても感じる | 3 あまり感じない  |
| 2 少し感じる  | 4 まったく感じない |

#### (2) 【全員にお尋ねします。】

暮らしの中で、地域のつながりは必要だと思いますか。当てはまるものを 1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                       |   |       |
|-----------------------|---|-------|
| 1 今よりも、もっとつながりが深い方が良い | ⇒ | (3) ^ |
| 2 今よりも、もう少しつながりがあれば良い | ⇒ | (3) ^ |
| 3 今と同じくらいで良い          | ⇒ | (3) ^ |
| 4 つながりはあまり必要ない        | ⇒ | (4) ^ |
| 5 つながりはまったく必要ない       | ⇒ | (4) ^ |

(3) 【(2)で「1」から「3」を選ばれた方にお尋ねします。】

あなたは、地域でどのようなつながりが必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 近所の人顔や名前が分かる    | 6 困っている人がいないか気に掛ける  |
| 2 世間話ができるくらい親しくなる | 7 普段の生活で、困ったときに助け合う |
| 3 おすそ分けなどのやりとりをする | 8 災害の時に助け合う         |
| 4 清掃活動などに参加する     | 9 その他( )            |
| 5 祭りなどの地域の行事に参加する |                     |

⇒ **問 14 へ**

(4) 【(2)で「4」か「5」を選ばれた方にお尋ねします。】

地域のつながりが必要ないと思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1 もともとあまりつながりがない    | 4 自分や家族だけでやっていける |
| 2 近所の人と深い付き合いをしたくない | 5 プライバシーを知られたくない |
| 3 行事などへの参加が面倒       | 6 その他( )         |

問 14 【全員にお尋ねします。】

(1) あなたやあなたの家族が困った時に嬉しかった近所の方の手助けは何でしたか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1 安否確認の声掛け | 8 通院などの外出の手伝い      |
| 2 話し相手     | 9 子どもの預かり          |
| 3 買い物の手伝い  | 10 高齢者などの預かり       |
| 4 お弁当の配食   | 11 気になることがあったときの通報 |
| 5 ゴミ出し     | 12 災害時の手助け         |
| 6 掃除の手伝い   | 13 その他( )          |
| 7 庭の手入れ    | 14 手助けはなかった        |

(2) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、ご自身やご家族がどのような状況になったときに、(1)のような手助けをしてほしいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	子どもや孫が生まれたとき	}	⇒	□ (3) へ
2	病気や障害、認知症などで生活が不自由になったとき			
3	1人暮らしになったとき			
4	65歳以上になったとき			
5	75歳以上になったとき			
6	その他 ( )			
7	手助けや見守りはしてほしくない	⇒	□ (4) へ	

(3) 【(2)で「1」から「6」を選ばれた方にお尋ねします。】

あなたご自身やご家族が、高齢や障害、子育てなどで生活が不自由になったとき、地域の方にどのような手助けをしてほしいと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	安否確認の声掛け	8	通院などの外出の手伝い
2	話し相手	9	子どもの預かり
3	買い物の手伝い	10	高齢者などの預かり
4	お弁当の配食	11	気になることがあったときの通報
5	ゴミ出し	12	災害時の手助け
6	掃除の手伝い	13	その他 ( )
7	庭の手入れ	14	分からない

⇒ □ 問 15 へ

(4) 【(2)で「7」を選ばれた方にお尋ねします。】

手助けをしてほしくない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	他人に迷惑をかけたくない
2	他人に干渉してほしくない
3	プライバシーを知られたくない
4	相手を信用できない
5	手助けや見守りをされていることを地域の人に知られたくない
6	その他 ( )



## 地域活動について

### 問 15 【全員にお尋ねします。】

- (1) あなたは、地域活動にどのような関わり方をしていますか（または、していましたか）。  
当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

	運営面に 中心的に 関わって いる (いた)	積極的に 活動に参 加して いる (いた)	なんとなく 参加し ている (いた)	人に頼ま れ、やむ なく参加 している (いた)	参加した ことが ない
①自治会	1	2	3	4	5
②民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
③社協支部	1	2	3	4	5
④老人クラブ	1	2	3	4	5
⑤婦人会	1	2	3	4	5
⑥子ども会	1	2	3	4	5
⑦消防団	1	2	3	4	5
⑧スクールヘルパー	1	2	3	4	5
⑨登下校時の見守り	1	2	3	4	5
⑩子育てに関するボランティア	1	2	3	4	5
⑪障害のある人に関する ボランティア	1	2	3	4	5
⑫高齢者に関するボランティア	1	2	3	4	5
⑬その他	1	2	3	4	5

団体の名称をお書きください。

- ⇒ いずれかの活動に参加したことがある方は、**問16へ**  
どの活動にも参加したことがない方は、**(2)へ**

(2) 【地域活動に参加したことがない方にお尋ねします。】

地域活動に参加していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 仕事や家事が忙しく、時間がない | 6 一緒に参加する人がいない     |
| 2 家族の世話に手がかかる     | 7 地域とあまり関わりを持ちたくない |
| 3 趣味に時間を使いたい      | 8 他に適任な人がいる        |
| 4 引っ越してきて日が浅い     | 9 自治会に加入していない      |
| 5 参加方法がわからない      | 10 その他 ( )         |

問 16 【全員にお尋ねします。】

将来参加してみたい地域活動は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1 自治会       | 8 スクールヘルパー          |
| 2 民生委員・児童委員 | 9 登下校時の見守り          |
| 3 社協支部      | 10 子育てに関するボランティア    |
| 4 老人クラブ     | 11 障害のある人に関するボランティア |
| 5 婦人会       | 12 高齢者に関するボランティア    |
| 6 子ども会      | 13 その他 ( )          |
| 7 消防団       | 14 特にない             |

問 17 【全員にお尋ねします。】

あなたの住んでいる地域(自治会等～小学校区ぐらいの範囲)の問題について、話し合いの場や機会がありますか。また、あなたは参加していますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                          |
|--------------------------|
| 1 話し合いの場や機会があり、参加している    |
| 2 話し合いの場や機会があるが、参加していない  |
| 3 話し合いの場や機会がない           |
| 4 話し合いの場や機会があるのかどうかわからない |

## 日常生活の心配ごと、相談、支援について

### 問 18 【全員にお尋ねします。】

- (1) あなたは、日常生活の中で、どのようなことに悩みや不安を感じておられますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 自分や家族の健康のこと | 7 隣近所との関係      |
| 2 自分や家族の老後のこと | 8 趣味や生きがいのこと   |
| 3 子育てのこと      | 9 福祉サービスの利用のこと |
| 4 介護、介助のこと    | 10 災害時の備えのこと   |
| 5 経済的な問題のこと   | 11 その他( )      |
| 6 住まいのこと      | 12 特にない        |

- (2) あなたにとって、心配ごとや悩みを相談できる人はどなたですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 家族、親戚            | 10 介護支援専門員（ケアマネジャー）  |
| 2 友人、知人            | 11 福祉施設、福祉サービス事業所の職員 |
| 3 近所の人             | 12 医療機関の医師、看護師など     |
| 4 自治会役員            | 13 NPO などの民間団体       |
| 5 民生委員・児童委員        | 14 ボランティア            |
| 6 市の福祉担当職員         | 15 その他( )            |
| 7 保健所、保健センターなどの保健師 | 16 どこに相談したらいいか分からない  |
| 8 社会福祉協議会の職員       | 17 相談できる人はいない        |
| 9 地域包括支援センターの職員    | 18 誰にも相談しない          |

### 問 19 【全員にお尋ねします。】

- (1) あなたは「成年後見制度」(※)をご存知ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 制度の内容を知っている         |
| 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない |
| 3 聞いたことがない            |

#### ※ 成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人を保護、支援するための制度。家庭裁判所が選任した成年後見人が、本人の利益を考えながら、本人を代理して契約などの法律行為をすることができます。

(2) 成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思えますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                      |
|----------------------|
| 1 制度に関する十分な知識がない     |
| 2 誰に相談して良いか分からない     |
| 3 本人や家族、親族等の理解が得られない |
| 4 申立費用や後見報酬などの費用がかかる |
| 5 適当な後見人候補が見つからない    |
| 6 その他 ( )            |

(3) あなたは、成年後見支援センターをご存知ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 知っており、相談・利用したことがある  |
| 2 知っているが、相談・利用したことはない |
| 3 知らない                |

(4) あなたは、市民後見制度(※)をご存知ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 制度の内容を知っている         |
| 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない |
| 3 聞いたことがない            |

※ 市民後見制度

成年後見制度に関する一定の知識や技術、態度を身につけた一般市民による後見制度

(5) もしあなたが障害や認知症などで判断能力が低下した場合、支援してほしいこと(困ること)はなんですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                          |
|--------------------------|
| 1 不動産に関すること              |
| 2 預貯金、保険、年金などに関すること      |
| 3 生活費などの日々の支払いに関すること     |
| 4 相続に関すること               |
| 5 医療、介護や福祉サービスの手続きに関すること |
| 6 その他 ( )                |

問 20

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、虐待や権利侵害と思われるケースを見聞きした場合、どのような対応を取ろうと思いますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

1 誰かに連絡する（市役所、警察、地域の人など）	⇒	<input type="checkbox"/>	(2)へ
2 しばらく様子を見守る	⇒	<input type="checkbox"/>	(3)へ
3 特に何もしない	⇒	<input type="checkbox"/>	(3)へ
4 その他（			）

(2) 【(1)で「1」を選ばれた方にお尋ねします。】

虐待や権利侵害と思われるケースを見聞きした場合、どなたに連絡、相談されますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1 自治会役員	9 地域包括支援センターの職員
2 民生委員・児童委員	10 介護支援専門員（ケアマネジャー）
3 市の福祉担当職員	11 福祉施設、福祉サービス事業所の職員
4 保健所、保健センターなどの保健師	12 医療機関の医師、看護師など
5 学校、教育委員会	13 NPOなどの民間団体
6 児童相談所	14 ボランティア
7 警察（110番）、消防（119番）	15 その他（
8 社会福祉協議会の職員	16 どこに相談したらいいか分からない

⇒  問 21 へ

(3) 【(1)で「2」か「3」を選ばれた方にお尋ねします。】

連絡、相談しない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1 どこに連絡、相談して良いか分からない
2 虐待かどうか自分では判断できない
3 他の人が連絡してくれると思う
4 自分が連絡したことが知られると困る
5 面倒なことに巻き込まれたくない
6 その他（

問 21 【全員にお尋ねします。】

- (1) あなたは「生活困窮者自立支援制度」(※)をご存知ですか。当てはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 制度の内容を知っている         |
| 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない |
| 3 聞いたことがない            |

※ 生活困窮者自立支援制度

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図るための制度

- (2) あなたの現在の経済的な暮らし向きはいかがですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |            |         |
|------------|---------|
| 1 大変ゆとりがある | 4 やや苦しい |
| 2 ややゆとりがある | 5 大変苦しい |
| 3 普通       |         |

- (3) あなたは経済的に困窮することがある場合、「くらしと仕事の相談窓口」(※)を利用しようと思いませんか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                      |
|----------------------|
| 1 すぐに利用したい           |
| 2 生活に困窮することがあれば利用したい |
| 3 利用しようとは思わない        |
| 4 すでに利用している          |
| 5 わからない              |

※ くらしと仕事の相談窓口

姫路市総合福祉会館内に設置された生活困窮者自立支援制度の相談窓口

問 22 【全員にお尋ねします。】

- (1) あなたやあなたのご家族にひきこもり状態(※)の方はおられますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 いる 10代まで ⇒ (2)へ   | 4 いる 60代以上 ⇒ (2)へ |
| 2 いる 20代～30代 ⇒ (2)へ | 5 いない ⇒ 問23へ      |
| 3 いる 40代～50代 ⇒ (2)へ |                   |

※ ひきこもり状態

仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流や買い物以外の外出がほとんどない状態が6ヶ月以上続いている方。(重度の障害や重度の疾病で外出できない方を除く。)



## 介護や医療について

### 問 24

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、ご家族の介護をしておられますか。(医療機関へ入院、福祉施設などへ入所されている場合は除きます。) 当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                       |   |                                   |
|-----------------------|---|-----------------------------------|
| 1 現在、介護をしている          | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 2 今は介護をしていないが、過去にしていた | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 3 介護をした経験はない          | ⇒ | <input type="text" value="問 25"/> |

(2) 【(1)で「1」か「2」を選ばれた方にお尋ねします。】

家族の介護に携わる中で、悩みはありますか(または、ありましたか)。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 介護の技術・知識が乏しい   | 7 困ったときに相談できる相手がない  |
| 2 身体的な負担が大きい     | 8 住居に問題がある(段差、広さなど) |
| 3 精神的な負担が大きい     | 9 本人が介護サービス利用を好まない  |
| 4 経済的な負担が大きい     | 10 将来のことが不安         |
| 5 仕事や家事との両立ができない | 11 その他( )           |
| 6 自分の時間がとれない     | 12 特にない             |

### 問 25

(1) 【全員にお尋ねします。】

将来、あなたご自身が介護の必要な状況(※)になったとき、どこで暮らしたいですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

※ ここでは、「介護の必要な状況」とは「歩行や立ち上がりが自力では困難で、入浴や排泄にも一部介助が必要な状況」をいいます。

- |                      |   |                                   |
|----------------------|---|-----------------------------------|
| 1 自宅(家族や親族の家も含む)     | ⇒ | <input type="text" value="問 26"/> |
| 2 生活相談や見守りがある高齢者住宅   | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 3 少人数で共同生活をするグループホーム | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 4 手厚い介護サービスのある老人ホーム  | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 5 その他( )             | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |
| 6 分からない              | ⇒ | <input type="text" value="(2)"/>  |



(2) 【(1)で「1」以外を選ばれた方にお尋ねします。】

自宅以外を選択するにあたり、もっとも重視したいことは何ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1 住み慣れた地域にあること
- 2 家族や友人が訪れやすいこと
- 3 介護やサービスが充実していること
- 4 経済的な負担が少ないこと
- 5 自分の時間やプライバシーが守られること
- 6 にぎやかで孤独を感じないこと
- 7 家族や友人が訪れやすいこと
- 8 その他 ( )

問 26

(1) 【全員にお尋ねします。】

将来、あなたのご家族が介護の必要な状況(※)になったとき、ご家族にはどこで暮らしてほしいと思いますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

※ ここでは、「介護の必要な状況」とは「歩行や立ち上がりが自力では困難で、入浴や排泄にも一部介助が必要な状況」をいいます。

- |                      |   |                                 |
|----------------------|---|---------------------------------|
| 1 自宅(家族や親族の家も含む)     | ⇒ | <input type="checkbox"/> 問 27 へ |
| 2 生活相談や見守りがある高齢者住宅   | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ  |
| 3 少人数で共同生活をするグループホーム | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ  |
| 4 手厚い介護サービスのある老人ホーム  | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ  |
| 5 その他 ( )            | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ  |
| 6 分からない              | ⇒ | <input type="checkbox"/> (2) へ  |

(2) 【(1)で「1」以外を選ばれた方にお尋ねします。】

自宅以外を選択するにあたり、もっとも重視したいことは何ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1 住み慣れた地域にあること
- 2 家族や友人が訪れやすいこと
- 3 介護やサービスが充実していること
- 4 経済的な負担が少ないこと
- 5 自分の時間やプライバシーが守られること
- 6 にぎやかで孤独を感じないこと
- 7 家族や友人が訪れやすいこと
- 8 その他 ( )

問 27

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、体調が悪いときにまず診てもらったり、日頃から健康について相談したりできる「かかりつけ医」を決めていますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |  |
|--|
| 1 診療所（クリニック）がかかりつけ医である                           |
| 2 病院がかかりつけ医である                                   |
| 3 かかりつけ医は決めていない ⇒ <input type="checkbox"/> (2) ^ |

(2) 【(1)で「3」を選ばれた方にお尋ねします。】

かかりつけ医を決めていない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 適切な医療機関がない、分からない | 4 かかりつけ医が必要だと思わない |
| 2 あまり病気にならない       | 5 総合病院に行っている      |
| 3 自分で健康管理をしている     | 6 その他( )          |

## 災害時要援護者の支援について

### 問 28 【全員にお尋ねします。】

隣近所で支援を必要とする人（高齢者・障害者（児）等）がいる世帯をご存知ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1 はい                      2 いいえ

### 問 29

#### (1) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、「災害時要援護者支援事業」(※)をご存知ですか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1 制度の内容を知っている  
2 聞いたことはあるが、内容までは知らない  
3 聞いたことがない

#### ※ 災害時要援護者支援事業

災害時に最も被害を受けやすい高齢者や障害者等の「災害時要援護者」の把握や、その効果的な支援体制を整備する事業

#### (2) 【全員にお尋ねします。】

あなたは、避難支援者(※)になることについて、どのように思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- 1 自分の家族、親族であれば、避難支援者になっても良い  
2 友人、知人であれば、避難支援者になっても良い  
3 町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になっても良い  
4 知らない人でも、避難支援者になっても良い  
5 自分自身が要援護者である（高齢、障害等により災害時に支援が必要）  
6 その他（  
7 避難支援者になりたくない ⇒ (3)へ

⇒ 問 30 へ

#### ※ 避難支援者

災害時要援護者に対し、普段からの見守りや、災害が発生しそうな場合若しくは発生したときに災害に関する情報を伝えたり、一緒に避難したりするなど支援を心がけていただく方（善意の助け合いの一環であり、責任は伴いません。）

(3) 【(2)で「7」を選ばれた方にお尋ねします。】

避難支援者になりたくない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 自分や家族のことで精一杯だ  | 5 何かあったときの責任が気になる  |
| 2 自分の体力に不安がある    | 6 仕事などで、家にいることが少ない |
| 3 何をしてもいいかわからない  | 7 その他( )           |
| 4 自分だけではどうにもならない |                    |

## 福祉サービスの利用、これからの福祉のあり方について

問 30 【全員にお尋ねします。】

市の福祉サービス(※)に関する情報は、どこから入手したいと思われませんか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1 市役所や支所の窓口               | 7 介護支援専門員(ケアマネジャー) |
| 2 保健所、保健センター、保健福祉サービスセンター | 8 福祉施設             |
| 3 広報ひめじ                   | 9 医療機関             |
| 4 市のホームページ                | 10 民生委員・児童委員       |
| 5 社会福祉協議会の広報紙や窓口          | 11 自治会の回覧          |
| 6 地域包括支援センター              | 12 テレビ、ラジオ、新聞      |
|                           | 13 その他( )          |

※ 福祉サービス

介護保険サービスや障害福祉サービス、保育所など、公的な制度に基づくサービスをいいます。

問 31

(1) 【全員にお尋ねします。】

あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったことはありますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- |                    |   |        |
|--------------------|---|--------|
| 1 不都合や不満を感じたことがある  | ⇒ | (2)へ   |
| 2 不都合も不満も感じたことはない  | ⇒ | 問 32 へ |
| 3 福祉サービスを利用したことがない | ⇒ | 問 32 へ |

(2) 【(1)で「1」を選ばれた方にお尋ねします。】

不都合を感じたり不満に思ったのはどのようなことですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1	どんなサービスが受けられるのか分からなかった
2	どのサービスが良いのか分からず、選びにくかった
3	どこに利用を申し込めば良いのか分からなかった
4	窓口が複数にわたり、面倒だった
5	利用するための手続きが複雑で難しかった
6	利用したいサービスが利用できなかった
7	サービスの内容に満足できなかった
8	サービスに関する不満や苦情に対応してもらえなかった
9	その他 ( )

問 32 【全員にお尋ねします。】

住み慣れた地域でいつまでも暮らすために、以下の取り組みについての必要度と充足度をお答えください。

回答例にならって、「必要度」と「充足度」のそれぞれについて、各項目について、今のお気持ちに一番当てはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

① 住まいやまちのバリアフリー化について

	必要度			充足度		
	特に必要である	やや必要である	あまり必要ない	足りている	やや不足している	特に不足している
(例) 住まいのバリアフリー化 (段差解消、手すり、スロープ設置など)	○ 1	2	3	○ 1	2	3
住まいのバリアフリー化 (段差解消、手すり、スロープ設置など)	1	2	3	1	2	3
道路や建物のバリアフリー化 (段差解消、手すり、スロープ設置など)	1	2	3	1	2	3
公共交通機関のバリアフリー化 (ノンステップバスの普及、駅へのエレベーター設置など)	1	2	3	1	2	3

② 医療や福祉について

	必要度			充足度		
	特に必要である	やや必要である	あまり必要ない	足りている	やや不足している	特に不足している
在宅の福祉サービスの充実	1	2	3	1	2	3
近くにかかりつけ医を持つこと	1	2	3	1	2	3
訪問診療や訪問看護などの充実	1	2	3	1	2	3
医療と介護サービスの連携	1	2	3	1	2	3

③ 自分自身や家族のことについて

	必要度			充足度		
	特に必要である	やや必要である	あまり必要ない	足りている	やや不足している	特に不足している
生きがいづくり	1	2	3	1	2	3
自分自身の健康管理	1	2	3	1	2	3
家族による手助け	1	2	3	1	2	3
家族への支援（レスパイトケア（※）など）	1	2	3	1	2	3

※ レスパイトケア

乳幼児や障害者、高齢者などを在宅でケアしている家族の身体的・精神的疲労を軽減するため、一時的にケアの代替を行うサービス。ショートステイやデイサービスなど。

④ 地域との関わりについて

	必要度			充足度		
	特に必要である	やや必要である	あまり必要ない	足りている	やや不足している	特に不足している
近隣での声掛け、見守り	1	2	3	1	2	3
地域の支え合いの仕組み	1	2	3	1	2	3
地域活動への参加	1	2	3	1	2	3
体操などの介護予防活動	1	2	3	1	2	3
お弁当などの配食、会食	1	2	3	1	2	3

⑤ その他

	必要度			充足度		
	特に必要である	やや必要である	あまり必要ない	足りている	やや不足している	特に不足している
身近な相談窓口の充実	1	2	3	1	2	3
福祉教育、学習機会の充実	1	2	3	1	2	3
ボランティアの育成、活動の促進	1	2	3	1	2	3
子どもや高齢者、障害のある人との交流の場	1	2	3	1	2	3
災害への備え	1	2	3	1	2	3

自由意見欄（皆さまのご意見をお聞かせください。）

ご協力ありがとうございました。

記入された調査票は、切り離すことなく、このままの状態、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。

## **姫路市地域福祉計画**

### **資料編**

■姫路市健康福祉局 保健福祉部 保健福祉政策課

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2455

URL <http://www.city.himeji.lg.jp/s50/2212397.html>